

令和3年度決算における

主要な施策の成果に関する説明書

安曇野市



地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定により、令和 3 年度決算における主要な施策の成果に関する説明書を次のとおり提出します。

令和 4 年 9 月 1 日

安曇野市長 太田 寛



令和3年度決算における主要な施策の成果に関する説明書目次

一般会計

一般会計の概要	…… 1		
市税概要	……18	商工観光スポーツ部	
部・課別の成果と評価		商工労政課	……239
議会事務局	……22	観光課	……251
危機管理課	……26	スポーツ推進課	……269
総務部		都市建設部	
総務課	……32	建設整備課	……276
職員課	……40	維持管理課	……289
財政課	……43	都市計画課	……299
税務課	……48	建築住宅課	……309
収納課	……52	上下水道部	
財産管理課	……54	経営管理課	……314
契約検査課	……63	教育委員会 教育部	
選挙管理委員会事務局	……67	学校教育課	……317
監査委員事務局	……73	学校給食課	……348
公平委員会事務局	……75	生涯学習課	……353
会計課	……77	文化課	……367
政策部		子ども家庭支援課	……378
政策経営課	……79	こども園幼稚園課	……393
秘書広報課	……90		
行革デジタル推進課	……94		
人権共生課	……97		
市民生活部		特別会計	
地域づくり課	……101	国民健康保険特別会計	……404
市民課	……114		
環境課	……117	後期高齢者医療特別会計	……450
移住定住促進課	……133		
福祉部		介護保険特別会計	……460
福祉課	……137		
高齢者介護課	……154	山林財産区特別会計	……495
障がい者支援課	……163		
保健医療部		産業団地造成事業特別会計	……506
健康推進課	……172		
国保年金課	……194	有明荘特別会計	……510
農林部			
農政課	……198		
耕地林務課	……217		
農業委員会事務局	……237		

# 一 般 会 計

# 令和3年度一般会計

## 【概要】

### 1 令和3年度各会計予算額の推移

(単位：千円)

会計名	当初予算	補正予算 (3月追加提案)	補正予算 (6月議会報告)	補正予算 (6月議会提案)	補正予算 (6月追加提案)	補正予算 (9月議会提案)
一般会計	41,100,000	269,000	143,000	352,000	129,000	1,197,000
国民健康保険特別会計	9,986,248					75,567
後期高齢者医療特別会計	1,301,374					25,570
介護保険特別会計	10,008,493					148,591
上川手山林財産区特別会計	2,050					
北の沢山林財産区特別会計	910					
有明山林財産区特別会計	1,080					
富士尾沢山林財産区特別会計	960					
穂高山林財産区特別会計	900					
産業団地造成事業特別会計	1,146,901			△ 9,841		856
有明荘特別会計	16,275					
合計	63,565,191	269,000	143,000	342,159	129,000	1,447,584

(単位：千円)

会計名	補正予算 (9月追加提案)	補正予算 (12月議会提案)	補正予算 (12月追加提案)	補正予算 (3月議会提案)	補正予算 (6月議会報告)	最終予算額
一般会計	326,000	1,188,000	2,695,000	1,719,000	64,000	49,182,000
国民健康保険特別会計				△ 240,149	△ 159,789	9,661,877
後期高齢者医療特別会計				△ 26,869	△ 766	1,299,309
介護保険特別会計		6,285		993	△ 338,466	9,825,896
上川手山林財産区特別会計				524		2,574
北の沢山林財産区特別会計				1		911
有明山林財産区特別会計				△ 175		905
富士尾沢山林財産区特別会計				△ 28		932
穂高山林財産区特別会計				△ 129		771
産業団地造成事業特別会計					△ 1,141	1,136,775
有明荘特別会計					△ 1,125	15,150
合計	326,000	1,194,285	2,695,000	1,453,168	△ 437,287	71,127,100

## 2 令和3年度の補正予算の状況

一般会計においては、10回の補正予算を編成しました。

令和3年3月議会へ追加提案した「補正予算第1号」は、歳入として、使用料及び手数料の減額、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急支援策として疾病予防対策事業費等補助金による国庫支出金や財政調整基金繰入金の増額、歳出として、国の緊急事態宣言・県の松本地域感染警戒レベル4の指定等により大きな影響を受けた飲食店と飲食宿泊業者への納入業者に対する新型コロナウイルス感染症対策事業1億4,100万円などを計上し、総額では2億6,900万円の増額補正を行いました。

6月議会へ報告した「専決第1号」は、低所得のひとり親世帯に対する生活支援として、子ども1人につき5万円を給付する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）5,400万円の計上や新型コロナウイルスワクチン接種の実施に伴う費用としてワクチン予防接種事業8,900万円の増額により、総額では1億4,300万円の増額補正を4月15日付で専決処分しました。

6月議会へ提案した「補正予算第2号」は、歳入として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など国庫支出金や産業団地造成事業特別会計繰入金の増額、減債基金繰入金の減額、歳出として、財政調整基金への基金積立金など増額し、総額では3億5,200万円の増額補正を行いました。

6月議会へ追加提案した「補正予算第3号」は、歳入として、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金補助金や子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）国庫補助金による国庫支出金の増額、歳出として、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業4,500万円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）8,400万円の計上、総額では1億2,900万円の増額補正を行いました。

9月議会へ提案した「補正予算第4号」は、歳入として、令和2年度決算に伴う繰越金や普通交付税の交付額の決定に伴う増額、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金等に伴う国庫支出金の増額、減債基金、公共施設整備基金及び財政調整基金繰入金などの減額、市債では、借換債（旧合併特例事業債・総務債）の発行取止めによる減額、歳出としては、ふるさと寄附金の増加見込に伴う返礼品費の追加などによる寄附採納事務の増額や、財政調整基金及び減債基金への基金積立金の増額、総額では11億9,700万円の増額補正、及び補助金交付が複数年となる地域経済牽引企業工場用地取得事業（令和3年度第2期追加分）など、3件の債務負担行為を設定しました。

9月議会へ追加提案した「補正予算第5号」は、歳入として、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金など国庫支出金、財政調整基金繰入金を増額し、歳出として、ワクチン予防接種事業8,700万円、新型コロナウイルス感染症対策事業1億900万円の増額など、総額では3億2,600万円の増額補正を行いました。

12月議会へ提案した「補正予算第6号」は、歳入として、市税、国庫支出金、県支出金の増額、基金繰入金の減額、歳出として、ふるさと寄附返礼品の増額、令和3年8月豪雨により発生した林道災害復旧事業7,900万円の増額、総額では11億8,800万円の増額補正、及び3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に伴い年度内契約が必要となる新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務（第3回目接種）や指定管理期間が複数年にわたるものなど債務負担行為の設定を行いました。

12月議会へ追加提案した「補正予算第7号」は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業9億1,900万円、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業15億5,500万円の増額など、総額では26億9,500万円の増額補正を行いました。

令和4年3月議会へ提案した「補正予算第8号」は、歳入として、市税、地方交付税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、財産収入、寄附金、市債の増額、繰入金等の減額、歳出として、まん延防止等重点措置による事業者への経済支援として、1事業者あたり10万円を支援する新型コロナウイルス感染症対策事業の増額、国の補正予算に伴う交付金の追加内示により実施となる堀金総合体育館大規模改修工事として社会体育施設管理費や、令和3年8月豪雨災害により被災した豊科光頭首工及び重光堰頭首工の復旧工事費として耕地災害復旧事業の増額、児童手当、児童扶養手当の確定などによる児童福祉総務費の減額、国の補正予算による普通交付税の再算定に伴い、臨時財政対策債償還基金費分を減債基金へ積み立てるなど基金積立金の増額、総額では17億1,900万円の増額補正、及び年度内での事業完了が困難となった事業について繰越明許費の設定を行いました。

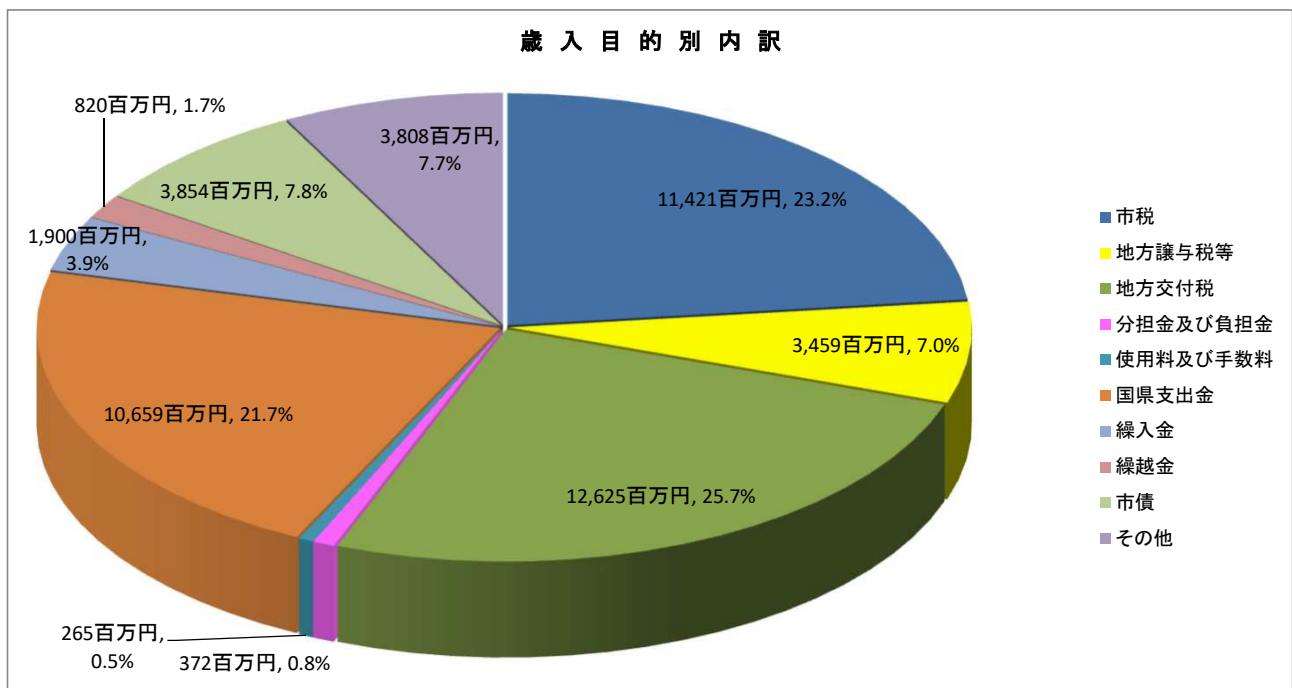
令和4年6月議会へ報告した「専決第2号」は、決算を踏まえた歳入の整理及び歳出不執行額の整理を中心に3月25日付で専決処分を行いました。

一般会計の補正予算の概要は、次のとおりです。

最終的な予算額については、491億8,200万円となりました。歳入及び歳出の目的別内訳、歳出の性質別内訳は次のグラフのとおりです。

### 【一般会計の最終予算額の内訳(グラフ)】

(総額491億8,200万円)

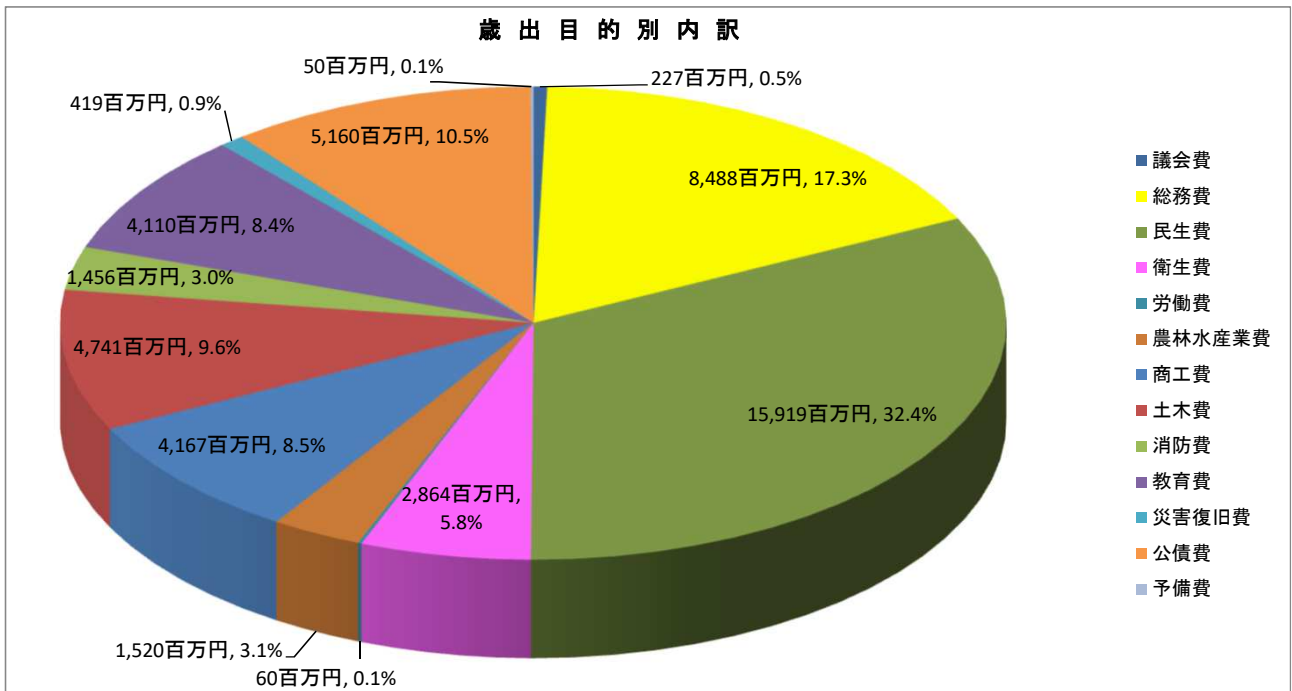


※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。



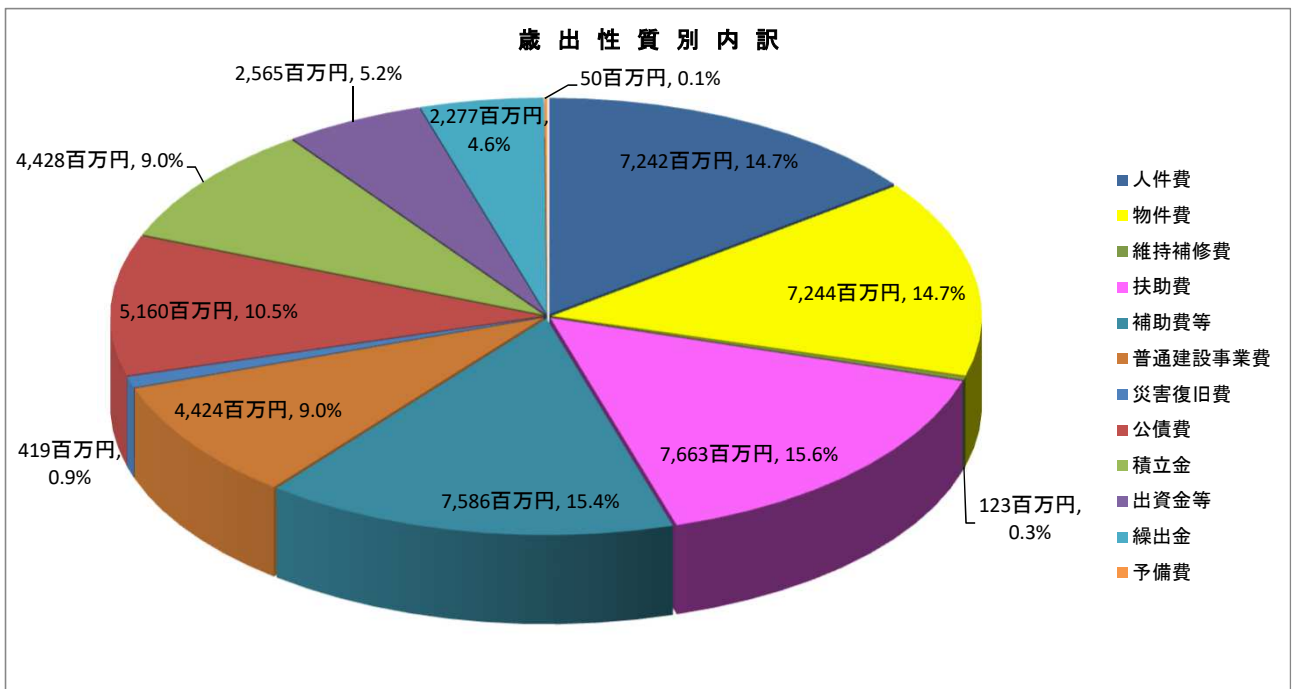
【一般会計の最終予算額の内訳(グラフ)】

(総額491億8,200万円)



※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

※構成比については、百万円未満四捨五入により100%になりません。



※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

### 3 予算と決算の状況

(単位：千円)

会計名	最終予算額	決算時の 予算現額	決算額		予算現額に 対する増減
			歳入	歳出	
一般会計	49,182,000	52,117,118	歳入	50,033,229	△ 2,083,889
			歳出	48,838,393	3,278,725
国民健康保険特別会計	9,661,877	9,661,877	歳入	9,707,897	46,020
			歳出	9,659,234	2,643
後期高齢者医療特別会計	1,299,309	1,299,309	歳入	1,313,945	14,636
			歳出	1,285,354	13,955
介護保険特別会計	9,825,896	9,825,896	歳入	9,838,845	12,949
			歳出	9,602,227	223,669
上川手山林財産区特別会計	2,574	2,574	歳入	2,573	△ 1
			歳出	1,083	1,491
北の沢山林財産区特別会計	911	911	歳入	912	1
			歳出	256	655
有明山林財産区特別会計	905	905	歳入	905	0
			歳出	199	706
富士尾沢山林財産区特別会計	932	932	歳入	934	2
			歳出	231	701
穂高山林財産区特別会計	771	771	歳入	773	2
			歳出	303	468
産業団地造成事業特別会計	1,136,775	1,440,276	歳入	1,440,277	1
			歳出	1,440,149	127
有明荘特別会計	15,150	15,150	歳入	15,151	1
			歳出	15,143	7
合計	71,127,100	74,365,719	歳入	72,355,441	△ 2,010,278
			歳出	70,842,572	3,523,147

※決算額については、単位未満四捨五入しています。

※決算時の予算現額とは、当該年度の予算に前年度からの繰越明許費繰越額及び事故繰越し繰越額を加えたものになります。

#### 4 一般会計決算の状況

##### (1) 令和3年度一般会計当初予算と決算

令和3年度一般会計の当初予算については、次のような基本方針により編成を行い、411億円を計上しました。決算は、歳入500億3,300万円、歳出488億3,800万円となりました。

##### 予算編成の基本方針と重点事業

###### 【基本方針】

令和3年度は、市役所本庁舎建設以来の大型建設事業となる新総合体育館の竣工を迎え、令和2年度に完成した新ごみ処理施設の建設と合わせ、新規大型施設への投資的基盤が 大方、完了する年であります。そのため、ソフト事業に主眼をシフトしつつ、安曇野市が目指す将来都市像の実現に向け、確固たる財政基盤を継続することが必要となります。

令和3年度の予算編成においては、新型コロナウイルス感染症による内外経済への不安要素があるなか、基金財源の継続的確保など、持続可能な財政基盤を確保しつつ、安曇野市の魅力を最大限発揮し得る効果的な予算編成を実施する必要があります。こうしたなか、予算編成にあたっては、第2次総合計画、まち・ひと・しごと 創生総合戦略に基づく事業成果や数値的目標の達成を目指すなか、職員一人ひとりが創意工夫を持って貴重な財源の有効活用を図り、第2次総合計画に掲げる将来都市像「北アルプスに育まれ共に響きあう 田園産業都市 安曇野」の創生に向けて全力を傾けることとします。

(2) 重点項目に係る決算

当初予算では、次のような重点事業を掲げ、予算執行を行い、その決算は次のとおりとなりました。

なお、単位未満については切り捨てて表示しています。また、当初の予算額については、( )内に記載しました。

**【重点事業】**

「実施計画(2021-2023)策定方針」において示された「重点化施策」及びその推進のための手段となる「重点事業」は次のとおりです。

基本構想		前期基本計画				
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策 (着色部分はR3年度の重点化施策)			
「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」	計画の実現に向けて	基本計画推進に当たったの経営方針	方針1 協働によるまちづくりの推進			
			方針2 広報・広聴の充実			
			方針3 地域情報化の推進			
			<b>方針4 質の高い行政経営の推進</b>			
			事業	決算	当初予算	
	行財政改革大綱・実施計画進行管理事業	8万4千円	(12万6千円)			
	公共施設管理方針調整事業	5万1千円	(18万8千円)			
	総合計画等策定事業	4万5千円	(21万円)			
	ファインビュー室山改修事業(運営事業)	2,140万円	(2,711万5千円)			
	ほりで一ゆ〜改修事業(運営事業)	4,889万2千円	(5,985万円)			
		方針5 健全財政の堅持				
1 いきいきと健康に暮らせるまち	1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 健康づくりの推進	事業	決算	当初予算	
			自転車活用推進事業	279万1千円	(319万3千円)	
			ひきこもり対応推進事業	611万8千円	(753万3千円)	
			福祉医療費給付事業	5億6,186万8千円	(6億1,545万7千円)	
			健康増進事業	1,330万円	(1,483万1千円)	
			特定健康診査等事業費 ※特別会計事業	1億5,334万6千円	(2億2,804万9千円)	
	一般介護予防事業 ※特別会計事業	1,271万1千円	(2,017万円)			
			1-1-2 地域医療の充実			
	1-2 一人ひとりが大切に されるまち	1-2-1 高齢者福祉の充実	事業	決算	当初予算	
			健康増進事業	1,330万円	(1,483万1千円)	
			特定健康診査等事業費 ※特別会計事業	1億5,334万6千円	(2億2,804万9千円)	
			一般介護予防事業 ※特別会計事業	1,271万1千円	(2,017万円)	
				1-2-2 障がい者福祉の充実		
				1-2-3 生活困窮者への支援		
				1-2-4 人権の尊重		
1-3 安心して暮らせる まち	1-3-1 地域福祉の推進					
		<b>1-3-2 出産・子育て支援の充実</b>				
	事業	決算	当初予算			
	三郷西部認定こども園建設事業	6,162万5千円	(2億3,738万5千円)			
	三郷東部認定こども園建設事業	71万5千円	(27万9千円)			
小規模保育施設整備事業	5,596万8千円	(4,450万円)				
穂高北部児童館整備事業	3億5,566万円	(3億8,555万円)				





基本構想		前期基本計画			
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策（着色部分はR3年度の重点化施策）		
「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」	5 学び合い人と文化をはぐくむまち	5-1 子どもが健やかに育つまち	<b>5-1-1 学校教育の充実</b>		
			事業	決算	当初予算
			コミュニティスクール事業	399万円	(793万5千円)
			小学校情報教育推進事業	1億5,567万6千円	(1億3,261万1千円)
			中学校情報教育推進事業	5,563万3千円	(4,564万3千円)
		学校給食費会計公会計化事業	70万4千円	(187万9千円)	
			5-1-2 青少年の健全育成		
		5-2 生涯を通じて学び合うまち	<b>5-2-1 生涯学習の推進</b>		
			事業	決算	当初予算
			芸術教育普及事業	422万円	(427万5千円)
中央公民館事業	2,884万6千円		(3,665万3千円)		
<b>5-2-2 スポーツ活動の充実</b>					
事業	決算		当初予算		
自転車活用推進事業	279万1千円		(319万3千円)		
新総合体育館建設事業	8,788万3千円	(1億783万1千円)			
新総合体育館備品調達事業	1億694万1千円	(1億3,988万8千円)			
市道新設改良事業(サイクリングコース整備)	3,546万4千円	(3,000万円)			
スポーツ教室等開催事業	348万9千円	(829万8千円)			
聖火リレー実施運営事業費	268万1千円	(513万9千円)			
豊科南部総合公園管理運営事業	3,002万8千円	(4,148万2千円)			
5-3 文化を創り育むまち	5-3-1 芸術文化活動の推進				
	<b>5-3-2 交流活動の推進</b>				
	事業	決算	当初予算		
	ホストタウン推進事業	54万5千円	(773万5千円)		

## 5 一般会計決算の前年度との比較

令和3年度一般会計歳入決算額は、前年度対比11.1%減の500億3,300万円、歳出決算額は前年度対比11.9%減の488億3,800万円で、形式収支は11億9,400万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源2億3,600万円を除いた実質収支は、9億5,800万円の黒字となりました。

### (1) 歳入

個人市民税については、給与所得者の減少により5,900万円の減額、固定資産税は、新型コロナウイルス感染症の影響に関わる軽減措置等の影響により2億2,400万円の減額、法人市民税については、申告納税額が増加したことにより1億1,000万円の増額となりました。全体では1億2,100万円の減額となりました。

譲与税関係では、地方消費税交付金が1億9,300万円の増額となりました。

普通交付税については、算定項目の追加等による基準財政需要額の増や税収減による基準財政収入額の減などにより16億4,600万円の増額となり、地方交付税全体では16億8,600万円の増額となりました。

使用料及び手数料については、可燃ごみ処理手数料が2,100万円の減額となったことなどから全体では2,200万円の減額となりました。

国庫支出金については、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金7億600万円、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業補助金14億3,900万円の増額になったのに対し、特別定額給付金給付事業費補助金97億2,500万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金8億3,100万円が減額となったことなどから全体では、71億8,900万円の減額となりました。

県支出金については、地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金1億9,200万円の減額となったことなどから全体では2,000万円の減額となりました。

市債については、新ごみ処理施設建設事業23億9,100万円の減額となったことなどから、全体では、9億4,800万円の減額となりました。

諸収入については、市制度資金元金3億円が増額となったことなどから全体では、2億9,800万円の増額となりました。

### 歳入

(単位：円)

項目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比(%)
市税	11,818,043,533	11,939,347,704	△ 121,304,171	98.98%
地方譲与税	502,205,001	494,666,000	7,539,001	101.52%
利子割交付金	8,512,000	10,522,000	△ 2,010,000	80.90%
配当割交付金	65,951,000	46,385,000	19,566,000	142.18%
株式等譲渡所得割交付金	70,844,000	53,581,000	17,263,000	132.22%
法人事業税交付金	194,494,000	107,836,000	86,658,000	180.36%
地方消費税交付金	2,300,470,000	2,106,901,000	193,569,000	109.19%
ゴルフ場利用税交付金	36,841,917	32,886,456	3,955,461	112.03%
環境性能割交付金	35,709,000	33,062,000	2,647,000	108.01%
地方特例交付金	244,033,000	118,231,000	125,802,000	206.40%
地方交付税	12,624,736,000	10,938,127,000	1,686,609,000	115.42%
交通安全対策特別交付金	14,134,000	14,735,000	△ 601,000	95.92%
分担金及び負担金	286,498,487	276,717,030	9,781,457	103.53%
使用料及び手数料	282,583,538	305,567,275	△ 22,983,737	92.48%
国庫支出金	8,570,537,659	15,759,999,328	△ 7,189,461,669	54.38%
県支出金	2,395,627,388	2,415,634,510	△ 20,007,122	99.17%
財産収入	80,560,037	67,033,578	13,526,459	120.18%
寄附金	824,657,460	1,080,874,693	△ 256,217,233	76.30%
繰入金	1,863,799,889	2,097,158,132	△ 233,358,243	88.87%
繰越金	882,330,274	811,718,106	70,612,168	108.70%
諸収入	2,933,165,313	2,634,180,111	298,985,202	111.35%
市債	3,997,496,000	4,946,022,000	△ 948,526,000	80.82%
合計	50,033,229,496	56,291,184,923	△ 6,257,955,427	88.88%

※款別で集計しています。



(2) 歳出

総務費については、財政4基金積立金31億5,400万円の増などに対し、特別定額給付金給付事業97億6,200万円、寄附採納事務3億5,400万円の減などにより、71億2,700万円の減額になりました。

民生費については、子育て世帯への臨時特別給付金事業1億2,200万円の減などに対し、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業11億5,200万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の7億3,400万円、穂高北部児童館整備事業3億2,100万円の増などにより25億1,900万円の増額になりました。

衛生費については、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業4億9,100万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業1億7,700万円の増などに対し、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業28億1,600万円の減などにより、21億9,200万円の減額になりました。

農林水産業費については、ほりで一ゆ〜改修事業2,100万円の増などに対し、国営広域排水事業負担金7,800万円、農業施設維持工事(市単)1,900万円の減などにより1億300万円の減額になりました。

商工費については、飲食店等応援給付金等事業1億4,900万円の増などに対し、産業団地特別会計繰出金(建設)4億2,200万円、プレミアム付商品券事業1億7,200万円の減などにより、6億5,900万円の減額になりました。

土木費については、新総合体育館建設事業5億9,900万円の減などに対し、【明許】新総合体育館建設事業20億6,200万円、【明許】都市再生整備計画(明科駅周辺)1億9,400万円の増などにより、17億6,700万円の増額になりました。

消防費については、消防施設維持整備事業460万円の増などに対し、消防団詰所更新・統廃合事業2,300万円、耐震性防火水槽新設・更新事業700万円、災害対策総務費600万円の減などにより、4,700万円の減額になりました。

教育費については、穂高プール解体工事1億1,400万円の増などに対し、【明許】中学校冷房設備等整備事業5億5,600万円、学校システム管理事業2億600万円の減などにより、7億6,100万円の減額になりました。

歳出(目的別)

(単位:円)

項目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比(%)
議会費	223,883,616	227,695,385	△ 3,811,769	98.33%
総務費	8,434,270,088	15,561,376,565	△ 7,127,106,477	54.20%
民生費	15,626,634,573	13,106,811,364	2,519,823,209	119.23%
衛生費	2,835,699,455	5,028,146,223	△ 2,192,446,768	56.40%
労働費	59,056,167	85,098,158	△ 26,041,991	69.40%
農林水産業費	1,408,370,065	1,511,433,294	△ 103,063,229	93.18%
商工費	3,802,002,309	4,461,335,166	△ 659,332,857	85.22%
土木費	6,701,495,483	4,934,215,378	1,767,280,105	135.82%
消防費	1,444,557,171	1,491,834,520	△ 47,277,349	96.83%
教育費	3,073,675,579	3,835,613,237	△ 761,937,658	80.14%
災害復旧費	69,214,000	92,664,000	△ 23,450,000	74.69%
公債費	5,159,534,119	5,072,611,359	86,922,760	101.71%
予備費	0	0	0	-
合計	48,838,392,625	55,408,834,649	△ 6,570,442,024	88.14%

※款別で集計しています。

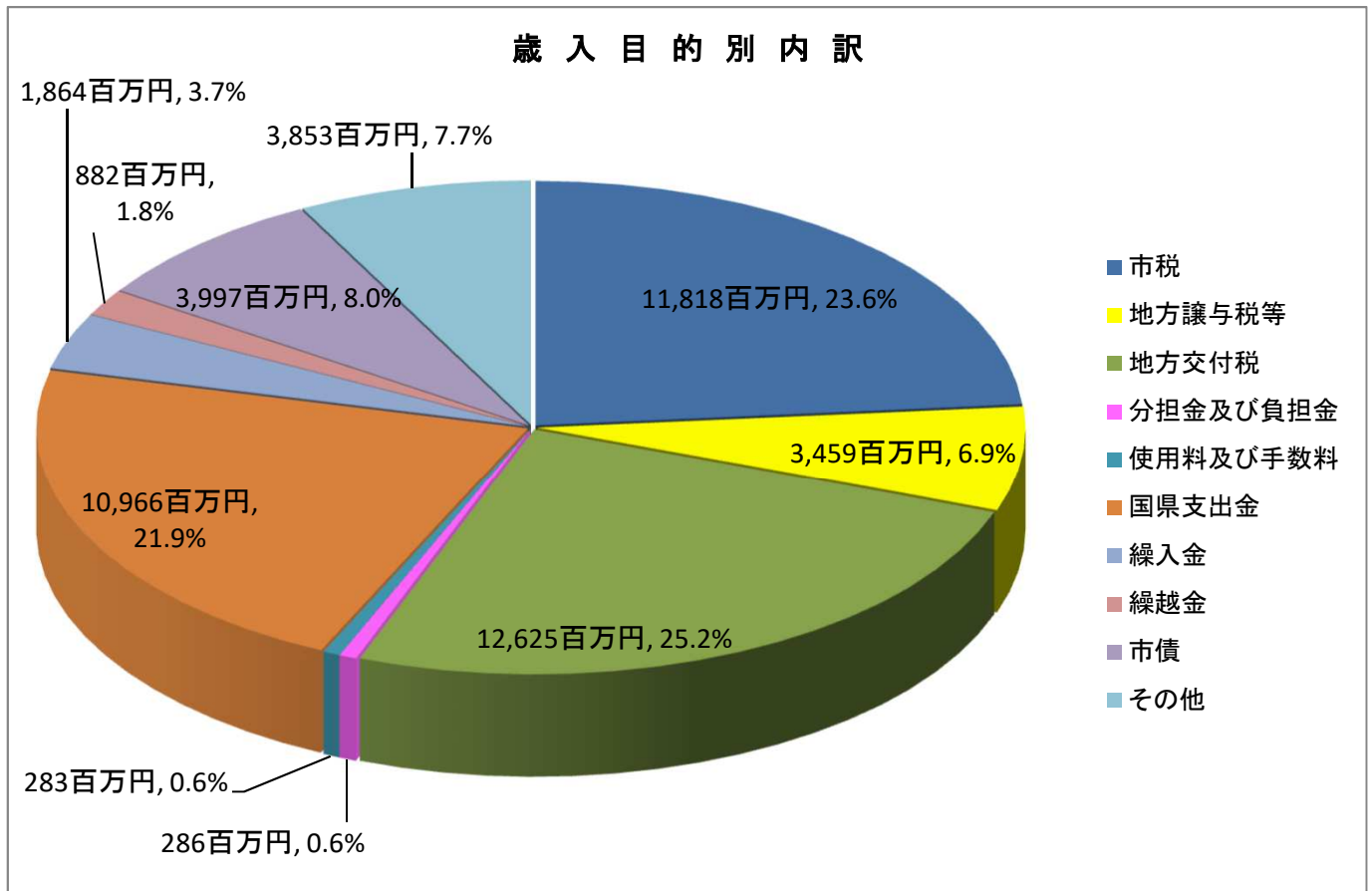
歳出(性質別)

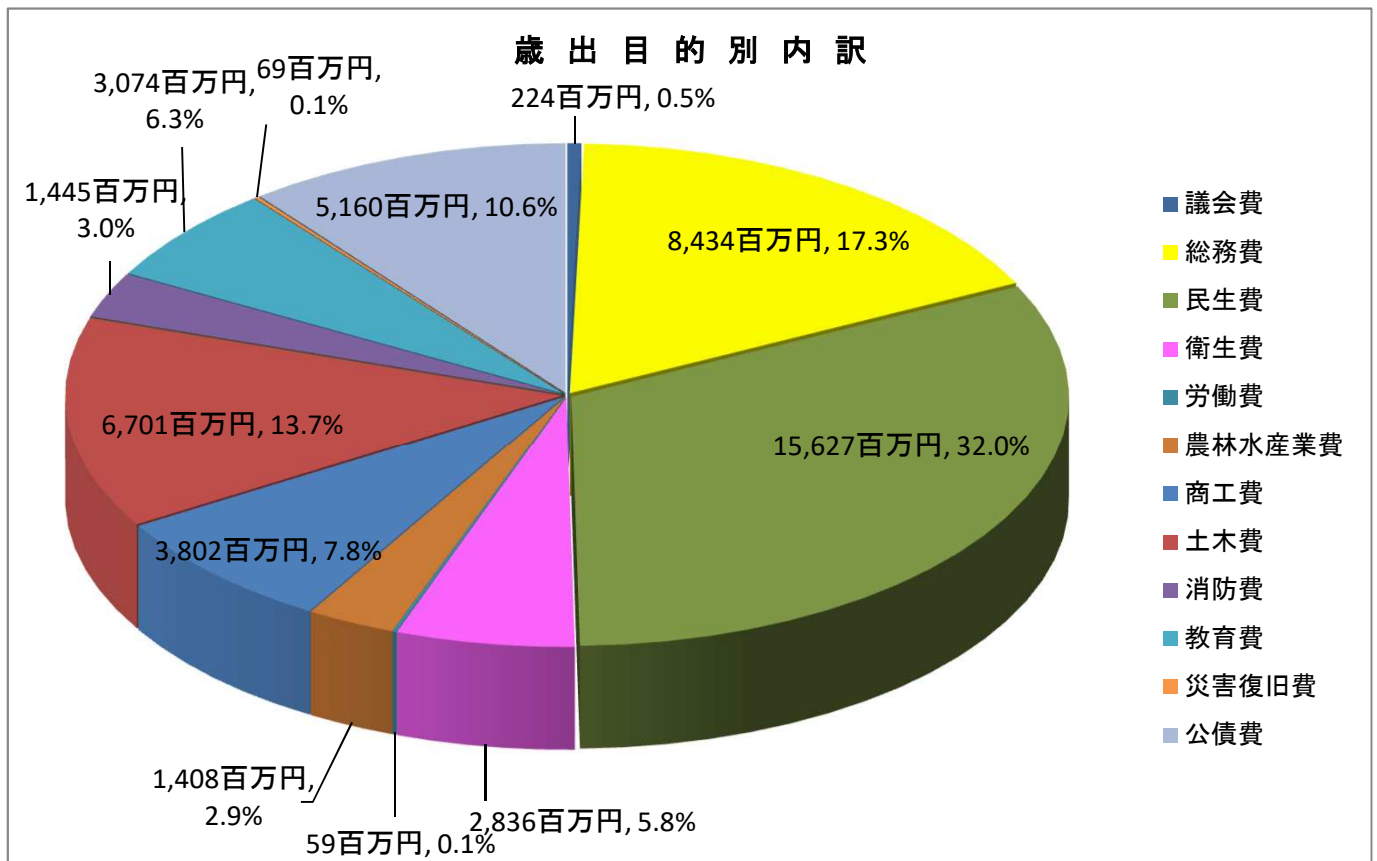
(単位:千円)

項目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比(%)
人件費	6,572,387	6,554,689	17,698	100.27%
物件費	6,701,946	6,070,546	631,400	110.40%
維持補修費	143,547	124,686	18,861	115.13%
扶助費	7,447,437	5,540,630	1,906,807	134.41%
補助費	6,430,237	19,821,197	△ 13,390,960	32.44%
普通建設事業費	5,775,089	4,322,267	1,452,822	133.61%
うち補助事業	3,863,618	2,554,899	1,308,719	151.22%
うち単独事業	1,911,471	1,767,368	144,103	108.15%
災害復旧事業費	69,214	92,664	△ 23,450	74.69%
公債費	5,159,534	5,072,611	86,923	101.71%
積立金	4,427,972	1,538,081	2,889,891	287.89%
投資及び出資金・貸付金	2,565,373	2,334,191	231,182	109.90%
繰出金	3,545,657	3,937,273	△ 391,616	90.05%
合計	48,838,393	55,408,835	△ 6,570,442	88.14%

※上記の性質別決算額については、地方財政状況調査に準じて集計したものです。

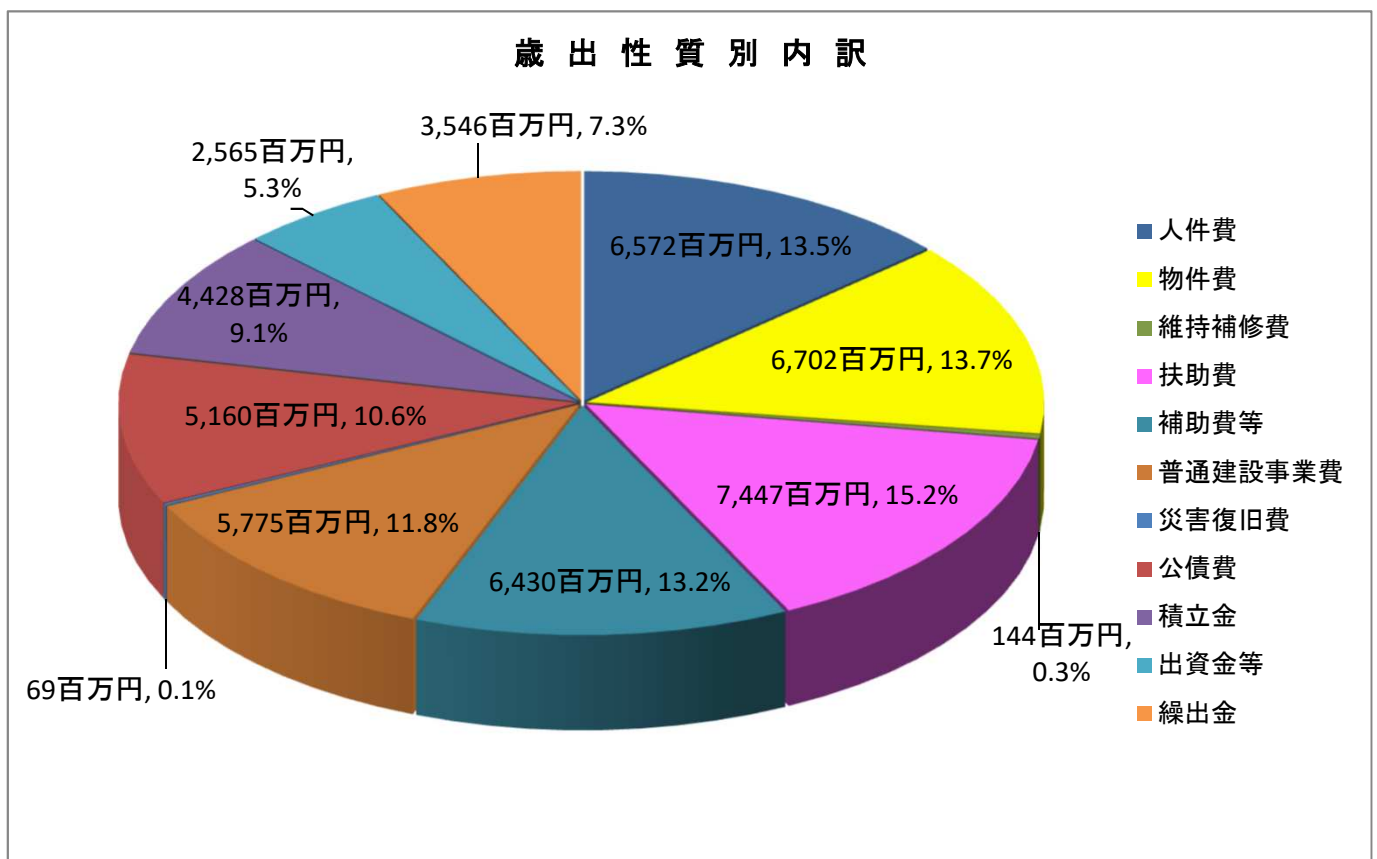
単位は「千円」で、千円未満四捨五入しています。





※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。

6 一般会計に係る地方債現在高の状況

(1) 借入目的別

(単位：円)

区 分	令和2年度 未現在高A	令和3年度 発行額 B	令和3年度元利償還額			差引現在高 A+B-C E
			元 金 C	利 子	計 D	
1 公共事業等債	1,451,800,321	181,600,000	228,671,144	2,542,691	231,213,835	1,404,729,177
うち財源対策債等	43,816,730		16,646,175	586,431	17,232,606	27,170,555
2 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	152,373,809	932,800,000	38,219,035	173,968	38,393,003	1,046,954,774
3 公営住宅建設事業債	140,149,938		18,090,132	2,530,328	20,620,460	122,059,806
4 災害復旧事業債						
(1) 単独災害復旧事業債						
(2) 補助災害復旧事業債						
5 (旧) 緊急防災・減災事業債						
6 全国防災事業債務	99,365,444		18,495,470	73,578	18,569,048	80,869,974
7 教育・福祉施設等整備事業債	2,580,725,867	13,700,000	360,554,517	18,630,880	379,185,397	2,233,871,350
(1) 学校教育施設等	1,271,038,150		196,522,411	15,141,577	211,663,988	1,074,515,739
(2) 社会福祉施設等	39,932,717		26,542,106	399,804	26,941,910	13,390,611
(3) 一般廃棄物処理						
(4) 一般補助施設整備等						
うち転貸債						
(5) 施設整備事業	1,269,755,000	13,700,000	137,490,000	3,089,499	140,579,499	1,145,965,000
8 一般単独事業債	19,443,695,532	1,174,500,000	2,780,987,212	51,649,201	2,832,636,413	17,837,208,320
うち 防災対策事業債	40,160,000	17,300,000	12,560,000	91,522	12,651,522	44,900,000
うち 旧合併特例事業債	18,791,847,500	1,043,500,000	2,649,720,000	44,572,298	2,694,292,298	17,185,627,500
(1) 旧市町村合併特例事業	18,791,847,500	1,043,500,000	2,649,720,000	44,572,298	2,694,292,298	17,185,627,500
(2) 旧市町村合併推進事業						
うち 地方道路等整備事業債	397,496,472		86,691,696	6,461,205	93,152,901	310,804,776
うち 一般事業債(河川分)	1,130,253		1,130,253	15,281	1,145,534	
うち (新)緊急防災・減災事業債	43,020,000		11,720,000	120,970	11,840,970	31,300,000
うち 公共施設等適正管理推進事業債	167,640,000	98,000,000	17,970,000	368,996	18,338,996	247,670,000
(1) 集約化・複合化事業分						
(2) 長寿命化(公共用建物)事業分						
(3) 長寿命化(社会基盤施設)事業分	167,640,000	98,000,000	17,970,000	368,996	18,338,996	247,670,000
うち緊急自然災害防止対策事業債		5,700,000				5,700,000
うち緊急浸透推進事業債		10,000,000				10,000,000
9 辺地対策事業債						
10 過疎対策事業債						
11 公共用地先行取得等事業						
12 行政改革推進債						
13 厚生福祉施設整備事業債						
14 地域財政特例対策費						
15 退職手当債(～平成17年度)						
16 退職手当債(平成18年度～)						
17 国の予算貸付	1,880,851		828,461	65,835	894,296	1,052,390
うち 転貸によるもの						
18 地域改善対策特定事業債						
うち 法第5条によるもの						
19 財 源 対 策 債	318,944,565		67,474,791	5,257,059	72,731,850	251,469,774
20 減収補てん債(S61・H5～7・9～30・R1～2年度分)	126,594,000		6,299,683	52,017	6,351,700	120,294,317
うち令和2年度追加税目分	126,594,000		6,299,683	52,017	6,351,700	120,294,317
21 臨時財政特例債						
22 公共事業等臨時特例債						
23 減税補填債	131,272,692		45,418,354	321,000	45,739,354	85,854,338
24 臨時税収補填債						
25 臨時財政対策債	15,887,683,201	1,694,896,000	1,481,738,703	27,488,117	1,509,226,820	16,100,840,498
26 調整債(昭和60～63年度分)						
27 調整債(令和1～2年度分)						
28 減収補てん債特例分(H14・19～30・R1～2年度分)						
29 都道府県貸付金						
うち 予算貸付によるもの						
30 猶予特例債						
31 特別減収対策債						
32 そ の 他	16,961,737		3,217,457	400,843	3,618,300	13,744,280
小 計 (1～28)	40,351,447,957	3,997,496,000	5,049,994,959	109,185,517	5,159,180,476	39,298,948,998
うち 財源対策債等	362,761,295		84,120,966	5,843,490	89,964,456	278,640,329
うち 減収補填債	126,594,000		6,299,683	52,017	6,351,700	120,294,317
合 計	40,351,447,957	3,997,496,000	5,049,994,959	109,185,517	5,159,180,476	39,298,948,998

## (2) 借入利率別

(単位：円)

借入先	令和3年度 末現在高	現在高の内訳					
		0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下
政府資金	12,771,378,477	11,038,564,969	685,025,929	120,971,527	607,953,950	315,753,174	3,108,928
(1)財政融資資金	11,841,389,399	10,962,479,093	558,438,235	70,161,954	247,201,189		3,108,928
うち旧資金運用	52,116,924				49,007,996		3,108,928
うち旧還元融資							
(2)旧郵政公社資金	929,989,078	76,085,876	126,587,694	50,809,573	360,752,761	315,753,174	
(7)旧郵便貯金資金	16,304,780	16,304,780					
(4)旧簡易生命保険資金	913,684,298	59,781,096	126,587,694	50,809,573	360,752,761	315,753,174	
地方公共団体金融機構	4,393,865,631	3,697,900,561	361,597,911	34,649,919	274,774,749	21,866,851	3,075,640
国の予算貸付等	1,052,390						
市中銀行	15,949,472,500	15,949,472,500					
その他の金融機関	6,183,180,000	6,183,180,000					
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	39,298,948,998	36,869,118,030	1,046,623,840	155,621,446	882,728,699	337,620,025	6,184,568

(つづき)

(単位：円)

借入先	現在高の内訳						
	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	6.0%以下	7.0%以下	7.0%超
政府資金							
(1)財政融資資金							
うち旧資金運用							
うち旧還元融資							
(2)旧郵政公社資金							
(7)旧郵便貯金資金							
(4)旧簡易生命保険資金							
地方公共団体金融機構							
国の予算貸付等	1,052,390						
市中銀行							
その他の金融機関							
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	1,052,390						

7 各会計に係る基金残高の状況

(単位：円)

区 分	令和2年度		令和3年度				
	年度末 現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入額	年度末 現在高	
財政調整基金	5,150,064,679	720,000,000	11,012,351	731,012,351	517,329,000	5,363,748,030	
減債基金	1,520,900,524	2,164,402,000	2,741,764	2,167,143,764		3,688,044,288	
公共施設整備基金	2,045,403,393	670,000,000	3,687,298	673,687,298		2,719,090,691	
地域振興基金	2,639,221,037		4,757,788	4,757,788	120,900,000	2,523,078,825	
分収造林事業基金	4,282,460		7,720	7,720		4,290,180	
旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	112,569,851	60,764	202,932	263,696	10,993,000	101,840,547	
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	5,382,593	7,150	9,703	16,853		5,399,446	
国際交流基金	16,895,392				308,780	16,586,612	
福祉基金	299,713,636		540,301	540,301	20,050,000	280,203,937	
ふるさと水と土保全基金	41,592,500					41,592,500	
豊科安曇野の里基金	985	610,000	1	610,001	610,000	986	
天蚕振興基金	3,826,195		6,897	6,897		3,833,092	
三郷農林漁業体験実習館基金	296			0		296	
堀金産地形成促進施設基金	5,679,689	2,340,000	10,238	2,350,238	715,000	7,314,927	
堀金観光開発基金	136,145,695		245,433	245,433	48,119,500	88,271,628	
安曇野市森林環境贈与税基金	25,443,177	17,568,000	45,867	17,613,867	6,154,500	36,902,544	
安曇野市山岳環境整備基金	78,669,636	2,089,000	141,819	2,230,819	6,566,000	74,334,455	
青少年育成基金	36,988		66	66		37,054	
青少年交流事業支援基金	6,459,066		11,643	11,643		6,470,709	
博物館等美術品取得及び特別展開催基金	18,032,549		30,704	30,704	1,000,000	17,063,253	
名誉市民田淵行男顕彰基金	1,721,359		3,103	3,103		1,724,462	
入学準備金貸付基金	96,582,308	2,088,600	174,111	2,262,711	5,320,000	93,525,019	
公式スポーツ施設整備基金	272,701,110		491,604	491,604		273,192,714	
ちくに生きものみらい基金	51,629,860		93,074	93,074	721,000	51,001,934	
霊園施設整備基金	105,601,372	14,060,000	190,370	14,250,370	2,294,000	117,557,742	
ふるさとづくり基金	102,109		0	0	102,109	0	
ふるさと寄附基金	2,344,972,966	806,114,808	4,227,340	810,342,148	699,386,000	2,455,929,114	
土地	土地開発基金	252,544,072		359,887	359,887		252,903,959
	(うち現金)	199,635,511		359,887	359,887		199,995,398
	(うち土地)	52,908,561					52,908,561
国	国民健康保険支払準備基金	537,034,600	40,000,000	968,125	40,968,125		578,002,725
財産区	上川手財産区基金	11,844,967	522,000	21,353	543,353		12,388,320
	北の沢山林財産区基金	11,739,750	150,000	21,163	171,163	425,000	11,485,913
	有明山林財産区基金	25,591,919	125,000	46,135	171,135		25,763,054
	富士尾沢山林財産区基金	3,300,812	172,000	5,950	177,950		3,478,762
	穂高山林財産区基金	2,780,783	270,000	5,012	275,012		3,055,795
介	介護保険支払準備基金	736,708,792	126,101,000	1,328,082	127,429,082		864,137,874
基金合計		16,565,177,120	4,566,680,322	31,387,834	4,598,068,156	1,440,993,889	19,722,251,387

(注) 会計年度を基準とした基金の状況です。

## 8 財政健全化について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年度に成立し、以来毎年前年度決算に基づいて算出した数値を公表しています。

公表内容は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」です。企業会計については「資金不足比率」も公表します。

令和3年度については以下のとおりです。

令和3年度決算における安曇野市健全化判断比率（暫定値）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	9.1	—
(11.92)	(16.92)	(25.0)	(350.0)

### 備考

- 1 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「—」を記載しています。
- 2 早期健全化基準は括弧内に記載しています。

## 年度別市税状況

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の経済活動が縮小したことで、あらゆる業種に影響が及ぶとともに、市民の日常生活にも多大な変容をもたらした一年でした。

その結果、個人市民税は給与所得者の減少により調定額が約6,500万円減額となりましたが、法人市民税の申告納税額が増加したことで約1億円増額し、市民税調定額は3,800万円の増額となりました。また、入湯税も観光客の増加により約340万円増額となりました。一方、純固定資産税は、新型コロナウイルス感染症の影響に関わる軽減措置の影響により約1億3,300万円減額、軽自動車税は新税率適用により約1,300万円が増額となりました。

区 分		調 定 額			収 入 済 額		
		現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
個人市民税	3年度	4,712,247,180	91,918,559	4,804,165,739	4,692,746,464	32,006,599	4,724,753,063
	2年度	4,777,852,440	108,007,013	4,885,859,453	4,748,867,335	35,583,373	4,784,450,708
	元年度	4,755,300,127	129,264,402	4,884,564,529	4,727,146,476	39,026,236	4,766,172,712
法人市民税	3年度	735,259,800	5,137,663	740,397,463	734,795,500	4,223,644	739,019,144
	2年度	631,652,000	2,754,842	634,406,842	627,171,200	914,679	628,085,879
	元年度	1,235,347,400	3,502,723	1,238,850,123	1,234,818,400	760,063	1,235,578,463
純固定資産税	3年度	5,309,763,000	172,980,222	5,482,743,222	5,283,847,082	56,057,753	5,339,904,835
	2年度	5,571,854,500	186,622,873	5,758,477,373	5,520,821,963	44,513,600	5,565,335,563
	元年度	5,511,990,200	201,743,946	5,713,734,146	5,459,617,395	43,802,568	5,503,419,963
国有資産等所在 市町村交付金	3年度	28,066,800	0	28,066,800	28,066,800	0	28,066,800
	2年度	27,353,400	0	27,353,400	27,353,400	0	27,353,400
	元年度	25,146,300	0	25,146,300	25,146,300	0	25,146,300
軽自動車税 (種別割)	3年度	355,487,300	6,052,795	361,540,095	353,446,764	1,672,735	355,119,499
	2年度	343,352,300	6,014,789	349,367,089	341,324,343	1,670,888	342,995,231
	元年度	331,904,400	6,243,847	338,148,247	329,913,641	1,858,717	331,772,358
軽自動車税 環境性能割	3年度	16,613,300	0	16,613,300	16,613,300	0	16,613,300
	2年度	15,333,900	0	15,333,900	15,333,900	0	15,333,900
	元年度	3,735,400	0	3,735,400	3,735,400	0	3,735,400
市たばこ税	3年度	572,954,742	0	572,954,742	572,954,742	0	572,954,742
	2年度	537,632,223	0	537,632,223	537,632,223	0	537,632,223
	元年度	578,746,080	0	578,746,080	578,746,080	0	578,746,080
入湯税	3年度	41,612,150	0	41,612,150	41,612,150	0	41,612,150
	2年度	38,160,800	0	38,160,800	38,160,800	0	38,160,800
	元年度	64,833,650	0	64,833,650	64,833,650	0	64,833,650
合 計	3年度	11,772,004,272	276,089,239	12,048,093,511	11,724,082,802	93,960,731	11,818,043,533
	2年度	11,943,191,563	303,399,517	12,246,591,080	11,856,665,164	82,682,540	11,939,347,704
	元年度	12,507,003,557	340,754,918	12,847,758,475	12,423,957,342	85,447,584	12,509,404,926



たばこ税は、税率改正等により、前年度比約3,500万円の増額となりました。

収納率は全体で98.09%と前年比0.6ポイント増加し、収入未済額は、前年度と比較して5,900万円余り減少し、約2億2,000万円となりましたが、収入額全体では、前年度比1億2,000万円の減少となりました。今後もコロナ禍の影響は予断を許さない状況であり引き続き社会経済情勢に注視して参ります。

不納欠損額			収入未済額			収納率(%)		
現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
0	3,609,441	3,609,441	19,500,716	56,302,519	75,803,235	99.59	34.82	98.35
0	9,548,101	9,548,101	28,985,105	62,875,539	91,860,644	99.39	32.95	97.92
0	10,194,017	10,194,017	28,153,651	80,044,149	108,197,800	99.41	30.19	97.58
	175,000	175,000	464,300	739,019	1,203,319	99.94	82.21	99.81
	675,300	675,300	4,480,800	1,164,863	5,645,663	99.29	33.20	99.00
0	543,418	543,418	529,000	2,199,242	2,728,242	99.96	21.70	99.74
0	5,081,890	5,081,890	25,915,918	111,840,579	137,756,497	99.51	32.41	97.39
140,700	16,222,688	16,363,388	50,891,837	125,886,585	176,778,422	99.08	23.85	96.65
26,800	21,723,210	21,750,010	52,346,005	136,218,168	188,564,173	99.05	21.71	96.32
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
12,900	225,391	238,291	2,027,636	4,154,669	6,182,305	99.43	27.64	98.22
0	275,263	275,263	2,027,957	4,068,638	6,096,595	99.41	27.78	98.18
0	296,000	296,000	1,990,759	4,089,130	6,079,889	99.40	29.77	98.11
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
12,900	9,091,722	9,104,622	47,908,570	173,036,786	220,945,356	99.59	34.03	98.09
140,700	26,721,352	26,862,052	86,385,699	193,995,625	280,381,324	99.28	27.25	97.49
26,800	32,756,645	32,783,445	83,019,415	222,550,689	305,570,104	99.34	25.08	97.37

# 部・課別の成果と評価

# 議会事務局

令和4年度	
部	議会事務局
課	議会事務局
係等	庶務係

決算書 ページ	56
------------	----

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	議会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	議会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0101010	議会費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
227,435,000	223,883,616	0	3,551,384	98.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 議会議員定数 22人  
議員数：令和3年10月22日まで 21人  
令和3年10月23日から 22人
- 議会事務局職員 6人
- 議会の活動状況（特に記載のない限り、令和3年1月1日～令和3年12月31日の期間）

#### (1) 定例会、臨時会

##### ア 開催日数及び会期

区分	回数	会期		
		日数	本会議	委員会
定例会	4	107	24	20
臨時会	2	2	2	5
計	6	109	26	25

##### イ 審議議案等

市長提出						議員提出					委員会提出	
条例	予算	決算	その他	専決処 分等	小計	条例 規則	決議	意見書	その他	小計	条例 規則	意見書
28	38	13	43	33	155	1	0	2	1	4	2	3

##### ウ 請願・陳情

	採択	不採択	審議 未了	継続 審査	取り 下げ
請願	2	0	0	0	0
陳情	4	3	3	1	2

##### エ 本会議映像配信視聴件数（年度）[使用料：1,320,000円]

ライブ 2,346件（前年度比40.6%増）  
録画 1,068件（前年度比0.5%増）

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	議会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	議会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0101010	議会費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

(2) 常任委員会

区分	開会回数	付託事件		
		議案	請願	陳情
総務環境委員会	11	17	0	4
福祉教育委員会	13	48	2	6
経済建設委員会	11	65	0	1

(3) 議会運営委員会 21回開催

(4) 議会広報特別委員会 31回開催

・議会だより（年度） 4回発行 [印刷製本費、事務事業委託料：3,856,600円]

(5) 議会全員協議会 18回開催

(6) 議会改革推進委員会 16回開催

(7) 議会ICT研究会 10回開催

(8) 議会報告会（年度）

開催日時	開催方法	参加者
令和4年3月26日	オンライン開催	20人

(9) 委員会等行政視察（年度）[記念品・土産等、事務事業委託料：15,957円]

区分	期日	視察先等
総務環境委員会	令和3年5月14日	市内
福祉教育委員会	令和3年5月12日	市内
	令和3年5月14日	茨城県下妻市・鹿嶋市（オンライン）
議会ICT研究会	令和3年4月28日	松本市（オンライン）

4 議員研修・委員会等研修（年度）[講師謝礼、費用弁償、事務事業委託料、負担金：433,820円]

(1) 市町村国際文化研修所研修 来所受講1人・オンライン受講4人

(2) 市町村職員中央研修所研修 来所受講1人

(3) 議員研修（オンライン） 令和3年7月28日開催

(4) 議会広報特別委員会研修（オンライン） 令和4年3月29日開催

5 政務活動費（年度）[補助金：1,058,821円]

(1) 令和3年4月～10月

会派等名	金額（円）
公明党	0
日本共産党安曇野市議団	70,439
自民安曇野	30,030
政和クラブ	322,000

会派等名	金額（円）
召田 義人	0
内川 集雄	28,090
小林 純子	70,000
増田 望三郎	70,000
林 孝彦	60,360

(2) 令和3年11月～令和4年3月

会派等名	金額（円）
日本共産党安曇野市議団	136,227
政和クラブ	119,999
無会派	151,676
会派 あづみ野	0

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	議会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	議会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0101010	議会費			

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 6 市議会から市へ要望等

- (1) 令和3年8月4日 コロナ感染症対策に関する8つの要望
- (2) 令和3年9月2日 3項目の政策提言

#### 7 議員改選に伴う事務（年度）[消耗品費、印刷製本費：620,530円]

- ・令和3年10月23日から第5期安曇野市議会
- ・令和3年10月29日に正副議長選出、常任委員会委員等任命

#### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症防止対策として、議会報告会や議員視察・研修のオンライン実施を支援し、議会活動のICT化を推進しました。

今後も、より開かれた議会運営を行うとともに、議決結果や市政の諸課題について、市民への情報提供や意見を聴く機会を設け、併せて政策立案、政策提案及び政策提言などの取り組みを支援します。

# 危機管理課

令和4年度	
部	
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	184
------------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109010	常備消防負担金			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,101,552,000	1,101,355,580	0	196,420	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,882,480		高速自動車道救急支弁金	2,882,480		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 常備消防負担金事業

松本広域連合の構成団体として、松本広域連合規約第4条及び第18条により、消防に関する事務の経費（消防団に関する事務並びに消防水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く）を負担しました。

また、「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社と中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出しました。

消防・救急業務が確実に実施され、市民の安全と安心の確保が図られました。

- ・ 消防防災ヘリコプター運航協議会市町村負担金…2,618,100円  
（長野県航空消防防災体制整備要綱第5条）
- ・ 松本広域連合市村負担金…1,095,855,000円  
（松本広域連合規約第18条）
- ・ 高速自動車国道救急事業負担金…2,882,480円

### 上記の評価と課題等

消防・救急業務は住民の生命、身体、財産を守り、地域の安全と安心を確保する上で欠かすことのできないものであることから、松本広域消防局との一層の連携強化に向けて取り組んでいく必要があります。



令和4年度	
部	
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	184
------------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109020	非常備消防費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
150,374,000	147,139,634	0	3,234,366	97.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
29,957,909	左記の内訳	消防団員退職報償金	9,422,000		
		消防団員等公務災害補償給付金	3,033,597		
		消防団員福祉共済	202,312		
		防災基盤整備事業	17,300,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市消防団は16分団・36部・3隊、年度末の実団員数は846人（R3.3.31付退団者53人、R3.4.1付入団者数16人、R3.10.1付入団者数4人）の体制で、消防団の特性である地域密着性、即時対応能力、動員力を活かして、常備消防と連携し、災害現場活動を効果的・効率的に実施しました。また、コロナ禍においても、地域消防力を低減させないため、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う安曇野市消防団活動の基本方針（第9次から第14次）を定め、活動中はマスクの着用、手指消毒、検温などによる体調管理を徹底するとともに、訓練、警戒、点検は短時間かつ少人数で実施するなど、感染症対策と消防力維持の両立に努めました。

ポンプ操法大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としましたが、消防ポンプ取扱い技術の維持・向上を図るために、実践的な代替訓練を実施しました。

#### 1 非常備消防運営事業

- 火災等出動1,095件 出動延べ人数7,442人  
内訳：火災23件（1,035人）、水防活動1件（274人）、行方不明者捜索1件（77人）、警戒活動1,070件（4,281人）

- 消防団出席謝礼（災害出動、警戒活動外）…17,084,600円

- 消防団員退職報償金（令和2年度末該当退職者28人）…9,422,000円

- 備品購入（墜落制止用器具外）…3,840,650円

- 消防団員新基準活動服新規購入（第4ブロック（堀金）、第5ブロック（三郷）、女性消防隊、音楽喇叭隊、本部隊の団員へ新基準の活動服配備）…10,540,530円

- 消耗品購入（消防車両用スタッドレスタイヤ外）…8,218,760円

#### 2 分団等運営補助金交付事業

- 消防団分団等運営費補助金…12,520,000円

#### 3 消防団車両更新事業

- 小型動力ポンプ付積載車2台（第2分団第2部、第9分団第1部）…25,605,400円（防災対策事業債、充当率75%）

### 上記の評価と課題等

消防団は地域防災の中核として、消防・防災力の向上に大きな役割を果たしており、小型動力ポンプ付積載車2台を配備し、消防力の維持を図りました。一方で、近年は少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化、若者のライフスタイルの多様化などに伴い団員数が年々減少しており、地域防災力の低下が懸念されます。

消防団員の士気向上を図り、家族等の理解と協力を得ながら消防団員を確保していくために、処遇の改善や出動、訓練その他の活動の実態に応じた適切な報酬等の支給について検討する必要があります。

令和4年度	
部	
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	186
------------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
57,130,000	54,708,493	0	2,421,507	95.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,200,000		消防団詰所統廃合事業	11,200,000		
		(入湯税)		(14,813,207)	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

第10分団第1部統合詰所新築のための建築用地を取得し、実施設計業務を委託しました。また、既存の消防団詰所の施設修繕、消火栓等消防水利施設の維持管理及び老朽化した火の見櫓、防火水槽の撤去を実施しました。

#### 1 消防施設維持整備事業

- 消火栓新設負担金（4基）…6,255,700円
- 消火栓修繕等負担金（移設4基、交換1基、撤去1基、路面復旧）…11,059,400円
- 防火水槽撤去工事（穂高1基）…1,210,000円
- 火の見櫓撤去工事（三郷2基、豊科1基）…3,327,500円
- 消火栓用ホース格納箱購入…1,166,000円
- 消防用資機材購入（消火栓用ホース外）…3,969,900円
- 施設修繕費（消防団詰所等の修繕）…1,877,673円
- 消火栓維持管理負担金（上下水道事業会計：850円×2時間×3,000基）…5,270,000円  
（消火栓の設置及び管理に要する費用の補償（消防法第20条第2項））

#### 2 消防団詰所更新・統廃合事業

- 消防団詰所新築工事用地取得（第10分団第1部統合詰所新築用地、収入印紙代含）…9,931,784円
- 消防団詰所新築工事実施設計業務委託（第10分団第1部統合詰所新築工事）…1,892,000円

令和3年度末現在の消防水利の状況

消火栓	公設	3,129基	防火水槽	公設	548基
	私設	44基		私設	25基
	合計	3,173基		合計	573基

### 上記の評価と課題等

安曇野市公共施設再配置計画及び安曇野市消防団詰所統廃合事業計画に基づき、消防団詰所の統廃合を含めた組織再編を行い、詰所等の集約による適正な配置を行うことで、地域防災力の向上と出動体制の強化を図りました。

消防法第20条第2項及び安曇野市公設消防水利施設設置基準に基づき、区等から要望があった消火栓を設置し、消防水利の確保に努めました。

令和4年度	
部	
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書 ページ	186
------------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
30,117,000	28,619,688	0	1,497,312	95.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 防災行政無線維持整備事業

災害時等における市民等への情報伝達手段である、防災行政無線施設の正常な機能の維持と、障害発生未然防止を図るため、保守点検・維持管理を実施しました。

- ・デジタル移動系防災行政無線保守点検業務委託 11,000,000円
- ・デジタル同報系防災行政無線保守点検業務委託 7,136,800円

#### 2 緊急割込み放送システム維持整備事業

市が発表する行方不明者の情報提供や避難所開設等の情報を、リアルタイムできめ細かく提供することが可能なコミュニティエフエムを利用した緊急割込み放送システムの保守点検・維持管理を実施しました。

- ・緊急割込み放送システム保守点検業務委託 3,788,400円

### 上記の評価と課題等

平成27年に整備された、同報系・移動系の防災行政無線及び、平成29年より始まった緊急告知機能付き防災ラジオの運用が確実に確保できる状態を保つため、保守点検等を実施し機能維持が図れました。今後は、経年劣化している設備の修繕及び入替工事を計画的に実施していくとともに、緊急告知機能付き防災ラジオの普及促進のため、市民の皆さんへPRを実施していきます。  
(防災ラジオ販売数 令和4年3月末約4,500台)

令和4年度	
部	
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書 ページ	188
------------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	04	災害対策費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109050	災害対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
116,531,000	112,733,776	0	3,797,224	96.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,933,682		ふるさと寄附基金	4,000,000		
		新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	933,682		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 防災啓発事業**  
市民の皆さんの災害時の備えの拡充を図るため、防災用品の購入に対して補助金を交付しました。  
・事業費 1,990,700円（申請数453件）
- 2 防災組織支援事業**  
「自主防災組織防災活動支援補助金」を交付し、各組織が実施する防災訓練や資機材の整備等を支援しました。なお、防災資機材整備で37組織、防災訓練等で8組織が補助金を活用しました。  
・補助金 3,868,446円（資機材購入3,807,781円、防災訓練等分60,665円）
- 3 防災情報システム事業**  
情報伝達手段の多様化のためメール配信サービスを運用し、情報伝達の安定化を図りました。年度末のシステム登録数は7,307件、配信した情報は総数579件。主な配信情報は「気象・地震情報」185件、「防犯情報」131件、「火災情報」84件、「行方不明者情報」10件でした。  
・システム使用料 2,310,000円
- 4 災害対策事業**  
備蓄品及び資機材を計画的に購入しました。  
需用費（消耗品）に係る備蓄品では、アルファ米3,450食、汁物3,400食、水3,000本（10ボトル）、簡易トイレ消耗品800回分、食器セット3,650食分などを購入しました。  
資機材では、電動簡易トイレ23セット、発電機8台、LED投光器セット4台、ワンタッチテント30基等を購入しました。  
・消耗品費 8,459,426円 ・備品費 10,169,500円
- 5 新型コロナウイルス感染拡大防止対策**  
感染拡大防止対策として、感染者を早期に発見するため抗原簡易キットを配布しました。配布実績は6,348個で結果報告実績1,545件でした。  
・会計年度任用職員賃金 222,925円 ・抗原簡易キット郵送料 415,176円

### 上記の評価と課題等

出前講座（実施回数22回）や防災用品購入補助事業、市指定避難所開設訓練等の実施により、市民の皆さんに防災への関心を高めてもらうことができました。また、自主防災組織への防災活動支援事業により組織に対する活動も支援できました。一方で昨年8月の豪雨災害の際には、避難所を開設するも避難率は約2%程度であり、住民の災害に対する意識が依然として低いことが課題となっております。今後も、地区防災計画が策定されていない自主防災組織に対して、策定について働き掛けをしていくとともに、全組織で防災訓練等が実施できるよう、各組織と連携を図っていきます。

# 総務部

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書 ページ	56
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102010	一般管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
856,599,000	856,230,697	0	368,303	100.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
59,205,674		細節名	金額	金額
		自衛官募集事務委託金	35,000	
		特例処理事務交付金	1,269,000	
		住宅新築資金県補助金	277,000	
派遣職員給与費負担金	57,624,674			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (1) 平和推進事業関係

- 市内中学から推薦された生徒を広島平和記念式典に派遣する「広島平和記念式典参加事業」を平成24年度から実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、派遣者の感染防止、開催規模縮小のため中止しました。
- 平和都市宣言の理念に基づき、11月27日に実施を予定していた「安曇野市平和と人権のつどい」は、関連する事業として計画されていた広島平和記念式典が中止となり作文発表ができなくなったため、また不特定者の参加が見込まれることなどから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

#### (2) 固定資産評価審査委員会

- 固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するための委員会で、3人の委員を選任しております。令和3年度は2件の審査申出があり、計4回委員会を開催し慎重なる審査の上に審査決定しました。しかし、申出人が本決定を不服として長野地方裁判所へ提訴したため、現在係争中です（令和4年（行ウ）第5号 固定資産評価審査決定取消請求事件）。
- 委員改選後の令和3年11月9日に委員会を開催し、固定資産税についての研修を実施しました。

### 上記の評価と課題等

平和推進事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き予定していた事業を全て中止しました。なお、広島平和記念式典後に引き続き参加していた平和首長会議主催の「ひろしま子ども平和の集い」の代替事業「平和のメッセージ」へは、本年度も市内中学校全7校からクラスごとや学年、生徒会などの取り組みでメッセージが寄せられ、8月6日に平和記念公園内に展示されました。

制定から10周年を迎える「平和都市宣言」の理解を深めるため、小中学生など未来を担う若者が平和や人権の大切さに関心を寄せることができる機会の創出に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書 ページ	58
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102015	寄附採納事務			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,155,307,000	1,154,594,029	0	712,971	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
810,342,148	左記の内訳	ふるさと寄附基金利子	4,227,340		
		ふるさと寄附金	806,114,808		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (1) 寄附採納関係（安曇野ふるさと寄附を除く）

市に対する寄附申出を受け一般会計に歳入された寄附の決算額は10,453,652円でした。寄附金は、一般寄附を除き寄附者が指定する条件に沿った活用を行いました。

一般寄附	1件	5,000,000円	(前年度なし)
指定寄附	12件	5,453,652円	(前年度18件 7,627,700円)

#### (2) 安曇野ふるさと寄附の採納

寄附申出を受け一般会計に歳入された決算額は813,203,808円でした。山岳環境整備クラウドファンディング分を除いた806,114,808円を「ふるさと寄附基金」へ積立てました。

安曇野ふるさと寄附	5,415件	813,203,808円	(前年度4,267件 1,070,246,993円)
(うちGCF分)	539件	7,089,000円	

#### (3) ふるさと寄附基金の活用状況

基金を699,386,000円取り崩し、次の22事業に活用しました。

①移住定住促進事業②自転車活用推進事業（ハード）③ホストタウン推進事業④入浴料金割引券交付事業⑤アクティブシニアがんばろう事業⑥子育て応援手当給付事業⑦予防接種事業⑧不妊・不育症治療費助成事業⑨妊婦・乳児一般健康診査事業⑩有害鳥獣駆除対策事業⑪市農業振興作物等推進事業⑫しごと創出事業⑬企業助成事業⑭観光プロモーション事業⑮市道新設改良事業（市単独）⑯新総合体育館建設事業⑰新総合体育館備品調達事業⑱災害対策事業⑲コミュニティスクール事業⑳小学校情報教育推進事業㉑中学校外国語指導助手配置事業㉒明科中学校グラウンド用地買収事業

### 上記の評価と課題等

平成29年4月1日付け総務大臣通知に基づき、安曇野ふるさと寄附の全ての返礼品について、平成30年4月から返礼割合を3割以下としています。

前年度と比較すると寄附採納額は2億5千7百万円ほど減少しましたが、件数は1,148件増加し単年度では最高件数になりました。これまでお寄せいただいた寄附金の有効活用と魅力ある返礼品の開発に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書 ページ	68
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102190	文書管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
79,320,000	79,101,629	0	218,371	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
443,446		コピー等サービス料	443,446		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

ファイリングシステムを全部署へ導入して7年目に入り、職員研修や巡回調査を通じ、個人管理の文書から組織管理の文書への移行（文書の共有化）、文書量の削減、文書保管ルールの徹底を図り、文書検索の短縮と公文書の管理サイクル（文書の収受、作成、起案、決裁、施行、整理・保存、廃棄・移管）を徹底しました。

#### （1）郵便・宅急便関係

郵便等の発送件数は、1,629,057件でした（特別会計を除く郵便料等：74,235,197円）。文書送達の経費を抑制するため、郵便の割引制度の活用を周知・徹底しました。

#### （2）メール便関係

本庁舎、各支所及び穂高健康支援センターの文書収受のため、メール便を1日当たり午後1便を運行しました（平成29年10月から午後2便を1便に減便）。令和2年度から、業務をアウトソーシングしています。

#### （3）ファイリングシステム

ファイリングシステムの導入7年目の取組みとして、職員研修の実施及び総務課職員による巡回調査を反復して行うことで、文書管理の重要性の意識付けと適正な文書管理に努めました。

### 上記の評価と課題等

情報公開制度のスムーズな運用と文書量の圧縮を図るため、平成27年度からファイリングシステムを全庁に導入し、公文書等の組織共有化を進めております。導入に際しては、ファイリングシステムの確実な定着と適正な活用を図るため、システムを開発した外部専門家による指導、助言を受けております。公文書の管理サイクルも定着し、執務室書棚内の移し替えや4階書庫等への置き換えもスムーズに行われ、巡回調査では良好に管理されておりました。引き続き保管ルールの徹底を図ります。



令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書 ページ	68
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102195	法務管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,059,000	4,548,408	0	510,592	89.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

条例等の制定改廃に伴う事務等を実施しました。

- (1) 条例、規則等の制定改廃に伴う法規審査及び公布を行いました。

区 分	公布本数
条例	48
規則	76
訓令（規程等）	50
告示（要綱等）	126

- (2) 条例、規則等の制定改廃に伴い、例規集等データベースの更新、維持管理を行いました。

（委託料：2,195,160円）

なお、本業務については、平成29年度から令和3年度までの長期継続契約に基づき事業を進めました。

- (3) 行政手続法や行政手続条例に準拠した審査基準等を提示するための支援システムの維持管理を行いました。

（委託料：行政手続基準管理システム維持管理369,600円）

- (4) 条例、規則等の制定改廃を含む法制執務のための判例を確認する支援システムを利用しました。

（賃借料：判例体系システム利用379,500円）

### 上記の評価と課題等

例規の見直しを含めて、300本の制定改廃を行いました。

（新規制定：48本 改正：213本 廃止：39本）

今後も法令等の改正を注視し、リアルタイムに市の例規に反映させ、事務等に支障を来さないように努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書 ページ	80
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	11	諸費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102420	諸費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,366,000	6,365,380	0	620	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (1) 顧問弁護士関係

市の行政運営における法律問題や不服申立て等に関する対応を的確に行うため、顧問弁護士として3人を選任しました。令和3年度の相談件数は77件でした。（令和2年度 79件）

○顧問弁護士に係る支出状況

事業名	弁護士名	決算額
顧問弁護士委託	安曇野法律事務所 宮澤 幸平弁護士	1,980,000円
	山根伸右法律事務所 山根 伸右弁護士	
	東京平河法律事務所 橋本 勇 弁護士	

#### (2) 係争事件関係

弁護を委任している訴訟代理弁護士に諸経費等を支出しました。

○係争事件に係る支出

事件名	弁護士名等	決算額
長野地方裁判所令和3年（行ウ）第3号許可処分取消等請求事件 [着手金、諸経費等]	久保田法律事務所	623,040円
東京高等裁判所令和3年（行コ）第208号各許可処分取消等請求控訴事件 [着手金、諸経費等]	久保田法律事務所	1,034,340円
東京高等裁判所令和3年（行コ）第14号固定資産評価審査決定取消請求控訴事件 [報酬]	橋本 勇 弁護士	2,398,000円
長野地方裁判所松本支部平成30年（ワ）第247号境界確定等請求事件 [報酬]	山根 伸右 弁護士	330,000円

### 上記の評価と課題等

行政運営上、職員自身が憲法や民法のほか地方自治固有の法律を正しく解釈し、適切に運用していくことは必要ですが、複雑な法解釈を適正に理解するためには、法律の専門家である弁護士の助言が必要不可欠なことから、顧問弁護士に委託することは今後も必要と考えます。

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書 ページ	82
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	12	情報公開費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
217,000	16,970	0	200,030	7.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
100,000		コピー等サービス料	100,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

情報公開制度と個人情報保護制度を適正に運用するとともに、市の保有する情報の公開を図るため、随時、開示請求のあった担当課との協議を行いました。  
また、市が保有する情報は、市民の皆様の大切な情報であるとの共通認識のもと、個人情報の保護に努めました。

(1) 情報開示請求及び個人情報開示請求の状況は、次のとおりです。(単位：件)

実施機関	請求	処理内訳					不服申立て	
		全部開示	部分開示	不開示		取下げ		
				うち不存在				
市長	情報開示	92	18	43	43	43	3	
	個人情報	14	11	3	1	1		
議会	情報開示							
	個人情報							
教育委員会	情報開示	3		3				
	個人情報	1		1				
選挙管理委員会	情報開示	1	1					
	個人情報							
監査委員	情報開示							
	個人情報							
公平委員会	情報開示							
	個人情報							
農業委員会	情報開示							
	個人情報							
固定資産評価 審査委員会	情報開示	3		2	1	1	1	
	個人情報	1		1				
合計	情報開示	99	19	48	44	44	4	0
	個人情報	16	11	5	1	1	0	0

請求と処理内訳の合計の相違は、請求書の内容により処理が複数あったことによるものです。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	12	情報公開費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (2) 安曇野市情報公開・個人情報保護審査会

委員数：5人 任期：令和2年6月1日から令和4年5月31日まで  
 会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため1回のみでした。  
 第1回審査会（令和3年6月18日）内容：令和2年度の経過報告等

#### (3) 職員を対象とした研修会の開催

一般職員を対象に情報公開・個人情報保護研修会（令和3年9月27日）を実施しました。  
 内容：制度の基本的な知識、個人情報の適正な取扱い等について

### 上記の評価と課題等

令和3年度におけるそれぞれの開示請求は、前年度と比較して請求件数が増加しましたが請求状況の増減にかかわらず、情報公開制度、個人情報保護制度ともに概ね適正な運用が図られたものと思われま  
 す。今後も、市が保有する情報は市民の大切な情報との認識の下、情報公開制度、個人情報保護制度の  
 適切な運用に努めます。

また、引き続き事前に開示する公文書の絞り込みや情報提供による対応に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書 ページ	82
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	13	行政不服審査費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
188,000	76,480	0	111,520	40.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市行政不服審査会

委員数：5人 任期：令和2年6月1日から令和4年5月31日まで

会議等：審査会の開催状況は、次のとおりでした。

○第1回審査会（令和3年6月18日）

内容 行政不服審査法第43条第1項の規定による諮問に対する審査（昨年からの継続）

○第2回審査会（令和3年9月10日）

内容 第1回からの継続審査及び答申に関する確認

○書面による審査を経て令和4年3月30日付けで答申

### 上記の評価と課題等

現行の行政不服審査制度では、市の行政処分に対して上級庁がない場合、処分を下した課以外の課の職員が審理員として審理することになるため、職員の責務は非常に重くなっています。

市民の信頼を確保するため、引き続き組織としての法務能力の向上に努めながら、適正な審査制度の運用に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書 ページ	60
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102030	職員管理			

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
850,234,000	846,328,613	0	3,905,387	99.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,638,282		職員健康診断共済組合補助	52,360	職員駐車場利用料	5,291,000
		市職員互助会職員社会保険等事業主負担金	319,562	その他雑入(職員担当)	210,200
		団体定期保険事務費外	165,160	一体的実施事業委託金	500,000
		共済組合研修会助成	100,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 職員数

令和3年4月1日は720人(内34人はフルタイム勤務の再任用職員)で、前年度から5人の減員となりました。令和4年4月1日は730人(内41人はフルタイム勤務の再任用職員)で、昨年度と比較して10人の増員となりました。条例の職員定数は750人です。  
令和3年12月31現在の障がい者の雇用率は1.71%でした。(法定雇用率2.6%)

#### 2 職員構成及び配置

令和3年4月1日の新規採用職員24人、再任用職員36人(内フルタイム34人)、10月1日以降の経験者採用8人の任用を行いました。  
また、令和3年4月1日の会計年度任用職員数は、718人で前年度と比較すると5人の減員となっています。

参考：令和4年4月1日の新規採用職員32人、再任用職員43人(内フルタイム41人)  
会計年度任用職員717人

#### 3 職員派遣

##### (1) 自治法派遣

地方公共団体相互間の協力援助に関する派遣

[派遣]：松本広域連合(3人)、長野県後期高齢者医療広域連合(1人)、穂高広域施設組合(1人)、安曇野松筑広域環境施設組合(1人(再任用職員))、安曇野松本行政事務組合(2人(再任用職員))

[受入]：長野県(1人)、長野県教育委員会(1人)、松本広域連合(1人)

##### (2) 研修派遣

派遣先機関のノウハウを習得し、人脈を築くことで、職員自らのスキルアップを図り市政に活かすことなどを目的とした派遣

[派遣]：長野県(2人)、長野経済研究所(1人)、全国市町村国際文化研修所(1人)

##### (3) その他の派遣

[受入]：長野県警察(1人)

#### 4 分限・懲戒・表彰

処分は、分限休職8人、戒告1人、訓告4人、嚴重注意(文書17人、口頭10人)でした。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102030	職員管理			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 5 職員給与

(1) 一般行政職の給与の状況 (各年4月1日現在)

年度	平均給料額	平均給与額	平均年齢	ラスパイルズ指数
令和3年度	306,421円	344,786円	42歳2月	97.1
令和2年度	307,722円	342,819円	42歳7月	97.2

※ラスパイルズ指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数

#### (2) 給与改定の実施

令和3年人事院勧告に伴う、職員の給与改定については、国家公務員に準拠した取扱いとしました。

- ・給料表・・・改定なし

- ・期末手当

①令和3年12月の期末手当で行われる予定であった引下げ相当額(0.15月分)は、令和4年6月の期末手当で調整。

②令和4年6月以降の期末手当の支給月数は0.15月の引下げ(期末・勤勉手当の年間の支給月数は年4.30月)

#### 6 職員研修 3,125,080円(旅費：0円、委託料：2,003,880円、負担金補助金：1,121,200円)

人材育成基本方針に基づく「職員研修実施計画」により、各種研修を実施しました。

平成28年度より階層別研修の体系化に取り組み6年目を迎えました。職層ごとに必須研修、推奨研修を設け、継続して実施しています。

これまで、10月採用の新規職員向けの研修は翌年4月採用の研修と合わせて実施してきましたが、受講者の意見を反映し、10月採用者だけを対象にした研修を11月に実施しました。

また、通信教育講座の内容改定や積極的な受講と修了を呼びかけたことで、職員の通信教育講座申込者数および修了者の数が過去最多となりました。

- ・庁内研修受講者 延べ2,118人 ・出張研修受講者 延べ133人

- ・通信教育講座受講申込者数 117人、うち修了者数 107人

#### 7 健康管理・福利厚生 18,876,049円

(報酬：1,080,000円、消耗品：388,696円、委託料：9,977,777円、負担金：7,429,576円)

##### (1) 健康診断等

ア 安全衛生委員会事業計画に基づき、指定健診機関における定期健康診断を実施し、185人(30歳未満の職員109人、35歳未満の会計年度任用職員76人)が受診しました。また、健診機関と委託契約を締結し、各健診機関において人間ドック及び生活習慣病予防健診を奨励し、受診した職員(30歳以上の職員485人、35歳以上の会計年度任用職員508人)に対して、事業主負担分を健診機関へ支払いました。その他、契約医療機関以外の受診者8人を含め、全体の受診率は89.7%でした。

イ 心の健康づくり計画に基づき、6回目のストレスチェック検査を実施し、1,190人が受検しました。受検率は93.2%でした。

##### (2) 職員の福利厚生事業(市職員互助会事業を含む)

ア メンタルヘルス対策として産業カウンセラーが庁舎内で相談に応じる月1回の定例相談日を設け、延べ28人(実人数14人)が利用しました。また、新規採用職員、新任係長、89人に対して、産業カウンセラーとの面談を実施しました。

そのほか、休日に本庁舎以外で相談に応じる「カウンセリングルーム」は年12回開催し、延べ3人の利用がありました。

イ 職員相互の親睦と健康増進を目的とした職員互助会親睦ボウリング大会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、代替措置として全ての会員に2枚ずつマスクを配付しました。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 8 職員勤務管理 1,990,449円（消耗品：248,599円、委託料：819,500円、備品購入：922,350円）  
平成30年度から、職員の入退庁の打刻記録を可視化（時間帯グラフ）できる入退庁記録参照システムを取り入れ、入退庁時間を正確に把握できるようにしました。  
令和3年度は、新たに明科図書館及び4給食センターにタイムレコーダーを設置し、入退庁記録参照システムとデータ連携することで、本庁舎等とともに入退庁管理ができるようにしました。  
管理職が職員の入退庁時間を正確に把握することで、時間外勤務命令などを含めた職員の勤務管理に努めています。
- 9 人事評価制度の運用（委託料：660,000円）  
能力評価及び業績評価の結果に応じ、勤勉手当の成績率及び昇給（昇格）への反映を行うとともに、人事配置での配慮や人材育成等に活用しました。  
(1) 勤勉手当の成績率への反映（退職者を除く支給対象者672人）（毎年6月・12月）  
令和2年度人事評価結果に基づく各評価ランクの職員数  
A：37人(5.5%)、B：625人(93.0%)、C：10人(1.5%)  
(2) 昇給（昇格）への反映（昇給対象者691人）（毎年1月）  
A：5人(0.7%)、B：684人(99.0%)、C：2人(0.3%)
- 10 係長昇任試験を実施  
職員の主体的キャリア選択を可能とする複線型昇任制度の運用を始め、係長昇任試験を実施しました。令和4年4月の人事異動では、今回の合格者を含めた係長昇任候補者の中から、やる気のある若手職員を積極的に係長に登用しました。
- 11 会計年度任用職員制度  
会計年度任用職員の任用については、地方公務員法に定める平等取扱いの原則及び成績主義を踏まえて、新たな募集及び再度の任用を行いました。

#### 上記の評価と課題等

職員数については、公務員の定年制延長の実施など、公務員を取り巻く環境の変化を見据える必要があり、当面は第2次定員適正化計画の最終年度である平成29年度の計画職員数735人を堅持していくこととしています。

特定事業主行動計画に掲げた取組を実行し、職員が働きながら子育てを実現できるとともに、女性職員が十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに努めていきます。

人材育成基本方針に基づく職員研修実施計画により、体系的な階層別研修を実施するとともに、受講した職員の満足度や理解度を上げるために研修内容の見直しと充実を図ります。

人事評価制度の運用は、組織目標の達成に向けて職員の能力を引き出すとともに、能力開発、人材育成といった人事管理の基礎として活用します。評価の信頼性、納得性を高めるために、引き続き必要な研修等を行うほか、必要な見直しを行っていきます。

職員勤務管理では、職員の健康保持やワークライフバランスを目指し、引き続き適正な労働時間の管理を徹底していきます。

安曇野市職員心の健康づくり計画に基づくストレスチェック検査は、更なる受検率の向上を図り、高ストレス者に対する対応に努めていきます。また、職場ごとの集団分析を行い、職場環境改善に繋げる必要があります。

会計年度任用職員の任用については、事業ごとに必要性を精査し、業務委託の可能性などを検討しながら、必要最小限の任用をしていく必要があると考えています。

障がい者の雇用を促進するため、正規・非正規を問わず多様な雇用のあり方について検討を進める必要があります。



令和4年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	70
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102230	財政管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,272,000	2,191,977	0	80,023	96.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 旅費 0 円
- 2 消耗品費 104,727 円
- 3 委託料 2,087,250 円

1年間の財政運営に当たり、健全な財政運営を目指し、次の事務に取り組みました。

- (1) 当初予算及び補正予算の編成
- (2) 地方交付税の算定
- (3) 地方財政状況調査の実施
- (4) 健全化判断比率の算定
- (5) バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を統一的基準により作成
- (6) 半期毎の財政状況の公表

### 上記の評価と課題等

補正予算については、10回の補正予算を編成しました。厳しい財政状況が予想されますが、財務書類のデータ活用による財政状況の分析を行い、引き続き長期的な健全財政の堅持に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	70
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102250	基金積立金			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,576,604,000	3,576,601,201	0	2,799	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
22,199,201		財政調整基金利子	11,012,351		
		減債基金利子	2,741,764		
		公共施設整備基金利子	3,687,298		
		地域振興基金利子	4,757,788		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

財政調整基金については、将来的な財源調整に備え次の金額を新たに積み立てました。

財政調整基金積立金 720,000,000 円

減債基金については、地方債の償還財源を確保するため、次の金額を新たに積み立てました。

減債基金 2,164,402,000 円

公共施設整備基金については、市総合計画に定める公共施設の整備に必要な資金を確保するため、次の金額を新たに積み立てました。

公共施設整備基金 670,000,000 円

財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、地域振興基金から発生する利子について、各基金に利子積立金を次のとおり積み立てました。

財政調整基金 11,012,351 円

減債基金 2,741,764 円

公共施設整備基金 3,687,298 円

地域振興基金 4,757,788 円

なお、地域の振興及び財源調整のため、次のとおり基金からの繰入を行いました。

財政調整基金繰入金 517,329,000 円

地域振興基金繰入金 120,900,000 円

年度末各基金の現在高は、次のとおりです。

財政調整基金 5,363,748,030 円

減債基金 3,688,044,288 円

公共施設整備基金 2,719,090,691 円

地域振興基金 2,523,078,825 円

### 上記の評価と課題等

財政計画を念頭に、各基金の設置目的に基づき繰入、積立を行いました。引き続き、健全財政の堅持に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	234
------------	-----

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	元金		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112010	長期借入金償還元金			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,050,408,000	5,049,994,959	0	413,041	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債について通常償還（元金）をしました。

年度末地方債現在高は、39,298,948,998円です。

そのうち、現在高の大きなものは次のとおりです。

- ・公立の小中学校、特別支援学校、幼稚園、高等学校及び社会体育施設等の整備事業を対象とした「教育・福祉施設等整備事業債」が、2,233,871,350円。
- ・市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号）（いわゆる旧法）に基づく「一般単独事業債のうち、旧合併特例事業債」が、17,185,627,500円。
- ・国の地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、地方公共団体自らに地方債を発行させる制度で、その償還に要する費用が後年度の地方交付税で措置される「臨時財政対策債」が、16,100,840,498円。

借換債の発行を行わず、556,400,000円を償還しました。

### 上記の評価と課題等

本年度は通常償還のみ行いました。償還額の急増を避けるために、今後も借入額を平準化することで将来負担の軽減に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	234
------------	-----

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	利子		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112020	長期借入金償還利子			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
109,540,000	109,539,160	0	840	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債の償還（利子）を行いました。  
また、年度末の歳計現金の不足を補うため、財政調整基金の繰替運用を行い、この分の利子を一時借入金利子から支出しました。

- 1 通常償還分利子 109,169,900 円
- 2 一時借入金利子 353,643 円  
(R3. 4. 1～R3. 5. 28) 22 億円 利子 174,794 円  
(R4. 2. 9～R4. 3. 31) 20 億円 利子 178,849 円
- 3 市債前借金利子 15,617 円（財政融資資金）  
(R3. 5. 26～R4. 3. 25) 前借金 93,600 千円 利子 15,617 円  
本借 188,400 千円（繰越分 94,800 千円）

### 上記の評価と課題等

本年度は通常償還、一時借入金利子、市債前借金利子の支出を行いました。  
入札見積りによる借入により、有利な償還を行い、健全財政の堅持に努めます。

令和4年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	234
------------	-----

予算	款	13	予備費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	予備費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	予備費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0114010	予備費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
11,047,000	0	0	11,047,000	0.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費50,000,000円について、充用件数 33 件 充用額 38,953,000 円を充用しました。

○原因別の内訳は次のとおりです。

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1 災害に起因して必要となった経費        | 11 件 23,757,000 円 |
| (内コロナ関係                  | 9 件 16,409,000 円) |
| 2 施設・設備の故障等に起因して必要となった経費 | 9 件 8,659,000 円   |
| 3 その他（弁護士委託諸経費ほか）        | 13 件 6,537,000 円  |

○充用先科目の内訳は次のとおりです。

- |                |                                   |              |
|----------------|-----------------------------------|--------------|
| 1 報酬           | 1 件（パートタイム会計年度任用職員報酬 1 件）         | 251,000 円    |
| 2 職員手当等        | 1 件（職員諸手当 1 件）                    | 10,215,000 円 |
| 3 報償費          | 2 件（弁護士等謝礼 2 件）                   | 2,727,000 円  |
| 4 旅費           | 1 件（費用弁償 1 件）                     | 4,000 円      |
| 5 需用費          | 10 件（消耗品 2 件、施設修繕費 5 件、物品修繕費 3 件） | 4,516,000 円  |
| 6 委託料          | 11 件（管理委託料 2 件、事務事業委託料 9 件）       | 8,170,000 円  |
| 7 工事請負費        | 4 件（工事請負費（単独） 4 件）                | 12,606,000 円 |
| 8 備品購入費        | 1 件（備品購入費 1 件）                    | 242,000 円    |
| 9 負担金・補助金及び交付金 | 1 件（補助金 1 件）                      | 2,000 円      |
| 10 貸付金         | 1 件（貸付金 1 件）                      | 220,000 円    |

※決算書に表示の件数は、重複科目への充用を考慮しているため、上記件数と一致しません。

### 上記の評価と課題等

令和3年8月の大雨による自然災害への対応、新型コロナウイルス感染症対策及び施設修繕等の経費について充用により対応しました。

令和4年度	
部	総務部
課	税務課
係等	諸税係・市民税担当

決算書 ページ	82
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	税務総務費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102460	税務総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
389,021,000	385,529,609	0	3,491,391	99.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
122,054,316		県民税徴収事務委託金	122,054,316		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公平・公正・適正な賦課と捕捉率向上の取り組み

- (1) 申告受付：令和4年2月7日から3月15日までの間、市内5会場で開催しました。  
受付者数：6,531人（前年比 295人増）
- (2) 未申告者の解消：申告勧奨通知の送付や電話連絡を実施しました。
- (3) 庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。  
税務署への閲覧や中信県税事務所への照会、修正申告等適宜に対応し適正な課税に努めました。
- (4) 課税原票管理システムによる事務の効率化  
事業費：7,568,640円（12委託料2,138,400円、13借上料5,430,240円）  
各種法定調書のイメージ化とOCRのデータ化で、課税、更正事務の効率化に寄与しています。

	給与支払報告書	年金個票	確定申告書	市県民税申告書	その他
OCR読取	1,203枚	—	—	—	—
イメージ読取	72,939枚	47,900枚	19,123枚	4,677枚	5,697枚

- (5) eLTAX（地方税ポータルシステム）（給与支払報告書、法人市民税の申告、償却資産の申告等について電子データでの送信及び地方税の電子納税の導入）による事務の効率化及び税務署への全件データ引継ぎの実施  
事業費：7,461,218円（13使用料 5,076,280円、18負担金 2,384,938円）

#### ○地方税電子申告支援サービス

	給与支払報告書	年金個票	法人市民税申告	償却資産申告	給与特徴異動届
全提出件数	63,939件	48,031枚	3,187件	5,275件	5,638件
内電子申告	42,162件	47,530枚	2,640件	2,485件	598件
前年比増減率	3.04%	△0.19%	4.42%	15.39%	7.94%

#### ○地方税共通納税システム

	個人住民税	法人住民税
利用事業所数	387件	176件

- 市の申告会場で受付けた確定申告データを税務署に送信する「データ引継ぎ」を実施  
引継件数：4,309件

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		基本施策	方針5 健全財政の堅持

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (6) 軽自動車税（種別割）の課税

長野県市長会との契約に基づき提供される軽自動車申告書(登録・廃車・所有権移転・転出等)のデータ及び、軽自動車検査情報市区町村提供サービス業務(J-LIS)に基づき課税事務を行いました。  
事業費：1,906,366円（12委託料 1,544,973円 13使用料 361,393円）

〈件数〉（125CC以下のバイク、小型特殊自動車を除く）

申告書取扱委託	申告書データ化業務	J-LIS検査情報	市外転出車両情報
13,639件	12,966件	29,334件	939件

なお、環境性能割は市税ですが、当分の間、長野県が賦課徴収を行うものとされています。

#### (7) 課税の更正

確定申告、住民税申告の他、他市町村及び税務署からの通知、法人からの更正請求、償却資産の修正申告、固定資産税・軽自動車税の減免申請等の事由による更正処理を行いました。

	個人市県民税	法人市県民税	固定資産税	軽自動車税
更正件数	9,037件	29件	667件	707件
還付額	14,401,098円	17,250,500円	1,698,600円	84,900円

#### (8) 個人住民税の特別徴収の推進

特別徴収制度を運用することで従業員等の納税の利便性向上のため、原則すべての事業主を特別徴収義務者に指定し、個人住民税の特別徴収を徹底しています。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別徴収義務者数	4,269人	5,272人	5,350人	5,665人	5,714人

## 2 広報活動の充実等により、税に対する理解を深め納税意識の高揚を図り安定した財政基盤を確保する取り組み

### (1) 租税教育推進事業 事業費 421,729円（08記念品421,729円）

安曇野市租税教育推進委員会を組織し、市教育委員会、税務署、税理士会等の協力のもと、租税教室が市内小学校9校、中学校6校、高等学校4校の計19校で開催され合計2,218名が受講しました。税に関する作文・ポスターの募集を市内の高等学校・中学校に呼びかけ、作文596編、ポスター163作品の応募があり、その中から41作品について表彰をしました。

市長賞	教育委員会賞	松本税務署長賞外
8作品	23作品	10作品

### (2) 広報紙・ホームページ・新聞・地元ラジオ放送・テレビ放送等を活用し税の広報の実施

また、市独自の「税に関するポスター」市長賞の内2作品を活用して、市の所得税・市県民税の申告用ポスターを作り申告会場、駅、市内金融機関等に掲示し啓発を図りました。

### 上記の評価と課題等

公平・公正・適正な賦課に向けて、論理チェック・数値等の確認を行うとともに、事務処理の効率化に向け機械処理できるものと人的処理が必要なものを区分して適正な課税事務を進めます。  
今後もe-Tax（国税電子申告・納税システム）、eLTAX（地方税ポータルシステム）の周知を図り有効活用に努めます。

納税意識の高揚を図るため、今後も租税教育や広報活動に関係機関と連携し実施していきます。

令和4年度	
部	総務部
課	税務課
係等	家屋担当・土地係

決算書 ページ	84
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102470	資産税費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
30,715,000	28,461,642	0	2,253,358	92.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
61,300		固定資産土地精通者謝金	61,300		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 事業の目的及び内容

- (1) 固定資産税の公平・公正・適正な賦課を行うための課税資料の把握及び調査を実施しました。
- (2) 地方税法第343条第2項に基づく調査の実施により納税義務者を死亡者から相続人等に訂正し適正な賦課に努めました。

#### 2 事業の実績

##### (1) 公平・公正・適正な賦課のための業務委託

ア 評価体系集約化（土地評価システム）業務

4,400,000円

市内及び隣接市町村との価格バランス等を確保しつつ、評価基準等に基づいた適正な土地の評価替えを行うことを目的に、評価替え作業に必要な諸資料等の整備を令和3年度から3年間で行う業務であります。（契約額：17,700千円）

1年目の令和3年度は、土地価格形成の要因調査、路線の整備、路線データの作成、用途地区・状況類似地域の区分等を実施しました。

イ 標準宅地時点修正に係る鑑定業務

3,163,424円

固定資産税における土地の価格は、地価の下落があり基準年度の価格を据え置くことが適当でないときは、据置年度でも価格を修正することとされているため、市内の標準宅地の鑑定評価を行い令和4年度の価格に反映しました。

##### (2) 死亡者の名義で登記されている資産の適正な賦課

令和3年度は収納課と連携して相続人調査を行い、41件の賦課替えを行いました。

イ 賦課替え実施前の所有者に係る調定額

1,515,200円

##### (3) 固定資産税の賦課業務（免税点未満を含む。）

課税客体	面積・棟・申告者数	評価額（千円）	課税標準額（千円）	納税者数
土地	139,554,864㎡	312,923,568	125,377,867	45,606
家屋	72,847棟	189,816,290	185,345,044	
償却資産	4,316人 (内法人2,347人)	81,236,659	79,569,227	



予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102470	資産税費			

## その2

### 上記の評価と課題等

<土地>

令和6年度評価替えを適正に行うため、必要な準備を計画的に進めることができました。

<家屋>

令和2年建ての新增築家屋601棟の評価を実施し、令和3年度の価格に反映しました。  
相続人調査を実施し、死亡者課税を41件解消しました。

令和4年度	
部	総務部
課	収納課
係等	管理係・整理担当

決算書 ページ	84
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税费		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102480	収納費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
54,160,000	50,358,883	0	3,801,117	93.0%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,353,679		県民税徴収事務委託金	40,000,000		
		督促手数料	2,101,447		
		雑入	252,232		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (1) 滞納整理の取り組み

税負担の公平性と自主財源確保のため、市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料合わせて、滞納額約5億円の縮減を図るために、滞納整理を実施しました。

具体的な取り組みとしては、現年度徴収体制の強化、納税コールセンターによる電話催告、財産調査予告、差押え予告通知による催告等により、新型コロナ禍の影響を受けたものの、市税の現年度分収納率は99.59%となりました。

また、長野県地方税滞納整理機構との連携、差押等の滞納処分、インターネット公売の実施等により、市税累積滞納額は約5,900万円の減額で12年連続前年度を下回り、国民健康保険税も前年度より約2,700万円の減額となり11年連続前年度を下回りました。

- ・催告書の発送 4,836件（対前年度4.40%増）
- ・差押件数 1,082件（対前年度3.39%減）
- ・差押金額 375,956,616円（対前年度13.88%減）
- ・換価＋自主納付 57,454,067円（対前年度4.99%増）
- ・執行停止 213件 47,221,479円
- ・不納欠損処分（国民健康保険税を除く）  
現年度 1名 12,900円 滞納繰越分 154名 9,091,722円
- ・納税コールセンター業務 決算額（委託料）5,544,000円  
業務委託し、1期のみ滞納者に対して電話による自主納付の勧奨を行っています。年間13,287件の架電をして、42,426,620円の自主納付があり、納め忘れによる滞納防止に効果を上げています。
- ・徴収の猶予 4件 猶予額 1,624,200円 納付済額 986,300円

#### (2) 徴収体制の強化に向けた取り組み

##### ア 長野県地方税滞納整理機構への徴収移管

国民健康保険税を含めた原則100万円以上の高額滞納があり、納付困難となっている案件45件について、長野県地方税滞納整理機構に徴収移管しました。

対象者へ移管予告通知を送付したところ、自主納付もあり滞納整理に一定の成果がありました。

- ・徴収移管額 54,374,731円（令和3年6月移管）
- ・滞納整理機構徴収額 21,085,042円（令和3年4月～令和4年3月機構徴収分）
- ・移管予告等による納付額 4,564,199円（令和4年1月移管予告通知者）
- ・滞納整理機構への負担金 6,704,000円

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102480	収納費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### イ 納税相談の実施

期限内納付が困難な納税義務者や一括納付が困難な滞納者に対して、納税相談を実施するなかで生活状況や収入状況などを聞き取り、各人の事情に合わせた納付計画を提案しました。

- ・相談による納付計画件数301件

#### ウ 公売の実施

国税徴収法の規定による検索を行いました。インターネットを通じて動産（バイク）の公売を行いました。また、不動産についても公売を実施し、土地2件の売却を行いました。

- ・公売（年2回） 不動産2物件 4,550,000円、動産類1物件 51,500円売却

### (3) 口座振替、コンビニ収納の推進

#### ア 口座振替納税の推進

市税等の納付の利便性と収納業務の簡素化及び納期内納付の促進を図るため、当初納付書発送時（市県民税普通徴収・固定資産税）にハガキタイプの口座振替依頼書と口座振替推進のチラシを同封して勧奨しました。

#### (ア) 口座振替納税の状況

令和4年3月末(人)

区 分 税 目	令和3年度分			
	納税義務者	口座振替	現金納税者	口座振替率(%)
市 県 民 税	16,066	7,632	8,434	47.50%
固定資産税	45,448	31,393	14,055	69.07%
軽自動車税	34,318	10,004	24,314	29.15%
合 計	95,832	49,029	46,803	51.16%

#### イ コンビニ収納の状況

納税者の納付手段の一つとして定着したコンビニ収納（市県民税普通徴収、固定資産税、軽自動車税）は、現金納付件数の割合で、前年度と比較して1.34%増の62.65%となりました。

#### (ア) コンビニ納付利用率（市県民税、固定資産税、軽自動車税の現年度分合計）

- ・コンビニ納付件数 68,856件（スマホ決済含 対前年度1,206件増・納付額 約2,846万円増）
- ・総納付件数に対する割合 25.30%（対前年度比 0.57%増）
- ・現金納付件数に対する割合 62.65%（対前年度比 1.34%増）

#### (イ) コンビニ取扱手数料 4,610,496円（対前年度比368,841円増）

### 上記の評価と課題等

機能別収納体制の確立により、累積滞納額を市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料合わせて約8千8百万円縮減することができました。

今後も税負担の公平性と自主財源確保の観点から、毅然とした態度で滞納整理を進め、市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料を合わせて約4.1億円の累積滞納額の縮減に取り組みます。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	58
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102020	本庁舎管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
200,901,000	197,462,332	0	3,438,668	98.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,889,625	左記の内訳	電報電話料(本庁舎)	6,314	その他雑入(庁舎管理係)	2,677,719
		資源ごみ売却代(本庁舎)	33,840		
		自動販売機設置電気料(本庁舎)	163,782		
		公衆電話料(本庁舎)	7,970		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 歳入

公共施設目的外使用料(本庁舎) 5,415,928円

#### 2 歳出

(1) 本庁舎総合管理業務 97,482,000円

施設の常駐管理、設備管理、警備宿日直、清掃、受付案内、電話交換、郵便物等受発送、植栽管理、除雪等を一括業務委託しています。

(2) 本庁舎の光熱水費等の使用状況

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
電気	1,378,878kWh	24,680,094円	1,406,138kWh	22,691,363円	1,402,085kWh	25,717,726円
水道	2,308m <sup>3</sup>	663,348円	2,773m <sup>3</sup>	739,920円	2,494m <sup>3</sup>	725,200円
下水道	5,142m <sup>3</sup>	1,101,328円	5,604m <sup>3</sup>	1,215,720円	5,102m <sup>3</sup>	1,105,280円
灯油	56,000ℓ	5,365,920円	58,000ℓ	5,055,490円	56,000ℓ	6,488,900円

(3) コピー用紙の使用状況

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
用紙	7,220,000枚	6,694,354円	7,095,000枚	6,759,000円	7,550,000枚	7,241,300円

#### 3 その他来庁者に関する事項

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
休日来庁者	16,027人	9,991人	16,650人
視察	10団体(283人)	6団体(356人)	5団体(123人)

### 上記の評価と課題等

エネルギーの使用量は前年度と比較して減少していますが、金額としては増加しています。このことは石油やLNG(液化天然ガス)等燃料の輸入価格高騰の影響により、燃料調整費が上昇していることが主な影響だと考えられます。そのため、今後も、効率的な機器の運用及び適切なメンテナンスの実施を行い、経費の抑制に努めます。

本庁舎も開庁から7年経過し、経年による設備故障が発生し始めています。行政運営に支障を出さないために、点検に力を入れるとともに、計画的な設備の更新を図っていく必要があります。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	62
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102080	公用車管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
36,823,000	33,266,982	0	3,556,018	90.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,085,306		公有自動車損害共済金	2,085,306		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

公用車を適切に管理することで安全運行と環境負荷の低減と延命を図りました。  
また、任意保険の加入により事故の補償に備えました。

#### 1 主な歳出

(1) 燃料費	ガソリン代		4,247,120 円
(2) 役務費	自動車損害共済基金分担金	324 台	7,397,370 円
(3) 使用料	高速道路等使用料	18 件	1,080,812 円

#### 2 公用車の事故

公用車の事故は16件発生しました。そのうち、相手方への損害賠償金（治療費、修理費等）が発生した事故は3件ありました。

#### 3 公用車の更新

計画に基づき、18台の車両を廃車し、7台の車両を購入しました。

### 上記の評価と課題等

車両の法定点検、検査を確実に実施していくため、各課の所管する車両の実施状況を調査し、職員間の周知を行っていく必要があります。

また、経過年数が20年以上、または15万km以上走行した車両については更新対象に位置づけ、環境に配慮した車両に切り替えていきます。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	62
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102083	AED維持管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,229,000	4,050,750	0	178,250	95.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設へAEDを配備することで、突然の心停止から人命を救うための救命処置を行えるようにします。  
 本年度は新総合体育館に配備するため2台を新規に購入及び耐用年数を迎えたAED本体、パッド、バッテリーの更新を行いました。  
 また、市ホームページ「あづみのマップ」及び「全国AEDマップ」にAEDの設置場所及び使用可能時間の情報を更新し、利便性の向上を図りました。

1 更新及び新規	2,379,300 円
(1) 更新	19 台
(2) 新規	2 台
2 パッド及びバッテリーの交換	1,671,450 円
(1) パッド(2年)	74 台 1,548,690 円
(2) バッテリー(4年)	6 台 122,760 円
3 使用回数	1 回

### 上記の評価と課題等

AEDは平成22年度から整備を開始しており、本年5月31日現在、114台設置し、そのうち、貸出用が11台あり、また、市内小中学校に設置しているAEDは、学校開放により夜間・休日等にスポーツクラブ等が活動している現状を踏まえ、全ての体育館へ設置しています。  
 一括して購入しているため、消耗品も含め多数のAEDが同時に耐用年数を迎えてしまうため、耐用年数を迎える前に確実に更新していく管理が必要となります。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	72
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102270	財産管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
45,761,000	43,307,006	0	2,453,994	94.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
706,860		建物総合損害共済金	706,860		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 管財担当

市有財産の有効活用等により自主財源を確保します。  
また、建物共済、損害賠償責任に対する保険金の支払いを行います。  
本年度は低未利用の及び不要となった財産の処分を行いました。  
あわせて、2施設について、新電力を導入し電気料金の削減を図りました。

#### (1) 主な歳入

使用料	行政財産目的外使用料	15件	1,781,205円
財産運用収入	市有土地貸付収入	45件	6,869,855円
	市有建物貸付収入	6件	1,103,738円
財産売払収入	市有地売払収入	21件	12,157,900円
	不用品売払収入(公用車)	5台	6,138,960円

#### (2) 主な歳出

保険料	建物総合損害共済	5,045,316円
	総合賠償補償保険料	8,449,942円
委託料	普通財産の管理委託料	1,610,128円
	固定資産台帳等データ異動更新業務	3,630,000円
	エネルギーサービスプロバイダー業務	18,843,000円

### 上記の評価と課題等

今後も不要となった財産を定期的に処分し、自主財源の確保に努めます。  
新電力が導入可能な施設は、引き続き新電力会社から電力を購入し電気料金の削減を図ります。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102270	財産管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 2 施設経営担当

##### (1) 施設の長寿命化と維持管理コストの低減

公共施設の新築、増築、改修及び付帯する外構工事といった、市が発注する一定金額以上の（予定価格が130万円以下の少額随契を除く）建築、設備等の工事に対し、建設に伴う各種申請書類の作成から設計業務委託の発注、工事監督員、変更設計積算等の監理業務の実務に至るまで、施設を所管する事業担当課と共に実施設計の段階からしゅん工、引渡しに及ぶ工事管理に一元的に携わり技術協力することで建築コストの適正な管理と施設経営の良好な運営を支援するとともに、長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化により維持管理コストの低減に努めています。

実績件数	令和元年度	令和2年度	令和3年度
建設工事の発注、監督員業務	47件	41件	49件
設計・監理業務に係る 発注、監督、積算等	63件	60件	85件
新築、改修等の設計業務	25件	27件	48件
工事に伴う監理業務	38件	33件	37件
工事費及び設計監理料（見積書） の算定	166件	149件	173件

#### 上記の評価と課題等

施設経営の良好な運営を支援する施設経営担当として工事全般に主体的に携わり、施設担当課と共に実施した建築、設備等の工事並びに設計業務委託等については、公共建築としての適正な品質と機能を確保し、概ね計画どおりに進捗しました。

今後も公共施設として必要な設備機能を維持しながら建築（建設）工事におけるコスト、工法、工程の最適化、効率化を図るとともに、利用者の視点に立ったきめ細かな施設整備の充実と効果的な施設経営に努めて参ります。



令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	74
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102340	土地開発基金費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
404,000	403,313	0	687	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
359,887		土地開発基金利子	359,887		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

土地開発基金は、公用もしくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を先行取得することにより、公共事業の円滑な執行を図ることを目的としています。本年度の新たな土地の取得はありませんでした。  
なお、運用面では土地開発基金利子として、359,887円の収入がありました。

### 上記の評価と課題等

先行取得による土地投機も薄れてきていますが、今後も適正な管理運営に努めていきます。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	施設経営担当

決算書 ページ	180
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0102275	新総合体育館建設事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
196,319,000	194,825,327	0	1,493,673	99.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
165,455,000		指定寄付金	100,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	102,055,000		
		体育施設整備事業	58,500,000		
		スポーツ振興くじ助成金	4,800,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 新総合体育館建設事業

令和元年度に技術提案型総合評価落札方式・一般競争入札により建設工事の受注者及び監理業務の受注者も決定したが、東京五輪関連事業の需要増により資材・機器の納品が困難な状況が続いた。定例会議を週1回ペースで開催し、施工管理と進捗状況の確認を行いながら工事を進め、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら工程の遅れなく令和3年10月1日にしゅん工し、監理業務委託料及び工事請負費の支払いが完了しました。

業務名	安曇野市新総合体育館建設工事 監理業務委託	業務場所	安曇野市豊科高家
委託料	40,150,000円	契約日	令和元年11月18日
受注者	大建・エーアンドエー安曇野市新 総合体育館建設設計共同企業体	履行期間	令和元年11月18日から 令和3年10月20日まで

年度支払限度額 令和3年度分 20,536,000円

工事名	安曇野市新総合体育館建設工事	業務場所	安曇野市豊科高家
工事請負費	3,466,642,300円	契約日	令和元年9月20日
受注者	竹中・守谷特定建設工事共同企業 体	履行期間	令和元年9月20日から 令和3年10月20日まで

年度支払限度額 令和3年度分 34,928,300円

#### 《歳出》

報償費	視察先土産費	2,846円
需用費	消耗品費（消火器ほか）	378,883円
役務費	通信運搬費、完了検査申請手数料、現場見学会傷害保険料	725,010円
委託料	安曇野市新総合体育館建設工事 監理業務委託(令和3年度分)	20,536,000円
	しゅん工式業務委託、用地測量業務委託ほか	6,175,160円
工事請負費	安曇野市新総合体育館建設工事(令和3年度分)	34,928,300円
	外構附帯工事、周辺整備工事、防犯カメラ設置工事ほか	25,477,320円

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0102275	新総合体育館建設事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 2 新総合体育館備品調達事業

新総合体育館建設に伴い運営に必要となるスポーツ器具（卓球台、バレーボール柱・ネット、バドミントン柱・ネット、バスケットゴール、ハンドボールゴール、フットサルゴール、柔剣道場畳ほか）、什器（会議テーブル、事務机、椅子、ソファ、収納棚、ロッカー、下駄箱ほか）、電化製品（冷蔵庫ほか）、カーテン、音響設備等を調達し、需用費及び備品購入費の支払いが完了しました。

#### 《歳出》

備品購入費	卓球台ほか	32,373,000円
	バレーボール柱ほか	29,920,000円
	バスケットゴール・ハンドボールゴールほか	10,617,475円
	什器（会議テーブル、事務机、椅子、ソファほか）	27,009,933円
	電化製品（冷蔵庫）、カーテン、音響設備ほか	6,681,400円

### 上記の評価と課題等

健康志向に伴いスポーツ活動に対する市民の関心とニーズが一段と高まり、自主的・主体的に活動を展開するための施設・備品を整備したことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得る事ができます。

また、信州安曇野ハーフマラソンのスタート・ゴール地点でもあることから、来訪される方々と市民との交流拠点にもなります。

老朽化する豊科南社会体育館及び豊科武道館剣道場の代替施設となることから、公共施設再配置計画の推進が図られます。

災害時に指定避難所及び救援物資集積所となる施設を整備したことで、災害時の地域防災拠点としての機能向上が図られます。

令和4年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	施設経営担当

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0190070	【明許】新総合体育館建設事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
2,062,102,000	2,062,102,000	0	0	100.0%
特定財源の合計金額				
2,052,500,000	左記の内訳	【明許】社会資本整備総合交付金(体育館分)	1,028,500,000	
		【明許】体育施設整備事業(旧合併特例事業債)	155,500,000	
		【明許】体育施設整備事業(補正予算債 加速化対策分)	868,500,000	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 【明許】新総合体育館建設事業

発注済みとなっていた機械設備・電気設備の工場製品について、年度内の納品が困難な状況であった。また、国の第3次補正予算に係る社会資本整備総合交付金の追加内示に伴い、令和3年度内の執行が困難で監理業務委託料及び工事請負費を明許繰越しましたが、定例会議を週1回ペースで開催し、施工管理と進捗状況の確認を行いながら工事を進め、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら工程の遅れなく令和3年10月1日にしゅん工し、令和2年度明許繰越分の監理業務委託料及び工事請負費の支払いが完了しました。

業務名	安曇野市新総合体育館建設工事 監理業務委託	業務場所	安曇野市豊科高家
委託料	40,150,000円	契約日	令和元年11月18日
受注者	大建・エーアンドエー安曇野市新 総合体育館建設設計共同企業体	履行期間	令和元年11月18日から 令和3年10月20日まで

年度支払限度額 令和2年度分 3,708,000円

＜歳出＞

委託料	安曇野市新総合体育館建設工事 監理業務委託（令和2年度 繰越分）	3,708,000円
-----	----------------------------------	------------

工事名	安曇野市新総合体育館建設工事	業務場所	安曇野市豊科高家
工事請負費	3,466,642,300円	契約日	令和元年9月20日
受注者	竹中・守谷特定建設工事共同企業体	履行期間	令和元年9月20日から 令和3年10月20日まで

年度支払限度額 令和2年度分 2,058,394,000円

＜歳出＞

工事請負費	安曇野市新総合体育館建設工事（令和2年度 繰越分）	2,058,394,000円
-------	---------------------------	----------------

#### 上記の評価と課題等

明許繰越した安曇野市新総合体育館建設工事に係る令和2年度分の監理業務委託料及び工事請負費は令和3年10月1日にしゅん工し、支払いが完了しました。

令和4年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	検査係

決算書 ページ	68
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102180	検査管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
173,000	107,700	0	65,300	62.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 検査関係

(1) 契約額が130万円以上の工事および100万円以上の業務委託と、80万円以上の物品購入を対象に実施しました。令和3年度の検査総数は435件でした。

年度末	種別	総務部	政策部	財政部	市民生活部	福祉部	保健医療部	農林部	商工観光部	都市建設部	上下水道部	教育部	選挙管理委員会	農業委員会	総数
令和3年度	部計	47件	8件	91件	6件	13件	16件	34件	8件	93件	72件	38件	8件	1件	435件
	工事	1件	4件	51件	0件	2件	0件	8件	4件	66件	36件	4件	0件	0件	177件
	業務	1件	2件	33件	5件	5件	15件	24件	3件	24件	29件	7件	6件	1件	154件
	物品	45件	2件	7件	1件	6件	1件	2件	1件	3件	7件	27件	2件	0件	104件
令和2年度	部計	55件	6件	17件	16件	20件	14件	49件	9件	118件	75件	73件	0件	1件	453件
	工事	4件	0件	2件	2件	10件	0件	15件	4件	76件	46件	22件	0件	0件	181件
	業務	3件	2件	12件	11件	7件	11件	29件	4件	39件	25件	24件	0件	1件	168件
	物品	48件	4件	3件	3件	3件	3件	5件	1件	3件	4件	27件	0件	0件	104件
令和元年度	部計	62件	5件	139件	9件	12件	12件	45件	8件	112件	74件	40件	9件	1件	528件
	工事	2件	0件	96件	0件	0件	0件	13件	1件	72件	50件	7件	0件	0件	241件
	業務	8件	2件	41件	8件	4件	10件	24件	4件	38件	21件	4件	8件	1件	173件
	物品	52件	3件	2件	1件	8件	2件	8件	3件	2件	3件	29件	1件	0件	114件

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102180	検査管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (2) 契約額300万円以上の107件の工事を対象に成績評価を実施しました。  
評定点の平均は79.5点となりました。（企業会計分を除く）

年度	評価総数	平均点	区分	44点以下	45～59点	60～71点	72～84点	85点以上
				(劣る)	(やや劣る)	(普通)	(良好)	(優良)
R 3	107件	79.5点		0件	0件	4件	96件	7件
R 2	94件	79.0点		0件	0件	2件	87件	5件
R 1	95件	78.4点		0件	0件	5件	86件	4件

#### 2 安曇野市技術審査委員会関係

市の技術系職員で組織する安曇野市技術審査会において、工事施工の適正化と施工技術の向上を図るため令和3年度優良建設工事表彰式を開催しました。

また、技術系職員のスキルアップを図ることを目的に、現場研修会をANCアリーナで開催し、完成前の体育館施設を見学しました。

- (1) 優良工事表彰の実施（85点以上）

工 事 名	施 工 者
令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 市道明科3009号線 地すべり防止工事	山崎建設 株式会社
令和2年度 市道新設改良事業 市道明科1144号線道路改良工事	山崎建設 株式会社
令和2年度 市道新設改良事業（社資・市単） 市道豊科1級24号線道路改良工事（2工区）	有限会社 小倉建設
令和2年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線ほか 道路改良工事（2工区）	有限会社 ニッコウ
令和2年度 あづみ野産業団地拡張事業 造成工事 第1工区	猿田建設 株式会社

- (2) 研修会

市役所技術系職員現場研修会の開催（8月）

### 上記の評価と課題等

工事成績評価結果から、品質や出来栄の良い工事が増加し、年々評定点も上昇していることから、より質の高い施設整備につながっていると伺えます。

課題としましては、年度末に完了・しゅん工検査が集中し、検査時間の限られたなかであり、しゅん工検査後の工事成績評価に影響を及ぼすおそれもあることから、工事をはじめとして業務委託の完了時期の平準化を求めていく必要が求められます。

令和4年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	契約係

決算書 ページ	72
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102260	契約管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,257,000	3,074,929	0	182,071	94.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 契約締結状況について

##### (1) 建設工事等

契約件数は165件で、うち一般競争入札134件、指名競争入札16件、随意契約15件でした。  
一般競争入札のうち、総合評価落札方式1件の契約締結をしました。

年度	区分	土木工事	舗装工事	管工事	電気工事	建築工事	その他	契約数	合計
R3	一般会計	31件	25件	14件	4件	24件	37件	135件	165件
	企業会計	1件	5件	0件	0件	0件	24件	30件	
R2	一般会計	41件	30件	11件	8件	10件	38件	138件	176件
	企業会計	2件	4件	0件	0件	0件	32件	38件	
R元	一般会計	31件	27件	9件	4件	13件	30件	114件	162件
	企業会計	1件	6件	0件	0件	0件	41件	48件	

##### (2) 物品役務等

契約件数は507件で、一般競争入札13件、指名競争入札176件、随意契約318件でした。

年度	区分	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	備品等	契約数	合計
R3	一般会計	2件	23件	24件	345件	30件	53件	477件	507件
	企業会計	0件	2件	0件	28件	0件	0件	30件	
R2	一般会計	1件	32件	27件	353件	31件	42件	486件	507件
	企業会計	0件	2件	0件	15件	2件	2件	21件	
R元	一般会計	1件	26件	14件	383件	42件	36件	502件	536件
	企業会計	0件	3件	0件	30件	0件	1件	34件	

- 2 借上料 電子入札連携サーバ賃貸借料 522,288円  
3 使用料 入札情報システム等使用料 66,000円

### 上記の評価と課題等

建設工事は、土木系工事で総合評価落札方式1件の入札執行を行いました。

物品等委託は、指名競争入札又は随意契約が主となりますが、より一層の公平公正な競争の促進と透明性の確保を図るため、コンサル委託の一部で一般競争入札を行い、令和3年度実績13件を執行し、試行から令和4年度より本格導入するため実施要綱を整備しました。

また、入札参加資格が令和4年5月末で期限切れのため、令和4年から3年間分の参加資格付与を行うため、約1か月間の受付期間を設け審査を行いました。（工事518件、コンサル276件、物品等824件）

# 選挙管理委員会事務局



令和4年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	86
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	選挙管理委員会費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務局			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
29,360,000	27,526,995	0	1,833,005	93.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,382		在外選挙人名簿登録事務委託費	12,382		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

公正・公平で正確な選挙執行を確保するため選挙管理委員会を開催し、選挙人名簿の調製を行いました。  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長野県19市選挙管理委員会連合会等の総会・研修会等が中止となりました。  
 本年は、任期（4年）満了による選挙管理委員・選挙管理委員補充員の交代がありました。

- (1) 選挙管理委員 4名
- (2) 選挙管理委員会定例会 12回開催
- (3) 選挙管理委員会臨時会 5回開催

### 上記の評価と課題等

各種選挙の執行に備え、公正・公平で正確な選挙事務を行うことができるよう準備を行いました。  
 研修会等が中止となり、選挙事務の事例研究や他市等の先進的な取組などの情報収集等が得られにくく、知識やノウハウの習得が困難でした。

令和4年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	88
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	明るい選挙推進費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
684,000	516,255	0	167,745	75.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市明るい選挙推進協議会の主催により、市内小中学校、高等学校を中心に「明るい選挙推進ポスターコンクール」の作品を募集し、市審査会を経て県審査会へ出展しました。

県審査へ出展した45作品に市の入賞作品4点を加えた49作品は市役所ロビーに展示し、広く市民の方へも公開しました。

- (1) 明るい選挙推進協議会委員 8名
- (2) 明るい選挙推進ポスターコンクール応募状況（合計 10校 391点）  
（内訳：小学校 8校 350点、中学校 2校 41点）

中信四市（安曇野市・松本市・塩尻市・大町市）合同として、新たに有権者となる高校生への啓発活動とし各市内在校高校生への選挙啓発を目的に選挙管理委員と高校関係者と懇談を行い、啓発物品を配布しました。

- (1) 配布先 豊科高校・南安曇農業高校・穂高商業高校・明科高校
- (2) 啓発物品 選挙啓発チラシ、啓発物品（蛍光ペン）1,740本
- (3) 決算額 181,830円

児童・生徒会選挙時に実際の選挙で使用する投票箱・記載台の貸し出しを行いました。

- (1) 貸出状況 小学校1校・中学校3校・高等学校1校

令和3年4月25日執行予定の参議院長野県選出議員補欠選挙では、若者の選挙啓発として期日前投票の受付事務を18、19歳の学生10名に体験してもらうため、事前に選挙の基礎知識の講習も実施しました。

### 上記の評価と課題等

将来の選挙者層となる児童、生徒に対し、ポスター募集や模擬投票を行うことで選挙に関心を持ってもらうだけでなく、明るい選挙実現の一助とすることができました。

中信四市共同選挙啓発においては、啓発物品を配布し、併せて期日前投票所の案内や学校長、学生との懇談を行い、新有権者となる高校生に対して選挙啓発を行うことができました。

全国的に投票率は低下傾向にあり、選挙制度を正しく理解する主権者教育の推進や、若年層への選挙啓発運動を通じて各種選挙への投票参加を促すことがより一層求められて来ています。

令和4年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	88
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	衆議院議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102550	衆議院議員選挙費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
47,747,000	47,737,862	0	9,138	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,782,087		衆議院議員選挙委託金	45,782,087		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

解散に伴う第49回衆議院議員総選挙・第25回最高裁判所裁判官国民審査の執行管理を行いました。衆議院議員の任期満了年と同じ年に総選挙が行われるのは2009年以来12年ぶりとなり、任期満了以降に総選挙が執行されるのは、現行の日本国憲法下では初めてとなりました。選挙執行日が直前まで定まらず、突然の解散（令和3年10月14日）による選挙となり、公示日までの期間が著しく短かい中で安曇野市長選挙・市議会議員一般選挙の執行と並行してと事務を進めることとなりました。

公示日	令和3年10月19日
期日前投票期間	令和3年10月20日～令和3年10月30日まで（11日間）
投開票日	令和3年10月31日
当日有権者数※	男39,312人 女42,204人 計81,516人
投票者数※	男22,585人 女23,124人 計45,709人
投票率※	男57.45% 女54.79% 計56.07%

※小選挙区

### 上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、公営ポスター掲示場の設置、投開票事務等を公正・公平に実施することができました。選挙期日の決定から投開票日までの期間が著しく短期間でありましたが、投票管理者・職務代理者・立会人、また多くの職員の協力を得て、正確な選挙事務を行うことができました。

令和4年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	88
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	04	参議院議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	1120103	参議院議員（補欠）選挙費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
42,980,000	42,973,467	0	6,533	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,615,021		参院議員選挙委託金	42,615,021		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

参議院議員 羽田 雄一郎氏の逝去（令和2年12月27日）に伴う、長野県選出議員補欠選挙の執行を行いました。

選挙準備期間が複数年度に跨るため、一部の経費については債務負担行為により執行しました。なお、この選挙で当選した者の任期は、前任者の残任期間（令和7年7月28日）となります。

公示日	令和3年4月8日
期日前投票期間	令和3年4月9日～令和3年4月24日まで（16日間）
投開票日	令和3年4月25日
当日有権者数※	男39,447人 女42,252人 計81,669人
投票者数※	男16,749人 女17,355人 計34,104人
投票率※	男42.46% 女41.07% 計41.74%

### 上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、公営ポスター掲示場の設置・保守等のための契約、投開票事務等の準備を着実に遂行できました。

新型コロナウイルス感染対策防止策に努めつつ、正確で迅速な執行が図れるよう事務の適正化、効率的な人員配置等に努めました。

令和4年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	90
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	07	市長・市議会議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0110515	市長・市議会議員選挙費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
82,365,000	82,356,267	0	8,733	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000,001	左記の内訳	その他雑入(選挙管理委員会事務局)	1		
		安曇野市長選挙供託金	1,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

任期(4年)満了に伴う安曇野市長選挙・安曇野市議会議員一般選挙の執行管理を行いました。

任期満了日	令和3年10月22日
告示日	令和3年10月10日
期日前投票期間	令和3年10月11日～令和3年10月16日まで(6日間)
投開票日	令和3年10月17日

#### 【安曇野市長選挙】

立候補者：3名

当日有権者数	男39,071人 女41,964人 計81,035人
投票者数	男21,631人 女23,421人 計45,052人
投票率	男55.36% 女55.81% 計55.60%

#### 【安曇野市議会議員一般選挙】

定数：22名

立候補者：28名

当日有権者数	男39,071人 女41,964人 計81,035人
投票者数	男21,632人 女23,419人 計45,051人
投票率	男55.37% 女55.81% 計55.59%

### 上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、立候補届出受付事務、公営ポスター掲示場の設置、投開票事務、選挙会等を公正・公平に実施することができました。  
 投開票日当日は、投票管理者・職務代理者・立会人、また多くの職員の協力を得て、正確な投開票事務を行うことができました。  
 今後とも投票事務、開票事務の見直しを図り、効率的な人員配置等の改善を進めていきます。

# 監査委員事務局

令和4年度	
部	監査委員事務局
課	監査委員事務局
係等	監査委員事務局

決算書 ページ	92
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	06	監査委員費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	監査委員費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102640	監査委員事務局			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
27,676,000	25,911,240	0	1,764,760	93.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

監査等の実施状況は次のとおりです。

- 1 例月出納検査  
地方自治法第235条の2第1項の規定により例月出納検査を実施（年12回）
- 2 決算審査及び基金運用状況審査  
地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により、決算審査及び基金の運用状況審査を実施（令和3年6月1日～8月2日）
- 3 地方公共団体財政健全化判断比率等審査  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、健全化判断比率審査及び資金不足比率審査を実施（令和3年7月1日～8月2日）
- 4 定期監査  
地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による監査であり、市の財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、また、市の経営に係る事業の管理が、合理的かつ効率的に行われているかどうかを主眼にして実施（令和3年10月1日～12月28日）
- 5 財政援助団体等監査  
地方自治法第199条第7項の規定により、財政援助団体等監査の対象となる団体について実施（令和3年12月27日～令和4年3月16日）

監査対象団体：安曇野市農業再生協議会

### 上記の評価と課題等

監査計画に基づき各種監査を実施し、その結果の報告・公表を行い、市の事務等の改善に寄与しました。  
今後も都市監査委員会等で開催する研修会に参加し、有効的な監査等の実施に努めます。

# 公平委員会事務局



令和4年度	
部	公平委員会事務局
課	公平委員会事務局
係等	公平委員会事務局

決算書 ページ	92
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	07	公平委員会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	公平委員会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102650	公平委員会事務局			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
295,000	287,500	0	7,500	97.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 公平委員会委員 3人
- 公平委員会事務局 2人（議会事務局併任）
- 共同設置する団体 5団体（安曇野市、穂高広域施設組合、安曇野松筑広域環境施設組合、安曇野・松本行政事務組合、安曇野市・松本市山林組合）
- 公平委員会の活動状況
  - 公平委員会 9回開催 [256,500円]
  - 勤務条件に関する措置の要求の状況 なし
  - 不利益処分に関する審査請求の状況 1件
  - 職員からの苦情の処理の状況 2件
  - 研修会等への参加 [0円]  
新型コロナウイルス感染症の影響から、全国公平委員会連合会等の総会は書面開催、研究会は中止となりました。
- 地方公務員法第53条に基づく職員団体の登録数 2団体  
（安曇野市教職員組合、安曇野市職員労働組合）

### 上記の評価と課題等

苦情相談、審査請求がありましたので、公平委員会で協議いただきました。  
今後、円滑な審議・審査のために例規の整備を進めます。

研究会等の中止により公平委員の事例研究等の機会が減少したため、法令・事例等の情報を整理し、情報提供を行います。

# 会計課

令和4年度	
部	
課	会計課
係等	出納係

決算書 ページ	70
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	04	会計管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102240	会計管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,721,000	8,362,024	0	358,976	95.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,301,100		財務会計処理実費徴収	1,300,000		
		会計雑入	1,100		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ① 資金の保管及び運用

歳計現金、歳入歳出外現金は、ペイオフ対策として指定金融機関等の決済用預金（無利息普通預金）で保管し、比較的余裕のある際に一部を短期定期預金により運用しました。

基金は、資金運用方針に基づき、全体を定期預金（96億円）と債券（31.3億円）にて運用し、運用収益（31,139千円）は、各基金へ配分しました。

また債券は地方債と国債をそれぞれ5億円新規購入しました。

歳計現金が不足した4月1日から5月28日まで22億円、2月9日から3月31日まで20億円を財政調整基金から繰替え運用しました。

各庁舎や施設等では、窓口収納用につり銭用現金を保管しています。（44箇所・1,479千円）

10月下旬から11月にかけて、出先機関26か所のつり銭確認を実施、10月21日の穂高会館、堀金総合体育館、堀金公民館では抜き打ちの確認を行いました。いずれの施設においても、「安曇野市公金等現金取扱（窓口収納）マニュアル」に沿った取り扱いを確認しました。

2月～3月にかけて、地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定・指定代理金融機関の検査を行い、いずれも適正に処理されていることを監査委員に報告いたしました。

#### ② 審査・出納事務

財務会計の手引きの内容等に準じて収入支出の審査出納事務を行い、出納閉鎖後には、決算書の調製を行いました。また、4月・11月には新規採用研修会、7月1日と2日には予算事務担当者と担当係長を対象に会計事務講習会を開催し、適法かつ適正な支払い事務及び調定起票となるよう周知を行いました。

#### ③ 備品台帳、指定物品管理事務

備品台帳の内容と実情が合っているか確認のうえ、所管換えや登録漏れ、廃棄のデータ更新を行いました。市共通使用封筒や文書保存ファイル等を一括印刷発注し、払い出しを行いました。

#### ④ 財務会計システムの更新

10月には財務会計システムの更新を実施しました。

11月からは、公共料金明細事前通知サービスを導入し、公共料金の口座振替払いについて、口座引き落とし払い方式に変更する事務改善を行いました。

### 上記の評価と課題等

適正な公金の管理・運用・執行ができ、スムーズな会計事務処理となるよう、担当課への指導、講習会等を行い、職員の意識、能力の維持向上を図ります。

11月から導入した公共料金明細事前通知サービスにより、公共料金の支払いを口座引き落とし払い方式に変更したことで、全庁的な伝票起票事務の負担軽減を行うことができました。引き続き効率的な事務処理のための情報収集に努めます。

# 政策部

令和4年度	
部	政策部・市民生活部・商工観光スポーツ部
課	政策経営課・移住定住推進課・スポーツ推進課
係等	企画担当・移住定住推進係・スポーツ推進担当

決算書 ページ	72
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102320	企画総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
40,552,000	37,850,724	0	2,701,276	93.3%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
15,667,200	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	211,200	森と人いきいき助成金	5,000,000
	土地利用規制対策交付金	38,000		
	ふるさと寄附基金繰入金	8,000,000		
	元気づくり支援金	2,418,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 実施計画（2022-2024）の策定

実施計画は、直近の行政評価の結果や各種個別計画の進捗、社会経済情勢等を踏まえた上で、総合計画の目標達成に向けた3か年計画として策定しました。また、今回の策定にあたっては、地域課題に加え、国際的・社会的な課題解決も含め検討するため下記事項を策定方針としました。

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応（重点施策：生活困窮者への支援）
- (2) SDGsへの対応（重点施策：自然環境の保全、地球温暖化対策の推進、学校教育の充実）
- (3) 激甚化する災害への対応（重点施策：防災体制の推進、治山・治水事業の推進）
- (4) 市の課題（重点施策：障がい者福祉の充実、出産・子育て支援の充実、公共交通の充実）

#### 2 行政評価の実施

行政評価は、事務事業評価、施策評価、政策評価に加え、市民意識調査により総合的に点検し、その結果を公表しました。また、行政評価の結果は、実施計画策定にあたっての基礎資料としました。

#### 3 総合戦略の効果検証

人口減少・高齢化社会に対応するための計画、「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた29項目の成果指標について効果検証を実施しました。

#### 【効果検証の結果 評価対象：R2年度】

	A評価 100%達成	B評価 80%達成	C評価 60%達成	D評価 60%未満	E評価 測定不能
新たな雇用を生み出す	4	2	0	2	0
移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	2	2	0	2	1
安心して子育てできるまちをつくる	1	1	0	2	2
安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	5	2	0	1	0
計	12	7	0	7	3

総合戦略は、現在策定中の「第2次安曇野市総合計画 基本構想 後期基本計画」への統合を予定しています。統合にあたっては、コロナ禍や環境施策への意識の高まりなど市を取り巻く環境変化を的確に捉え、必要な見直しを行います。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102320	企画総務費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 自転車活用推進事業【決算額：15,651,106円】

##### (1) 自転車を活用した健康づくり実証実験

3年間の実証実験の最終年度となる令和3年度は34人が参加しました。参加者には元オリンピック選手によるサイクリング指導や松本大学の運動指導、栄養指導を実施し、年2回の体力測定と活量計のデータ分析を行いました。

検証結果によると最高血圧の低下や前屈、脚伸展筋力などの項目において顕著な改善が見られました。

##### (2) サイクリングコース設定

令和2年度から順次サイクリングコースの整備を行っています。

令和3年度はBコースに矢羽根や案内標識の設置を行いました。

##### (3) マウンテンバイクコース設定

令和4年4月のオープンに向け、堀金烏川の啼鳥山荘周辺に3つのコース（初級者コース、クロスカントリーコース、ダウンヒルコース）を整備しました。

##### (4) 安曇野市自転車活用推進計画の策定

安曇野市の特徴を生かした自転車活用の拡大を図るため、安曇野市自転車活用推進計画を策定しました。

#### 5 移住・定住促進事業【決算額：3,816,277円】

##### (1) 移住・定住促進事業

令和3年度に県外から移住した方のうち、おためし住宅や移住セミナーなど、市が何らかの移住サポートで関わった移住者は、22世帯42人でした。（前年比 21世帯減 15人減）

新型コロナウイルス感染防止のため、移住体験ツアーは中止としましたが、オンラインによるセミナーを実施しました。

また、令和3年度から新規でオンラインによる個別相談を開始し、28件の相談に庁内連携して対応しました。

なお、移住に関わるサポート実績は次のとおりです。

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
おためし住宅利用者（延べ人数）	126	105	48
移住相談者数（延べ人数）	64	122	135

※おためし住宅は、令和3年4月25日から9月30日までと令和4年1月18日から3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大により利用を中止しました。

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談会・セミナー（人数）	49組76人	40組49人	39組52人
体験会（人数）	33	中止	中止

##### (2) 結婚相談事業業務委託

市商工会に委託し、長野県が運営するながの結婚マッチングシステム（令和4年1月からマッチングアプリ「NAGANO ai MATCH」にリニューアル）の活用やイベント開催により、男女の出会いの機会を設ける取組みを行い、少子化問題の解消に努めました。

- ・イベント開催回数 1回（12月） カップリング成立7組
- ・婚姻報告5組

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102320	企画総務費			

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 6 地域振興
- (1) 電源立地地域交付金（歳入） 決算額10,948,000円(充当先：認定こども園管理費)
- (2) 市町村振興協会交付金（歳入）
- ①基金交付金（サマージャンボ） 決算額12,531,802円(充当先：図書館費)
- ②市町村交付金（ハロウィンジャンボ） 決算額17,545,890円(充当先：図書館費)
- (3) あづみ野テレビ株式会社出資配当金(歳入) 決算額512,500円(一般財源)
- (4) 松本山雅関係  
ホームタウンデー 令和3年10月10日（日）栃木戦 @サンプロアルウィン  
実施内容：抽選会、ボールゲーム（参加者に市PRグッズプレゼント）
- 7 広域行政  
第38回中信四市市長懇談会 実施日 令和4年2月9日（火）

#### 上記の評価と課題等

<自転車活用推進事業>  
令和3年度は、マウンテンバイクコースと2つのサイクリングコースの整備を行いました。また、安曇野市の特徴を生かした自転車の活用を拡大するため、自転車活用推進計画も策定しました。  
今後は、観光や教育、交通安全の部署等と連携を図りながら、多くの方々に利用していただけるように積極的に整備した施設のPRを行います。  
自転車活用推進計画については、策定にとどまらず進捗管理を行います。

<移住・定住促進事業>  
コロナ禍で、計画していた首都圏でのセミナーや安曇野の暮らしを体験していただくツアー、おためし住宅の利用を中止しました。  
その一方で、新たな取組みとして、オンライン個別相談を行いました。初年度は28件の相談に応じ、海外に住む方からの相談にも応じました。  
行政サポートによる移住者は半数近くに減ってしまっていますが、県が発表する人口動態は、社会増が続いており、これまでの取組みが一定の効果を上げているものと考えられます。  
今後も、安曇野市のPRと若者の定着に向けた取組みを検討していきます。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	74
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0102330	公共交通事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
84,831,000	84,703,477	0	127,523	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,193,637		新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	1,193,637		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公共交通事業

(1) デマンド交通「あづみん」、定時定路線の運行

ア デマンド交通「あづみん」

「あづみん」は旧堀金村で実施していたデマンド交通「うららかー」の運行形態を引き継ぐ形で、合併後の平成19年9月から運行が開始されました。1乗車の運行範囲に制限はあるものの「自宅」から「目的地」まで送迎可能で、バス停等までの長距離歩行をする必要がないため、主に高齢者や障がい者の方から多く利用をいただいています。

平日の昼間、計14台のデマンド車両が市内のほぼ全域を網羅し、交通空白を作らないよう稼働しています。運行は市内タクシー事業者、予約等運行管理は市社会福祉協議会に委託をしています。

\* 令和3年度 運行実績等

・利用者延べ人数78,975人（1日平均326人） 前年比3.9%増

・あづみん運行費用98,088,582円

（内訳：運賃収入16,432,300円、国庫補助金15,992,000円、市負担金65,664,282円）

・新型コロナウイルス感染症対策として車両に乗車する人数を制限したなかでの運行となりました。

○新型コロナウイルス感染症対策として実施した補助事業

・感染が疑われる方専用車両購入補助 1件 1,082,000円

・デマンド車両への燃料費補助（12月～3月分）交通事業者3社 315,548円

イ 定時定路線

朝夕の通勤通学時間帯に、「あづみん」車両等をを活用して定時定路線バスを運行しています。運行区間は、穂高駅明科駅路線、豊科駅田沢駅路線、明科駅潮沢地区（令和3年7月2日で廃止）の3路線、主な利用者は、市内の高校に通う学生や通勤客です。

デマンド交通と同様に運行は市内タクシー事業者に委託しています。

\* 令和3年度 運行実績等

・利用者延べ人数10,444人（1日平均43.2人） 前年比32.3%増

・定時定路線運行費用10,271,470円

（内訳：運賃収入1,065,900円、市負担金9,205,570円）

・令和3年7月5日以降、路線延長（各高校前まで）及び朝夕の増便により利用者が増加しました。



予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0102330	公共交通事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (2) 地域公共交通協議会の会議等
- ア 定例総会  
年2回の総会を開催し、市民要望のバス導入に関する部会検討経過報告、デマンド運行の国庫補助金申請にかかる計画の審議、中房線等市内運行路線の時刻表、運賃等の設定等について協議・決定を行いました。
- イ 部会の開催  
年2回開催し、市民要望の巡回バス導入に関する意見の取りまとめ、定時定路線の令和3年7月以降の新運行、市地域公共交通計画の策定について検討を行いました。
- ウ 負担金  
安曇野市地域公共交通協議会への負担金額 75,878,193円  
(内、デマンド交通等運行費用74,869,852円 協議会総会会議費等1,008,341円)
- (3) その他
- ・市定時定路線バス時刻表の更新
  - ・デマンド交通予約システムの更新に向けた業者選定（公募型プロポーザル）を実施
- 2 公共交通連携事業
- (1) 篠ノ井線松本地域活性化協議会  
本市はこの協議会の事務局を務めています。令和3年度はJR篠ノ井線の利用促進に向けた事業として、コロナ禍でも安心して電車を利用してもらえるよう「安全安心キャンペーン（除菌アルコールティッシュの配布）」の実施、コロナ収束後の来訪につなげるためのオンラインツアー体験WEBサイトの構築を実施しました。
- (2) 大系線利用促進輸送強化期成同盟会  
市民タイムス広告掲載、テレビ特別番組協賛、JRへの要望活動を行いました。

### 上記の評価と課題等

デマンド交通あづみんについては、コロナ禍の情勢を踏まえ、乗車人数制限を行うなど安全面を考慮した運行を行いました。

高齢化や免許返納に伴いデマンド交通の利用が今後増加する見込みであることから、その受け皿として利用いただけるよう運行体系の充実を図っていきます。

市地域公共交通協議会部会では、主に市内巡回バス運行の可能性の検討を進めてきました。今年度はこれまでの検討の結果を踏まえ、市内巡回バスは運行しない、との意見を取りまとめた報告書を協議会へ提出し、承認をいただきました。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	80
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102430	国内友好交流事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
775,000	562,221	0	212,779	72.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和3年度は、前年度に引続き新型コロナウイルスの影響により、直接往来を伴う交流のほとんどが中止となりました。このような中ではありましたが、以下のとおり事業に取り組みました。

#### （1）友好都市関連協議会へ負担金を支出

- ・ 武蔵野市交流市町村協議会 100,000円
- ・ 三郷・安曇野友好都市交流推進協議会は、令和3年度の負担金はありませんでした。

#### （2）埼玉県三郷市 ららぽーと新三郷で「安曇野市観光物産展」の開催支援

アフターコロナにおける需要回復を見据えた安曇野PRの取組みとして、友好都市である埼玉県三郷市の大型商業施設「ららぽーと新三郷」での「安曇野市観光物産展」開催を仲介・支援しました。

#### （3）「ビンゴでGO！友好都市～ビンゴ&オンラインで友好都市の名所めぐり～」を開催

令和4年2月26日（土）に、安曇野市の友好都市同士では初めてとなるオンライン交流事業を開催しました。

イベントには、東京都江戸川区、埼玉県三郷市、奈良県三郷町、神奈川県真鶴町、千葉県東金市の5都市から協力をいただき、参加者も6都市から42組が集まりました。当日はビンゴゲームを楽しみながら、動画や画像を使って互いのまちの名所を紹介し合い、ビンゴ当選者には各都市の名産品を贈呈しました。

#### （4）オンライン会議等の開催

- ・ 第30回武蔵野市交流市町村協議会（サミット）（令和3年7月8日）
- ・ 三郷・安曇野友好都市交流推進協議会事務担当者会議（令和3年12月17日）
- ・ 友好都市首長等オンライン懇談会  
（令和3年9月24日…三郷市・三郷町、9月30日…東金市、10月4日…武蔵野市）

### 上記の評価と課題等

コロナ禍でも可能な交流として初めて取組んだオンライン交流は、参加者はもとより参加自治体の担当者からも大変好評で、新たな交流手法として大きな可能性を感じました。

なお、組織改編に伴い、令和4年度から青少年交流事業は教育部子ども家庭支援課へ、物販対応は農林部農政課へ業務を移管します。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	80
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
344,000	325,519	0	18,481	94.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
311,643		青少年交流事業支援基金利子	11,643		
		国際交流基金利子	30,457		
		国際交流基金繰入金	269,543		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ● 市内国際交流団体への補助事業

以下のとおり、国際交流団体へ補助金を交付しました。

補助団体：安曇野・クラムザッハ友好会（補助金額：300,000円）

同友好会では、姉妹都市のオーストリア共和国クラムザッハと交流や同国の文化等について市民へPRするため、令和3年11月14日（日）に「第3回安曇野クラムザッハ友好市民コンサート」と「クラムザッハスケッチ展」を市と共催で開催しました。また、友好会で結成したジュニアアンサンブル「チロル」がホストタウン事業の一環で実施した応援事業「Sing and Unite」に参画し、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場したオーストリア選手に、音楽を通じてエールを届けました。

### 上記の評価と課題等

東京2020オリンピック・パラリンピックについては、海外観客受入が断念されたことから、令和3年度（2021年度）においてもクラムザッハ訪日団の招聘を見送ることとなりました。

慣例として、次回はクラムザッハ側を日本へ招待する順番となっているため、状況を見ながら徐々に交流を再開していきたいと考えています。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	80
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102442	ホストタウン推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
873,000	545,158	0	327,842	62.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
545,000		ふるさと寄附基金繰入金	545,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東京2020オリンピック・パラリンピックの無観客開催が決まったことから、予定していた同大会カヌー競技の市民応援ツアーは中止しました。その他の取組みは以下のとおりです。

#### (1) 小中学校での啓発

##### ●パネル巡回展の実施

ホストタウンの取組みや、市が応援に力を入れているカヌー競技について紹介するパネルの巡回展を、令和3年4月19日～6月7日まで市内の全小中学校で開催しました。

##### ●学校給食でオーストリアのメニューを提供

ホストタウン相手国であり姉妹都市のクラムザッハがあるオーストリア共和国に対する関心を高めてもらうため、市内全小中学校の給食で5月と7月の2回、オーストリアのメニューを提供しました。給食提供に合わせ、ホストタウンを紹介するビデオを上映したほか、オーストリアを紹介するチラシも配布しました。

(1回目…5月12日(全校)、2回目…6月29日(中部)・7月7日(堀金・北部)・7月12日(南部))

\*カッコ内は各給食センター名)

#### (2) ラフティング体験の実施

安曇野リバープレイヤーズクラブと安曇野市の共催で、令和3年6月27日(日)に「ラフティング体験」を開催しました。イベントには、35人の定員に対し474人から応募があり、ホストタウン事業の目的の一つである、ウォータースポーツを通じて安曇野の恵まれた水環境を肌で感じる場を提供することができました。

#### (3) ホストタウン横連携事業

岩手県矢巾町、栃木県那須塩原市の2市町と連携し、オーストリアの応援活動に取組みました。各市町の特産品を使ったおもてなしメニューの開発や、音楽動画による応援、オーストリアと日本の文化を紹介し合う絵本の作成、といった「食・音楽・絵本」の3分野で取組みを実施しました。また、パラリンピックの水泳競技に出場したアンドレアス・オネア選手のオンライン応援、オーストリア大使や同国パラリンピック委員会幹部を招いてのオンライン事業報告会にも参加しました。本事業の食の取組みには市内の生産者5者が、音楽交流には安曇野クラムザッハ友好会のジュニアアンサンブル「チロル」とクラムザッハの民族音楽団「ガンガルビッヒラー」が、絵本の取組みには三郷中学校の美術部からそれぞれ協力をいただきました。

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルスの影響で関連事業の多くを中止せざるを得ない状況ではありましたが、姉妹都市があるオーストリアに対する市民の関心を高め今後の交流促進に寄与することができました。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	90
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	統計調査総務費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
84,000	53,708	0	30,292	63.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,900	左記の内訳	統計調査員確保対策事業委託金	36,900		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

・各種施策に利活用することを目的として、また今年度は児童・生徒等の情報教育に役立ち市民に身近な資料とするため、統計図表（グラフやイラスト図を掲載）と統計資料の2部構成に変更し、「2021安曇野市の統計」の冊子印刷及びホームページの掲載を行いました。また、長野県の統計書等に倣い、できる限り最新年次のものを掲載するように努め、年次推移は最近5か年、あるいは特定年次を列記しました。

・国が行う統計調査の実施にあたり、調査員・指導員の推薦を行うとともに、調査を円滑に実施するための登録調査員(47名)への登録意向確認及び、次年度の予定等を周知しました。

・2022年度に実施される各種統計調査に向け、多くの調査員を確保するため広報・ホームページによる周知及び、各支所窓口・ながの電子申請による募集を行い、3名の応募・登録がありました。

#### (1) 安曇野市の統計

「2021 安曇野市の統計」を作成し、市ホームページ等で公表するとともに冊子版を印刷し、市内図書館、文書館、議員等へ配布しました。

#### (2) 調査員の確保対策

ア 登録調査員の名簿の整備等

イ 統計情報研究開発センター発行冊子「統計調査員のしおり」の送付(47名)

ウ 令和3年度末現在の登録者(47名)

※令和2年度末(48名)から登録取消(8名)、新規登録(7名)

※県の登録基準は46名(経済センサスー基礎調査区数：92調査区の1/2)

### 上記の評価と課題等

令和2年農林業センサス及び令和2年国勢調査人口等基本集計結果など、今年度公表された結果から市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表しました。これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されています。また、登録調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進しました。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	90
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
19,000	17,624	0	1,376	92.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,376		学校基本調査委託金	17,376		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

学校に関する基本的事項を調査し学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、令和3年5月1日を調査基準日として実施しました。

- (1) 所管省庁 文部科学省
- (2) 調査周期 毎年
- (3) 調査対象 市内の小中学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(1園)、幼保連携認定こども園(1園)、安曇野市教育委員会
- (4) 調査方法 教育委員会を通じて、調査協力依頼及び関係書類を配布（調査は全てオンライン回答）
- (5) 調査基準日 令和3年5月1日現在  
※不就学学齢児童生徒調査については前年度1年間
- (6) 調査内容 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、卒業後の進路状況等

### 上記の評価と課題等

調査結果は学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

令和4年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	90
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102720	経済センサス			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,131,000	4,127,216	0	3,784	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,127,110	左記の内訳	経済センサス活動調査委託金	4,127,110		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・令和3年経済センサスー活動調査は、事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的として実施しています。
- ・調査の事前準備として調査周知広報、指導員4名・調査員43名の県推薦事務、調査客体等配布資料の準備、調査員説明会の開催を行いました。
- ・調査の実施にあたり、指導員・調査員・調査客体からの問合せ対応、回収された調査票の審査・提出を行いました。

- (1) 所管省庁 総務省及び経済産業省
- (2) 調査周期 5年周期
- (3) 調査対象 全産業分野における事業所及び企業(日本標準産業分類大分類Aー農業・林業に属する個人経営の事業所、Bー漁業に属する個人経営の事業所、Nー生活関連サービス業・娯楽業のうち小分類792ー家事サービス業に属する事業所は除きます。)
- (4) 調査方法 調査員を通じて、調査協力依頼及び関係書類を配布(調査回答方法はオンライン・郵送回答及び調査員回収)します。
- (5) 調査基準日 令和3年6月1日現在  
※調査事項のうち売上(収入)金額、費用等経理事項は令和2年(1年間)の値を報告
- (6) 調査内容 ①甲調査(地方公共団体の事業所以外の事業所)  
〈基礎項目〉  
名称及び電話番号、所在地、経営組織、従業員数、主な事業の内容 など  
〈経理項目〉  
資本金等の額及び外国資本比率、売上(収入)金額、費用総額及び費用項目、事業別売上(収入)金額など  
②乙調査(地方公共団体の事業所)  
〈基礎項目〉  
名称、所在地、職員数、主な事業の内容

### 上記の評価と課題等

調査結果は、各種法令に基づく利用、国や地方公共団体の各種行政施策への利用、各種統計調査の母集団情報としての利用や民間企業の経営戦略などに利用されます。

令和4年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書 ページ	60
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102060	秘書・渉外			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,765,000	3,027,204	0	1,737,796	63.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 市長表彰の実施

市功労表彰式を1月4日（火）に実施し、市表彰規則に基づき表彰状を交付しました。  
また、市政に協力し、顕著な功績のあった者に感謝状を交付しました。

区分	表彰状	感謝状
令和3年4月2日		1人（団体1）
令和3年5月17日		1人（団体1）
令和3年7月16日		1人（団体1）
令和3年11月10日		1人（団体1）
令和4年1月4日	17人（個人16・団体1）	9人（個人8・団体1）
令和4年1月9日		2人（個人2）
令和4年3月10日		1人（団体1）
計	17人	16人

#### 2 市長交際費の支出

市交際費支出基準に基づき、行政職務執行上において外部との交渉・交際を進める経費として支出しました。

慶弔費	399,615円
会費	27,000円
激励費	33,282円
計	459,897円



予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102060	秘書・渉外			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 各種市長会等への対応

各市との連絡協調を図り、市政の円滑な運営と地方自治の振興に努めるとともに、市政に関する課題を県及び国へ要望書として提出しました。

長野県市長会関係（通常会議5回・WEB会議2回）	7回
知事との懇談会・意見交換会（通常会議1回・WEB会議8回）	9回
副市長・総務担当部長会議（書面決議1回・WEB会議1回）	2回
北信越市長会総会（書面決議2回）	2回
全国市長会議（縮小開催）	1回

#### 4 市長定例記者会見の実施

市の主要事業他、市政全般の情報提供を行い、開かれた市政を目指すことを目的に、記者会見を11回開催しました。

#### 5 共催・後援の承認

市の共催及び後援に関する事務取扱要綱により、基準に基づいて公益性のあるものを承認しました。

共催	事業の企画又は運営に参画し共同主催者として事業の推進に当たること	35件
後援	事業の趣旨に賛同しその開催を援助すること	88件

### 上記の評価と課題等

市長表彰については、引き続き多くの市民等の功績を称えるため、対象者の掘り起こしに努めていきます。

令和4年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書 ページ	68
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針2 広報・広聴の充実
	事業	0102210	広報費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
43,610,000	43,374,321	0	235,679	99.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,842,400		広告料収入	2,842,400		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 広報紙の発行、配布

市政情報・市からのお知らせなどを掲載した「広報あづみの」を原則各月の第3水曜日に発行しました。昨年度まで発行していた「広報あづみのお知らせ版」を廃止し、情報の集約化と経費削減を図りました。

名称	発行回数	ページ数	ページ単価	総額
広報あづみの	12回	平均32ページ	35,000円/頁(税抜き)	14,476,000円

広報紙や議会報等は、新聞折り込みと直接郵便ポスト等に投函するポスティングにより各世帯に配布しました。配布事業費は1件当りの基本単価が20円（税抜き）で総額では13,712,930円を支出しました。

#### 2 インターネットを活用した市政情報等の提供

ホームページは、各課で掲載する情報を市内外に発信しました。ホームページのトップページアクセス数は689,026回（R2：696,494回）、訪問者数は1,299,802人（R2：1,595,327人）と前年度より減少しましたが、無料のスマートフォン用広報紙閲覧アプリ「マチイロ」の登録者は2,361人（R2：1,852人）、ツイッターのフォロワー（登録者）は5,323件（R2：3,944件）となり、大幅に利用者が増加しました。また、新型コロナ拡大に伴う市長メッセージや定例記者会見などを収録し、YOUTUBEによる動画配信の充実化を図りました。

#### 3 コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の提供

唯一の音声による情報伝達手段として、コミュニティエフエムを活用した市政情報番組の放送を実施しました。「広報あづみの暮らしのガイド」は、新型コロナワクチン接種情報などで積極的な活用を図りました。「まちづくり多士済々」は、職員や市民が出演し、市施策や地域の取り組みをPRしました。また、防災ラジオに自動起動機能が追加されたことに伴い、設定と利用の推進を図りました。放送業務委託料として総額7,920,000円を支出しました。

① 広報あづみの暮らしのガイド（5分番組）（月～日曜、7:55/11:55/18:55）

② まちづくり多士済々（水曜、11:00～12:00「中柴香苗の水色の時間」のコーナー中）

#### 4 広告事業

広報紙の印刷経費やホームページの維持管理に係る経費の財源確保、また、地域経済の活性化並びに市民サービスの向上を図るため、広報紙及びホームページへの広告掲載事業を導入しています。広告料は2,842,400円の収入となりました。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針2 広報・広聴の充実
	事業	0102210	広報費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 5 広聴事務

ホームページのお問い合わせフォームを利用したメール、「市長への提案」と題した郵送料着払いの郵便書簡などを秘書広報課でとりまとめ、理事者等への報告と情報共有を図りました。また、昨年につき、高校生と語る「市民と市長のふれあいミーティング」を7月27日に明科高校で開催し、地域の魅力発信や明科高校と地域の課題などについて意見交換しました。高校生の取り組みや懇談概要は広報紙に掲載し、市民と課題共有を図りました。また、市長と職員との懇談会を全6回（1月31日、2月16日、2月24日、3月9日、3月11日、3月22日）開催し、日ごろ市民と接する中で寄せられる声も踏まえながら、職員自身が政策について考えることなどを意見交換しました。

### 上記の評価と課題等

昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症に関わる情報発信を積極的に実施しました。具体的にはワクチン接種スケジュールについては、広報紙やホームページのほか、チラシ、ツイッター、コミュニティーエフエムの番組などによりは情報発信しました。また、感染拡大の注意喚起については、YOUTUBEの動画配信を積極的に活用しました。今後は、コロナ禍での広報活動の経験を活かし、動画やSNSによる広報の充実化を図ります。

令和4年度	
部	政策部・総務部
課	行革デジタル推進課・財産管理課
係等	行革デジタル推進担当・財産マネジメント担当

決算書 ページ	72
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102310	行政改革			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
195,000	135,000	0	60,000	69.2%		
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
0						

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 行政改革推進事務（委員等報酬：84,000円）
  - 第4次安曇野市行財政改革大綱・アクションプランの進捗状況について、委員会に報告
  - 事務改善に向けた取り組み、組織及び人員配置について、各課へのヒアリングを行い、業務内容と組織、住民サービスの視点から組織改編を実施しました。
  - (1) 危機管理課を市長直轄とし、「危機管理監」を配置  
身近でも起こりうる危機事案に対し迅速・的確に対処できる危機管理体制としました。
  - (2) 政策部：「行革デジタル推進課」の設置  
行政改革とデジタルトランスフォーメーション（DX）を共に効率良く推進させる為に、行政改革部門を情報システム部門に統合しました。
  - (3) 市民生活部：「移住定住推進課」の新設  
移住定住の推進と空き家・空き店舗の活用を一元化し、移住定住の促進と空き家対策との連携・強化を図ります。
  - (4) 商工観光スポーツ部の新設  
スポーツ振興と旅行観光とを組み合わせるスポーツ・ツーリズムに着目して、両部門の連携強化をするために統合して設置しました。
  - (5) 教育部：子育て及び子育て家庭支援業務を教育部に移管  
福祉と教育の両部門に分かれていた「子ども」に関する業務を統合して一貫した理念のもとに保育・教育を行います。
- 指定管理者制度導入事務（委員等報酬：51,000円）
  - 安曇野市公の施設指定管理者審査委員会の開催 2回
  - 指定管理者選定施設 公募 1施設 非公募 10施設 計 11施設
  - 現在の指定管理者指定状況 公募 34施設 非公募 46施設 計 80施設
- 公共施設再配置計画の進捗管理  
公共施設再配置計画の確実な履行に向け、関係課へのヒアリングを実施し、譲渡若しくは廃止とした施設については、地元を含め利害関係者等への早期の説明と合意形成に向けた取り組みを指導しました。  
向こう10年に譲渡若しくは廃止、改修を予定する施設及び建築後30年、60年の節目を迎える施設をまとめた「公共施設再配置計画10年計画（令和4年度版）」の更新・公表をしました。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102310	行政改革			

## その2

### 上記の評価と課題等

- 1 行政改革推進事務について、第4次大綱・アクションプランは策定期限のこともあり、デジタル時代の行政改革の方針に対応しているとは言い難い。国が示す「デジタルガバメント実行計画」や「自治体DX推進計画」、及び「安曇野市のDXの実行」に基づきDXを推進し、行政手続きの見直し等住民サービスの更なる向上に努めます。
- 2 指定管理者制度導入事務について、指定管理者の選定及びモニタリングを通じ、市民の利便性の向上に寄与できました。
- 3 公共施設再配置計画の進捗管理について、公共施設の譲渡若しくは廃止を行っていくには、地域住民や関係者などの理解を得るために早い段階から丁寧な説明を行い、合意形成を図っていく必要があります。

令和4年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	情報システム係

決算書 ページ	76
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
293,664,000	290,763,628	0	2,900,372	99.0%		
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
6,092,000		自治体中間サーバプラットフォーム更改事業補助金	1,064,000			
		個人番号カード利用環境整備費補助金	4,154,000			
		財務会計処理実費徴収	874,000			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 行政情報システムの適正な管理・運営を行い、安定稼働の維持に努めました。  
日々多様化・深刻化するセキュリティリスクに適切に対応し、ぜい弱性対策プログラムの適用などを実施し、情報セキュリティ事故防止に努めました。
- 内部情報系業務システム（財務会計システムなど）、第3次ネットワーク機器及びインターネット系システムの更新、L GWAN（内部情報）系パソコン513台の更新を行い、業務システムの信頼性、機能性、汎用性を高めました。
- 多様化・深刻化する情報セキュリティリスク対策として職員研修の実施及び情報セキュリティ内部監査を実施しました。  
職員研修は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、インターネットのe-ラーニングを活用した研修の実施を行いました。  
・情報セキュリティ研修 854人参加  
（内 マイナンバー事務取扱者 256人）  
・情報セキュリティ内部監査 5課の監査を実施
- 市民や旅行者の利便性向上及び災害時の情報通信手段の確保を目的とした公衆無線LAN利用について、管理運用を行いました。  
市内設置施設数（令和3年度末）情報政策系の設置箇所 17施設

### 上記の評価と課題等

最新の情報収集を行い、高度な情報システムの更新や対策を継続して推進します。  
また、情報セキュリティ対策や情報漏洩対策を継続的に行うため、職員研修の実施を推進します。

令和4年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書 ページ	78
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,668,000	2,182,398	0	485,602	81.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
127,237		厚生住宅使用料	84,000		
		厚生住宅使用料滞納繰越分	4,000		
		国際交流基金繰入金	39,237		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 人権尊重事業
  - (1) 人権啓発活動の実施  
本庁舎や公民館、貞享義民記念館でパネル展示、成人式等イベントで啓発活動を行いました。  
(10需用費238,821円)
  - (2) 人権特設相談所の開設  
人権擁護委員15人による人権特設相談所「人権よろず困りごと相談」が12回開設されました。  
(18負担金補助及び交付金【負担金】180,000円)
- 2 安曇野地区保護司会との「社会を明るくする運動」の実施と交付金交付
  - (1) 安曇野地区保護司会と連携し、「社会を明るくする運動」の啓発展示を行いました。
  - (2) 社会復帰や更生保護推進の啓発活動等に対し交付金を交付しました。  
(18同上科目【交付金】444,000円)
- 3 同和対策事業補助金の交付
  - (1) 同和問題の早期解消に取り組む部落解放同盟安曇野市協議会に補助金を交付しました。  
(18同上科目【補助金】190,694円)
- 4 多文化共生推進事業
  - (1) 市民団体と協働で、日本語deスピーチ大会、多文化共生意見交換会等を実施しました。  
(18同上科目【補助金】39,237円)
- 5 犯罪被害者支援の実施
  - (1) 犯罪被害者支援に役立てる取組み「ホンデリング」を実施しました。
  - (2) 古書655冊等の寄贈を受け、売上金の14,793円は全国被害者支援ネットワークへ寄付しました。

### 上記の評価と課題等

「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」が4月1日に施行となりましたので、今年度中に指標や具体策を盛り込んだ計画を策定し、市民一人ひとりが人権への理解を深め、お互いを認め合う心を持ち、全ての人が生まれながらにして持っている人権が守られる共生社会を目指します。

令和4年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書 ページ	82
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	14	男女共同施策費		基本施策	人権の尊重
	事業	0103220	男女共同推進費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,468,000	1,051,436	0	416,564	71.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,000		指定寄付金	20,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

第3次安曇野市男女共同参画計画に基づく事業実施と進捗状況の検証

#### 1 啓発活動

- (1) 若年層の性暴力被害予防月間パネル展 4月1日(木)～30日(金)
- (2) 育メン・家事メン フォト&エピソード 6月14日(月)～25日(金)
- (3) 企業訪問(株)アズミ村田製作所 9月29日(水)
- (4) 女性に対する暴力をなくす運動啓発 11月9日(火) プレイベント  
11月12日(金)～25日(木) パネル展示
- (5) カミジョウミカさんデザイン缶バッジ作成(作成は明科ふきぼこの家に依頼)
- (6) 貞享義民記念館 「安曇野から考える人権展」 12月7日(火)～24日(金)
- (7) 男女共同参画フォーラム2021の開催(主催:実行委員会) 7月17日(土)

#### 2 学習会

「離婚に関する知っておきたい法律セミナー」(講師 宮井 麻由子弁護士)  
令和4年3月9日(水) ※オンライン開催

#### 3 啓発広報紙「湧愛」の発行

14号発行 令和3年10月 15号発行 令和4年3月

#### 4 進捗状況の検証

令和4年度、多様性を尊重し合う共生社会づくり計画策定するにあたり、男女共同参画・多文化共生に関する意識等を把握するためのアンケート(対象:日本国籍市民2,000人、外国籍市民1,132人、事業所1,000か所)を実施しました。

### 上記の評価と課題等

「女性活躍推進法」「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」「働き方改革関連法」など、少子化や労働力不足への対応が急務な中、社会全体が「男女平等」から「社会進出」にシフトしてきています。「男女共同参画推進条例」から「多様性を尊重しあう共生社会づくり条例」への改正により、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識だけでなく、年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、多様性を認め合い、それぞれが自らの意思で生き方を選択でき、相互に尊厳と生き方を認め合える共生社会を目指します。



令和4年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書 ページ	82
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たったの経営方針
	目	15	人権同和推進費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
50,000	15,496	0	34,504	31.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 住宅新築資金等貸付元利金の償還（債権回収）事務
  - 督促、臨戸集金等により住宅新築資金等貸付元利金の返済を促しました。
  - 市債権管理条例に基づき、債権整理に取り組みました。
  - 令和3年度の返済額は1,128,000円となりました。
- 特定財源（住宅新築資金県補助金）について  
住宅新築資金県補助金277,000円は、徴収事務費として一般管理費へ充当しました。

### 上記の評価と課題等

債務者が高齢化し、返済能力が乏しい者が多数であります。相続人も債務を知らず、償還請求の説明に苦慮する場合があります。債務者が亡くなり、相続人全員が相続放棄している事例など、徴収が非常に困難な案件が存在しています。

# 市民生活部

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	62
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科地域事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
594,000	499,960	0	94,040	84.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科地域の区等の地域力向上を支援し、地域課題を自ら解決できる仕組みの構築を目指しました。また、市民との協働により地域の活性化を図るなど、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

#### 1 豊科地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整を行うとともに、地域課題を共有し解決のための検討を行いました。

(1) 地域区長会の開催（会議4回、出席謝礼 311,500円）

(2) 新型コロナウイルス感染防止のため視察研修は中止としましたが、研修会を開催しました。

#### 2 第42回あづみ野祭り代替事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため第42回あづみ野祭りは中止となりましたが、地域の伝統的なお祭りを継承していくことを目的として、広く市民から写真や物品等を募集して展示する写真展を市役所本庁舎で実施しました。

### 上記の評価と課題等

豊科地域区長会では新任研修や臨時区長会を開催し、課題についての検討や情報交換を行い、課題解決に向けた取組みへの意識が高まりました。今後も課題を共有し、その解決に向けた仕組みづくりの構築を図ります。

あづみ野祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。地域文化の継承や住民交流の場の減少など、コロナ禍における事業のあり方を検討する必要があります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	穂高地域担当

決算書 ページ	62
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102110	穂高支所費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
22,553,000	19,640,417	0	2,912,583	87.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
374,157		穂高支所雑入	154,237		
		コピーサービス料等	10,920		
		新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	209,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・協働のまちづくりの推進に向け、地域区長会を通じコミュニティー活動への支援を行いました。
- ・穂高地域における福祉と行政の拠点として、利用者の安全と利便性の向上に努めました。
- ・年間を通じ、穂高支所及び別棟大会議室の維持管理並びに施設周辺の環境美化に努めました。
- ・光熱水費の削減を図るため、節電・節水に努めました。
- ・来庁者や職員が気持ちよく利用できる庁舎管理に努めました。

#### 【穂高支所借地料】

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,466,600円	2,428,191円	1,947,375円

○主な事業内容・経費は次のとおりです。

#### 1 【穂高支所経費（光熱水費、管理委託料、施設修繕費）】

令和元年度	令和2年度	令和3年度
6,041,884円	4,543,069円	5,502,394円

#### 2 【燃料費（公用車ガソリン代、灯油代）】

令和元年度	令和2年度	令和3年度
167,531円	92,426円	67,049円

3 穂高納涼祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となり、補助金の支出はありませんでした。

### 上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、来庁者の皆様に、快適に施設利用をいただけたものと思います。

穂高地域区長（役員含む）の身近な相談窓口として、関係各課との連絡調整を行いました。地域区長会として、まちづくりに関する研修を実施しました。今後も継続支援に努めます。

職員のコスト意識及び改善意識の徹底を引き続き行います。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	三郷地域担当

決算書 ページ	64
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102130	三郷支所費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
23,600,000	21,805,991	0	1,794,009	92.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
221,220		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	82,500		
		三郷支所雑入	138,720		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・地域活動の拠点として、施設の適切な維持管理と安全管理を行いました。
- ・協働のまちづくりの推進に向け、地域区長会を通じコミュニティ活動への支援を行いました。

主な内容と経費は次のとおりです。

#### 1 三郷支所経費（施設修繕費、光熱水費、管理委託料）

令和元年度	令和2年度	令和3年度
10,052,080円	9,052,458円	10,096,170円

#### 2 公用車等の燃料費

令和元年度	令和2年度	令和3年度
155,708円	145,404円	188,659円

3 三郷支所敷地、駐車場の借地料 2,872,718円

4 ふるさと夏祭り補助金 560,000円

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、会場に人を入れずに花火打上のみ実施しました。

### 上記の評価と課題等

身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

複雑化・多様化する地域の課題に対して、地域区長会で課題の共有を図るとともに、課題解決に向けた市民主体の仕組みづくりを支援します。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	堀金地域担当

決算書 ページ	66
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102150	堀金支所費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
25,371,000	23,779,833	0	1,591,167	93.7%		
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
247,815		堀金支所雑入	82,815			
		新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	165,000			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・協働のまちづくりの推進に向け、地域区長会を通じコミュニティ活動への支援を行いました。
- ・支所、公民館、図書館の複合施設であり、堀金地域及び近郊の市民に交流の場、憩いの場として充実した行政サービスが提供できる施設を目指し、施設の保守と維持管理に努めました。

○主な内容・経費は次のとおりです。

#### 1 堀金庁舎経費（施設修繕費、光熱水費、管理委託料、借上料）

令和元年度	令和2年度	令和3年度
14,023,548円	14,787,046円	14,153,425円

#### 2 公用車、暖房等の燃料費

令和元年度	令和2年度	令和3年度
143,936円	185,649円	197,918円

#### 3 堀金庁舎敷地等借地料（2筆／2名） 1,821,658円

令和3年度から、支所南側駐車場が都市計画課から堀金支所へ移管となりました。

#### 4 堀金支所空調機改修事業 設計業務委託 2,585,000円

#### 5 ほりがね秋の振興祭り補助金

令和3年度は、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ほりがね秋の振興祭りが中止となったため、補助金の支出はありませんでした。

### 上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、来庁者に、快適に施設利用をいただけたものと思います。今後も管理経費の節減を意識すると共に、利用者に安心安全な施設を提供できるように、適切な維持管理に努めます。

地域課題が多様化・複雑化していることから、区とは今後も課題を共有し、その解決に向けた仕組みづくりをしていく必要があります。

施設の若干の老朽化に伴い、施設維持の経費が必要となっています。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書 ページ	66
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102170	明科支所費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,412,000	12,832,221	0	1,579,779	89.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
141,854		明科支所雑入	59,354		
		新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	82,500		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・支所、公民館の複合施設であり、明科地域および近郊の市民に交流の場、憩いの場として充実した行政サービスが提供できる施設を目指し、施設の保守と維持管理に努めました。
- ・明科地域の地域づくり事業として、明科地域区長会への活動支援を行いました。

主な内容と経費は次のとおりです。

#### 1 明科複合施設経費（施設修繕費、光熱水費、管理委託料）

令和元年度	令和2年度	令和3年度
8,549,066円	8,692,816円	8,449,056円

#### 2 公用車等の燃料費

令和元年度	令和2年度	令和3年度
108,901円	76,963円	50,852円

#### 3 安曇野明科あやめまつり補助金

第37回安曇野明科あやめまつり（令和3年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためフォトコンテストのみ実施し、市補助金の支出はありませんでした。

### 上記の評価と課題等

身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

複雑化・多様化する地域の課題に対して、地域区長会で課題の共有を図るとともに、課題解決に向けた市民主体の仕組みづくりを支援します。

今後、経年劣化などにより修繕や交換が必要な機器が出てくると、修繕費等が必要となります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	70
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	02	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
904,000	901,200	0	2,800	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

多様化、複雑化する相談に対して各種相談会を開催し、専門的な法律相談機会の提供を図りました。

- 1 弁護士会による無料法律相談（委託料 871,200円）  
長野県弁護士会在住会との委託契約により年24回開催 相談件数：137件
- 2 司法書士による登記・法律無料相談  
長野県司法書士会松本支部安曇野区会の協力により年6回開催 相談件数：23件  
長野県下一斉司法書士相談会における会場手配協力（令和3年10月開催）
- 3 行政書士会による無料相談  
長野県行政書士会松本支部（現・中信支部）主催の無料相談会における会場手配協力（年12回）
- 4 総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動への協力（負担金30,000円）  
安曇野市社会福祉協議会主催の心配ごと相談と併設して行政相談を実施  
特設行政相談所の開設への協力（令和3年10月開催）
- 5 外国人生活相談  
外国籍市民からの生活相談に対応 担当職員1名（市民課所属）  
相談件数 1,137件（通訳含む）  
※ 相談のうち、コロナ関係の問合せは787件

### 上記の評価と課題等

各種相談会の日程を広報し、専門的な相談の機会を図ることができました。  
引き続き、専門的な相談ができる機会を設け、多様化・複雑化する相談への対応に努めます。



令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	74
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,850,000	5,542,825	0	307,175	94.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,438,109	左記の内訳	ふるさとづくり基金利子	0		
		ふるさとづくり基金繰入金	102,109		
		地域振興基金繰入金	1,300,000		
		森林づくり推進支援金	36,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 協働のまちづくり推進事業（5,542,825円）  
「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、協働によるみんなが主役のまちづくりを推進し、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。
- (1) 「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び同行動計画策定・評価委員会」の開催  
（会議4回、委員出席謝礼178,500円）  
協働のまちづくりの具現化に向けて、第2次計画の推進と進捗評価を行いました。
- (2) 協働のまちづくり出前講座（83講座 60回 受講者 1,157人）  
市職員があらゆる主体の学習の場に直接出向き、市政や制度などの情報を提供しました。
- (3) つながりひろがる地域づくり事業補助金（8団体 補助金1,374,000円）  
市民活動団体が行う自主的・主体的で、協働の啓発を伴い、地域の絆を強める事業に対して補助金を交付しました。
- (4) 市民活動サポートセンターの運営（登録団体 184団体）  
市民活動フェスタの開催、講座の開催、相談、情報の収集・発信、交流の場の提供等を行い、市民活動の支援及び促進を図りました。
- ・スキルアップセミナー（講師謝礼 80,000円 全4回 受講者のべ55人）
  - ・市民活動フェスタ ※一部動画配信（参加26団体組織、動画閲覧延べ回数1,723回）
- (5) 光城山1000人SAKURAプロジェクト事業（桜苗木等 910,466円 プロジェクト会議3回）  
市民、地元区及び関係団体と協働で、11月6日、光城山に桜を20本植栽しました。また、SAKURAマルシェ（軽トラ市）等を実施しました。
- (6) アルプス花街道事業（委託料 2,800,000円）  
安曇野を訪れる人を歓迎し人と自然にやさしいまちづくりを推進するため、アルプス花街道実行委員会にマリーゴールドの植栽と管理を委託し、活動支援をしました。（参加 67団体）

### 上記の評価と課題等

光城山1000人SAKURAプロジェクト・花街道事業、市民活動サポートセンターの諸事業、団体への補助金等交付などにより、協働のまちづくり推進を図ることができました。  
さらなる協働のまちづくりを推進するため、市民活動サポートセンターではまちづくりのあらゆる主体を結びつける協働のコーディネート機能の充実を図ります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	76
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102355	区等地域力向上事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
112,939,000	112,426,971	0	512,029	99.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,403,900		その他証明手数料	3,900		
		地域振興基金繰入金	96,000,000		
		コミュニティ助成事業助成金	12,400,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 区等地域力向上事業

各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みの構築を目指しました。

##### (1) まちづくり推進会議の開催（出席謝礼 28,000円）

推進会議1回開催し、推進会議で提案した「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくり」及び「区の意義や重要性の理解促進」についての進捗状況を確認しました。

##### (2) 安曇野市区長会支援

ア 安曇野市区長会正副会長会及び理事会の開催（出席謝礼 465,500円）

各9回の会議を重ね、市との調整及び5地域の共通課題解決に向けた検討を行いました。

イ 事務局体制の強化のため、会計年度任用職員を採用し、事業の推進を行いました。

ウ 「安曇野市区長会設立15周年記念事業」（研修会を兼ねる）を実施し、これまでの15年を振り返るとともに、今後の区のあり方を考える機会としました。

エ 「地域を考える研究集会」の代替で動画配信により実施し、課題解決に努めました。

オ マニュアルや普及チラシ等による区加入促進

カ 区紹介カード、マスコットキャラクターの活用

キ 「区長会だより」の発行

##### (3) 区等交付金の交付

令和元年度	令和2年度	令和3年度
73,551,240円	95,225,390円	96,182,610円

##### (4) 自治会活動保険補助金（安曇野市区長会 546,132円）

##### (5) 地区集会施設建設補助金（2施設 719,910円）

##### (6) コミュニティ助成事業補助金（採択7件 12,400,000円）

うるおいのある地域社会、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に交付しました。

区分	件数	金額	財源
一般コミュニティ	4件	6,500,000円	一般財団法人自治総合センター助成金
地域防災	3件	5,900,000円	公益財団法人長野県市町村振興協会助成金

##### (7) 認可地縁団体事務

### 上記の評価と課題等

地域課題が多様化・複雑化していることから、区等とは今後も課題を共有し、その解決に向けた仕組みづくり等必要な支援をしていく必要があります。部制度の導入が進まない区に対し出前講座や相談対応等、導入促進に向けた支援に取り組みます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	78
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102390	交通安全対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
12,445,000	11,483,144	0	961,856	92.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

第3次安曇野市交通安全計画に基づき、各種交通安全対策を次のとおり推進しました。

- 1 関係機関・団体と連携した広報啓発活動  
安曇野交通安全協会、安曇野警察署等の関係機関・団体と連携し、季別の交通安全運動期間中における広報啓発活動、年金支給日等のあらゆる機会でも街頭啓発活動を実施して、交通安全意識の浸透と高揚を図りました。
- 2 交通安全教育
  - (1) 認定こども園、幼稚園における交通安全教室（委託料 1,822,700円）  
交通安全教育を専門的に行うNPO法人に業務委託し、春季と秋季の2回、園児の心身の発達や理解力に応じた交通安全教室を開催しました。
  - (2) 小中学校、高等学校における交通安全教室（委託料 303,600円）  
前記NPO法人に業務委託し、市内各小中学校及び高等学校において、スケアード・ストレイト方式（交通事故再現を通じて危険を学ぶ教育手法）等による交通安全教室を開催しました。
  - (3) 参加・体験・実践型高齢者交通安全教室（使用料 220,000円）  
自動車学校の教習コースを利用した、参加・体験・実践型交通安全教室を開催し、参加した高齢者に車両の運転や歩行時の注意点を見直す機会を設け、高齢者の交通事故防止を図りました。
  - (4) 地域（区）訪問型高齢者交通安全教室（委託料 198,000円）  
前記NPO法人に業務委託して、各地域（公民館等）を訪問する交通安全教室を開催し、ミュージカル形式による交通事故防止ポイントの説明を交えながら、普段交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者を対象とした交通事故防止を図りました。
- 3 運転免許証自主返納支援事業（使用料 2,916,000円）  
運転免許証の自主返納者を対象に、デマンド交通「あづみん」の乗車回数券（9,000円相当）を交付しました。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自主返納者数	309	324	490	413	332
支援者数	232	242	341	307	267
支援率（%）	75.1	74.7	69.6	74.3	80.4

※ 「自主返納者数」は安曇野警察署運転免許窓口で受理した自主返納受付数

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102390	交通安全対策費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 4 交通安全協会（負担金 安曇野交通安全協会972,000円 安曇野支部3,405,000円）  
安曇野警察署管内を広域的に連携する安曇野交通安全協会の運営に必要な負担金及び同協会安曇野支部の組織的な活動を支援するために必要な負担金を交付しました。

市内の交通事故（人身事故）発生件数と死者数（件/暦年）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	375	388	357	279	302
死者	2	1	4	2	1
傷者	464	457	415	335	372

安曇野警察署管内の高齢者（65歳以上）関与の事故発生状況（件/暦年）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	150	178	176	129	150
全事故中に占める割合	38.8%	44.6%	46.2%	45.4%	47.9%

安曇野警察署管内の子ども（中学生以下）の事故発生状況（件/暦年）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	29	22	26	16	20
全事故中に占める割合	7.7%	5.7%	7.3%	5.7%	6.6%

※安曇野交通安全協会・安曇野署発行「交通安全のしおり」から抜粋

### 上記の評価と課題等

令和3年中の交通事故発生状況について、発生件数・傷者とも前年を上回りましたが、過去5年間では2番目に少ない数値であり、長期的な視点では交通事故総量抑止が図られています。

しかし、高齢者が関与する交通事故の割合は48%に迫るなど、以前として高い水準にあることから、高齢者交通事故抑止対策の更なる推進が求められます。

子ども（中学生以下）が関わる交通事故について、死亡事故等の社会的反響が大きい事故の発生はありませんでしたが、通学中の交通事故ゼロを目指し、全市民の交通安全意識の高揚を図るため、ライフステージに合わせた各年齢層を対象の交通安全教室等を開催し、交通ルールの遵守及びモラルの浸透を図る必要があります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	78
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	09	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
26,921,000	24,687,791	0	2,233,209	91.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
288,000		地区防犯灯新設分担金	288,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 防犯灯管理運営費（決算額 22,095,175円）
  - 防犯灯新設（工事請負費 2,691,484円）  
内訳：地域要望等防犯灯新設 55基（うち指定通学路19基）
  - 防犯灯修繕（施設修繕費 2,273,563円）
  - 照明柱等共架更新工事（工事請負費 2,823,700円）  
既設の独立柱防犯灯の劣化状況を調査し、倒壊等の危険が認められる独立柱防犯灯を撤去、電柱へ共架等することで安全性の確保を図りました。
  - 防犯灯電気料（光熱費 14,230,698円）  
契約灯数：8845基（3月末の電力契約数）
- 防犯対策推進事業（決算額 2,592,616円）
  - 防犯協会分担金（金額 2,430,000円）  
安曇野警察署管内の関係機関・団体が広域的に連携協力する安曇野防犯協会連合会の運営に必要な分担金を負担しました。
  - 特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助事業（補助金：48,700円 申請件数10件）  
高齢者を対象とした特殊詐欺、悪質商法等の被害防止のため、特殊詐欺等被害防止対策機器の設置費用に係る補助金を交付し、対策機器の普及促進を図りました。

市内の刑法犯認知件数(件/暦年)					
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	405	350	318	324	187

令和3年中の特殊詐欺(電話でお金詐欺)発生状況		
	県内	安曇野市内
被害件数	155件	2件
被害金額 (単位:千円)	268,941	2,498

### 上記の評価と課題等

各区からの要望に基づいて計画的な防犯灯設置を進めるとともに、劣化した独立防犯灯の更新を図りました。  
 昨年の市内における刑法犯認知件数は前年に比べ大きく減少しましたが、県内における特殊詐欺発生件数が増加傾向にあることから、安曇野防犯協会連合会、安曇野警察署、自主防犯ボランティア団体等が連携した市民参加による防犯活動を一層推進する必要があります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書 ページ	132
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	07	飲料水供給費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104190	飲料水供給費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,209,000	2,011,074	0	197,926	91.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
166,777		飲料水供給施設使用料	166,777		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・山間地域にある飲料水供給施設を適正に維持管理し、金井沢地区へ安全で安心な飲料水の供給を行いました。
- ・給水対象戸数は、金井沢集会所を含めて7戸です。

主な内容と経費は次のとおりです。

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料金	108,031円	140,834円	163,361円
緊急通報用電話料	33,572円	37,644円	33,362円
施設維持管理委託料	630,000円	658,900円	661,100円
ろ過膜洗浄及び施設点検委託料	1,155,000円	913,000円	913,000円
取水口土砂等撤去清掃委託料	154,000円	218,774円	217,371円
ろ過設備膜モジュール購入	0円	1,507,000円	0円

### 上記の評価と課題等

適正な維持管理と必要な修繕等を行うことで、安全で安心な飲料水を供給することができています。山間地域のため供給戸数や使用量の増加を見込める状況にありませんが、市民の生活に必要な不可欠な事業であることから、今後も施設の適正な維持管理を継続していく必要があります。

令和4年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	166
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	04	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,976,000	6,635,600	0	340,400	95.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000		消費者行政活性化補助金	1,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

各種消費者相談に対応するとともに、消費者被害防止のための啓発活動に努めました。

1 安曇野市消費生活センター 相談員(会計年度任用職員)2名(報酬費 5,815,721円)

(1) 消費生活相談受付状況

令和3年度 相談受付件数：794件(内訳は次のとおり)

相談別	苦情								不明・無関係	問合せ要望
	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチマルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブオプション	訪問購入	その他無店舗		
件数	89	48	177	8	47	2	8	0	167	248

※国民生活センター全国消費生活情報ネットワーク・システム(PIO-NET)での集計分類

(2) 助言、あっせんによる救済(被害未然防止・被害回復)

消費生活相談員による助言、あっせんに係る救済金額 合計34,185,383円

2 消費者教育(需用費 725,216円)

出前講座：開催回数1回(参加者4人)

成年年齢引き下げに伴い、高校3年生を対象に消費者トラブル対策冊子を配布

### 上記の評価と課題等

消費生活相談員による助言、あっせんにより、消費者被害の減少、被害回復を図りました。  
令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、今後は若者が関わる消費者トラブルの増加が懸念されます。  
引き続き、消費生活相談員のスキルアップを図りながら、各種消費者相談に対応し、消費者被害の防止に努めます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書 ページ	86
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
220,131,000	212,673,934	4,587,000	2,870,066	96.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
80,037,639		戸籍住民基本台帳手数料	39,882,600	人口動態調査委託金	88,039
		個人番号カード交付事業費補助金	31,465,000		
		個人番号カード交付事務費補助金	8,111,000		
		中長期在留者居住地届出等事務委託金	491,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 主な事業

- 住民基本台帳法の一部改正に伴う戸籍附票への住民票コード附番のための初期突合データ送受信作業及び、令和4年1月11日に施行された戸籍附票への生年月日、性別の追加等に伴う様式変更作業を行いました。
- 国におけるマイナンバーカード交付促進等を目的としたマイナポイント事業に伴い、令和3年2月から5月にかけてマイナンバーカードの申請が急増したことに伴い、4月から8月にかけてマイナンバーカード交付特別休日窓口を毎月1回から2回実施を行いました。
- コンビニ交付に係るサーバ機器が導入から5年以上経過したことから、コンビニ交付サーバ機器等の更新を行いました。

#### 2 戸籍住民基本台帳事務

##### (1) 戸籍事務

###### ア 本籍数及び本籍人口

区分	R3.3月末現在①	R4.3月末現在②	増減(②-①)
本籍数(戸籍)	40,198	40,114	△ 84
本籍人口(人)	97,501	97,076	△ 425

###### イ 戸籍事件取扱件数

事件名	件数	事件名	件数	事件名	件数
出生	798	離婚	210	帰化	2
国籍留保	3	法77条の2	73	転籍	433
養子縁組	83	死亡	1,382	訂正・更生	53
養子離縁	24	入籍	164	その他	45
婚姻	842	分籍	13	合計	4,125

##### (2) 住民基本台帳事務

###### ア 人口・世帯数

区分	R3.3月末現在①	R4.3月末現在②	増減(②-①)
人口(人)	96,903 (内外国人：1,250)	96,659 (内外国人：1,252)	△ 244 (内外国人：2)
世帯数(戸)	40,367 (内外国人：969)	40,838 (内外国人：964)	471 (内外国人：△5)



予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### イ 異動件数

区分	件数	区分	件数
転入	2,313	世帯変更	1,039
転出	2,302	附票関係	11,676
転居	1,217	合計	18,547

#### ウ 主な国籍別外国人住民人口

国籍	人数(人)	外国人に占める割合
中国	301	24.04%
ブラジル	242	19.33%
韓国・朝鮮	162	12.94%
ベトナム	158	12.62%

#### (3) 証明書発行件数及び手数料

区分		総件数	金額	内コンビニ 交付件数
戸籍	戸籍謄抄本	12,735	5,730,750	983
	除籍、改製原戸籍	10,239	7,679,250	
	その他戸籍関係証明	1,036	325,250	
住民票	住民票	36,257	10,877,100	4,131
	その他住民票関係証明	1,298	332,550	
	戸籍附票の写し	2,065	619,500	111
	マイナンバーカード	35	28,000	
	住民票広域交付	31	9,300	
印鑑	印鑑登録証明書	26,302	7,890,600	4,133
	印鑑登録	3,597	1,079,100	
税務関係諸証明		13,927	4,700,100	
臨時運行許可証		730	547,500	
その他証明		253	63,600	
合計		108,505	39,882,600	9,358

#### (4) マイナンバーカード申請件数、交付件数及び交付割合

項目	住基人口	申請件数	割合	交付件数	割合
R3年度末	96,659	41,683	43.12%	36,971	38.25%
R2年度末	96,903	32,331	33.36%	24,291	25.07%
増減数	△ 244	9,352	9.76%	12,680	13.18%

### 上記の評価と課題等

マイナンバーカードの交付枚数が増加するにつれて、コンビニ交付利用率も令和3年3月末7.18%から令和4年3月末12.10%と着実に増加しています。

しかし、マイナンバーカードの交付率は、令和4年3月末時点で38.25%のため、更なるマイナンバーカードの交付推進を図るとともに、コンビニ交付の利便性の周知のための取り組みを行います。

令和4年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書 ページ	86
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0190010	【明許】市民総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,133,000	1,133,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,133,000		【明許】戸籍法改正に伴うシステム改修整備費補助金	1,133,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

住民基本台帳法の一部改正に伴う国外転出者によるマイナンバーカード・公的個人認証の利用に向け、戸籍附票への住民票コード記載のために必要となる住民基本台帳システムの改修業務を、令和2年度に国庫補助事業により委託しましたが、新型コロナウイルスの感染防止対策等により、システム改修業務の遅延及び総務省において予算の明許繰越を行ったことから、市においても繰越明許を行いました。

住民基本台帳システムの改修については、令和3年6月25日に完了しました。

#### ●事業費

- ・令和2年度補助事業交付決定額 8,437,000円
- ・令和2年度実績額 7,304,000円（令和2年度支出済額）
- ・令和3年度実績額 1,133,000円（令和3年度支出済額）

### 上記の評価と課題等

住民基本台帳システムの改修が完了し、令和3年9月から実施となった戸籍附票への住民票コード記載に必要な、データの送受信及び紐づけ作業を問題なく行うことができました。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境政策担当

決算書 ページ	76
------------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	総務管理費		基本方針	環境を守るまち
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0102360	水資源対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
10,744,000	10,377,531	0	366,469	96.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 安曇野市水環境審議会の開催〔報酬・出席謝礼・費用弁償：429,040円〕

令和3年度から設置した安曇野市水環境審議会（有識者、市民ら14人から構成する審議会）では、水環境基本計画及び同行動計画の見直し策定を実施したほか、水資源の保全・涵養並びに適正利用について調査研究し、水資源利用の適正化の促進に取り組みました。計画見直しについては、過去4年間の実績を踏まえ、令和4年度から5年間に取り組む事業施策の検討を行いました。

##### 6/2 第1回水環境審議会

- ・令和2年度行動計画の点検・評価について、水環境基本計画・行動計画の改定・策定方針について、同計画の改定・策定に係るスケジュールについて

##### 8/4 第2回水環境審議会

- ・水環境行動計画の【施策1、2及び3】各施策の現状と今後の方向性について

##### 10/1 第3回水環境審議会

- ・【施策1、2及び3】次期行動計画への掲載内容について、【施策4、5及び6】各施策の現状と今後の方向性について

##### 11/9 第4回水環境審議会

- ・次期水環境行動計画（案）、水環境基本計画改定（案）について、あづみ野排水路における地下水涵養及び効果測定実験について

##### 2/2 第5回水環境審議会（書面開催）

- ・次期水環境行動計画（案）について、水環境基本計画改定（案）について

##### 3/9 第6回水環境審議会

- ・水環境基本計画（中間改定版）・水環境行動計画（2022～2026年）について、令和4年度のスケジュールについて

#### 2 水環境基本計画及び行動計画改定支援業務〔委託料：3,960,000円〕

平成29年3月に当初策定した水環境基本計画及び行動計画について、過去4年間の施策実績を踏まえ見直しを実施しました。主な改定施策として、新たにグリーンインフラの視点から河川又は小河川を利用した地下水涵養に資する環境用水施設の検討を入れ込み施策を推進していきます。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	総務管理費		基本方針	環境を守るまち
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0102360	水資源対策費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 地下水位等観測調査 [委託料：3,850,000円]

地下水位観測12箇所（豊科地域6箇所（内わさび田1）、穂高地域4箇所（内わさび田1）、堀金地域2箇所）と、湧水量観測2箇所の継続観測を実施しています。令和3年度中の地下水位は、8月中旬の前線停滞により水位上昇が高くなりました。翌年2月頃には水位低下が見られ、県民グラウンド北側の憩いの広場湧水池においても水深低下が見受けられました。

#### 4 水環境基本計画及び行動計画の推進

平成30年度国土交通省の「見える化」事業で作成した「地下水の見える化ツール(模型・図表・パネル)」を活用し、堀金小学校、豊科北小学校2校で出前授業を実施したほか、文化課と連携し市内図書館施設での展示を行いました。また、環境省「Water Project」参加企業である旭化成ホームプロダクツ株式会社と連携し、安曇野の豊かな水資源の大切さをとともに、名水百選に選定されている安曇野の水環境の魅力発信を図りました。

### 上記の評価と課題等

安曇野市内における地下水位測定等を継続観測することで現況把握、監視等を行い、地下水の保全に取り組みました。

水資源を次世代へ引き継ぐため、市民・事業者・市が取り組む施策を具体的に示した「水環境基本計画」に基づく行動計画により、健全な地下水環境の創出に向けて取り組みました。各行動施策をスケジュールに沿って進め、市広報「あづみの」を活用し市民・事業者に対して地下水が大切な資源であることの意識の醸成を図ってきました。

引き続き、水環境審議会において新たな涵養施策、資金調達(費用負担ルール)の是非を検討します。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
28,127,000	26,259,929	0	1,867,071	93.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,769,390		霊園管理料	10,353,020	霊園基金利子	190,370
		霊園管理料滞納繰越分	14,400	霊園基金繰入金	2,294,000
		霊園使用料	14,905,000		
		霊園事務手数料	12,600		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 市営10 霊園（全区画：3,786 区画）の維持管理を実施しました。
  - 新規販売 1 区画（440,000円） (2) 返還による再販売 20区画（8,690,000円）
  - 穂高墓地公園合葬墓 個別20体（累計141体） 共同66体（累計392体） 計86体（累計533体）  
【※新規販売可能区画 102 区画（荻原公園墓地）】
- 聖地修繕〔施設修繕費：995,370円〕
  - 返還聖地 517,200円 (2) 上沢霊園 394,900円 (3) 穂高墓地公園 47,700円
  - 黒沢霊園 35,570円
- 霊園管理〔役務費・委託費：7,640,740円〕
  - 〈浄化槽定期点検、し尿汲み取り、水道設備開閉栓：144,660円〉
    - 荻原公園墓地 78,640円、堀金霊園 34,200円、黒澤霊園 22,340円、アルプス霊園 5,000円、飯田霊園 4,480円
  - 〈霊園等清掃：6,426,220円〉
    - 穂高墓地公園 2,389,200円、荻原公園墓地 1,320,000円、黒沢霊園 940,280円、アルプス霊園・上沢霊園・西浦霊園 856,290円、堀金霊園 462,000円、飯田霊園 148,000円、みどりヶ原霊園 110,800円、穂高墓地公園(合葬墓) 107,250円、下押野霊園 92,400円
  - 〈浄化槽維持管理：120,560円〉
    - 堀金霊園 97,900円、アルプス霊園 22,660円
  - 〈樹木伐採等：495,000円〉
    - 穂高墓地公園支障木伐採 495,000円
  - 〈埋蔵：454,300円〉
    - 穂高墓地公園(合葬墓) 454,300円
- 荻原墓地公園 法面土留工事〔工事費：1,298,000円〕
  - 工事概要
    - 土留工（機械掘削 24.0m<sup>3</sup>、埋戻し 14.1m<sup>3</sup>、残土運搬 9.9m<sup>3</sup>、基面整生 12.0m<sup>2</sup> フトン管 20.0m、止杭 10本
    - 法面復旧（法面成形 83.0m<sup>2</sup>、植栽シート 83.0m<sup>2</sup>、止ピン 1箱
    - 排水構造物清掃（側溝内清掃 54.5m）

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

## その2

### 上記の評価と課題等

年間を通して、市営霊園10ヶ所3,786 区画、合葬式墳墓533体（個別埋蔵室141体、共同埋蔵室392体）の適切な維持管理と経営運営をしました。

荻原公園墓地駐車場付近の法面が降雨により崩れてしまい、駐車場利用者へ影響が心配されたことから復旧工事を実施し、予定どおり工事を終えることができました。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境政策担当

決算書 ページ	128
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,877,000	13,904,324	0	1,972,676	87.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
216,000	左記の内訳	ちくにしきものみらい基金繰入金	190,000		
		その他刊行物頒布代(レッドデータブック)	26,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 環境基本計画推進事業  
「第2次環境基本計画」を推進するため、「環境審議会」を3回開催し、環境行動計画に基づく、実施計画の事業の推進や啓発活動、進捗状況の確認、評価を行い、年次報告書を作成しました。
- 「安曇野環境フェア」  
「安曇野環境フェア」はコロナ感染拡大防止のため中止にしましたが、市内2会場で「環境ネットワーク展」を開催しました。
- 「安曇野環境市民ネットワーク」活動  
「安曇野環境市民ネットワーク」には、環境活動を行っている25団体が加盟し、21の環境学習プログラムを提供しました。
- 環境講座(環境学習会)活動  
自然観察会(2回)、環カフェなどを開催し、162人が参加しました。
- エコアクション21(環境マネジメントシステム)  
市の関係施設から排出される温室効果ガス削減のため、「エコアクション21」の取り組みを推進しました(全58施設)。
- 特定外来生物駆除事業  
アレチウリは各区の一斉駆除などで、延べ4,537人に活動を行っていただきました。  
市民団体などの協力のもとオオカワヂシャを1,950kg駆除しました。
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助[補助額:11,774,000円]  
・交付総件数 128件(1kw当り2万円、限度額10万円)

### 上記の評価と課題等

第2次環境基本計画に基づき、市民の環境意識の向上に繋がる事業を実施し、市民主体の持続可能な社会の環境保全に向け、環境審議会、安曇野環境市民ネットワークなどが連携協力し、環境行動計画の推進ができました。

SDGsを意識した取組みとして、環境ネットワーク展を市内2か所で開催することができました。自らが大規模な事業者と認識し、地域の模範となるよう、エコアクション21に取り組みます。ゼロカーボン表明に向けて、第2次環境基本計画の見直し、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を行います。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	128
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104160	環境衛生総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
204,415,000	201,210,281	0	3,204,719	98.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,707,040		狂犬病予防注射済票交付手数料	2,675,240		
		犬の登録手数料	1,031,800		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 狂犬病予防事業（決算額：2,118,808円）
  - (1) 犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、それぞれ鑑札、注射済票を交付しました。
  - (2) 狂犬病予防注射は、広報及び飼い主への年1回のダイレクトメールによる周知を行いました。
    - ・登録頭数 5,299頭（R2年度 5,404頭）
    - ・新規登録（鑑札交付件数） 332頭（R2年度 371頭）
    - ・再登録（鑑札交付件数） 23頭（R2年度 41頭）
    - ・注射済票の交付数 4,746頭（新規4,742頭+再交付4頭）（R2年度 5,072頭）
- 2 動物の愛護及び管理
 

犬の糞の持ち帰り啓発用看板を希望者に貸与しました。

  - ・迷い犬等保護件数 40件（R2年度 44件） 看板貸出数 41件（R2年度 36件）
  - ・ニャンでも相談 2回8件（R2年度 12件）
- 3 猫不妊・去勢手術費用補助〔補助金：244,600円〕（H29年度から開始）
 

飼い主のいない猫の増加を防止し、猫被害の拡大を防止するため、動物愛護団体に対して、地域猫の不妊・去勢手術費用を補助しました。

  - ・不妊、去勢手術頭数 20頭（オス7頭、メス13頭）（R2年度 18頭（オス4頭、メス14頭））
- 4 迷い犬捕獲業務〔委託料：24,200円〕
 

市内において迷い犬を捕獲した際、確保された市民宅から市役所へ迷い犬を搬送し、飼い主から保護確認があるまで一定期間預かりました。

  - ・搬送頭数 40頭（R2年度 44頭）
- 5 公衆浴場経営安定化助成事業〔補助金：466,668円〕
 

豊科地域の公衆浴場1か所の経営安定化を図るための助成を行いました。令和3年11月末をもって浴場は閉業されました。（466,668円×1ヶ所）
- 6 公衆便所の管理（決算額：1,033,644円）
 

公衆便所2か所（豊科新田公民館前・豊科駅前）の適正な管理を行いました。



予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104160	環境衛生総務費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 7 安曇野松筑広域環境施設組合負担金、火葬料扶助費〔負担金・扶助費：58,810,000円〕
- (1) 広域豊科葬祭センターの管理経営費を拠出しました。  
・組合負担金 50,984,000円（R2年度 42,508,000円）
- (2) 火葬料無料化に伴う負担金（広域豊科葬祭センター利用分）
- |     |        |            |              |             |
|-----|--------|------------|--------------|-------------|
| 遺体  | 1,101件 | 7,707,000円 | （R2年度 1,077件 | 7,539,000円） |
| 死産児 | 6件     | 21,000円    | （R2年度 15件    | 52,500円）    |
| 計   | 1,107件 | 7,728,000円 | （R2年度 1,092件 | 7,591,500円） |
- (3) 広域豊科葬祭センター以外の火葬場を使用した場合の火葬炉使用料（一部）を扶助しました。  
申請件数 遺体14件（R2年度 遺体9体）  
支出合計 98,000円（R2年度 63,000円）

### 上記の評価と課題等

令和3年度の狂犬病予防注射は、新型コロナウイルス感染の影響もあったが年3回（4月・6月・10月）実施できました。狂犬病予防注射未注射犬が約360頭いるため、飼い主に向けた啓発活動を行います。

市民が火葬施設を使用する場合の火葬費用の負担を補助し、市民の経済的負担軽減に努めました。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	130
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
16,498,000	16,455,000	0	43,000	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,097,000	左記の内訳	浄化槽設置整備補助金(国庫支出金)	4,188,000		
		浄化槽設置整備補助金(県支出金)	3,909,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 合併浄化槽補助事業 [補助額：16,448,000円]  
 下水道事業計画区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図りました。

2 令和2年度設置基数

人槽	設置基数	補助金額(千円)	内訳
5人槽	27基	国 4,188千円 県 3,909千円	豊科地域3基、穂高地域21基、三郷地域1基、堀金地域1基、明科地域1基
6~7人槽	4基		穂高地域2基、堀金地域1基、明科地域1基
8~10人槽	1基		穂高地域1基
合計	32基		

### 上記の評価と課題等

下水道事業計画区域外の地域の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図るため、関係機関と協力して、浄化槽の維持管理を指導しました。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	130
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	06	公害対策費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104180	公害対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,541,000	6,356,345	0	1,184,655	84.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公害対策費〔委託料：4,918,980円〕

河川水質・地下水質・大気中窒素酸化物・道路騒音・自動車騒音常時監視等の各種検査、測定を実施し、公害の発生を監視しました。

- ・大気中窒素酸化物測定調査 3地点（通年） 368,280円
- ・市内自動車交通騒音測定 8地点（12月） 1,485,000円
- ・自動車騒音常時監視及び面的評価業務 3路線（10月） 990,000円
- ・市内河川水質検査 延26地点（8月） 367,400円
- ・地下水（井戸水）水質検査 28地点（12・2月） 995,500円
- ・市内硝酸態窒素（井戸水）水質調査 3地点（12・2月） 19,800円
- ・長野自動車沿線騒音測定調査 3地点（12月） 693,000円

#### 2 臭気対策事業〔委託料外：1,242,300円〕

8月～9月にかけて、三郷地域畜産7農家における悪臭防止法に基づく臭気指数測定を実施し、結果として3戸の農家で計4回規制値を超過しました。また、令和元年に悪臭防止法に基づく改善計画書を提出されている1畜産農家からは、改善計画の進捗管理を報告してもらい、更なる改善策を促しました。

- ・畜産臭気指数調査 7か所21回（7～9月） 808,500円
- ・畜産臭気指数調査 3か所3回（3月） 165,000円
- ※夏期に指数超過した畜産農家のみ
- ・臭気モニター16名（12か月）への調査謝礼 192,000円
- ・公害監視員2名（週1回：計96日）への調査謝礼 76,800円

### 上記の評価と課題等

公害測定（環境調査）の実施や常時監視により、健康で快適な市民生活環境を保持することが出来ました。

三郷地域の畜産臭気指数測定（7～9月、延べ21回）では、畜産農家7戸のうち3農家で計4回規制値を超過しましたが、令和4年3月（気温が上昇してくる頃）に再度測定調査をしたところ規制値以下となっていました。

引き続き臭気指数測定を実施し、監視体制の継続を行うとともに、必要に応じた指導を行います。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	132
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	01	清掃総務費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104210	清掃費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
847,072,000	843,838,227	0	3,233,773	99.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
117,740,260		一般廃棄物許可申請等手数料	50,000	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	35,055,949
		可燃ごみ処理手数料	78,900,000		
		動物死骸処理手数料	1,167,760		
		資源売却代	2,566,551		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 廃棄物収集運搬事業（決算額 363,628,572円）

市内の指定集積場所に排出される一般廃棄物（可燃・不燃ごみ）の収集運搬を5事業者に委託し、穂高クリーンセンター等へ搬入しました。

令和3年度に穂高クリーンセンターに搬入された家庭系可燃ごみは、約13,831tで前年度から微増となりました。また、穂高クリーンセンター及び一般廃棄物最終処分場等に搬入された不燃ごみは、約508tで、前年度比20.4%減少しました。

【ごみ処理量の推移】（事業系ごみを除く）

（単位：t）

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
可燃物	13,429	13,233	13,380	13,697	13,831
不燃物	520	552	460	638	508
計	13,949	13,785	13,840	14,335	14,339

※不燃物は、ガラス・陶器類と金物類及びブロック・瓦等の計

#### 2 し尿処理

し尿（し尿浄化槽汚泥・農集排施設汚泥を含む）処理は、許可業者4事業者が収集し、穂高クリーンセンターへ搬入しました。搬入量は、11,323kℓで前年度比3.1%減少しました。

（単位：kℓ）

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
し尿	7,536	6,961	6,575	6,429	5,741
浄化槽等	5,131	4,910	4,904	5,254	5,582
計	12,667	11,871	11,479	11,683	11,323

※浄化槽等は浄化槽汚泥と農集汚泥の計

#### 3 不法投棄対策事業（決算額 4,194,423円）

不法投棄防止と投棄物の早期発見のため、14人の不法投棄監視連絡員を委嘱し、常習箇所を中心にパトロールを延べ658日実施しました。

市民や不法投棄監視連絡員から36件（1.834t）の通報があり、職員が投棄物の内容調査を行いました。が投棄者は特定できず、市が回収しました。

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	01	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 可燃ごみ有料化事業（決算額 6,883,343円）

可燃ごみ袋の証紙管理を行い、処理手数料収入（可燃袋の収入証紙）は、78,900,000円（前年度比21.4%減少）で、もえるごみ専用指定袋交付事業の影響により減少したと考えられます。

#### 5 もえるごみ専用指定袋交付事業

新型コロナウイルス感染症に関わる市独自の経済的支援策として、もえるごみ専用指定袋（1人につき1パック（中サイズ・10枚入り））を無料で交付しました。32,899世帯の市民の皆さんへ交付し、引換率は81.24%でした。

#### 6 市内一斉清掃の実施

5月30日と11月7日を基準日として、年2回の市内一斉清掃を実施しました。延べ441団体42,745人の参加をいただき、可燃ごみ約10,768kg、不燃ごみ類約5,430kgを回収しました。（区・事業所等による独自の実施分を含む。）

#### 7 乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業（決算額 478,764円）

通常可燃ごみとは異なり、紙おむつの減量は難しく、排出の際には相当数のもえるごみ専用指定袋が必要となるため、2歳未満の乳幼児を養育している保護者に対し、子育て支援施策の一つとして、もえるごみ専用指定袋（中）を乳幼児1人あたり年50枚交付しました。

交付に際しては、保護者からの申請方式とし、申請件数624件、交付件数599件、引換率は96.0%でした。

#### 8 穂高広域施設組合事業（決算額 449,499,000円）

穂高広域施設組合の管理運営及び施設整備等の負担金を拠出しました。

- ・通常分：425,648,000円
- ・交付税起債償還分負担金：23,851,000円

新ごみ処理施設稼働に伴い、令和3年5月からもえるごみ専用指定袋大サイズ（50ℓ）が追加され、地域の集積場所へ出せるようになったほか、「可燃性粗大ごみ」が有料で受け入れ可能となりました。

#### 9 訴訟関係

長野地方裁判所において併合審理されていた平成25年（行ウ）第7号事件、平成29年（行ウ）第3号事件、平成29年（行ウ）第16号事件及び令和元年（行ウ）第9号事件については、令和3年7月16日に判決が言い渡され、原告の請求が棄却されました。原告側は、この判決を不服とし、令和3年7月28日付けで東京高等裁判所に控訴しました（事件番号：令和3年（行コ）第208号事件）。令和3年（行コ）第208号事件は令和4年9月15日に判決が言い渡されます。

また、市が令和2年11月18日付けで増田建設産業に対して行った一般廃棄物処分業の許可の取り消しを求めて、周辺住民が令和3年5月17日付けで長野地方裁判所に訴訟を提起し、係属中となっています（事件番号：令和3年（行ウ）第3号事件）。

### 上記の評価と課題等

不法投棄監視連絡員による定期的なパトロールや市内一斉清掃を実施し、不法投棄を早期発見・早期回収することにより、大量の不法投棄は減少していますが、ポイ捨ては後を絶ちません。市民や事業者の皆さんに協力いただきながら、一斉清掃を実施するとともに、ポイ捨てをしない意識を市民一人ひとりに持っていただくよう、広報紙、ホームページ、資源物・ごみ分別促進アプリ等を活用した啓発を行い、きれいな環境を維持していきます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	134
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,668,000	5,435,224	0	1,232,776	81.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,121,879		資源売却代	3,138,981		
		再商品合理化拠出金配分金	982,898		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 ごみ減量化推進事業（決算額 5,435,224円）

- (1) 「ごみ・資源物収集カレンダー」、ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」により分別方法の周知等に努めました。
- ・「ごみ・資源物収集カレンダー」作成・・・1,518,000円
  - ・「さんあ〜る」配信システム使用料・・・158,400円
- (2) 緑のリサイクル事業により、家庭から出るせん定枝の資源化に努めました。
- ・緑のリサイクル事業せん定枝破碎業務委託料・・・1,087,900円
- (3) 生ごみ処理機器等購入補助金を交付し、生ごみの減量を図りました。
- ・生ごみ処理機器等購入費補助金・・・133件、1,642,900円  
(内訳：生ごみ処理機62件、コンポスター47件、せん定枝破碎機24件)

### 上記の評価と課題等

市内一斉清掃（年2回）が定着しており、令和3年度は令和2年度に比べ実施団体が83団体、ごみの回収量が1,738kg増えました。

市内の小学4年生が行う穂高クリーンセンターの施設見学に合わせ、市の担当者が出向き、ごみの分別方法や資源化について説明し、ごみを減らすために一人ひとりができる取り組みについて案内しました。その他に、事業所訪問を実施し、ごみ減量化への協力を求めました。

また、生ごみ処理機器等の購入補助、広報紙、ホームページ、ごみ分別促進アプリを活用し、ごみ減量化の推進に取り組みます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	134
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
11,228,000	9,825,524	0	1,402,476	87.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 最終処分場施設管理事業（決算額 9,825,524円）

- (1) 三郷一般廃棄物最終処分場を適正管理し、全市域からガラス・陶器類・家庭灰等を搬入し、約324 tを処分し、令和3年度末をもって埋立が終了しました。
- ・三郷一般廃棄物最終処分場埋立処分等業務委託・・・3,955,600円
  - ・水処理施設設備点検業務委託・・・495,000円
  - ・遮光性保護マット修繕工事・・・116,600円
- (2) 小岩岳不燃物処理場を管理運営し、家庭から排出されるブロック、コンクリート、瓦、タイル、壁土及び土砂並びに地区河川清掃等から排出される土砂、約106 tを処分しました。
- (3) 各処分場周辺の環境整備に努めるとともに、地下水への影響を調査するため、水質検査を実施しましたが、異常は認められませんでした。
- ・放流水・周辺地下水等水質検査及びダイオキシン類検査業務委託・・・2,607,000円
- ※検査場所は、旧豊科最終処分場、小岩岳不燃物処理場、三郷一般廃棄物最終処分場

### 上記の評価と課題等

三郷一般廃棄物最終処分場は、令和3年度末に埋立終了となりましたが、引き続き水質検査等を実施し、適正な維持管理を行います。

小岩岳不燃物処理場については、地元小岩岳区との協定の有効期間が令和5年3月31日までとなっていますので、協定の更新に向け準備を進めます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	134
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
12,948,000	11,284,295	0	1,663,705	87.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,148,030		木くず受入処理手数料	1,048,080		
		資源売却代	1,099,950		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 リサイクルセンター施設管理事業（決算額 11,284,295円）

市内3施設で資源物の受け入れを行い、事業者委託による資源物の適正運搬及び施設の点検により、確実に施設を開場することができました。

施設利用者数は、3施設の合計が53,102人で、前年度比2.1%増加しました。

緑のリサイクルでは受け入れることのできないせん定枝（太さが8cmを超えるもの）や木製の家具等を豊科リサイクルセンターで有料で受け入れる「木くずのサーマルリサイクル事業」では、57,530kgを熱源としてリサイクルすることができました。

また、事業系一般廃棄物の減量を目的とし、3施設において事業系資源物（紙類）を受け入れていきます。

なお、市内3施設で回収した不要自転車は、修繕後「リサイクル自転車」として販売会を2回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き令和3年度も中止しました。

#### 【稼働実績】

施設名	年度	利用者数	資源物受入日数	1日平均利用者数
豊科リサイクルセンター	3	26,535	126	210.6
	2	24,627	126	195.5
	元	20,282	126	161.0
穂高リサイクルセンター	3	22,458	102	220.2
	2	23,237	102	227.8
	元	25,801	102	253.0
明科リサイクルセンター	3	4,109	46	89.3
	2	4,126	46	89.7
	元	3,981	48	82.9
合計	3	53,102	—	—
	2	51,990	—	—
	元	50,064	—	—



予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費			基本施策
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

【資源物の受入量】								(単位：t)
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類	
豊科リサイクルセンター	3	64.52	62.97	31.75	1.07	10.81	33.03	
	2	68.87	71.00	32.03	1.09	12.20	20.50	
	元	72.81	60.18	27.14	0.94	12.29	16.71	
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計	
	3	6.78	49.52	7.13	18.14	3.27	288.99	
	2	5.99	51.14	7.26	16.50	3.27	289.85	
	元	5.29	51.14	6.64	15.45	2.69	271.28	
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類	
穂高リサイクルセンター	3	48.91	43.62	27.03	1.08	10.82	29.08	
	2	45.08	48.55	25.33	1.14	10.70	13.63	
	元	49.28	43.72	23.82	1.04	10.00	12.52	
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計	
	3	8.96	55.26	8.31	16.60	—	249.67	
	2	8.19	52.15	8.70	14.71	—	228.18	
	元	7.38	45.49	6.97	12.99	—	213.21	
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類	
明科リサイクルセンター	3	24.10	13.14	9.52	0.22	3.55	6.07	
	2	23.66	16.79	9.94	0.17	3.89	4.58	
	元	27.29	19.07	10.27	0.26	4.12	4.83	
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計	
	3	1.76	10.63	2.00	6.07	1.05	78.11	
	2	2.04	11.02	2.37	6.08	1.34	81.88	
	元	1.96	10.95	2.02	5.96	1.10	87.83	

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や市民のライフスタイルの多様化により、施設利用者と資源物の収集量は増加傾向にあります。地域の集積場所以外に資源物を受け入れることのできる拠点回収施設として3カ所のリサイクルセンターの適正管理を行い、ごみ減量化及び資源化を推進します。

令和4年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	136
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	03	雑排水処理費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104260	雑排水処理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
20,753,000	19,459,912	0	1,293,088	93.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
33,966	左記の内訳	穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	30,866		
		雑排水配管敷設借地料	3,100		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 生活雑排水処理施設管理事業（決算額 19,459,912円）

(1) 生活雑排水浄化処理場の管理を委託し、4事業者が定期的に市内で汲取った生活雑排水汚水・汚泥を処理場に搬入し、希釈後に下水道へ放流しました。

定期的に槽の清掃等を実施し、適正な施設管理に努め、下水道に放流される水質検査を実施しました。また、臭気対策として、環境調査事業者による臭気測定を実施しました。

(単位：kℓ)

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
雑排水汚泥処理量	3,388.3	3,010.3	2,864.0	2,708.3	2,540.7

- ・管理作業委託 4,734,675円
- ・槽清掃 第1貯留槽 919,600円 (年2回実施)
- 第2貯留槽 2,098,800円 (年6回実施)
- 沈砂槽 1,343,100円 (年3回実施)
- ・消防用設備等点検 44,000円
- ・水質検査 118,800円 (年6回実施)
- ・臭気指数測定 396,000円 (年4回実施)

(2) 柏原団地に設置されている穂高柏原生活雑排水浄化処理場を管理し、放流水質の安定を図りました。

### 上記の評価と課題等

下水道普及に伴い家庭雑排水の処理量は減少してきていますが、下水道に接続していない家庭から排出される家庭雑排水による水質汚濁を防止するため、現在の処理体制を継続し維持することが必要です。

なお、老朽化が進む穂高柏原生活雑排水浄化処理場の今後の運用等について検討を進めます。

令和4年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	空家活用係

決算書 ページ	130
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104185	空家等対策事業			

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
19,104,000	18,965,112	0	138,888	99.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,969,000		空き家対策総合支援事業補助金	3,969,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

空家対策は空家発生予防、適正管理、利活用、特定空家等の解消など総合的に事業を展開するため、民間の2団体と市民協働事業を実施し、課題や情報の共有により、所有者等の意識向上につながるワークショップや相談会、まちあるきによる空き家空き店舗見学会を実施しました。

令和2年6月施行しました空家対策補助金は、移住者リフォームや特定空家等の解体について、国庫補助事業を活用し制度を一部拡充することで活用のニーズに応えることができました。

空家戸数について実態把握のため、区による調査及び苦情等相談結果を反映し、空家台帳（GIS）を更新しました。（R3年末 1,086戸）

#### 1 空家等対策事業 【決算額 18,047,112円】

##### ○空家等対策協議会

空家等対策計画に基づく事業計画の推進、特定空家の認定に係る協議を行いました。

第1回 6月25日 事業計画、事業の進捗状況（特定空家、空家対策補助金、市民協働事業）

第2回 2月7日 第2次安曇野市空家等対策計画策定方針、補助金実績及び次期補助金制度  
特定空家の認定協議（2件）

##### ○安曇野市空き家バンク

4月30日 空き家バンク登録業者（仲介事業者）との連携強化のため情報交換会を開催しました。空き家バンクの利用促進や利便性向上のための要綱改正や空家対策補助金（一部拡充）の案内と長野県建築士会安曇野支部による中古住宅の流通に重要なインスペクション（住宅診断）に関する講義を行いました。

##### ○空家データの更新

区協力の実態調査（ゼンリン住宅地図を活用）により空家戸数を精査し、GIS上の空家台帳を更新しました。

令和3年末 1,086戸

令和2年末 1,095戸

令和元年末 1,143戸

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		基本施策	良質な住環境の整備

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 特定空家認定等にかかる空家立入調査  
管理不全により環境や保安上問題のある空家について、建築士による立入調査を行いました。
  - ・特定空家認定に関する立入調査（2件）
  - ・不良住宅要件検査（重点支援空家）（1件）
  - ・特定空家認定総数 13戸
  - ・令和3年度末 特定空家戸数 6戸  
（内訳）補助金活用による解体 1戸（明科）  
自主的に解体 2戸（三郷・明科）
- 空家等対策補助金  
空家対策補助金の活用を促すことで、環境保全や空家及び宅地（更地）の活用が促進されました。重点支援空家に該当する解体及び移住リフォーム補助金の補助率・補助金額を拡充しました。

（令和3年度）		（令和2年度）		比較参考
①片付け・清掃	5件 320,000円	①片付け・清掃	8件 687,000円	
②貸家リフォーム	2件 609,000円	②貸家リフォーム	3件 957,000円	
③解体	17件 8,417,000円	③解体	25件 11,817,000円	
特財④解体（重点支援空家）	4件 4,000,000円	④解体（重点支援空家）	制度なし	
特財⑤移住リフォーム	5件 3,939,000円	⑤移住リフォーム	2件 800,000円	
（合計）	17,285,000円	（合計）	14,261,000円	

#### 2 市民協働事業 【決算額 918,000円】

- 安曇野「住まいの終活のススメ事業」 協働事業者：NEX-T安曇野  
空家の課題について、予防・診断・利活用をテーマに様々な啓発事業を実施しました。
  - ・5月10日（28名）、6月11日（20名）、7月9日（24名） ワークショップ（全3回）
  - ・5月26日（23名）空家現地見学と住宅診断解説（明科支所）
  - ・8月25日（4名）空家現地、相談会（住宅診断の現地解説と相談会）
  - ・9月～10月（4名）空家個別相談（専門家による空家訪問）
  - ・12月4日（34名）穂高宿まちあるき空き家見学会（第1回：利活用と未利用物件の内覧）
  - ・3月12日（77名）空き家啓発講演会（協働事業の活動報告）
  - ・3月16日（27名）穂高宿まちあるき空き家見学会（第2回：利活用と未利用物件の内覧）
 啓発パンフレット「安曇野住まいの終活のススメハンドブック」 作成部数 1,000部  
 事業紹介パンフレット「安曇野住まいの終活の5つのポイント」 作成部数 1,000部  
 一部の業務を委託し、活動記録及び事業紹介パンフレットを作成しました。
- 明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会 協働事業者：明科駅周辺まちづくり委員会  
明科駅周辺を中心に、空き家や空き店舗を地域の資源として生かし、移住や創業などで利活用を促進するため、ガイドによる地域の魅力発信と利用希望者と所有者のマッチングを行いました。
  - ・5月22日、8月28日、11月13日、2月26日 全4回（延べ80名）まちあるき空き家空き店舗見学会
  - ・3月12日（77名）空き家啓発講演会（活動事業の報告）

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104185	空家等対策事業			

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

##### ○市民参加によるワークショップの開催（市主催）

空家の課題を共有し、様々な立場の方からアイデアを募ることで解決策を見出し、具体的な行動へとつなげることを目的に「空家を語る夕べ」を開催しました。

市民提案のアイデアとして、空家活用ニーズ登録によるマッチング制度、空家実態を伝える啓発動画を具現化することができました。

- ・ 8月3日、8月19日、9月6日、9月21日、10月5日、10月25日、11月15日、12月2日、12月23日、2月2日（後半2回は企画会議） 全10回（延べ60名）

##### ○空家活用事例等の広報用動画作成

所有者の自発的な行動を促すため、管理不全空家の実態や利活用事例を紹介する啓発用の動画を作成しました。

- ・ 管理不全空家の実態 1本（撮影戸数 2戸）
- ・ 利活用の事例 3本（撮影戸数 3戸）

#### 上記の評価と課題等

市民協働事業では、民間団体や所有者等を含め、空家の課題や情報の共有が進み、今後の啓発活動や空家の利活用を進める基盤を築くことができました。今後、空家の発生抑制や適正管理、利活用を促進するため、空家所有者の意識改革につながる啓発方法の充実を図り、市場への流通量増加につながるようニーズに即した補助制度の充実を図ります。また、地域資源を活かしたまちづくりを推進するため、まちあるき空き家見学会を市内他地域へ展開しマッチングを強化する必要があります。

管理不全による空家の苦情件数が増加していることから、所有者への適正管理を促し、周辺への影響力の大きい空家は幅広く特定空家に認定することで、所有者による自発的な行動で早期解決に導くことが必要です。

空き家バンクの登録件数が、利用可能な空家の約2%~3%であることから、仲介事業者との連携を深め、一般的な市場流通が困難な低廉な空家の売買や賃貸物件の利活用を促進する必要があります。

利活用等促進のため、空家情報の外部提供など民間団体や地区との連携体制の充実を図ります。

# 福祉部

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	92
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
392,808,000	382,139,033	0	10,668,967	97.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,023,341		民生委員活動委託金	13,062,800		
		民生委員協議会委託金	1,207,440		
		福祉基金利子	540,301		
		社会福祉雑入	212,800		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 民生児童委員（福祉委員）活動
- 福祉委員報償費 18,792,000円  
協議会運営補助金 2,643,840円  
民生委員活動交付金 14,270,240円

民生児童委員は、市民の福祉の最も身近な相談者として、地域住民の福祉向上のための相談、支援、調査等の自主的な活動や研修、市民と行政の相談調整役として日々活動をしており、今後ますます地域福祉の担い手として期待されています。

委員数(人)：豊科(62)、穂高(64)、三郷(38)、堀金(22)、明科(30) 合計216人

活 動 内 容			
項 目	令和2年度	令和3年度	対前年比 (%)
高齢者に関する相談・支援 (件)	2,196	1,946	88.6
障がい者に関する相談・支援 (件)	329	258	78.4
子どもに関する相談・支援 (件)	446	358	80.3
その他の相談・支援 (件)	625	619	99.0
活動延べ日数 (日)	21,307	20,768	97.5

### 2 地域福祉計画推進策定事業

行政や市社会福祉協議会、福祉団体や民間事業者などと地域住民が連携し、地域福祉を推進するため、行政と市社会福祉協議会が個々に策定していた計画を一体的にした「第3期安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を平成30年3月に策定しました。

計画推進のため、コロナ禍以前には出前講座により計画の周知を図っていましたが、今年度は出前講座の依頼がありませんでした。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 心配ごと相談事業委託業務

地域住民の日常生活上のあらゆる悩みや相談に広く応じ、安心した生活に資することを目的として、市社会福祉協議会に委託し、地域の気軽な相談窓口「心配ごと相談所」を土日開催も含め年間75回開設しました。

年間相談数 49件（令和2年度45件）

#### 4 戦没者追悼式、平和と人権のつどい

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、戦没者追悼式並びに平和と人権のつどいは中止となりました。

#### 5 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 勸奨通知封入業務委託料 33,044円

災害時避難行動要支援者情報を一元管理し、要支援者の把握と個別の支援計画を策定するための電算化システムを導入し運用しており、総合福祉事務システムの高齢者、障がい者、要介護認定者等の情報を一元処理しています。システム更新に伴い、令和3年度からシステム保守委託料及び使用料が不要となりました。

本人同意を得て作成する「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、区、民生委員他関係機関に提供しました。

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度
該当者数（人）	9,788	12,090	11,970
同意者数（人）	7,059	7,768	7,832
同意率（%）	72.1	64.3	65.4

※集計数は、各年度3月現在

※R2該当者増加理由：75歳到達人数の増加、抽出条件の見直し（一人世帯同居人含む）

#### 6 豊科ささえあいセンター管理委託事業 指定管理料 4,981,830円

市社会福祉協議会を豊科ささえあいセンターの指定管理者に指定して、市のボランティアの活動拠点として利用を推進しました。

指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

年度比較	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数（人）	8,445	8,843	7,914	2,781	2,464

#### 7 ボランティア連絡協議会補助金 補助金 131,105円

各地区のボランティア事業活性化のため市ボランティア連絡協議会へ助成しました。

#### 8 市戦没者遺族会補助金 補助金 93,500円

戦没者遺族会の活動を支援するため助成をしました。

#### 9 防災ラジオ購入補助金 補助金 支出なし

民間福祉施設が防災ラジオを購入する際の補助金は、申請がありませんでした。



予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

##### 10 市社会福祉協議会への助成

すべての住民が住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしい安心して生活が送れるよう、法や制度で担いきれないニーズへの対応や行政の手の届かない部分の地域福祉の展開とその充実のため、社会福祉協議会の運営に助成しました。

- ・ 社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金 93,386,006円
- ・ 日常生活自立支援事業補助金 7,121,789円

#### 上記の評価と課題等

民生児童委員活動は、地域福祉の推進に重要な役割を果たしています。昨今、コロナ禍で活動が制限されておりますが、そういった状況の中でも各委員、感染予防策を徹底し、地域住民の身近な相談役として困りごとのある人に寄り添い、必要な支援サービスへのつなぎ役としての活動を行っています。

名簿提供の同意を得た要支援者等を記載した「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、各区、民生児童委員等関係機関に提供しました。世帯状況の変化に対応しながら、引き続き同意率の引き上げを図っていきます。

ささえあいセンターにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止により、利用の自粛をお願いしているため、利用者が減っておりますが、指定管理者である市社会福祉協議会と連携を図り、今後もボランティア活動の拠点として利用の推進を図ります。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	94
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0103020	福祉医療費給付事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
570,846,000	570,231,686	0	614,314	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
212,356,332		福祉医療給付事業補助金	203,993,000		
		福祉医療費貸付金元金収入	8,363,332		
				(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(175,345,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 福祉医療費給付事業

乳幼児、障がい者、母子・父子家庭の医療費自己負担分の給付を行い福祉の増進を図りました。  
(令和3年度実績値の右側は対前年比% 3年度/2年度)

区分	年度	受給者数(人)		給付額(円)		給付金県補助金(円)	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
乳幼児	3	11,232	98.5	197,018,171	102.8	45,852,000	116.9
	2	11,406		191,636,719		39,211,000	
障がい者	3	3,950	101.8	285,463,557	104.1	127,217,000	101.9
	2	3,882		274,137,320		124,886,000	
母子	3	1,882	97.2	42,534,162	112.8	18,501,000	115.5
	2	1,937		37,714,107		16,025,000	
父子	3	264	98.5	4,497,568	95.7	912,000	77.6
	2	268		4,700,101		1,176,000	
計	3	17,328	99.1	529,513,458	104.2	192,482,000	106.2
	2	17,493		508,188,247		181,298,000	

医療機関事務手数料(円)				事務費県補助金(円)			
令和3年度	国保連合会	(25円)	2,476,175円	令和3年度	国保連合会		1,320,000円
	"	(62円)	922,684円		社保支払基金		1,471,000円
	社保支払基金	(55円※)	6,174,398円		医療機関		8,720,000円
	医療機関	(195円)	19,428,825円		補助金合計		11,511,000円
	手数料合計		29,002,082円				
令和2年度	国保連合会	(25円)	2,400,375円	令和2年度	国保連合会		1,264,000円
	"	(62円)	780,580円		社保支払基金		1,259,000円
	社保支払基金	(55円※)	6,127,158円		医療機関		8,499,000円
	医療機関	(195円)	19,398,600円		補助金合計		11,022,000円
	手数料合計		28,706,713円				

( )内は単価。 ※社保支払基金は手数料各種の平均単価

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		基本施策	地域医療の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 2 福祉医療費貸付事業

福祉医療費受給対象者の内、医療費の支払いが困難な市民に対して医療費の支払いに充てる事で受診控えによる重症化を防ぐため、資金を貸し付けました

(令和3年度/令和2年度)

年度	利用者数（人）	貸付延件数	貸付金額（円）
令和3年度	77	1,878	8,363,332
令和2年度	77	1,744	8,415,659
対前年比	100%	107.7%	99.4%

### 上記の評価と課題等

福祉医療費給付事業では、経済的不安を減らし、安心して医療機関等へ受診ができるよう、給付を行いました。令和3年8月診療分より、精神障がい者2級の補助対象範囲を通院全診療科に拡大し、令和4年4月より児童の年齢要件を18歳到達年の年度末まで拡大しています。

また、福祉医療費貸付事業については、医療機関等での支払いが困難な方を支援する制度で、早期受診に寄与しています。今後、潜在的な需要が増えることも考えられるため、受給者証交付の際等に周知を図ります。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	94
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103036	福祉灯油等助成事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
41,097,000	39,290,220	0	1,806,780	95.6%	
特定財源の合計金額	左	細節名	金額	細節名	金額
39,290,220	記の内訳	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	39,290,220		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 福祉灯油等助成事業 事業費（助成金） 37,130,000円  
事務費（役務費等） 2,160,220円

原油価格の急激な高騰が市民生活を直撃し、価格高騰による影響の拡大が懸念されたことから、市民生活の安心確保等に向けて必要な対策を講ずるため、本事業を実施しました。生活困窮者世帯のうち、特に支援を必要とする対象世帯の暖房のために必要な灯油等の購入に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しました。

なお、本事業は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して実施しており、事業費及び事務費は全額補助となります。

(1) 対象世帯（基準日：令和3年12月1日）

①生活保護世帯

②令和3年度住民税非課税世帯のうち、次のいずれかに該当する世帯。

ただし、施設等入所者を除く。

ア 75歳以上のみの世帯

イ 重度障がい者のいる世帯

（身体障害者手帳1、2級、療育手帳A1、精神障害者保健福祉手帳1級）

ウ 母子世帯・父子世帯

エ 重度要介護者のいる世帯（要介護度4・5）

(2) 支給額 1世帯につき1万円

(3) 対象世帯数 4,241世帯

(4) 申請率（世帯） 87.55%（3,713世帯）

(5) 給付額 37,130,000円

### 上記の評価と課題等

緊急的な対応でしたが、限られた時間の中で対象者を確認し、迅速かつ的確に対象者へ通知することができました。また、申請書が提出された後も、可能な限り早く給付を行いました。

その結果、家計への支援に繋がったと考えております。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	94
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103037	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
909,300,000	734,883,449	173,691,000	725,551	80.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
706,292,733		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金	706,292,733		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 事業費（給付金） 723,600,000円  
事務費（委託料等） 11,283,449円  
繰越明許費 173,691,000円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、国が令和3年11月19日に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、様々な困難に直面した方々に対して生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円を支給しました。本事業は令和4年9月30日が期限となっているため、令和4年度も継続して実施します。

なお、事業費及び事務費は全額国庫補助となります。国と市の会計事務の違いにより令和3年度は支出に対して特定財源が少なくなっていますが、令和4年度で調整され全額補助されます。

(1) 対象世帯（基準日：令和3年12月10日）

① 住民税均等割非課税世帯

基準日において、安曇野市に住民登録があり、世帯全員の令和3年度の住民税均等割が非課税である世帯

② 家計急変世帯

令和3年度の住民税均等割が課税されている世帯のうち、申請時点で安曇野市に住民票があり、令和3年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度課税時における世帯全員のそれぞれの年収見込額が、住民税均等割非課税相当である世帯

※ ただし、①、②ともに世帯全員が、住民税（均等割）が課税されているほかの親族等の扶養を受けていないことが条件

(2) 支給額 1世帯につき10万円

(3) 対象世帯数、申請世帯数（令和3年度支出分）

① 住民税均等割非課税世帯（対象世帯8,219世帯） 7,216世帯

② 家計急変世帯 20世帯

(4) 給付額 723,600,000円

### 上記の評価と課題等

特別定額給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法をとったことにより、迅速な給付が可能となりました。

その結果、対象となった世帯への支援に繋がったと考えます。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	94
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103038	新生児特別定額給付金給付事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,065,000	3,018,005	0	46,995	98.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,500,000		福祉基金繰入金	2,500,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 新生児特別定額給付金給付事業
- |          |            |
|----------|------------|
| 事業費（給付金） | 3,000,000円 |
| 事務費      | 18,005円    |

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、不安を抱えつつ出産・育児に携わっていただいている方の心理的・経済的負担を緩和し、新生児の健やかな成長を応援することを目的に令和2年度から令和3年度にかけて実施した事業です。対象者の大部分は、令和2年度に給付済みですが、年度末に出生した新生児に対応するため、令和3年度当初まで事業を実施しました。

1人10万円を給付した特別定額給付金事業の対象とならなかった新生児を対象とし、出生時に安曇野市に住民票が無くても、対象期間に生まれた新生児で、申請期限までに転入して安曇野市にお住まいであれば本事業の対象としました。

- (1) 対象者 令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児で申請時に安曇野市に住民票がある者
- (2) 給付額 1人5万円
- (3) 給付対象者 令和3年度 60人（令和2、3年度合計 544人）
- (4) 給付総額 27,200,000円（令和2、3年度合計 544人）

### 上記の評価と課題等

特別定額給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法をとったことにより、対象者全員から提出をいただき迅速な給付が可能となりました。  
その結果、対象となった家族の負担軽減に繋がったと考えられます。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	100
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
28,464,000	27,046,185	0	1,417,815	95.0%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,021,550		生活困窮者自立相談支援事業負担金	8,035,500	家計改善支援事業補助金	1,576,000
		生活困窮者住居確保給付金負担金	5,044,050	一時生活支援事業補助金	160,000
		子ども学習支援事業補助金	2,531,000		
		就労準備支援事業補助金	675,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 生活困窮者自立支援制度

平成27年4月より施行の生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援します。

#### (1) 必須事業

##### ○生活困窮者自立相談支援事業（国庫負担金：補助率3/4）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却するため、対象者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。市社会福祉協議会が設置する「安曇野市生活就労支援センター」愛称：まいさぼ安曇野に業務を委託しています。（委託料：9,726,573円）

相談・プラン作成数（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談数	31	36	40	20	26	28	19	15	14	12	22	17	280
プラン作成	7	6	4	7	1	5	2	2	1	1	1	3	40

新規相談数のうち、新型コロナウイルス感染症対策の特例措置のあった緊急小口資金等に関する相談が多くを占めています。

##### ○住居確保給付金の給付（国庫負担金：補助率3/4）

離職や休業等により収入が減少し、住宅を失った又は失うおそれのある生活困窮者に対して、求職活動等を実施しすることを条件に、家賃相当（上限あり）の給付金を3か月（最長12か月）支給しました。

給付実績

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給金額	390,780円	7,295,490円	5,202,100円
支給者数	4人	42人	34人
支給延件数	12件	214件	160件

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (2) 任意事業

##### ○家計改善支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

自立相談支援機関に相談に訪れた困窮者で、家計に関わる問題を抱えている人に対し家計支援計画の作成を行い、継続し助言することで自らの家計の課題に気づき管理意欲を引き出し、早期に生活再生できるように支援しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した世帯向けの「緊急小口資金等の特例貸付」に関する相談も多い状況です。

委託先：（福）安曇野市社会福祉協議会 委託料：2,275,900円 支援計画作成：30世帯

##### ○一時生活支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

一定の住居を持たない生活困窮者への一時的な宿泊場所や食費の提供を行うことにより、安定した生活を営めるように支援をしました。

支援対象者：7名 延べ宿泊日数：62泊 支給額：446,008円

##### ○就労準備支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

仕事を探せない、就労の経験がない等、就労に関しての悩みがある生活保護受給者、生活困窮者に対し、一般就労に従事するための準備段階（生活自立段階、社会自立段階、就労自立段階）としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援しました。

県との共同実施（県が代表で委託契約し、市は負担金を拠出）

委託先：企業組合労協ながの 負担金：1,014,000円 利用人数：4名

##### ○子どもの学習支援・生活支援事業（国庫補助金：補助率1/2）

貧困の連鎖の防止をねらいとし、将来生活困窮者になるおそれのある子どもに対し、学習支援や交流を通じて、社会性や協調性を育むことを目的に実施しました。また、子ども及びその保護者等に対する生活習慣、育成環境の改善、教育、就労に関する支援を行いました。

対象者：生活保護世帯、生活困窮世帯、ひとり親家庭、不登校、ひきこもり状態である児童・生徒。また、対象者の保護者等。

委託先：（福）安曇野市社会福祉協議会、NPO法人Gland・Riche 委託料：4,834,140円

### 上記の評価と課題等

令和3年度の自立相談支援事業の相談件数は280件で、前年度の620件よりは減少しましたが、新型コロナウイルスの影響が長期化していることから、緊急小口資金等の貸付相談や住居確保給付金の支給額が依然として多い状況にあります。市民に対しての相談窓口や制度の周知を一層強化し、適切な支援へ繋げていきます。

子ども学習支援事業は、感染症対策をしながらの実施となりました。今後は、支援を必要としている子どもの早期発見や、未実施地区への事業の拡大と、交通手段のない子どもへの参加しやすい体制を整備していきます。

就労準備支援事業は、ひきこもり等で一般就労ができない者にとって、社会習慣の形成や就労前の基礎能力を取得できる機会として有効であるため、関係機関と連携をし、一人でも多く一般就労に繋がります。



令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	100
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103127	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
44,997,000	37,596,883	0	7,400,117	83.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
44,997,000		新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金補助金	44,997,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業（国庫補助金：補助率10/10）

県社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付が終了した世帯を対象に、就労による自立を図るための求職活動等を行うことを条件に原則3ヶ月（最長6か月）支援金を支給しました。

支給月額：単身世帯6万円、二人世帯8万円、三人以上世帯10万円

支給世帯数：122世帯 支給総額36,920,000円

### 上記の評価と課題等

該当世帯へ制度を周知し、申請のあった世帯に迅速に支給することができました。その結果、就職等による収入増につながるまでの間、生活の立て直しのために支援金を活用してもらうことができました。しかし、支援金の支給により一時的な生活費とすることはできたが、求職活動を実施しているにもかかわらず、就労に結び付かない世帯も見られました。そのような場合には、求職活動の継続を促しておりますが、支給が終了してもなお生活に困窮する場合には、生活保護制度を案内しています。なお、支援金の申請期限が令和4年8月31日まで延長されていますので、引き続き支給事務を継続します。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	114
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
737,569,000	733,160,493	0	4,408,507	99.4%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
526,770,589	生活保護費国庫負担金	488,025,000	生活保護費県負担金	8,342,412
	国庫負担金前年度精算分	6,173,058	生活保護支援貸付金元金収入	190,000
	被保護者就労支援事業負担金	1,725,183	返還金・徴収金	16,749,413
	生活困窮者自立相談支援事業負担金	2,233,153	返還金・徴収金(過年度分)	3,000,370
	適正実施推進事業補助金	332,000	(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(57,663,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### (1) 生活保護の動向

令和3年3月31日現在、310世帯・364人で保護率は3.9%でした。  
令和4年3月31日現在、309世帯・370人で保護率は3.9%とほぼ横ばいで推移しました。

《月別生活保護状況(各月末現在)》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世帯	311	312	313	312	308	311	313	313	309	306	308	309
人数	367	369	369	368	365	368	370	370	364	363	365	370

#### (2) 生活保護開始・廃止の状況

昨年度と比較し、開始件数が9件、廃止件数が6件減少となりました。

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申請件数	42件(取り下げ10件)	68件(取り下げ8件)	59件(取り下げ8件)
開始件数	32件	58件	49件
廃止件数	63件	48件	42件

#### (3) 生活保護扶助費の総額は604,717,299円で、前年比43,396,887円増となりました。増額の主な要因は、医療扶助費が前年比42,747,860円の増となっていることです。

#### (4) 就労自立給付金 支給世帯：4世帯 支給額135,905円 就労収入により生活保護が廃止となった世帯に対し、申請に基づき支給します。

#### (5) 就労支援事業費 2,304,542円 生活保護受給者及び生活困窮者の就労を促進し、経済的自立を図ることを目的に、就労支援員が就労に関する情報等を収集し、助言及び指導を行いました。

#### (6) 健康管理支援事業費 2,908,536円 ケースワーカーの定期訪問に管理栄養士が同行し、生活習慣の聞き取りを行いながら健診受診勧奨、生活支援を実施しました。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	生活保護総務費			
	事業	0103510	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

《生活保護費内訳》

扶助別区分	令和2年度（円）	令和3年度（円）	前年比（％）	構成比（％）
生活扶助	156,716,936	160,367,772	102.3	26.5
住宅扶助	75,453,708	70,873,870	93.9	11.7
教育扶助	1,724,593	1,578,977	91.6	0.3
介護扶助	11,496,159	12,242,381	106.5	2.0
医療扶助	275,708,690	318,456,550	115.5	52.7
出産扶助	90,970	0	0.0	0.0
生業扶助	1,743,458	745,105	42.7	0.1
葬祭扶助	492,677	1,738,832	352.9	0.3
保護施設事務費	37,493,221	38,413,812	102.5	6.4
進学準備給付金	400,000	300,000	75.0	0.0
合計	561,320,412	604,717,299	107.7	100.0

(7) 生活保護適正実施推進事業（レセプト点検委託） 323,860円

医療扶助におけるレセプト点検作業を委託により実施しました。

(8) ホームレス対策費 支給額：17,547円

支援件数：3件（旅費及び食料費支援）

(9) 生活保護支援資金貸付 貸付額：190,000円

利用件数：13件

生活保護申請者の中には、保護の開始が決定されるまでの生活資金がない人もおり、対象者には支援資金貸付を行い、保護開始後最初の保護費支給時に一括返還をしてもらっています。

(10) 償還金（令和2年度精算分）

・生活保護扶助費等（国庫負担金） 39,927,145円

・生活保護適正実施推進事業（国庫補助金） 108,000円

### 上記の評価と課題等

生活保護受給者世帯の人員は、ほぼ横ばいで推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中であっても大幅な増加は見られませんでした。これは、様々な給付金制度や支援策、生活困窮者自立支援事業などが機能したものと推察しています。今後も、生活保護受給者の生活実態の把握に努め、他法他施策の活用や、就労支援により多くの生活保護受給者が自立した生活ができるよう努めてまいります。

生活保護の対象とならない生活困窮者については、生活困窮者自立支援制度へ繋げるよう「まいさば安曇野」による相談支援事業や、子どもに対する学習支援事業等を活用し、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度が貧困者支援の両輪として機能するよう、さらに連携を強化してまいります。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	116
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
77,603,000	77,577,794	0	25,206	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,270,696		公共施設目的外使用料	8,300		
		生活保護費国庫負担金	40,500,000		
		障害者就労支援センター電気料	665,976		
		社会就労センター自販機電気料	96,420		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

平成28年4月より社会就労センター全施設の管理運営業務を指定管理者制度へ移行し、指定管理事業者の一般社団法人安曇野エルチと基本協定を締結しています。  
（今回指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日）

（1）令和3年度指定管理委託料（年度協定額）

ア	豊科社会就労センター	16,265,000円
イ	穂高社会就労センター	17,050,000円
ウ	三郷社会就労センター	16,979,000円
エ	明科社会就労センター	23,153,000円

（2）主な施設維持管理費（修繕、工事、物品購入等）

ア	敷地内支障木除去工事	281,600円（三郷）
イ	電話設備修繕	122,100円（豊科）
ウ	自動ドア装置修繕	297,000円（三郷）
エ	屋根雨漏り修繕	346,500円（明科）
オ	運搬用公用車購入	2,728,178円（穂高）

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ○豊科社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 4 人
- (2) 施設利用状況 (R4. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 28人 (障がい者15人、65歳以上高齢者 9人、その他 4人)
- ウ 認定状況 生活保護法 12人 (内 保護費受給者 3名)  
障害者総合支援法 12人 (内 保護費受給者 2名)
- エ 認定者以外の利用 4人 施設利用料：53,137円 (賃金の3%分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
3	12社	10,838,598	850,200	9,988,398	33,184	144.7
2	10社	8,284,269	623,900	7,660,369	22,935	73.4
元	7社	11,781,178	812,700	10,968,478	31,249	94.3

#### ○穂高社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 5 人
- (2) 施設利用状況 (R4. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 33人 (障がい者16人、65歳以上高齢者11人、その他 6人)
- ウ 認定状況 生活保護法 15人 (内 保護費受給者 6名)  
障害者総合支援法 13人
- エ 認定者以外の利用 5人 施設利用料：176,894円 (賃金の3%分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
3	14社	29,157,222	2,287,100	26,870,122	69,075	113.8
2	16社	22,980,819	1,730,700	21,250,119	60,715	101.3
元	17社	22,857,761	1,576,800	21,280,961	59,946	106.8

### 上記の評価と課題等

(豊科) 新型コロナウイルス集団感染が発生し稼働日が10日間減となりましたが、令和2年度に比べ受注収入額が伸び、利用者の工賃が前年度比144%、支給額は金額にして232万円程の増収となりました。利用者は入所者が6名、退所者が6名で2名の定員割れが続き今後の課題となっています。障がい者や高齢者が取り組みやすい作業量の確保、高い工賃の作業を探すなど、新規企業を開拓し就労継続支援に努めていきます。

(穂高) 令和2年度に比べ大幅に受注収入額が伸び、利用者の工賃が前年度比113%とアップできました。利用者は6名退所し8名が入所しました。1名は、一般就労に繋がりました。一生懸命作業に取り組む利用者の工賃を少しでもアップできるように、今後も経済の動向を注視しながら、利用者に適した作業の確保と工賃の増加を目指し、様々な催しを企画しながら働く喜びと生きがいの場としての授産施設の機能発揮に努めます。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		基本施策	生活困窮者への支援

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

##### ○三郷社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 4 人
- (2) 施設利用状況 (R4. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 33人 (障がい者12人、65歳以上高齢者10人、その他11人)
- ウ 認定状況 生活保護法 15人 (内 保護費受給者 5名)  
障害者総合支援法 12人
- エ 認定者以外の利用 6人 施設利用料：241,076円 (賃金の3%分)

##### (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
3	4社	34,288,114	2,689,700	31,598,414	89,514	138.3
2	4社	24,157,224	1,819,400	22,337,824	64,747	93.2
元	4社	26,414,850	1,882,100	24,592,750	69,471	106.1

##### ○明科社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 6 人
- (2) 施設利用状況 (R4. 3. 31現在)
- ア 利用定員 40人
- イ 利用状況 27人 (障がい者11人、65歳以上高齢者13人、その他3人)
- ウ 認定状況 生活保護法 12人 (内 保護費受給者 1名)  
障害者総合支援法 11人
- エ 認定者以外の利用 4人 施設利用料：108,367円 (賃金の3%分)

##### (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
3	15社	18,144,258	1,423,300	16,720,958	47,368	116.8
2	15社	16,705,373	1,258,100	15,447,273	40,544	75.5
元	15社	22,958,776	1,583,700	21,375,076	53,706	108.6

#### 上記の評価と課題等

(三郷) コロナの影響で一部食品漬物部門の仕事量が減少しましたが、他の食品部門と車載用カメラ等を含む電子部品の検査は終始安定した仕事量が確保でき、利用者への支給工賃は前年度比138.3%となりました。利用者は12名入所し6名が退所しました。入所者の内、障がい者の方は6名です。国際的な社会情勢の変化と共に、今後も企業の動向が懸念される場所ですが、経済の動向を注視しながら利用者に適した作業を確保し、生きがいの場としての授産施設の機能発揮に努めます。

(明科) コロナ禍ですが、支給工賃は前年度比116.8%となりました。利用者は7名退所2名入所し5名減となりました。退所者の内5名はセンターの目的である「訓練により自立のための各種支援を行う」ことが実践され一般就労が叶いました。過疎化が進む地域特性がありますが、今後も社会福祉施設の目的を踏まえて利用者の確保と、働く喜びと生きがいの場としての授産施設の機能発揮に努めていきます。

令和4年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	116
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	災害救助費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
500,000	280,000	0	220,000	56.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 災害救助費

災害見舞金 280,000円

火災罹災者に対し見舞金を支給しました。

区分	見舞金の額	令和2年度	令和3年度
		件数	件数
(1) 火災により死亡	10万円	0	0
(2) 被害面積：住居の延床面積70%以上	5万円	3	5
(3) 被害面積：住居の延床面積20%以上	3万円	1	1

### 上記の評価と課題等

火災で罹災された方へ迅速に見舞金及び弔慰金を支給することで、生活の安定に資する事ができ罹災者にとって有効な制度となっています。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	102
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103130	老人福祉総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
231,095,000	227,126,457	0	3,968,543	98.3%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
11,209,000	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	1,296,000	ふるさと寄附基金繰入金	8,468,000
	老人クラブ活動助成事 業補助金	1,445,000	(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(15,075,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 高齢者の生きがいに寄与する事業

##### ① 老人大学の開催

高齢者の仲間づくりや生きがいづくり活動を推進し、地域での社会活動のリーダー育成を目的に老人大学を開催しました。

受講者数 71人(修了生数 60人) 事業委託料 2,397,017円

##### ② 入浴料金割引券交付事業

高齢者の健康増進及び外出支援のため、70歳以上の高齢者で希望する人に、市内約16入浴施設で利用できる入浴割引券を、対象者1人に対し12枚交付しました。

年度	対象者数	申請率	使用枚数	施設への支払額	利用率
令和3年度	25,999人	42.1%	39,776枚	7,955,200円	30.3%
令和2年度	23,068人	40.4%	60,824枚	19,281,620円	27.2%

#### 2 要介護者及びその家族を支援する事業

##### 家庭介護者介護慰労金支給事業

要介護3以上の高齢者を、一定の要件を満たして在宅介護する家族等に対し、50,000円の慰労金を支給しました。

支給者数 512人 支給金額 25,600,000円

#### 3 高齢者敬老祝賀事業

「敬老の日」に併せ、最高年齢者及び100歳を迎えられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、市長等が訪問して記念品を贈呈しました。88歳(米寿)を迎えられた高齢者へは、民生児童委員が訪問し長寿をお祝いしました。

対象者 最高年齢者 男女各1人 100歳 64人 88歳 598人

記念品支出総額 2,899,200円



予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 各種団体補助及び施設運営補助等

##### ① シニアクラブ連合会運営補助

シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブが行う社会参加型事業に対し助成を行い、高齢者による地域づくり・明るい長寿社会づくりを促進しました。

会 員 数	補助金額等
(令和3年度末現在) 3,033人	4,335,500円
(令和2年度末現在) 3,216人	4,427,000円

##### ② シルバー人材センター運営補助

高齢化が進展する中、長年培った経験・知識・技能を発揮できる就労の場があることにより、社会参加の機会、生きがい活動の充実、地域社会へ貢献が図られていました。

会 員 数	就業延日人員	補助金額
(令和3年度末現在) 858人	104,540人日	11,329,000円
(令和2年度末現在) 871人	105,967人日	11,329,000円

##### ③ 老人福祉センター運営補助

地域の高齢者の仲間づくりや生きがい活動の拠点として利用されている施設の運営に対し補助金を交付しました。

施 設 名	年度	補助金額	施設利用者
豊科老人福祉センター	令和3年度	9,755,091円	15,705人
	令和2年度	9,097,644円	11,835人
堀金老人福祉センター	令和3年度	8,558,047円	6,796人
	令和2年度	8,017,892円	6,350人

#### 5 福祉有償運送運営協議会の開催

法人等が計画する白ナンバーの車両を用いた福祉目的の有償運送について、事業の適格性を協議するための組織として安曇野市福祉有償運送運営協議会を設置しています。（委員11人）書面決議による運営協議会を1回開催し、認定団体の事業実施報告を了承いただきました。

#### 6 新型コロナウイルス感染症対策衛生用品の配布

消毒液等の感染対策用衛生用品を一括購入し、市内の高齢者施設に無償配布することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につなげました。

配布事業所数 23事業所 衛生用品購入金額 1,296,394円

### 上記の評価と課題等

安曇野市の高齢化率が31.63%（令和4年3月31日現在）となり、高齢者が健康で生きがいを持ちながら日々の生活を送ることが求められており、高齢者の生きがいづくり活動と社会参加の推進が重要な課題です。シニアクラブの活動への参加やシルバー人材センターへの就労は効果的な施策であるため、継続した支援を行っていく必要があります。

入浴料金割引券交付事業はこの間の実績を踏まえ、令和3年度より利用枚数の見直しや同伴者も一部割引券を利用できるよう改善しました。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	102
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103140	在宅福祉事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
51,409,000	47,763,424	0	3,645,576	92.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,476,890		配食サービス利用料	16,276,600	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	100,000
		軽度生活援助利用料	208,300	生活管理短期宿泊利用料	513,360
		緊急通報システム利用料	1,378,630	ふるさと寄附基金繰入金	
		5,000,000			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 在宅の高齢者の生活を支援するサービス

事業名	年度	利用人数	延べ利用数	決算額
配食サービス事業	3	181人	34,208食	25,854,840円
	2	282人	36,911食	27,852,930円
緊急通報サービス事業	3	248人		7,298,319円
	2	294人		7,948,472円
生活管理短期宿泊事業	3	8人	372日	1,755,660円
	2	10人	659日	3,207,345円
軽度生活援助事業	3	63人	1,957回	779,885円
	2	57人	1,875回	727,401円
訪問理美容サービス事業	3	123人	182回	364,000円
	2	72人	175回	350,000円

#### 2 高齢者通院等支援サービス

要介護3以上の在宅高齢者の医療機関、福祉施設への移送時のタクシー等利用料金の助成を行いました。

事業名称	年度	利用人数	助成金額
高齢者通院等支援サービス	3	504人	2,602,090円
	2	535人	2,384,170円
寝たきり高齢者等通院等支援サービス	3	26人	266,255円
	2	27人	340,860円

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 高齢者の健康づくり等の活動に対する支援事業

##### ① 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金

高齢者のための地区敬老会事業、スポーツ大会等の開催、地域での学習活動の講師謝礼及び会場使用料に対する補助金を交付しました。

年度	支給件数	対象者人数	補助金額
令和3年度	84件	11,749人	2,745,700円
令和2年度	80件	11,081人	2,617,737円

##### ② アクティブシニアがんばろう事業補助金

40歳以上の市民で8人以上、65歳以上の市民が5割以上含まれ、2か月に1回以上定期的に運動機能等の向上に資する活動を行う団体に補助金を交付しました。

年度	支給団体数	対象者人数	補助金額
令和3年度	80団体	1,590人	5,818,070円
令和2年度	70団体	1,357人	4,807,204円

##### ③ 健康体操指導員派遣事業

健康づくり活動を自主的に行う新規立ち上げ団体及びシニアクラブ連合会による介護予防事業に健康体操指導員を派遣しています。令和3年度は申請がありませんでした。

年度	派遣団体数	延派遣回数	利用者人数	講師謝礼金
令和3年度	0団体	0回	0人	0円
令和2年度	3団体	20回	75人	170,000円

### 上記の評価と課題等

高齢化の進展とともに、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加している中、高齢者が在宅で暮らすことができるためのサービスを実施することにより、住み慣れた地域での生活支援を行っています。

高齢者の生活状況や身体的状況等によって必要なサービスを利用していただくために、民生児童委員の訪問による相談活動やケアマネジャー等の介護相談を通じて、サービス内容を紹介し利用につなげていただいています。

アクティブシニアがんばろう事業は、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが80団体と活動の輪が広がっています。

元気な高齢者を増やすため、健康増進及び介護予防の充実は重要であり、今後も当事業の推進を行っていく必要があります。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	102
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
97,681,000	97,563,893	0	117,107	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,662,728		老人入所措置費個人負担金	21,662,728		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 養護老人ホーム入所措置事業

環境的な理由や経済的な理由により在宅において生活が困難な人の入所措置を行いました。

措置人員 (R4.3.31現在)	年度の入退所者数	措置費	施設名
43人	入所者 8人	97,563,893円	安曇寮23人 温心寮16人 松風園1人 鹿島荘1人 和楽荘1人 光の園1人
	退所者 7人		

### 上記の評価と課題等

令和3年度は養護老人ホームに8人の新規入所措置を行い、安定した生活の場を確保しました。高齢者のひとり暮らしの増加や家族間の疎遠、虐待など、高齢者を取り巻く社会環境を踏まえ、今後も個々のケースに応じた支援を実施していく必要があります。養護老人ホームへの措置入所を必要とする高齢者は増えているものの、入所措置できる人数には限りがあるため、迅速な入所を実現できるよう引き続き適切な対応をしていきます。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	102
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
162,604,000	159,176,178	0	3,427,822	97.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,689,371		豊科ふれあいホール使用料	165,893	デイサービスセンター 指定管理者納付金	5,990,000
		福祉基金繰入金	8,140,000	総合福祉センター管理 費等徴収金	16,352,896
		高齢者福祉施設自販機 電気料	40,582		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 穂高地域福祉センターの管理

##### ① 指定管理者による管理運営

指定管理者名	指定管理委託料	指定期間
(福)安曇野市社会福祉協議会	14,346,000円	H30.4.1~R5.3.31

##### ② 維持管理のための経費支払い なし

##### ③ 年間利用者数

年度比較	令和2年度	令和3年度
利用者人数(人)	15,685人	21,381人

#### 2 三郷福祉センターの管理

##### ① 指定管理者による管理運営

指定管理者名	指定管理委託料	指定期間
(福)安曇野市社会福祉協議会	16,295,000円	H31.4.1~R6.3.31

##### ② 維持管理のための経費支払い

項目等	支出額
施設用地借地料	3,247,245円

##### ③ 年間利用者数

年度比較	令和2年度	令和3年度
利用者人数(人)	8,303人	9,006人

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		基本施策	高齢者福祉の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 三郷屋内ゲートボール場の管理

##### ① 指定管理者による管理運営

指定管理者名	指定管理委託料	指定期間
(福) 安曇野市社会福祉協議会	95,000円	H31. 4. 1～R6. 3. 31

##### ② 維持管理のための経費支払い なし

##### ③ 年間利用者数

年度比較	令和2年度	令和3年度
利用者人数(人)	1,762人	1,654人

4 明科総合福祉センター修繕 85,528,212円  
(エアコン更新工事、非常用自家発電機更新工事他)

5 穂高地域福祉センター修繕 2,810,500円  
(地下タンク電気防食工事他)

6 堀金デイサービスセンター修繕 2,382,600円  
(デイサービス浴室床修繕、ろ過装置修繕他)

7 三郷福祉センター修繕 873,400円  
(ろ過装置修繕)

### 上記の評価と課題等

デイサービスセンター、福祉センター等の施設は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた指定管理者により適正に管理運営を行いました。

老朽化による修繕が多くなってきましたので、大規模改修等については令和2年度に長寿命化計画のための劣化診断を行いました。この計画を基に施設の長寿命化を図っていきます。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	104
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103180	介護保険対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,355,244,000	1,355,155,996	0	88,004	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
64,763,972		低所得者保険料軽減国庫負担金	37,436,100	低所得者保険料軽減国庫負担金過年度分	1,255,140
		低所得者保険料軽減県負担金	18,718,050	低所得者保険料軽減県負担金過年度分	627,570
		介護保険事業費補助金	210,000	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	6,517,112
				(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(623,002,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

介護保険制度における、低所得者対策等として社会福祉法人等による利用者負担軽減措置を実施しました。利用者の実人数(認定者数)が前年度より26.3%増加、事業額は20.8%増加しております。また介護保険特別会計への繰出金は、前年度に比べ26,325千円増加しました。

事業名	内容	人数・件数等 ( )内は前年度	決算額 ( )内は前年度
社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業	社会福祉法人が利用者負担の1/4を軽減し、法人の軽減額に対し、市が1/2以内で補助	48人 (38人) ※認定者数	281,017円 (232,488円)
介護・福祉事業者等配布用衛生用品の購入	介護保険事業所へ希望調査をし希望があった事業所へ衛生用品を購入し配布	136事業所	6,517,112円 (2,145,000円)
繰出金	介護保険特別会計へ繰出し		1,335,697,405円 (1,309,372,898円)

### 上記の評価と課題等

消毒液等の感染対策用衛生用品を一括購入し、市内の介護保険施設に無償配布することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につながりました。

令和4年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	104
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103190	在宅介護福祉事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,265,000	13,618,160	0	1,646,840	89.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 家族介護用品購入助成事業

要介護3以上の方を在宅で介護する家族介護者を支援する目的で、介護用品の購入を助成する事業を実施しました。

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	675人	671人	705人
助成金額	6,401,175円	6,593,076円	6,563,576円

#### 2 成年後見支援センター委託事業

「成年後見制度の利用に関する法律」および「成年後見制度の利用促進基本計画」に基づき、本年度より安曇野市、松本市を含む2市5村の共同設置による中核機関を「成年後見支援センターかけはし」に業務委託としました。

委託内容は、地域連携ネットワークによる中核機関業務のほか、法人後見の受任に関すること、成年後見制度に関わる関係機関等との連携等です。

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託金額	6,365,710円	6,412,150円	6,804,180円

\*令和2年度までは、成年後見支援センターかけはしの事業については補助事業でした。

### 上記の評価と課題等

家族介護用品購入助成事業は、家族介護者の経済的負担の軽減を図ることができ、事業利用者には好評です。

成年後見支援センターかけはしは、中核機関として地域の権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けて司令塔的役割と地域連携ネットワークの調整役を担い、成年後見制度利用促進協議会の事務局を担当しています。また、成年後見制度利用促進協議会からの専門的助言を受けることができるよう連携を図るとともに、成年後見制度に関する周知啓発も行い、大きな責務を果たしています。



令和4年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書 ページ	96
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
73,598,000	72,649,400	0	948,600	98.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,130,000		地域生活支援事業補助金【国】	3,356,000	障害者就労支援センター指定管理者納付金	1,000,000
		地域生活支援事業補助金【県】	1,678,000		
		地域福祉総合助成金	1,586,000		
		障害者活動支援センター指定管理者納付金	510,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

「障がい者支援センター費」では、指定管理施設7か所の予算を管理しています。これらの施設は障がいのある方が主に利用しています。特に障害者活動支援センターは、市内で唯一の特殊浴槽を完備する生活介護施設として、重度障がい者の方が多く利用しています。建築から27～30年経過する施設が3カ所あり、今後は老朽化による修繕費用の増加が見込まれます。  
(他にも建築から約20年経過しているものが2カ所あります。)

#### 1 指定管理料

施設名	指定管理事業者	建築年	指定管理委託料	指定管理者納付金
障害者活動支援センター	(福)安曇野市 社会福祉協議会	1994年	0円	510,000円
豊科たんぼぼ		1994年	0円	360,000円
穂高わたぼうし		2004年	25,250,000円	100,000円
三郷すみれの郷		2000年	11,292,000円	0円
堀金かえでの家		1991年	0円	540,000円
明科ふきぼこの家		2000年	18,527,000円	0円
ひめこぶしの家	NPO法人ほのぼの会	2007年	10,572,000円	0円

#### 2 修繕・工事請負費等（10万円以上の案件）

- 障害者活動支援センター電話交換機等更新工事 156,200円  
社会福祉協議会本所の電話交換機入れ替えに伴う電話機の更新
- 障害者活動支援センター空調機器仮設工事 4,950,000円  
6月中旬に故障した空調機器の代用として3ヵ月間仮設の機器を設置・運用  
→令和4年度に空調機器の更新を予定
- 障害者活動支援センター自動ドア装置取替修繕 616,000円  
点検で損耗の確認された自動ドアのセンサーと駆動系の交換
- 障害者活動支援センター屋外污水配管替え修繕 423,500円  
屋外の污水配管のズレ等によりつまりが生じていたため配管を交換

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 施設の状況

ひめこぶしの家、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家では、地域活動支援センターを開設しており、利用者の障がいの程度や状態等に応じ、一般就労に向けた基礎訓練や余暇活動等を行っています。

特に穂高わたぼうしと明科ふきぼこの家では、県の地域福祉総合助成金を活用して看護師を配置するなど、医療的ケアを必要とする障がい者の受け入れができる体制を維持しています。

#### 4 施設の利用者数（延べ人数）

（単位：人）※（ ）は前年度比

施設名	事業	定員	R2年度	R3年度
障害者活動支援センター	生活介護		2,654 ( -40)	2,709 ( +55)
	放課後等デイサービス・児童発達支援		819 (-457)	895 ( +76)
	日中一時支援		148 ( -26)	95 ( -53)
豊科たんぼぼ	就労継続支援B型	20	4,875 ( -87)	4,567 (-308)
堀金かえでの家		20	4,358 ( +60)	4,578 (+220)
三郷すみれの郷	地域活動支援センター	10	1,084 (-265)	1,033 ( -51)
明科ふきぼこの家		20	2,597 ( +47)	2,502 ( -95)
ひめこぶしの家		10	1,517 (-196)	1,418 ( -99)
穂高わたぼうし		20	2,071 (+265)	1,881 (-190)
	放課後等デイサービス	10	2,573 (-324)	2,500 ( -73)

### 上記の評価と課題等

障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、堀金かえでの家の運営費は、自立支援給付費（介護給付費、訓練等給付費）等により賄われており、市から指定管理委託料の支出はありません。

就労継続支援B型事業所の収益は、景気の影響や作業に関わる人員の増減により左右されるため、今後は新たな自主製品の開発や施設外就業事業にも力を入れるなど、利用者の工賃収入に繋がるよう増益を図っていく必要があります。

施設の延べ利用者数は、昨年度から大きく変動している施設が見られます。減少した理由としては、障がい等により元々体調が不安定な利用者が多く、他の施設の利用状況と比較しても変動しやすいと考えられますが、令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や実施時間の短縮、感染を懸念した利用登録者による「利用控え」等も一因と推測されます。集団生活と、健常者に比べて不安定な健康面、基礎疾患を有する場合には特に感染リスクも高まるため、障がい者への一層の配慮とともに、感染をさせない施設としてサービスを提供していくことが重要であることから、各事業所において感染予防と拡大抑制の対策をとっています。

令和4年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書 ページ	96
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,932,949,000	1,931,947,559	0	1,001,441	99.9%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
1,500,103,426	細節名	金額	細節名	金額
	自立支援給付費負担金【国】	813,849,500	自立支援給付費負担金【県】	391,920,581
	自立支援給付費負担金(過年度分)【国】	4,217,497	自立支援医療負担金【県】	7,350,772
	自立支援医療負担金【国】	23,700,000	障害児入所給付費等負担金【県】	78,807,512
	障害児入所給付費等負担金【国】	168,970,500	高額障害福祉サービス等給付費等返還金	39,503
	障害児入所給付費等負担金(過年度分)【国】	6,799,841	自立支援給付費精算金(事業所精算分)	4,447,720
			(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(222,066,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 自立支援給付事業 決算額：1,609,082,999円

主な事業決算額		R2		R3		前年比 (金額)
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	
医療費扶助	更生医療費	298	16,214,714	320	15,865,148	97.8%
	育成医療費	69	818,494	67	298,830	36.5%
	療養介護医療費	190	13,672,957	186	13,239,113	96.8%
	計	557	30,706,165	573	29,403,091	95.8%
自立支援給付サービス費等扶助	介護給付費等	5,453	754,780,638	5,723	781,482,435	103.5%
	訓練等給付費	5,449	629,606,969	6,102	709,917,715	112.8%
	補装具給付費	133	12,910,980	145	17,976,622	139.2%
	相談支援給付費	2,363	31,212,834	2,283	34,647,666	111.0%
	特定障害者特別給付費	2,252	21,233,564	2,080	19,535,641	92.0%
	高額障害福祉サービス費	574	4,302,010	576	4,222,276	98.2%
	計	16,224	1,454,046,995	16,909	1,567,782,355	107.8%

#### 2 障害児通所支援給付事業 決算額：315,169,531円

主な事業決算額		R2		R3		前年比 (金額)
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	
障害児通所支援給付費等		3,059	236,079,264	3,931	296,228,584	125.5%
障害児相談支援給付費		917	13,933,418	1,108	18,940,947	135.9%
計		3,976	250,012,682	5,039	315,169,531	126.1%

### 上記の評価と課題等

育成医療費は前年比36.5%を支出し、特に入院分の請求が減少となりました。  
 自立支援給付サービス費等扶助は、補装具の購入や訓練等給付の件数増加により増額となりました。  
 障害児通所支援給付事業は、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者の増加、相談件数の増加により前年に比べ増額となりました。  
 支給決定は、障がい者(児)本人の最善の利益を図り、自立の促進と共生社会の実現に向けた支援のために公正にその支給量を判断し決定しました。

令和4年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書 ページ	98
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
70,192,000	66,694,292	0	3,497,708	95.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,569,000	左記の内訳	地域生活支援事業補助金【国】	15,712,000		
		地域生活支援事業補助金【県】	7,856,000		
		小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業補助金	1,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 理解促進研修・啓発事業 報償費：30,000円  
障がい者等への理解を深めるため、研修や啓発事業を実施しています。今年度は市内在住の障がい当事者（画家）の講演会を開催しました。  
日程：令和3年11月28日（日） 会場：豊科交流学習センター きぼう  
演題：「コミュニケーションとアート～これからのわたし」  
参加者：概ね50人  
12月の障害者週間の周知と合わせて、障害者マークについて広報誌に掲載しました。
- 手話奉仕員養成研修事業 報償費：345,000円  
聴覚障がい者等との交流活動の促進等のため、日常会話程度の手話表現技術を習得した手話奉仕員の養成研修を実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止した『基礎編』を感染対策を講じて実施しました。  
日程：令和3年7月17日～令和4年1月29日 全18回  
会場：豊科交流学習センターきぼう 学習室他  
修了者：4名（受講対象者は15名、辞退者もあり受講者6名のうち4名が修了）
- 意思疎通支援事業（手話通訳者等派遣事業）

①役務費：1,039,486円

事業名	区分	令和2年度	令和3年度	前年比	
手話通訳者等派遣事業	手話通訳	利用者	20人	20人	100.0%
		派遣回数	165回	211回	127.9%
		実績額	785,677円	977,764円	124.4%
	要約筆記	利用者	2人	2人	100.0%
		派遣回数	9回	11回	122.2%
		実績額	26,087円	61,722円	236.6%
	合計	利用者	21人	21人	100.0%
		派遣回数	174回	222回	127.6%
		実績額	811,764円	1,039,486円	128.1%

※重複1人

②負担金補助及び交付金：28,600円

新型コロナウイルス感染症や災害等、遠隔で手話通訳が必要な際に聴覚障がい者の情報補償を確保するため、長野県の遠隔手話通訳システムを導入し体制を整備しました。

費用は県と利用市町村で共同負担します。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 委託事業（100万円以上） 決算額： 38,562,739円

主な事業名	区分	令和2年度	令和3年度	前年比
障がい者相談支援事業	相談延べ件数	6,958件	5,361件	77.0%
	実績額	18,050,353円	15,420,000円	85.4%
移動支援事業	実利用者数	41人	49人	119.5%
	利用時間	2,059時間	2,241時間	108.8%
	実績額	3,901,988円	3,829,603円	98.1%
日中一時支援事業	実利用者数	72人	59人	81.9%
	利用回数	2,065回	2,219回	107.5%
	実績額	6,564,130円	7,060,540円	107.6%
訪問入浴サービス事業	実利用者数	10人	10人	100.0%
	利用回数	761回	795回	104.5%
	実績額	9,512,500円	9,933,750円	104.4%
成年後見制度事業 （業務委託）	相談件数		63件	
	法人後見等受任件数		20件	
	実績額		1,701,040円	

5 補助金：1,898,000円

(1) 社会参加支援

・レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業 1団体 1,100,000円

(2) 自発的活動支援事業

3団体 798,000円

6 扶助費： 24,782,911円

事業名	区分	令和2年度	令和3年度	前年比
日常生活用具給付等事業	件数	2,365件	2,420件	102.3%
	実績額	25,304,911円	24,470,911円	96.7%
地域活動支援センター事業 （Ⅱ型）	実利用者数	2人	1人	50.0%
	実績額	133,517円	192,000円	143.8%
成年後見制度利用支援事業 （成年後見人費用扶助）	件数	0件	1件	
	実績額	0円	120,000円	

上記の評価と課題等

理解促進研修・啓発事業では市内在住の障がい当事者（画家）の講演会を開催し、コロナ禍で参集人数を絞っての開催でしたが、予想以上の参加者に会場いただき、障がいの理解への啓発につながりました。

意思疎通支援事業では県で推進する遠隔手話通訳システムを導入し、新型コロナウイルス感染症や災害等に対応できる体制を整備しました。

委託事業では障がい者相談支援事業は全体の相談件数が減少していますが、令和2年度と比較すると電話相談が減り、感染拡大防止のため控えていた個別支援会議等は増えており、従来の相談支援体制に戻りつつあるかと考えます。

外出を伴う日中一時支援事業、移動支援事業等は新型コロナウイルス感染症の影響で減少のままの利用状況ですが、訪問入浴サービスは利用が増え、日常生活用具給付事業も概ね例年どおり利用されており、障がい者の日常生活の便宜を図り、自立や社会参加の促進につながったと考えます。

令和4年度	
部	福祉部・教育部
課	障がい者支援課・子ども家庭支援課
係等	支援給付担当・子ども家庭相談担当

決算書 ページ	98
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
9,065,000	8,854,649	0	210,351	97.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,589,000		ひきこもり対策推進事業補助金	3,589,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ひきこもり対応推進事業 事業費（賃金、報償費等） 6,118,867円
  - ひきこもり支援啓発講演会（啓発事業）（オンライン形式・Zoom利用）  
演 題：「ひきこもり当事者の支援 ～親と子の生活・お金・生き方～」  
講 師：ライフプランニング・リレーションズ 阿部 達明 代表  
参加人員：33人
  - ひきこもり支援事業関係機関連携会議 1回  
内 容：各部署における取り組みについて情報共有と社会資源の検討。
  - ひきこもり家族交流会 4回  
目 的：ひきこもり家族の方同士が交流し不安・悩みを語り、ともに対応していく力を養うことを目的として実施。  
参加人員：延べ人員 25人
- 精神障がい者等相談支援事業（賃金、報償費等） 2,735,782円
  - 精神障がい者家族教室の開催 1コース3回  
目 的：家族が安心して精神障がい者を受入れ、地域で暮らせるように、病気や障がいについての正しい理解や、その時々に応じた対処の方法などを学ぶ。  
参加人員：延べ人員 8人
  - 精神障がい者相談支援 実人員489人 延べ件数2,525件
  - 安曇野市精神障害者社会復帰施設等連絡会 1回  
内 容：障害福祉計画の成果目標にある「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて関係者で情報共有と社会資源の検討。

### 上記の評価と課題等

ひきこもり対応推進事業では、相談支援・居場所支援・訪問支援の事業委託を行い、相談窓口の拡充と支援体制の充実を図ることができました。

ひきこもり支援は個別性、専門性が高く、長期間かかるのが特徴であり、ご本人・家族への支援の継続が重要となっています。

精神障がい者は年々増加傾向にあり、障がい者の望む支援内容も多様化しています。精神障がい者の支援では、差別偏見をなくすための啓発、家族支援、医療への受診支援及び医療継続支援、社会復帰支援が重要なポイントです。障がい者が地域で望む暮らしを送るため、関係機関と連携し、きめ細かな対応を実施していきます。

令和4年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書 ページ	98
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
125,906,000	119,953,375	0	5,952,625	95.3%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,199,903		特別障害者手当負担金	38,323,605	特別児童扶養手当事務委託金	795,298
		新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	4,276,000		
		地域福祉総合助成金	1,805,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 指定管理委託料 478,000円

豊科身体障害者会館を安曇野市身体障害者福祉協会に指定管理委託しています。  
(平成31年度から5年間)

○ 利用状況

開館日数	延べ利用者数	平均利用者数
90日	612人 (-17)	6.8人

2 負担金・補助金及び交付金

障がい者や関係する福祉団体に対して補助金の交付を行い、活動を支援することができました。新規事業として、児童発達支援事業を開始する施設の支援を目的とした補助を始めており、事業者の新規参入を期待しています。その一方で、コロナ禍のために中止となる事業も多く、例年と比べて大きく減額となったものもあります。

○ 補助金： 7,436,728円

- ① 安曇野市身体障害者福祉協会運営費補助金 424,989円
- ② 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助事業（購入2件、修理1件） 84,000円
- ③ 通所・通園補助事業（障がい児（者）施設へ通う有料道路通行料・通園費等の補助）
  - ア：県補助分（0件 ※有料道路通行料金の1/2） 0円
  - 県内の身障者施設等の入所者の帰省時に利用する有料道路代の補助
  - イ：安曇野市単独分（235人分） 1,062,914円
  - 障がい児の放課後等デイサービス及び児童発達支援施設への通所・通園に係る燃料代の補助（R3年度県単価151円/ℓ×往復距離/10×通所・通園回数×1/2で算出）
- ④ 障害者にやさしい住宅整備事業 5人 1,880,000円
- ⑤ 障害児通園施設利用児療育支援補助事業 2施設 19,625円
- ⑥ ふれあいバスの旅事業補助金（(福)安曇野市社会福祉協議会実施→中止） 100,000円
- ⑦ あったカフェ運営協議会補助金 240,000円
- ⑧ 児童発達支援事業運営支援補助金 2施設 900,000円
- ⑨ 重症心身障害児児童発達支援事業所医療的ケア事業補助金 1施設 2,125,200円
- ⑩ 自動車運転免許取得・改造助成事業 6件 600,000円

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

※事業未実施・中止のため補助金無交付の事業

- ・ 松本圏域障がい者スポーツ大会負担金 大会開催中止のため
- ・ 安曇野市手をつなぐ育成会運営費補助金 事業未実施のため
- ・ 安曇野聴覚障害者協会活動費補助金 事業未実施のため
- ・ 障害者余暇活動支援事業補助金 団体より辞退あり

○ 扶助費： 103,661,897円

特別障害者手当、見舞金、福祉金等の給付を行いました。

扶助費種類	R2年度		R3年度		支給額 前年比%	
	件数・人数	支給額（円）	件数・人数	支給額（円）		
障害児・者タイムケア	34	1,838,440	67	1,995,041	108.5%	
障害者 手当	特別障害者手当	1,598	43,664,350	1,557	42,583,950	97.5%
	障害児福祉手当	555	8,249,490	563	8,377,440	101.6%
	福祉手当（経過的）	0	0	0	0	-
特定疾患患者見舞金	519	6,228,000	499	5,988,000	96.1%	
障害者外出支援事業	593	4,272,910	577	4,381,930	102.6%	
重度心身障害児者福祉金	1,240	28,920,000	1,283	30,446,000	105.3%	
家庭用介護用品購入助成	80	855,267	93	990,621	115.8%	
重度心身障害者介護慰労金	103	5,150,000	106	5,300,000	102.9%	
腎臓透析利用者通院支援	135	3,070,431	125	3,184,915	103.7%	
身障者補助犬飼育費助成	1	36,000	1	21,000	58.3%	
しゃくなげの湯家族風呂 （暖らんの湯）利用補助	51	351,000	60	393,000	112.0%	

### 上記の評価と課題等

団体が実施する事業に対して、公益性はもちろんです。事業の継続性にも十分に配慮して補助金を支出しています。営利事業の少ない障がい者団体に対し、その活動（外出支援や地域との共生）を下支えする意味で補助金の効果は高いと考えています。しかしながら、コロナ禍における活動制限の影響を受けて中止や縮小が相次いでいます。徐々にではありますが、制限緩和の動きが社会で広がりつつあるので、今後は活動の再開も緩やかに進んでいくと思われませんが、感染状況によっては、再び縮小・中止の動きへ変わる可能性があります。

申請時における窓口の混雑緩和のために、昨年度に続き返信用封筒の使用を進めています。感染予防だけでなく平日の来庁が困難な方、移動手段を持たない方には評価されているようです。翌日配達廃止など、郵便配達サービスの変更を踏まえ、余裕を持った周知・案内に努めていきます。



# 保健医療部

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	116
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
320,390,000	317,521,153	0	2,868,847	99.1%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,671,501		長野県新型コロナウイルス感染症外来・検査センター事業実施業務委託金	13,220,000	一体的実施事業委託金	6,380,501
		疾病予防対策事業費等補助金	962,000		
		保健医療救護事業借上料返還金	99,000		
		指定寄付金	10,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 献血推進事業（松本地域献血推進協議会 負担金：76,000円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内献血者数	1,151人 (目標値 1,340人) (達成率 85.9%)	1,229人 (目標値 1,340人) (達成率 91.7%)	1,041人 (目標値 1,340人) (達成率 77.7%)
市内献血箇所(延べ)	52箇所	46箇所	33箇所

#### 2 救急医療等事務

##### (1) 在宅(休日)当番医制事業

(主要事業 委託料：医師会5,713,455円、歯科医師会1,104,015円)

休日等における初期医療を必要とする急病者の医療確保を図る事業で、市医師会及び市歯科医師会と委託契約を行い実施しています。( )内は前年度

医院 3 医院/日で年間73日間(73日間) 4,147人(3,624人)

歯科医院 1 医院/日で年間75日間(75日間) 331人( 338人)

##### (2) 病院群輪番制病院運営事業 (主要事業 負担金：20,443,000円)

休日又は夜間における入院治療等を必要とする重症救急患者の二次病院での医療確保を図る事業です。人口と利用者数により3市5村で負担金を支払っています。

##### (3) 災害時医療救護活動

松本広域医療コーディネーターチーム設置訓練

毎年3市5村で実施している松本広域圏災害時医療連携指針に基づく訓練は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、蔓延防止のため、昨年引き続き中止としました。

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### （4）感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対する医療体制等について検討するため、保健所、医療機関等で構成される「新型インフルエンザ等医療体制検討委員会」を開催し、感染症状況の情報共有を行い、予防接種実施体制、検査体制等について協議しました。

第1回会議 令和3年8月24日

#### 3 新型コロナウイルス感染症外来・検査センター

新型コロナウイルス感染症患者の早期発見、感染拡大防止を目的に、県からの委託をうけて、PCR検査センターを設置し実施しました。

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日 週3日月水金（年末年始、祝日は除く）

検査体制：医師1名 看護師1名 臨床検査技師1名 事務員2名

検査実施状況

実施日数：121日

実施者数：1,038人

実施者内訳

・年代別内訳

年代	10	20	30	40	50	60	70	80	90以上
人数	111	136	137	198	159	114	122	52	9

### 上記の評価と課題等

市内献血者数の目標達成を目指して、周知等を行い、献血事業の推進を図る必要があります。松本広域圏とも連携を図りながら大規模な災害に備えます。ここ数年新型コロナ感染症の拡大により医療救護訓練の実施が中止されていたため、訓練実施に向け検討する必要があります。新型コロナウイルス感染症等の新感染症に対する医療体制や予防接種体制については、感染拡大防止に向け、引き続き検討していく必要があります。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	118
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
50,587,000	49,044,915	0	1,542,085	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,353,600	左記の内訳	医療施設運営費等補助金	15,000	一体的実施事業委託金	3,303,000
		感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	1,830,000		
		その他衛生費雑入	205,600		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 附属機関・有識者会議の開催

健康づくり施策の推進のための会議を開催しました。令和3年度は、集合会議1回、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、書面会議1回の開催となりました。

集合会議の名称等	委員数	出席者数	開催日
食育推進会議	14	10	R3.11.17
健康づくり推進協議会	14	13	R3.9.22
健康づくり推進協議会歯科口腔保健部会	9	9	R3.9.30

#### 2 健康管理システムの運用

各種検診事業及び保健事業を効率的、効果的に行うため、健康管理システムを運用しています。

また、検診結果の利活用に向けた国が推進する情報標準化整備事業の対応としてシステム改修を行いました。

- (1) 健康管理システム賃貸借(リース)・保守 4,397,580円
- (2) 標準化整備事業
  - ア 検診結果等の様式の標準化整備事業 420,750円(内国庫補助149,000円)
  - イ 検診情報連携システム整備事業 3,553,000円(内国庫補助1,681,000円)
  - ウ 検診種別 肺がん、乳がん、胃がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス、骨粗しょう症、歯周疾患

#### 3 会計年度任用職員の任用(R3.4.1現在)

保健師4人、管理栄養士4人、歯科衛生士2人、事務4人

### 上記の評価と課題等

国の指針「健康日本21(第二次)」の1年間の期間延長を踏まえ、市の健康づくりのための各計画(健康づくり計画、食育推進計画、歯科口腔保健行動指針、自殺対策推進計画)の終期について、各会議の承認を経て令和5年度までとしました。

より適切な保健指導や検診の受診勧奨等に資するよう自治体間の受診結果等の情報連携可能とする趣旨の健康増進法等の改正にかかる規定が適用されたことから、疾病予防対策事業国庫補助金を活用し、システムの標準化整備事業を行いました。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	118
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
882,000	700,416	0	181,584	79.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,000		地域自殺対策強化事業補助金	20,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 健康づくり事業

##### (1) 健康づくり推進員会

「自らの健康は自らつくる」の意識の高揚、保健事業の拡充強化を図るために、各地域から選出された健康づくり推進員83人で各地区において地域の健康づくりを推進しました。

##### ・全体活動

健康づくり推進員会委嘱書交付式、総会、研修会 計4回実施 延べ参加者178人

##### ・地区活動

21地区 延べ29回実施 延べ参加者496人

(主な内容 健康体操、脳の健康、感染症対策、生活習慣病予防)

##### (2) 精神保健事業

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
訪問指導	(実164人) 463人	(実170人) 529人	(実113人) 333人
来所相談	(実213人) 550人	(実203人) 588人	(実161人) 342人
電話相談	893人	1,205人	887人

##### (3) 自殺対策

・自殺対策推進庁内会議を開催し、自殺対策計画の推進のため庁内関係者との連携・協議を行いました。

・自殺予防の啓発として年2回広報誌へ記事を掲載しました。

・ゲートキーパー研修会を実施し、延べ94人が参加しました。

### 上記の評価と課題等

健康づくり推進員活動は、コロナ禍で研修会や地区活動が計画通り実施できない状況でしたが、感染対策を講じた活動マニュアルに基づき支援を行いました。今後も地区担当保健師が地区の状況を確認しながら、地域での健康づくり活動を支援していきます。

自殺対策ではゲートキーパー研修会を実施し人材育成を行い、広報等で市民への啓発を行うことができました。今後も自殺対策計画に沿って事業を推進していきます。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	118
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
42,480,000	41,211,644	0	1,268,356	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,535,410		公共施設目的外使用料	4,150	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,507,487
		穂高健康支援センター使用料	2,000		
		保健センター自販機電気料	21,773		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 施設の維持管理

本市の基幹保健センターであり、市民の健康推進を担う施設であることから、法定点検、定期点検等を行い、不良個所（経年劣化による軒天、電気温水器・配管、自動ドア不良個所、高天井水銀灯）の修繕を行い、施設の安全管理に努めました。

- ・ 施設修繕費 899,525 円
- ・ 光熱水費 7,484,376 円
- ・ 管理委託料 3,491,762 円

#### 2 公用車、物品の管理

- ・ 燃料費 993,352 円
- ・ 手数料 536,360 円
- ・ 保険料 138,670 円
- ・ 自動車重量税（7台） 117,200 円

#### 3 穂高健康支援センター及び文化財資料センター外構改修工事

穂高プールの廃止に伴い、施設の駐車場の拡充等を行い、利便性の向上を図りました。

- ・ 監理業務委託料 242,000 円
- ・ 外構改修工事 21,516,000 円

○穂高健康支援センター

舗装面積：1,287㎡、駐車区画：51台（うち軽3台）

○文化財資料センター

屋外ボンベ庫解体：24㎡、舗装面積：53㎡、駐車区画：43台（うち軽2台）

### 上記の評価と課題等

建築から16年が経過し、屋根、給排水・電気設備、外構等に経年劣化が目立つようになってきていることから、法定点検及び定期点検の実施により劣化個所の把握に努め、早期修繕をしていく必要があります。

外構改修工事により、検診等の市民の利便性が上がるとともに、穂高認定こども園、健康支援センターに勤務する職員の駐車区画が拡充しました。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	120
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,303,000	4,430,548	0	872,452	83.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 施設の維持管理

豊科、三郷、堀金、明科の各保健センターは、成人検診、健康相談等を安全・安心に実施するため、施設を適正に管理する必要があります。

##### (1) 日常管理の委託等

- ・ 豊科：高齢者介護課（R3長寿社会課）が、高齢者集会施設とともに市シルバー人材センターへ一括委託
- ・ 三郷：三郷支所へ依頼
- ・ 堀金・明科：複合施設を管理する高齢者介護課が、市社会福祉協議会へ一括委託

##### (2) 維持管理費用

（'単位：円）

保健センター名	豊科	三郷	堀金	明科	計
燃料費	57,640	—	—	—	57,640
施設修繕費	116,435	55,770	76,153	—	248,358
管理委託費	1,942,754	226,803	239,500	—	2,409,057
清掃（日常・カーペット・ガラス）	201,454	226,803	88,800	—	517,057
エアコンクリーニング	254,100	—	150,700	—	404,800
警備保障	528,000	—	—	—	528,000
昇降機	844,800	—	—	—	844,800
自動扉開閉装置	66,000	—	—	—	66,000
建物定期調査	48,400	—	—	—	48,400
計					2,715,055

※ 光熱水費については、三郷は、三郷支所、豊科は隣接する高齢者集会施設等を、堀金・明科は複合施設を管理する高齢者介護課が総括して支出しています。

### 上記の評価と課題等

適切な維持管理を行い、各種検診、健康相談等の保健事業を実施することができました。施設の老朽化により、修繕等を行う個所が増加しており、緊急度の高い個所から修繕等を進めていきます。

また、劣化診断や長寿命化計画に基づいた大規模改修に計画的に取り組みます。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	120
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	成人検診事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
78,223,000	76,247,542	0	1,975,458	97.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,657,000		がん検診推進事業補助金	181,000		
		成人検診徴収金	4,280,500		
		国民健康保険特別会計繰入金	195,500		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 成人検診

(単位：人)

受診者数の推移	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度との比較
胃がん検診	2,209	0	2,163	2,163
大腸がん検診	5,158	0	4,675	4,675
子宮頸がん検診	3,903	3,386	3,741	355
マンモグラフィ検診	2,651	2,279	2,689	410
乳房超音波検診	962	913	473	△ 440
肺がんCT検診	905	528	584	56
結核検診	2,747	2,436	2,438	2

\*令和2年度 胃・大腸がん検診は新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたうえでの検診の実施  
安心して受診していただけるよう感染防止策を図ったうえで検診を実施しました。
- (2) がん検診の推進  
検診受診の動機付けを目的に特定年齢の方（子宮がん検診20歳・乳がん検診40歳）に無料で検診が受けられるクーポン券を送付しました。またクーポン券未利用者への再勧奨も行いました。
- (3) 精密検査未受診者への受診勧奨  
精密検査の未受診者を減らすため、未受診者への受診勧奨を行いました。

#### 上記の評価と課題等

乳房超音波検診受診者数の減少は新型コロナウイルス感染症が再拡大した時期であったこと、40歳以上の申込者には国が推奨するマンモグラフィ検診受診を推奨したことが要因と思われます。がんは早期発見で死亡率が減少するため、無関心層が関心を持ち受診できるような啓発と年齢層を絞った受診勧奨を継続します。  
死亡率の低下には精密検査の未受診者を減らすことも必要不可欠です。未受診者の方も一定数いるため、精密検査未受診者への受診勧奨を継続します。



令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	120
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,467,000	13,300,284	0	1,166,716	91.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,178,140		医療施設運営費等補助金	82,000	国民健康保険特別会計繰入金	820,140
		保健事業補助金	4,457,000	一体的実施事業委託金	2,290,000
		健康診査徴収金	97,000	指定寄付金	432,000

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 健康増進事業

- 医療費・介護給付費などの社会保障費の安定のため生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に特定健診で抽出した者に対し、個々の状態に合わせて個別保健指導を行いました。  
肝炎・歯科・骨の各健(検)診は、節目年齢の対象者に、疾患の早期発見等を目的に実施しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R2)
保健指導(実人数)	2,333	716	938	222
特定保健指導(再掲)				
対象者数(人)	791	670	実施中 (確定は年度末)	
終了者数(人)	432	412		
実施率(%)	(確定)54.6	(確定)61.5		
健康診査(受診者数)				
特定健診・後期高齢者健診(集団)	4,272	0	1,256	1,256
健康診査(健康増進法)	4	44	60	16
若年者健診	290	0	228	228
肝炎ウイルス検診	1,057	1,236	1,147	△89
骨健診	298	224	201	△23
成人歯科健診	1,209	213	252	39
健康教育(回数/延人数)	145回/3,568人	71回/601人	59回/904人	△12回/303人
健康相談(延人数)	890	296	407	111

- 一体的実施事業：R3年度新規(後期広域連合からの受託)事業  
【企画調整】庁内会議4回、後期広域連合等の助言他6回、関係団体等との連携4団体、5回  
【高齢者への支援】個別支援：低栄養26人、糖尿病重症化予防51人、血圧重症化予防160人  
通いの場等：健康教育7カ所14回、健康相談延べ56人、健康状態把握75人

#### 上記の評価と課題等

生活習慣病は自覚症状に乏しいため、個別保健指導と、対象者抽出の各種健(検)診を継続します。  
健康教育及び健康相談は、コロナ禍の外出・集会など自粛が影響していますが「新しい生活様式」での取り組みが求められていますので、安全・安心な実施を提案し、事業を推進します。  
一体的実施事業は後期高齢者における保健事業・介護予防の取組が社会保障費の安定化に資するとされていますので、課題分析、関係機関等との連携、個別および集団支援に取り組みます。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	122
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104080	骨髄バンクドナー助成事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
300,000	160,000	0	140,000	53.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
80,000	左記の内訳	骨髄バンクドナー助成事業県補助金	80,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 骨髄バンクドナー助成事業（主要事業 補助金：160,000円）補助率1/2

この事業は、骨髄または末梢血幹細胞（以下骨髄等）の適切な提供およびドナー登録の促進を図るとともに、ドナーやドナーの勤務する事業所への負担軽減のために、骨髄等提供のための入院・通院費等を助成します。

(1) 助成対象者

ドナー：公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄等の提供を完了した方

勤務事業所：ドナーが勤務している国内の事業所

(2) 助成額

ドナー：骨髄等の提供のために通院・入院等に要した日数で1人1日につき20,000円助成。10日を上限

勤務事業所：ドナーが骨髄等の提供のために通院、入院等に要した日数で週休日以外の勤務を要する日。1人1日につき10,000円助成。10日を上限。

(3) 助成件数 1件

### 上記の評価と課題等

骨髄バンクドナー登録の促進のために、関係機関と連携を図りながら事業について周知を行っていきます。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	122
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104013	ワクチン予防接種事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
707,988,000	702,688,873	0	5,299,127	99.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
766,905,782		新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	453,238,950		
		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	307,807,000		
		新型コロナウイルスワクチン市外接種委託金	5,859,832		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 ワクチン予防接種事業（主要事業 委託料：604,406,851円）

希望する市民が、必要な時期に、円滑かつ早期に新型コロナウイルスのワクチン接種を受けることができるよう体制を整え、次の主な事業を推進しました。（補助率10/10）

- (1) 新型コロナワクチン接種システム改修（健康管理システム）
- (2) 接種券・予診票、案内チラシ等印刷及び発送
- (3) コールセンター業務（予約・相談）
- (4) ワクチンの配送（市内医療機関等）
- (5) ワクチン接種（個別接種・集団接種・施設接種・往診接種）
- (6) ワクチン接種実績の登録及び整理・保存
- (7) 予算管理及び補助金交付事務

#### 【接種状況】令和3年度末現在の接種者数及び接種率

		1回目	2回目	3回目
令和3年度	接種者数(人)	78,799	78,920	39,977
令和2年度	接種者数(人)	786	40	0
一般 (12歳以上)	合計	79,585	78,960	39,977
	接種率(%)	81.92	81.27	41.15
小児 (5~11歳)	接種者数(人)	1,039	11	-
	接種率(%)	18.31	0.19	-

※接種率は、一般は全人口（97,152人）、小児は5歳～11歳の人口（5,674人）で試算（人口は、令和3年1月1日時点の住民基本台帳の人口）

\* 初回接種（1・2回目）は国が示した優先順位に基づき、医療従事者、65歳以上の方（高齢者施設及び従事者）、基礎疾患のある方、60～64歳の方、それ以外の方（12歳以上）という順番で接種を実施しました。また、5～11歳の小児接種については、令和4年3月から接種を実施しています。

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104013	ワクチン予防接種事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

\* 追加接種（3回目）は、国の方針に基づき、当初、2回目接種から8か月後に接種でしたが、6か月後に短縮し、実施しました。（対象者は12歳以上の方）

#### ○新型コロナワクチン接種コールセンター

開設日：令和3年3月15日

稼働日：月曜日から金曜日の平日9：00～17：00（土日は相談のみ）

#### 【相談状況】

(件数)

	予約	接種券	副反応	基礎疾患等	かかりつけ医	住所地外	その他	合計
令和3年度	5,308	860	54	443	53	471	1,781	8,970
令和2年度	18	7	2	8	5	14	18	72

\* 新型コロナウイルスワクチン接種に係る業務を迅速かつ的確に遂行するため、新型コロナワクチン接種コールセンターを設置し、市民等からの問い合わせや接種予約等に対応しました。

#### ○新型コロナワクチン接種予約サポート

スマホ・パソコンなどの扱いが不慣れな方や、インターネット環境がない方に対して、本庁及び各支所の窓口で、予約に係る入力サポートを行いました。

開設日：令和3年6月7日

開設日時：平日開庁日 9：00～12：00／13：00～17：00

#### 【予約サポート状況】

	予約件数
本庁舎	3,835
支所	4,790
合計	8,625

### 上記の評価と課題等

新型コロナワクチン接種システム改修やコールセンターの運営、接種券等の印刷・発送、必要物品の購入など接種体制の整備を行いました。

市内医療機関と連携しながら、ワクチン接種の実施体制を整備し、国からのワクチン供給に合わせて、円滑にワクチン接種を実施しました。また、市内保健センターにワクチン集団接種会場を設置し、接種希望者に対応できるよう接種体制を構築しました。

接種状況を把握するため、国のワクチン接種記録システム（VRS）へ早期に入力し、接種者や接種記録の整理・管理を行いました。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	124
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
255,654,000	253,218,349	0	2,435,651	99.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
59,071,830	左記の内訳	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	9,000,000		
		予防接種健康被害給付費負担金	71,830		
		ふるさと寄付金	50,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 予防接種実施状況(主要事業 委託料: 259,866,486円)

個別予防接種	実績数量(延べ人数) 単位：人			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
B型肝炎	1,775	1,776	1,626	
三種混合	1	0	0	
二種混合	762	805	681	
麻疹・風疹(MR)	1,306	1,400	1,273	
日本脳炎	3,201	3,063	1,709	
BCG	623	605	538	
子宮頸がん	22	190	545	
インフルエンザ菌b型(Hib)	2,331	2,490	2,171	
小児用肺炎球菌	2,394	2,336	2,167	
不活化(生)ポリオ	1	0	0	
四種混合	2,499	2,467	2,257	
水痘	1,204	1,271	1,150	
ロタウイルス	-	493	1,176	
高齢者肺炎球菌	1,037	1,137	1,268	
高齢者インフルエンザ	19,780	22,447	20,526	
風しん※ (成人)	抗体検査	1,442	1,183	1,050
	予防接種	396	282	279

※風しん追加的対策事業として、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、令和元年度から3か年かけて実施。(※R2対象者：S41.4.2～S47.4.1)

※日本脳炎ワクチンはワクチンの供給不足があり接種者が大幅に減少。

#### 上記の評価と課題等

定期予防接種の対象者には、対象月齢(年齢)となる前に接種勧奨を行っております。また未接種者に対しても再勧奨を行い接種率の向上に努めました。今後も対象者が適正に接種できるように個人通知などにより周知を行い、混乱しないように接種勧奨を行います。子宮頸がんワクチンについては、接種勧奨を控えていましたが、国からの通知により定期接種対象者に案内通知を発送しました。また、風しん追加的対策事業も3年間の期間延長となり、今後も未実施者にはクーポン券を発行し、検査実施の勧奨を行います。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	124
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,639,000	13,874,777	0	764,223	94.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,018,000		医療施設運営費等補助金	1,018,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 母子保健事業

##### (1) 乳幼児健診・相談・教室

乳幼児が健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、健診や相談等を実施しました。また、出産や育児に不安を抱える母親が多くなっているため、教室において情報提供を行うとともに、必要に応じて個別に相談を行いました。  
 歯科保健については、歯科口腔保健行動指針に基づき、事業を実施しました。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実施回数 (回)	受診者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数・ (受診率)
4か月児健康診査	36	615	32	492	36	535人 (98.9%)
1歳6か月児健康診査	36	613	31	616	36	640人 (98.6%)
3歳児健康診査	36	684	30	675	36	626人 (98.4%)
10か月児健康相談	36	584	30	492	35	537人 (95.7%)
2歳児健康相談	36	668	27	434	32	641人 (96.5%)
育児教室	33	411	27	258	24	362人
離乳食教室	22	318	18	228	24	303人
乳幼児クリニック	9	延28	9	延16	11	延17
保育施設視力検査(年中児)	22施設	715	22施設	719	22施設	692人
フッ化物洗口	39施設	7,844	39施設	7,665	39施設	7,676人
育児支援相談	9	延11	10	延11	8	延11人
親子歯科教室	22	422	18	351	24	412人
訪問指導(乳幼児・学童)		延122		延155		延160
随時相談(電話)		延369		延1,088		延629
随時相談(来所相談)		延261		延699		延313

\*新型コロナウイルス感染への不安等から、乳幼児健診等の受診控えもありました。未受診者に対しては、地区担当保健師が保護者へ連絡し状況把握を行うとともに、個別に相談や訪問にて対応しました。また、虐待リスクを発見した場合など、状況に応じて子ども支援課と連携を図りました。

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (2) 妊婦歯科健診

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診者（人）	224	225	218
妊婦数（人）	649	585	601
受診率（%）	34.5	38.5	36.3

\*妊婦数については、各年度末までに妊娠届を提出した妊婦数としました。  
(妊婦の転入者を含みます。)

#### 上記の評価と課題等

将来にわたり健康的な生活習慣の基礎ができるよう、また保護者が児の発達発育について見通しをもって安心して子育てが行えるよう、健診や相談等を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業中止はなく、計画的に事業が実施できたため、昨年度に比べ電話または来所での随時相談が減少しました。

社会情勢の変化により子育ての不安を訴えるなど、支援が必要な対象者も増えています。母子保健事業においても虐待予防に努め、今後も、必要に応じて関係機関との連携を図り、個別に応じた継続的な支援をしていく必要があります。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
65,388,000	64,151,509	0	1,236,491	98.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		ふるさと寄付金	50,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

妊娠中の母体管理・乳児の疾病等の早期発見を目的に個別健康診査を実施しました。

#### 1 妊婦一般健康診査（主要事業 委託料：60,595,670円）

妊娠届出時に妊婦一般健康診査（基本健診）受診票14枚、追加検査受診票4種類5枚と超音波検査受診票4枚を交付しました。

健康診査は県医師会・県助産師会に委託し健診料金を補助しました。（23枚 126,790円/人）

内容：妊娠届出時に妊婦一般健康診査（基本健診）受診票14枚、追加検査受診票4種類5枚と超音波検査受診票4枚を交付する。転入した妊婦には妊娠週数に応じて受診票を交付する。健康診査は医療機関などに委託し、健診料金を補助する。  
健康状態の把握（問診、診察等）、定期検査（子宮底長、腹囲、血圧、浮腫、尿（糖及び蛋白）、体重等（初回の健康診査では身長））、保健指導、血液検査（血液型（ABO血液型、Rh(D)血液型、不規則抗体）、血算、血糖、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、HIV-1, 2抗体半定量、梅毒血清反応検査、風疹ウィルス抗体価検査、HTLV-I定性（又は半定量））、子宮頸がん検診（細胞診）、クラミジア検査、B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査、超音波検査

○受診状況 (単位：件)

	基本健診 ①～⑭	追加検査 ①	追加検査 ②-1	追加検査 ②-2	追加検査 ③	追加検査 ④	超音波検査 ①～④	合計
令和3年度	6,322	538	523	479	517	486	2,084	10,949
令和2年度	6,560	544	545	490	546	517	2,139	11,341
令和元年度	7,106	575	593	513	585	551	2,291	12,214

実人数 (単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
955	872	857



予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ○県外受診

里帰り出産等により県外で妊婦健診を受けた場合、受診費用の一部を補助しました。

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
33	22	20

#### 2 乳児一般健康診査（主要事業 委託料：2,407,980円）

出生後に乳児一般健康診査受診票を送付しました。健康診査は県医師会に委託し、健診料金を補助しました。（1枚 5,990円/人）

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
384	448	402

\*受診は生後3～11か月が対象、受診者には集団健診は含みません。

### 上記の評価と課題等

妊婦一般健康診査は妊娠届の減少に伴い、受診状況も減少傾向にあります。転出入や県外医療機関受診、早産等の理由により安曇野市の受診票を使用している受診回数が少ない場合がありますが、概ね受診をしている状況です。

乳児一般健康診査の受診者数は、令和2年度より減少してありますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で集団での4か月児健診が実施中止となったため、乳児一般健康診査の利用を紹介した経過があります。令和3年度は例年並みの受診となっています。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,173,000	7,112,002	0	60,998	99.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,099,711		養育医療国庫補助金	1,958,950		
		養育医療県補助金	1,491,341		
		未熟児養育医療徴収金	649,420		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 未熟児養育医療事業（主要事業 扶助費：6,537,860円）

母子保健法第20条の規定に基づき、養育(出生体重2000グラム以下の乳児または、医師が入院による養育を必要とした場合)のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、医療の給付を行うため、国(1/2)・県(1/4)からの補助を受け、該当者から所得等に応じた負担金を徴収し実施しています。

#### 年度別申請者数等の状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給付実人員	25人	22人	17人
延べ給付件数	40件	62件	56件
給付金額	4,747,284円	6,800,670円	6,537,860円

### 上記の評価と課題等

対象となる乳児が必要な医療の給付を行う事により、対象児の健康増進と保護者への経済的支援を行います。引き続き関係部署と連携して、円滑に事業を推進します。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104131	母子・子育て相談事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,175,000	6,005,461	0	169,539	97.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,023,000	左記の内訳	子ども子育て支援交付金(国)	2,811,000		
		子ども子育て支援交付金(県)	1,212,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

1 母子・子育て相談事業 (主要事業 臨時職員賃金・報償費・需用費：6,005,461円)

平成29年4月に本庁健康推進課12番窓口「母子・子育て相談窓口」を開設して、主に出産前後の方を中心に、専任の保健師が各種の相談に応じています。

相談種別	妊娠届	新生児連絡票	転出入者	予防接種	育児相談	その他	合計
令和3年度(件数)	483	453	312	259	19	190	1,716
令和2年度(件数)	454	441	284	349	22	307	1,857
令和元年度(件数)	485	506	355	237	30	374	1,991

出産後の産婦及び新生児等を対象に、家庭訪問を実施しました。

事業名	産婦・新生児等訪問指導
令和3年度(実件数)	550
令和2年度(実件数)	549
令和元年度(実件数)	610

### 上記の評価と課題等

相談内容に応じて必要な情報提供や保健指導を行い、関係部署、地区担当保健師等へ連絡調整を行いました。また月1回穂高健康支援センターの母子保健担当と検討会を実施し、個々の対象者の支援について検討を行いました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により出産育児を取り巻く環境が変化しています。安心して出産育児ができるよう支援するために、職員の相談スキルの向上にも努めます。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104132	産前産後支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,114,000	14,751,082	0	362,918	97.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,284,000		母子保健衛生費国庫補助金	6,284,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 産前産後支援事業（主要事業 委託料：9,566,000円）

平成29年10月から宿泊型産後ケア事業と母乳相談等助成事業の2事業を開始し、産婦の育児不安などの軽減を図りました。また、令和元年度から産婦健康診査事業を開始し、産後うつ等の早期発見と支援を行いました。

- (1) 宿泊型産後ケア事業：委託医療機関・助産所において母体の管理や育児等の保健指導を行い、費用の8割を助成しています。利用期間は出産による入院終了後120日以内です。
- (2) 母乳相談等助成事業：委託医療機関・助産所で実施する母乳相談などの費用の一部を助成しています。申請により2,000円の助成券を2枚交付し有効期限は産後1年未満です。
- (3) 産婦健康診査事業：委託医療機関・助産所で実施する健康診査の費用を助成しています。受診券を2枚交付し、1回につき上限5,000円助成しています。（時期：概ね2週間、1か月）
- (4) 妊婦訪問・相談：妊娠中の健康状態を把握し、出産に対する不安を軽減し安心して出産に臨めるように支援しました。
- (5) 母乳・育児相談：市内3か所の保健センターにて月に4～6回開催。保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師等の専門職が妊娠中から産後にかけて、子育て等の相談に応じました。

(単位：件)

事業名	宿泊型産後ケア	母乳相談等助成	産婦健康診査	妊婦訪問・相談	母乳・育児相談(来所)
令和3年度	32	延275	575	延161	延1,576
令和2年度	26	延231	578	延163	延1,362
令和元年度	28	延274	582	延131	延2,466

### 上記の評価と課題等

産前産後のサポートが必要な対象者に対して、委託医療機関・助産所と連携し事業を実施することができました。産婦健康診査は対象者もほとんどが受診しており、事業が定着してきています。産前産後事業の実施により、心身のケアや育児支援を継続して行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目指します。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	126
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
16,794,000	16,221,391	0	572,609	96.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,000,000		ふるさと寄付金	10,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 不妊・不育症治療費助成事業（主要事業 補助金：16,221,391 円）

平成27年4月からは、不育症治療まで対象とし、補助対象事業費の3分の2で上限30万円までとして実施しています。

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申請件数（件）	125	124	141
助成額（円）	21,409,859	22,116,489	16,221,391

### 上記の評価と課題等

令和3年度申請者の約3割の方が妊娠届を提出しています。今後も少子化対策の事業として、引き続き周知に努めていきます。

申請件数は増えていますが、高額な治療をされた対象者が例年より少なく、令和3年度は1件当たりの助成額は減額となりました。

令和4年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	132
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	08	診療所費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
21,924,000	20,693,110	0	1,230,890	94.4%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,679,125		夜間急病センター診療手数料	2,124,365		
		夜間急病センターその他手数料	1,760		
		小児初期救急医療体制整備補助金	1,553,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 夜間急病センター運営費

（主要事業 報酬・報償費・賃金・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料：20,693,110円）

夜間の急病患者(主に内科・小児科)に対する1次救急を行うため、安曇野市医師会に加入している医師が当番制で診療を行っています。

- (1) 診療科目 小児科、内科
- (2) 診療日 月～土曜日
- (3) 休診日 日曜日、祝日、年末年始（12/31～1/3）、お盆（8/14～8/16）
- (4) 診療時間 午後7時～10時
- (5) 職員体制
 

医師	1人
看護師	1人
事務者	1人

 （但し、インフルエンザ流行時期等繁忙期は複数人で対応）
- (6) 診療日数 292日
- (7) 診療件数 261件
- (8) 運営状況 診療手数料+その他手数料 2,126,125円
- (9) 県補助金 小児初期救急医療体制整備補助金 1,553,000円

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	08	診療所費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

○利用者数 (単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男	628	118	114
女	630	120	147
総数	1,258	238	261

○年齢別利用者の内訳 (単位：人)

年齢	令和元年度	令和2年度	令和3年度
0～5歳	370	72	85
6～10歳	211	27	51
11～19歳	191	31	23
20～39歳	225	47	29
40～59歳	174	34	39
60歳以上	87	27	34

### 上記の評価と課題等

受診者数は、令和2年度同様新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診者数が減少しました。松本広域圏とも連携を図りながら大規模な災害に備えます。ここ数年新型コロナ感染症の拡大により医療救護訓練の実施が中止されていたため、訓練実施に向け検討する必要があります。

令和4年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	100
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103120	国保会計繰出金			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
631,751,000	631,748,679	0	2,321	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
370,853,074		保険基盤安定国庫負担金	89,544,608		
		保険基盤安定県負担金	281,308,466		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険特別会計繰出金の各繰出科目と金額は次の表のとおりです。

区 分		令和3年度決算額(円)
保険基盤安定分	保険税軽減分	315,381,550
	保険者支援分	179,089,217
出産育児一時金分		14,269,334
財政安定化支援事業		54,480,979
事務費分		48,839,000
精神給付金分		19,688,599
支出合計		631,748,679
保険基盤に対する負担金収入	国	89,544,608
	県	281,308,466
収入合計		370,853,074

### 上記の評価と課題等

国民健康保険事業の実施により法令等で定められた額を繰出し、国保加入者の負担を軽減することができました。



令和4年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	104
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103200	後期高齢者医療事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,332,666,000	1,332,398,955	0	267,045	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,303,498	左記の内訳	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	188,637,833		
		市町村特別対策広報等事業補助金	11,665,665		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1. 事業の成果

後期高齢者医療の運営に必要な療養給付費が安定的に確保できることで、保険者である長野県後期高齢者医療広域連合の健全な事業運営を保つことができています。

コロナ禍にあり受診を控えるなど心配されたが、令和3年度の受診者数は前年比増となりました。

国保被保険者から後期高齢者医療被保険者への切れ目ない結果データを蓄積し、保健指導等に繋げることで、身体機能の保持や疾病の早期発見・早期治療に結び付けることができました。

#### 2. 支出内容及び制度の概要

(1) 後期高齢者医療人間ドック受診費用助成：助成額 22,549,000円

国保人間ドックと同様、助成券発行により助成額を差し引いた自己負担分を医療機関窓口で支払う助成券方式と受診費用を全額支払った後に助成する償還払い方式を採用し、助成しました。

	1日ドック	1泊ドック	ドックと同一年度に受ける脳ドック	脳ドック(単独)	合計
受診者数	922	50	284	18	1,274

### 上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた負担金を延滞なく後期高齢者医療広域連合へ納入することができ、健全な運営が保たれています。

人間ドック等受診者数は、コロナ禍ではあるが前年対比(約100人)増加結果となりました。

令和4年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	104
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすま
	目	03	国民年金事務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103210	国民年金事務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
83,446,000	81,492,919	0	1,953,081	97.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
26,660,710		国民年金事務委託金	26,660,710		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1. 国民年金適用事務 被保険者数

区分	第1号被保険者	任意加入被保険者	第3号被保険者	総計
令和4年3月31日現在	9,585	123	5,467	15,175

#### 国民年金保険料免除被保険者数

区分	法定免除	申請免除(全額)	申請免除(3/4)	申請免除(1/2)	申請免除(1/4)	学生納付特例	納猶予	免除者総数
被保険者数	1,051	1,158	95	80	41	896	375	3,696

#### 2. 国民年金給付業務に係る取扱件数

年金種別	進達件数
老齢基礎年金裁定請求	5
障害基礎年金裁定請求	20
遺族基礎年金裁定請求	0
未支給年金請求	753
死亡一時金裁定請求	10
年金生活者支援給付金請求	22
合計	810

#### 上記の評価と課題等

法定受託事務として、国民年金被保険者の各種資格届出や保険料の免除申請等を多数扱い、日本年金機構に提出し、被保険者の利便性の確保を図りました。

# 農林部

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策係

決算書 ページ	138
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106030	農業総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
164,727,000	161,436,028	0	3,290,972	98.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 農業振興事業一般管理事務（158,116,632円）  
職員給料・手当・共済費・賃金・需用費・公用車管理・補助金等
- 2 安曇野市農業農村振興計画推進委員会運営（3,319,396円）  
出席謝礼・費用弁償・事務事業委託料  
23名の推進委員による委員会を5回開催しました。  
委員会では、農業農村振興計画に位置付けられた前年度事業の進捗状況の点検・評価を行い、令和4年度からの第3次農業農村振興基本計画の策定に向けた意見交換と市長への答申を行いました。  
本計画の策定に当たっては、実現性・実効性を高めるため、信州大学との包括連携協定を活用して農業者を対象に市が実施したアンケート結果の解析や、地域農業の現状調査・分析等の基礎資料を整備した他、学術的知見に基づく提案も参考にして策定しました。  
本計画では、第1次計画から引き継いできた「稼ぐ」「守る」「農と生きる」の3つの施策の柱を継承し、「田園風景と共生する農と暮らし～次世代へつなぐ、ゆたかな安曇野～」を基本理念としました。

### 上記の評価と課題等

市農業農村振興計画の推進にあたり、PDCAのチェック機関として推進委員会から第三者的視点で点検評価を行ってもらい、進捗状況の確認と、今後の課題に対する振興策を検討し、実行に移していきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策係

決算書 ページ	140
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
822,000	480,484	0	341,516	58.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,800		農振関係証明手数料	7,800		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市農業振興地域整備計画に基づく農業の総合的振興を図ることを目的として、計画変更に係る申し出の受付を、年2回（前期・後期）行いました。また、2アール未満の用途変更は、随時受付を行っています。

- 1 前期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和3年5月20日～6月18日）
  - (1) 受付状況
    - (ア) 除 外 18件 14,493㎡
    - (イ) 用途変更 2件 3,807㎡（2アールを超える案件）
    - (ウ) 編 入 1件 1,898㎡
- 2 後期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和3年11月22日～12月20日）
  - (1) 受付状況
    - (ア) 除 外 22件 18,728㎡
    - (イ) 用途変更 2件 2,805㎡（2アールを超える案件）
- 3 随時受付（2アール未満の用途変更）による農業振興地域整備計画変更の概要
  - (1) 受付状況 10件 1,100㎡
- 4 市農業委員会意見聴取
  - (1)開催状況 令和3年8月31日（前期） 令和4年1月28日（後期）
- 5 市農業振興地域整備促進協議会の開催（448,000円）
  - (1)開催状況 令和3年8月31日（前期） 令和4年1月28日（後期）

### 上記の評価と課題等

農振除外の要件の一つである土地改良事業受益期間（8年未経過）から外れる地域が多くなり、農家の高齢化、後継者不足等から農地を処分（転用）したい相談が多くなってきています。今後も農振法に基づき適正な計画変更を行うよう取り組んでいきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	140
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106060	農業生産振興費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,289,000	13,450,543	0	1,838,457	88.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,651,050		環境保全型農業直接払交付金	1,651,050		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### <市農業再生協議会実施事業> 市交付金 1,513,260円

農家・JA・農業農村支援センター・農業共済組合・市・市農業委員会が連携し、農業技術等の向上を図るため、検証事業を実施しました。

- 【米穀類生産振興事業】 黒豆生産振興事業 他3事業
- 【そ菜生産振興事業】 農業技術指導支援事業 他3事業
- 【果樹生産振興事業】 りんごの新技術導入研究事業 他2事業
- 【花卉生産振興事業】 新たな花卉栽培方法の検証事業 他1事業
- 【畜産振興事業】 牛肉共励会事業の開催

#### <水田機能維持・地力増進推進事業負担金> 9,286,710円

麦収穫後のほ場を湛水し、地力増進、抑草等の効果について検証を実施しました。

#### <環境保全型農業直接支払交付金> 2,201,400円

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動（有機栽培・カバークロープ等）に取り組む農業者へ対して12,000円/10aを上限に国(1/2)・県(1/4)・市(1/4)を補助しました。

- 【令和3年度実績】
- 対象面積：2,831a
- 交付金：2,201,400円（内訳：国1,100,700円・県550,350円・市550,350円）

### 上記の評価と課題等

#### <市農業再生協議会取組み事業>

農家の所得向上と農作業の省力化等を目的とした検証事業を実施し、実績報告書としてまとめ関係機関へ配布しました。（報告会は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、本庁舎及び各支所でパネル展を開催）また、安曇野市農業再生協議会のホームページへもアップし、市民の皆さんへの周知を図りました。

今後も、農業農村支援センターやJA等関係機関と情報共有を図り、農業者の生産活動に寄与する事業に焦点を絞りながら検証を行い、農業者の所得向上に繋げていきます。

#### <環境保全型農業直接支払交付金>

安全・安心な生産物を求める消費者が増えています。そのため農家の有利販売につながる「環境にやさしい農業」の取組者を増やしていく必要があります。農業改良普及センターと連携を図り、エコファーマー認定者や取組希望者を対象に講習会等を実施し取組農家の増加を図ります。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	140
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
18,756,000	18,756,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,756,000	左記の内訳	経営所得安定対策等推進事業費補助金	18,756,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### <経営所得安定対策> 交付金18,756,000円

経営所得安定対策推進のため、特定財源「経営所得安定対策等推進事業補助金」全額を市農業再生協議会へ交付しました。

米の生産数量目標（面積換算） 2,998.1ha

主食用米生産面積（実績） 2,906.8ha

#### 令和3年度安曇野市農業再生協議会経営所得安定対策推進事業

項目	決算額	主な内容
謝金	619,500円	会議等の出席謝礼
事務等経費	16,168,600円	再生協事務職員賃金等
委託費	1,967,900円	転作田現地確認図面作成等
合計	18,756,000円	

### 上記の評価と課題等

#### <経営所得安定対策>

平成30年から国による生産調整が廃止となり、県農業再生協議会が示す「目安値」による米生産の取組みが始まりました。米政策の大きな転換期となりましたが、「目安値」の範囲内で作付けが実施されました。今後もこの事業を活用し、米の適正生産に向けた取組みを推進していきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	140
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
74,285,000	72,954,263	0	1,330,737	98.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,564,000		ふるさと寄附基金繰入金	40,000,000		
		農作物等災害緊急対策事業補助金	1,564,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

<市振興作物等推進助成事業> 47,030,735円

経営所得安定対策の実績を基に、予算の範囲内で補助金を交付しました。（申請額が予算額を上回ったため、基本単価を調整して交付）

1 生産振興作物推進事業 13,456,836円

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
重点作物 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	約91.3ha	10a 当たり 10,348円	9,296,505円
産地化加算 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	約72.8ha	10a 当たり 6,209円以内	3,934,712円
ブランド推進（黒豆）	約5,246kg	1kg 当たり 43円以内	225,619円
合計			13,456,836円

2 担い手支援対策事業 33,573,899円

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
担い手助成 麦・大豆・そば・飼料用米	約1,084.9ha	10a 当たり 2,759円以内	28,125,897円
団地化加算 麦・大豆・そば・飼料用米	約322.4ha	10a 当たり 1,724円以内	5,448,002円
合計			33,573,899円

### 上記の評価と課題等

<市振興作物等推進助成事業>

生産振興作物推進事業では、玉ねぎの交付対象面積は46.8haと前年と比較すると若干減りました。その他の作物についても、生産拡大に向けた取組みをJA・生産者と進めるとともに、次期農業・農村振興計画の策定に向け振興作物品種等について検討します。



予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### <果樹共済掛金助成事業> 2,854,300円

近年、異常気象による自然災害の発生リスクが高まる中、果樹農家の経営安定及び「果樹共済」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

令和3年度	りんご		ぶどう		なし		もも		合計	
	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積
引受実績	132	7,916a	6	161a	12	399a	2	32a	152	8,509a
加入率		27.7%		9.0%		21.4%		7.7%		26.0%

#### <果樹新植支援事業> 8,458,644円

果樹栽培面積拡大のため、苗木購入費、果樹棚の設置費及び未収益期間（4年間）について支援を行いました。

補助内容	申請件数	対象面積		補助金額	摘要
		(㎡)			
苗木代補助	7	30,231		684,981円	補助率1/3
棚代補助	6	13,005		3,994,713円	補助率1/3
未収益期間補助	25	75,579		3,778,950円	50千円/10a(4年間)
内H29～R1年度事業分	17	44,592		2,229,600円	
合計	9	32,315		8,458,644円	

※合計欄の申請件数、対象面積は令和3年度事業分

#### <玉ねぎ機械化推進事業> 7,750,715円

玉ねぎ機械化一貫体系による玉ねぎ生産の推進のため、機械植用苗及び苗植機械の購入費に対し支援を行いました。

	件数	補助金額	摘要
機械植え用苗代補助	53	6,614,049円	補助率1/3
機械購入補助	2	1,136,666円	補助率1/3

#### <りんご新わい化M9台木購入助成事業> 428,000円

新わい化りんごの生産拡大を図る為、M9台木の購入補助（1/3）を実施し、2,430本の供給支援を行いました。

#### <農作物等災害緊急対策事業> 3,132,446円

令和3年4月の凍霜害により甚大な農作物被害が発生し、長野県においても農作物等災害緊急対策事業が適用されました。そのため、当市でも貯蔵・輸送に係る費用やオープン段ボール箱購入に係る等に対し補助金を交付しました。

### 上記の評価と課題等

#### <果樹共済掛金助成事業>

共済掛金の1/3に対して助成をしており、果樹農家の加入率は結果樹面積対比で26.0%となっています。果樹共済と同様の救済制度となる収入保険制度と併せ、加入率の増加に向けて長野県農業共済組合と連携しながら取り組んでいきます。

#### <果樹新植支援事業>

新植による面積は、穂高・明科地域を主に3.23haが拡大されました。今後も国の補助事業と連携しながら果樹栽培面積の拡大を目指します。

#### <玉ねぎ機械化推進事業>

令和3年に機械植えによる玉ねぎ栽培面積は約30haになりました。JAあづみが導入した乾燥調製施設を有効利用し、さらなる生産振興を図ります。

#### <りんご新わい化M9台木購入助成事業>

販売本数2,430本の補助を行いました。今後も、新わい化栽培を推進し、果樹農家の労働力の低減と所得の向上を図ります。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	142
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
9,639,000	7,535,227	0	2,103,773	78.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 農産物等販路拡大事業（7,535,227円）

コロナ禍のため、首都圏や友好都市での安曇野産農産物のPRを中止し、インターネットを活用した通販サイトでの販売補助を行い、販路拡大につなげることで生産者の収益拡大を目指しました。玉ねぎ祭りは、直売会として開催しました。産直センター運営事業は、一般社団法人豊科開発公社へ委託し、アンテナショップを通じて、安曇野産農産物のPRを行い、ふるさと納税返礼品や野菜BOXの発送業務を行いました。

- (1) 玉ねぎ祭り（直売会）苗代補助金72,000円
- (2) 直売所クーポン割引補填68,000円
- (3) 安曇野市農業再生協議会交付金1,122,842円
- (4) 農家通販サイト出店手数料補助金（11件）703,385円
- (5) 産直センター運営支援事業5,544,000円
- (6) 長野県農産物等輸出事業者協会負担金25,000円

#### 2 海外輸出販路開拓事業（0円）

フランスプロモーションで豊富な実績のある日本人コーディネーターと支援事業者が中小企業庁の補助金を活用して、安曇野市の農家や農産物加工事業者など10事業者が支援事業者からのサポートを受け、フランスでの販路開拓事業「etWASABIプロジェクト」を実施し、フランスへの販路拡大を図りました。

### 上記の評価と課題等

コロナ禍のため商談会やイベントへの出展は困難でした。安曇野産農産物の販路を確保するため、SNSを通じた情報発信の強化、通信販売や野菜BOXの宅配、直売所を活用した地産地消の取り組みなどを引き続き進めていきます。また、今後コロナの感染状況が落ち着いた場合は、首都圏や友好都市へ安曇野産農産物をPRしていきます。

海外への販路拡大については、「etWASABI」の第二弾プロジェクトを関係者と連携し進めていく予定です。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	142
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
22,694,000	21,834,969	0	859,031	96.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,075,238	左記の内訳	各直売所等施設利用料	5,350,000		
		堀金産地形成促進施設基金繰入金	715,000		
		堀金産地形成促進施設基金利子	10,238		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 豊科南部地区産地形成促進施設（329,725円）  
豊科南部地区新鮮市組合（旬彩市）に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。  
(1)施設修繕費（破風板・鼻隠し板金）329,725円
- 豊科農産物加工交流センター（1,390,000円）  
豊科農産物加工交流センター管理運営委員会に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。  
(1)指定管理委託料1,390,000円
- 穂高農業活性化施設（8,290,546円）  
穂高農業活性化施設（Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所）は、企業組合Vif穂高に指定管理し、一体的な管理に努めました。  
(1)施設修繕費（水栓、天井）652,850円、(2)指定管理委託料6,202,000円、(3)借地料（1,454㎡こねこねハウス1,454㎡）939,178円、(4)工事請負費（身体障がい者用外トイレ取替工事（Vif））231,418円、(5)備品購入費（製氷機）265,100円
- 三郷産地形成促進施設（1,244,282円）  
株三郷サラダ市に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。  
(1)工事請負費（雨水浸透柵掘り直し）770,000円、(2)借地料（1,209㎡）474,282円
- 三郷畜産活性化施設（0円）  
株綿半三原商店に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
- 堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設（7,744,238円）  
堀金物産センター、堀金農産物処理加工施設は、農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。  
(1)備品購入費（冷凍庫）715,000円、(2)指定管理委託料1,234,000円、(3)借地料（5,675㎡）3,445,000円、(4)積立金（基金積立金、基金積立金利子）2,350,238円
- 明科農産物加工交流施設（2,836,178円）  
あかしな農産物加工交流ひろば組合Ebeya（えべや）に指定管理し、効率的な運営に努めました。  
(1)指定管理委託料2,596,000円、(2)借地料（943㎡）240,178円

### 上記の評価と課題等

直売加工施設の指定管理を行い、施設修繕や備品購入を計画的に進め、引き続き効率的な管理運営に努めます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	142
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106115	市民農園事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
465,000	457,819	0	7,181	98.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
413,400		市民農園利用料	413,400		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 市民農園事業

市民の農ある暮らしの充実を図るために、市民農園の運営・管理を行いました。

##### (1) 市民農園の開設状況

地域	箇所数	区画数	面積(m <sup>2</sup> )	借地料(円)
豊科	6	137	7,847	235,410
三郷	3	100	6,661	121,670
堀金	1	36	1,974	59,220
計	10	273	16,482	416,300

##### (2) 市民農園の利用状況

地域	利用者数(人)	区画数	利用区画数	利用率(%)	利用料(円)
豊科	100	137	137	100.0	217,200
三郷	68	100	99	99.0	138,600
堀金	26	36	36	100.0	57,600
計	194	273	272	99.6	413,400

##### (3) ハイジの里市民農園（あづみ農業協同組合所有）

市の補助金を活用し平成29年4月1日に開設しており、市民農園事業における相互の発展のため、連携・協力する覚書を締結しています。JAあづみ営農指導員による栽培講習会を実施するなど、初心者の方が気軽に参加できるような取り組みを行いました。

### 上記の評価と課題等

市管理の市民農園の利用率は、令和4年3月31日現在99.6%でありました。  
令和3年度末に、農園1箇所を地権者の意向により返還し、継続利用希望者は別の農園に移転していただきました。  
引き続きホームページや広報誌を活用し空き区画の案内・募集を行い、利用率の維持・向上を図っていきます。また、畦畔や通路の草刈等の整備を進めたり、利用者への農園の利用方法の周知を徹底させたりして、利用しやすい市民農園の運営を目指します。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	142
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
14,518,000	12,381,183	0	2,136,817	85.3%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
839,189		小倉多目的研修集会施設使用料	149,900		
		不動産登録免許税負担金収入	349,260		
		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	340,029		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 三郷やすらぎ空間施設運営事業（3,277,500円）  
令和3年度から株式会社かまくらやに指定管理し、効率的な管理に努めました。  
(1)事務事業委託料55,000円、(2)指定管理委託料893,000円、(3)借地料（4,659㎡）2,329,500円
- 小倉多目的研修集会施設運営事業（1,069,378円）  
令和3年度からあづみ農業協同組合の支所統廃合により市が直接管理しています。  
(1)需用費（光熱水費、施設修繕等）602,251円、(2)役務費（電話料等）38,887円、  
(3)委託料（清掃業務、消防点検業務等）428,240円
- 穂高農村景観活用交流施設運営事業（1,258,976円）  
矢原区に指定管理し、効率的な管理に努めました。  
(1)手数料（不動産鑑定手数料）184,800円、(2)指定管理委託料205,000円、(3)借地料（1,411㎡）869,176円
- 三郷総合営農センター（中萱公民館）（3,919,150円）  
中萱営農組合に指定管理し、効率的な管理に努めました。令和4年2月をもって中萱区に無償譲渡しました。  
(1)事務事業委託料（登記書類作成業務）81,050円、(2)設計監理委託料（空調設備更新工事）341,000円、(3)工事請負費（空調設備更新工事）2,915,000円、(4)公課費（収入印紙代）582,100円
- 農家民宿（2,856,179円）  
新型コロナにより受入がすべて中止（6校、817名分）となりましたが、SDGsに関連した体験への需要が高まっていくことが予想されることからそれに対応するための先進地視察並びに講演会を実施しました。  
(1)安曇野市農家民宿連絡協議会負担金2,760,029円、(2)旅館業経営許可手数料補助（新規受入れ農家2戸）23,000円、(3)講師謝礼（視察、講演会）55,000円、(4)委託料（バス運行業務）18,150円

### 上記の評価と課題等

三郷やすらぎ空間施設は、指定管理による農村都市交流施設の設置目的に沿った効率的な管理運営に努めます。  
事務局業務の一部を民間事業者と連携して進めることとしましたが、新型コロナにより農家民宿の受入がすべて中止となってしまいました。引き続き受入校の誘致等を進めるとともに関係者と協議を重ねコロナ禍でも受入を可能とする体制の構築を進めます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106160	担い手支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
58,432,000	15,643,587	41,803,000	985,413	26.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
592,359	左記の内訳	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	172,092		
		農地利用集積事業補助金	406,500		
		農業経営基盤強化資金利子補給金返還金	13,767		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 人・農地プラン 7,000円  
実質化した人・農地プランについて、地域の担い手に対して経営状況調査を行い、人・農地プラン地域検討会及び全体検討会を開催してプランの精査・見直し・更新を行いました。
- 2 経営体育成事業（国庫） 【繰越】41,803,000円  
国の12月補正予算による担い手確保・経営強化支援事業について、市内の3経営体の支援が国に採択されました。（令和4年度への明許繰越事業）  
補助率1/2、ドローン、コンバイン、パイプハウス等の農業用機械・施設の取得費用の補助
- 3 集落営農組織等機械施設整備支援事業 9,000,000円  
集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対し補助金を交付しました。  
補助率3/10、上限300万円、交付実績9件（コンバイン、トラクター、パイプハウス等）
- 4 集落営農組織支援事業 4,189,956円  
集落営農組織の地域の農業振興の取り組みに対し補助金を交付しました。交付実績25組織  
交付額：経営面積に応じ3、5、7万円、法人化等の取組内容に対し2万円を加算、  
ブロックローテーション取組加算2,980円/10a
- 5 農地集積事業（国庫） 406,500円  
担い手への農地集積集約をすすめるため、農地中間管理機構を活用した農地の貸借に対して、機構集積協力金（国）を交付しました。交付実績10件  
1,500円/1a、交付対象面積271a

### 上記の評価と課題等

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを支援することで所得確保や経営力アップにつながっていると同時に、農業・農村の活性化や農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながっています。今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要です。  
集落営農組織の構成員の高齢化が課題となっているので、法人化や後継者確保のための県・国の支援制度等の情報提供を図っていきます。  
コロナ感染症の影響により実施できなかった人・農地プランの地域での検討会等を、農業委員等と連携して開催していく予定です。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106170	後継者対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
39,469,000	38,316,975	0	1,152,025	97.1%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
26,488,466		新規就農者住宅使用料	540,000		
		農業次世代投資資金(経営開始型)	24,740,466		
		農業次世代投資資金返還金	750,000		
	経営継承発展等支援事業補助金	458,000			

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 農業次世代人材投資資金(国庫) 24,740,466円  
経営が軌道に乗るまでの間、新規就農者に対して最長5年間(R4からは3年間)給付金を支給しています。(H24～)  
給付額：1,500,000円/年以内、交付実績21人
- 2 親元就農支援金 4,000,000円  
認定農業者である親元等に就農した者(後継者)に対して最長5年間支援金を支給しています。(H25～)  
給付額：200,000円/年、交付実績20人
- 3 親元就農機械施設等補助金 3,000,000円  
2の親元就農支援金受給者に農業用機械・施設の整備費用を補助しました。(H25～)  
補助率：3/10、上限1,000千円、交付実績6件(田植え機、トラクター等)
- 4 新規就農者支援事業 300,000円  
新規就農者の賃貸住宅に係る賃借料を補助しました。(H28～)  
給付額：10,000円/月、期間：最長3年間、交付実績4人
- 5 経営継承・発展等支援事業補助金(国事業) 916,000円  
人・農地プランの中心経営体から経営の主権の移譲を受けた後継者に対し、農業用機械整備費を補助しました。  
補助金上限100万円(国1/2、市1/2)、交付実績1人

### 上記の評価と課題等

農業経営者の高齢化と後継者不足が進行している中ですが、上記の施策を活用して新規参入者・農業後継者を確保しています(令和3年度は11人が新規就農)。  
新規就農相談数はコロナ感染症の影響もあり令和2年度(44件)から増加傾向にあり、令和3年度は43件でした。国の農業次世代人材投資資金制度(令和4年度からは新規就農者育成総合対策経営開始資金)の情報は周知され、交付金を活用した新規就農者の相談も増加しています。また、担い手農家の後継者を確保するとともに、専業農家に限らず農ある暮らしのPRも継続し、農業関係人口の増加を図る必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
623,000	511,656	0	111,344	82.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 農業塾等農業者育成活動支援事業 289,000円  
 新たな農業者の育成及び農に触れる機会の創出を目的に、農業技術の指導を行っている農業塾や体験農場の活動に対し補助金を交付し支援しています。  
 ① あかしな農業塾 152,000円  
 ② 烏川体験農場 137,000円
- 2 南農高校連携事業 222,656円  
 平成27年に市と南安曇農業高等学校が、農業の振興や人材育成を目的とした「農業振興に関する連携協定」を締結したことに伴い連携事業を推進しています。  
 「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」として、市内の加工・販売事業者3社とも連携し、オリエンテーション、公開事業、試食会、発表会（卒業発表会）を実施しました。15の試作案から3品が市内事業者が商品化されることになりました。また、わさび研究支援として、苗栽培用の種芋を提供し、種や育苗の研究を行っています。事業は継続してミスト育苗法を進化させ、水に浸ける育苗法を進めています。

### 上記の評価と課題等

農業塾等支援事業については、農業の担い手となる人材の育成と共に、農ある暮らしの充実のため農に触れる機会を提供することを目的に支援を行っていきます。活動の継続を図るために、新しい実践的リーダーや指導者の確保が今後の課題となっています。

南農高校連携では、わさび栽培に関する研究やオリジナル商品開発プロジェクトに引き続き支援をしていくとともに、市内事業と連携し、販売に繋がるような新商品の開発を目指します。



令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,409,000	1,409,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 荒廃農地解消就農者支援金 800,000円  
30a以上の荒廃農地を解消する農業者に対して、最長5年間補助金を交付しています。（H26～、継続者が終了する令和3年度で事業廃止）  
補助額：年額200,000円を最長5年間、令和3年度の交付対象者は4人、解消面積1.5ha
- 2 荒廃農地解消事業補助金 609,000円  
荒廃農地を解消しその後3年間耕作を行う農業者等に、補助金を交付しました。（R1～）  
補助額：5万円/10a、令和3年度の対象者は1人、解消面積1.2ha

### 上記の評価と課題等

荒廃農地面積は、新規発生面積もありますが農業委員等の巡回と、市単独補助事業の活用により16.6ha（農業委員会事務局調べ）と過去最少の面積となりました。  
また、今後も引き続き、農業委員会等と連携して調査を行うとともに、荒廃農地の解消と発生防止に努めていきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
16,384,000	16,070,459	0	313,541	98.1%
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	金額
8,781,660		中山間地域等直接支払交付金	8,761,660	
		中山間地等直接支払推進交付金	20,000	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 中山間地域等直接支払制度（国事業） 12,957,471円

耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する国の中山間地域農業直接支払事業を実施しています。5年間（令和2～6年度）の農業生産活動を継続する協定を締結した8集落に対し、協定面積に応じて交付金を交付しました。

（交付実績）

地域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
穂高	2	119,870	2,517,270
堀金	1	11,556	242,676
明科	5	612,977	10,197,525
計	8	744,403	12,957,471

（交付金財源内訳：円）

国費	4,565,852	県費	4,195,798	市費	4,195,811
----	-----------	----	-----------	----	-----------

#### 2 安曇野市中山間地域農業直接支払事業 2,596,397円

国の制度では交付対象とならない農振農用地外等の中山間地域について、国の対策に準じて集落協定（令和3～5年度）を締結した上で、協定面積に応じて市単事業の交付要綱に基づく交付金を交付しました。

地域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
豊科	2	125,892	1,321,865
穂高	2	121,384	1,274,532
計	4	247,276	2,596,397

### 上記の評価と課題等

農業の担い手不足や高齢化が進む昨今、特に中山間地域の農地は荒廃化が危惧されています。国の中山間地域等直接支払制度を活用した取組みは、集落の活性化とともに農業生産条件の不利を補正する制度として有効な対策のひとつです。また、国の直接支払制度の対象は農業振興地域内農用地（青地）に限られるため、市独自の支援策として安曇野市中山間地域農業直接事業交付金を市内4集落に交付しています。

両制度を活用し、引き続き農地の多面的機能を維持していく必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	146
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0190020	【明許】担い手・集落支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
20,027,000	3,649,000	16,378,000	0	18.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,649,000	左記の内訳	【明許】経営体育成支援事業補助金	3,649,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

国の令和2年度12月補正予算による担い手確保・経営強化支援事業（農業用機械・施設の取得に対する補助）について、令和2年度中に1経営体の支援が国により採択となりましたが、事業実施は令和3年度に明許繰越となりました。（20,027,000円）

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で農業用機械の部品の調達が困難となったことを受け、補助対象機械の一部が令和3年度中に納品されない事態が起きました。令和3年度は、年度中に納品された3件（全4件）の機械の取得費用に対して、補助金3,649,000円を交付しました。

補助率1/2、3,000万円上限（法人）・1,500万円（個人）、トラクター・野菜移植機・フロントローダー

残る1件の機械の納品に係り、事業の完了は令和4年度に事故繰越となりました。（国も事故繰越決定、16,378,000円）

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の影響で機械の納品が遅れ、令和2年度から4年度まで3年度間に及ぶ事業となってしまいました。

今後もその影響が続くと、この事業に限らず農業用機械等の取得に対する補助事業について同様の事態が起こる可能性があります。今後も助成対象者に対しては、納品業者との連絡を密にとり工程や納期の管理を徹底するよう指導していく計画です。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	148
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
10,301,000	9,864,573	0	436,427	95.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
55,000		家畜防疫事業収入	55,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### <農業共済組合家畜診療所負担金> 1,156,000円

長野県農業共済組合が運営する中信地域家畜診療所の獣医師を雇用し、診療体制を構築するとともに、人工授精や疾病等の防疫活動などを行うなど、地域の畜産振興を図るため、市の畜産経営規模等により算出された負担金を交付しています。

#### <畜産公害防止事業> 8,382,382円

畜産経営に係る環境面への対策を推進するため、畜産農家が購入する悪臭対策資材、ハエ対策資材等（12件）に対して2分の1（上限額：悪臭対策資材8万円、防虫対策資材2万円）の補助金を交付しました。また、堆肥センター廃止に伴う原料搬入農家（1件）に対し堆肥舎整備の補助金を交付しました。

#### <環境整備リース事業補助金等> 127,773円

「畜産環境整備リース事業」等を利用した農家に対し「附加貸付料」及び「保証料」を補助し、施設周辺の環境保全を図りました。（対象農家：2農家）

#### <畜産悪臭対策事業> 143,500円

畜産が起因となっている悪臭問題について、以下の事業を実施し対策を図りました。

- ア 対策会議開催（畜産悪臭対策協議会3回及び畜産現場確認2回）
- イ 臭気測定関係

#### <家畜伝染病法定検査防疫事業> 54,918円

家畜伝染性疾患の発生を予防し、伝染病の蔓延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づく定期検査及び予防注射を実施した農家に対し助成しました。

### 上記の評価と課題等

#### <畜産経営安定化事業><畜産悪臭対策事業>

三郷地域の畜産臭気問題については、平成24年度に167件あった悪臭苦情件数が令和3年度は18件になるなど改善は図られています。今後も、悪臭防止法の規制数値以下となるよう、農家に対する指導を実施していきます。また、全国的な問題であるCSF・ASF（アフリカ豚熱）対策についても、国・県等の関係機関と協力しながら対応を図っていきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	148
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,800,000	15,800,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

**主要な施策（事務事業）の成果の概要**

<三郷堆肥センター維持管理費> 15,800,000円

ア 三郷堆肥センター指定管理業務

(株)三郷農業振興公社に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。

指定管理委託料：14,000,000円

イ 堆肥センター借地料（施設用地9,850㎡） 1,800,000円

**上記の評価と課題等**

<三郷堆肥センター維持管理費>

令和7年度の閉鎖・解体に向けて具体的なスケジュールの策定と原料搬入農家を実施する堆肥舎の施設整備に対して助言及び支援を行っていきます。

令和4年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	156
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	04	水産業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	水産業振興費		基本施策	水を活用した産業の振興
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
185,000	185,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### <水産業振興事業> 185,000円

水産資源拡大補助事業

漁業法により長野県内水面漁場管理委員会が定めた、犀川漁業協同組合管内でのニジマス増殖指示量を基に、組合が実施したニジマス稚魚の放流（約430kg）に係る経費に対し補助金を交付し、水産資源の確保を支援しました。

### 上記の評価と課題等

#### <水産業振興事業>

犀川漁業協同組合が漁業法の増殖義務により実施する、放流事業に支援を行いました。

河川での資源確保に向けて、カワウ等による被害の軽減を目的とした鳥獣駆除や、稚魚の放流を組み合わせながら、自然増殖による資源の拡大方法についても県水産試験場や犀川漁業協同組合と連携し検討をしていきます。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	140
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	林業の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
17,408,000	16,487,027	0	920,973	94.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,553,100	左記の内訳	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	553,100		
		ふるさと寄付基金繰入金	10,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 有害鳥獣捕獲等委託
  - ア 農作物や林産物に被害をもたらす野生鳥獣の捕獲業務  
市内全域を対象に、安曇野市猟友会へ委託しました。委託料 6,072,000円
  - イ 野生小動物死体回収業務  
市道等での死獣回収業務を業者へ委託しました。委託料 364,100円
- ツキノワグマ緊急捕獲等業務  
人家周辺に出没したツキノワグマ捕獲に伴う檻の設置等を安曇野市猟友会へ委託しました。委託料 48,000円
- 緩衝帯整備業務  
林縁部の視界を良くし、野性獣の隠れ場所や移動経路をなくすため、堀金・三郷地域で電気柵沿いの緩衝帯整備を民間業者に委託し実施しました。委託料 980,100円
- 狩猟者確保事業補助  
新規狩猟者確保のため、1人当たり銃狩猟者に経費の1/2上限30,000円、わな免許取得者に経費の1/2上限3,000円を、免許取得に係わる経費に対して補助を行いました。  
新規銃狩猟者 1名  
新規わな猟者 4名  
補助金 計37,400円

### 上記の評価と課題等

計画的な有害鳥獣捕獲により、農林業被害の軽減を図ることが出来ました。  
有害鳥獣駆除を実施し、コノジカ125頭、イノシシ8頭、コホシガキ106頭、カラス370羽等を捕獲し、農作物の被害防止に努めました。  
狩猟免許取得経費を補助することにより、新規狩猟者5名を確保することが出来ました。  
捕獲する場所に限られる中、捕獲対象の鳥獣が捕獲日に出没しないことが多くあり、野生鳥獣の捕獲従事者や捕獲日を増やすなどの対応が課題になります。  
また、広域電気柵の老朽化や維持管理につきましても、現状に合った補助体制の構築が課題となります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	148
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
102,001,000	95,091,708	0	6,909,292	93.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,053,000		行政財産目的外使用料(旧山林組合関係)	17,000	旧徳高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する預金利子	202,000
		信州産ペレット消費拡大事業補助金	1,125,000	旧徳高町外1ヶ町村浅川山林組合に関する預金利子	9,000
		市有土地貸付収入(旧山林組合関係)	50,000	指定寄付金	150,000
		分収造林事業基金利子	7,000	旧徳高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金外	12,493,000

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 森林保全巡視事業  
市内各地域1名、計5名に依頼し、林野火災、違法伐採、松くい虫被害木、災害危険個所の巡視を行いました。  
報償費 434,700円
- 安曇野市里山再生計画推進事業  
安曇野市環境基本計画に基づく安曇野市里山再生計画(第2次)により、「まきの環」「木材活用」「学びの環」「魅力発見」の4つのプロジェクトが協働で課題を抱える、地域の里山再生に取り組んでいます。  
(1)推進支援業務(さとぷろ。サポーター募集リーフレット作成等) 委託料 552,200円  
(2)プロジェクト負担金 負担金 880,000円  
(3)積木キャラバン事業積木制作業務 委託料 686,400円
- 天平の森関係  
(1)長峰山森林体験交流センターの管理を指定管理者に委託しました。  
委託先：穂高カンントリー(株) 令和元年度から5ヶ年間 委託料 13,019,000円  
(2)貯水槽、浄化槽、薪ボイラー配管施設修繕 施設修繕 1,871,100円
- その他  
(1)緑化木配布事業に伴う苗木購入(希望する市内各区へ) 原材料費 902,000円  
(2)ペレットストーブ導入補助(14台) 補助金 1,400,000円  
(3)長峰山案内板等修理 施設修繕 682,000円  
(4)柏原会館整備事業補助(一ノ沢) 補助金 7,000,000円  
(5)牧区公民館空調機設置費補助(一ノ沢) 補助金 2,948,000円  
(6)細萱区備品修繕費補助(一ノ沢) 補助金 1,045,000円

### 上記の評価と課題等

第2次安曇野市里山再生計画がスタートし、前計画の反省から、課題解決の方針を明確にし、「まきの環」「木材活用」「学びの環」「魅力発見」の4プロジェクトが、それぞれの目指す成果を踏まえ、市民や団体と協働しながら活動を進めています。  
ペレットストーブ導入補助については、14台と予定より1台少なかったが、木質ペレット燃料の使用による県産材の利用促進が図れました。



令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	148
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
141,214,000	140,299,888	0	914,112	99.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
65,987,000		森林健全化推進事業補助金	63,942,000		
		森林づくり推進支援金	2,043,000		
		更新伐事業雑入	2,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 松くい虫防除対策

ア 松枯損木の伐倒処理業務委託 補助事業：92,643,000円、市単事業：21,029,860円

地区	処理作業	処理本数	材積(m³)	補助対象外
豊科	伐倒処理等	1,678本	2,118	195本
穂高	伐倒処理等	530本	880	176本
三郷	伐倒処理等	298本	510	71本
堀金	伐倒処理等	283本	527	1本
明科	伐倒処理等	133本	146	81本
計		2,922本	4,181	524本

イ 地上薬剤散布業務委託（穂高権現宮4.0ha） 委託料 660,000円  
ウ 安全確認調査業務委託 2地区（気中・水質検査） 委託料 638,000円  
エ 環境影響調査及び効果検証調査 2地区 委託料 2,112,000円  
オ 大口沢地区樹幹注入業務委託及び薬剤購入費 原材料 2,018,720円  
カ 市単補助事業

補助金交付額 20,299,283円  
樹幹注入補助 49件 1,155,038円  
伐倒駆除補助 148件 19,144,245円

### 上記の評価と課題等

松くい虫予防対策として、薬剤空中散布を実施するあたり、地元住民とのリスクコミュニケーションを図りました。また、周囲環境の調査、効果検証を継続して実施しています。  
穂高権現宮の薬剤地上散布に代わる対策として、薬剤の樹幹注入事業を実施しました。  
松くい虫被害防除対策事業による市単補助金制度の利用を促進し、被害蔓延防止を図りました。  
伐倒駆除に関しては、電話や窓口での問い合わせがほぼ毎日あり、市民ニーズの高さがうかがえます。  
松くい虫被害木の全量駆除が困難なことから、倒木による被害等が懸念されます。  
森林巡視員の報告や区長からの要望を精査し危険個所より燻蒸処理または特殊伐採を進めます。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	150
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,935,000	15,009,172	0	925,828	94.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,294,000		森林造成事業費補助金	5,234,000		
		林業費雑入	2,460,000		
		森林の里親促進事業	600,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 市有林整備事業
 

(1)	4045林班（堀金）主伐・搬出・地拵え業務	(1.60ha)	委託料	8,063,000円
(2)	3002林班（三郷）伐採・搬出・地拵え業務	(0.50ha)	委託料	5,225,000円
(3)	4018林班（堀金）保育作業測量調査業務	(1.53ha)	委託料	328,900円
- 市有林の森林保険への加入
 

森林保険加入（10.21ha）	R4.4.8～R9.4.7まで	役務費	559,572円
-----------------	-----------------	-----	----------

### 上記の評価と課題等

公共施設への木材利用を目的に市有林の伐採を行ったが、市有林は全体的に伐期を迎えた成熟期に達しており、主伐と共に搬出材の地域内活用等の検討を進めていく必要があります。  
また、森林の持つ多面的機能の発揮という面でも、計画的に市有林全体の整備を進める必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	150
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,147,000	4,657,900	0	489,100	90.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 森林整備事業

森林造成事業補助

補助金 4,657,900円

森林造成事業補助金交付要綱に基づき、県の補助を受けて森林整備36.06ha及び、作業路整備（獣柵）160mを設置し、林業事業体に対して、県の査定経費の10～20%の市単嵩上げ補助を行いました。

### 上記の評価と課題等

本事業における民有林（私有林等）の森林整備については、県の補助事業「信州の森林づくり事業」を活用しています。林業事業体が実施者となり、県の査定経費に対して、市は嵩上げ補助を行っていますが、実行経費に対し査定経費は7割程となっており、林業事業体への費用面での負担額が大きくなっています。

森林整備推進のためにも、嵩上げ補助率を上げる等の改善を図っていく必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	150
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106265	森林環境譲与税事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,769,000	23,768,367	0	633	100.0%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,199,000		森林環境譲与税基金利子	45,000		
		森林環境譲与税基金繰入金	6,154,000		
			(森林環境譲与税)	(17,568,000)	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 森林経営管理制度
- (1) 森林経営管理制度業務委託 委託料 6,154,500円
- ・ 経営管理権集積計画の作成
  - ・ 経営管理実施権配分計画の検討 等
- (2) 森林環境譲与税基金積立 積立金 17,568,000円
- (3) 森林環境譲与税基金利子積立金 積立金 45,867円

### 上記の評価と課題等

森林経営管理制度業務を発注し、三郷地域の3012林班と3022林班について現地踏査を行いました。現地踏査結果及び意向調査結果を踏まえ、林業事業者（3社）を紹介し、森林経営計画を促したところ、3022林班について、1社とマッチングに成功しました。森林所有者の中には、相続未了により所有者が分からない方が多く、親族血縁関係の洗い出しに時間と労力が必要となっています。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	150
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	林道重点整備・維持管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
33,057,000	31,430,959	0	1,626,041	95.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,709,000	左記の内訳	公共補助林道事業補助金	5,610,000		
		地すべり防止施設等管理サポート事業	99,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道の路面清掃及び側溝清掃と刈払い等を行い、利用者が安全に通行できるよう維持管理に努めました。また、交通量の多い幹線林道において大規模な落石や倒木から被害を防ぐため、危険個所の重点的な維持・改良工事を行いました。

- 委託料
  - 林道草刈り枝払い等業務  
業務委託場所： 烏川線、長峰線、城山線、一の沢線、北沢線他  
委託料 3,636,795円
  - 地すべり防止施設管理業務  
業務委託場所： 明科長久保地すべり防止施設  
委託料 99,000円
- 工事請負費（補助事業）
  - 林道烏川線改良工事  
落石雪害防止工 L=28.0m  
工事費 11,000,000円
- 林道改良工事（単独事業）
  - 林道維持補修等工事  
工事場所 22箇所  
工事費 14,973,200円
  - ・烏川線・一の沢線・北沢線・大野沢線・北山線
  - ・田多井線・安曇野線・桐沢線・長峰線・野辺沢線
  - ・白牧線・新沢線・大山線・天満沢線

### 上記の評価と課題等

林道利用者が安全に通行できるよう維持管理に努めました。  
 林道烏川線は森林整備関係者だけでなく観光客や登山者等の利用も多く、安全性を備えた林道に整備していく事が求められているため、改良工事を実施する事により危険個所の整備が図れました。  
 東山の林道は倒木の恐れのある松くい虫被害危険木早期伐採の対応が必要となります。  
 西山の林道は大雨や地震直後の落石や法面崩落への対応が必要となります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	150
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106280	耕地総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
104,769,000	101,678,294	0	3,090,706	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,511,589		農村環境改善センター維持管理分担金	1,080,989	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	6,066,600
		地滑り防止施設管理委託金	244,000	高瀬川左岸水利運営調整費	120,000

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 三郷農村改善センター
  - 指定管理者 J A あづみ・指定管理期間 令和元年から5年間・指定管理料（年間）5,480,000円
  - 土地借地料 契約者2件 2,722,895円（内 J A あづみ負担分…1,080,989円）
- 農林漁業金融公庫償還金
 

事業名	件名	金額	最終の償還年度
三郷南部地区ほ場整備事業	1件	865,218円	令和5年度
- 年間通水負担金、水利維持管理負担金
  - 新田堰土地改良区 1,195,200円（年間通水及び水利系維持管理負担金）
  - 安曇野市矢原堰土地改良区 1,000,000円（年間通水負担金）
  - 安曇野市烏川土地改良区 1,068,000円（水利系維持管理負担金）
  - 長野県梓川土地改良区 314,560円（特別排水路維持管理負担金）
  - 安曇野市土地改良区連絡協議会 1,800,000円（堰で発生したゴミ処理支援負担金）
- 建設負担金（県単農業農村整備事業負担金）
  - 長野県梓川土地改良区 1,765,000円
  - 長野県勘左衛門堰土地改良区 900,000円
- 小泉開田・中村開田組合の水利権移行に伴う高瀬川沿岸水利権変更申請書作成業務委託
  - 小泉開田組合と中村開田組合の水利権を犀川から高瀬川沿岸へ移行するための変更申請書を作成しました。
  - 業務委託料：1,760,000円

### 上記の評価と課題等

小泉開田組合と中村開田組合の水利権移行のための申請書を作成することができました。今後、水利権移行に向けて作成した申請書を基に千曲川河川事務所と協議が必要となります。また、水利権移行後には、両組合の揚水機場の撤去には多大な費用がかかるため、財源を検討する必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	152
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
689,000	689,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 事業概要

土地改良施設の計画的な維持補修や更新を行うため、施設を管理する土地改良区や水利組合等が、あらかじめ地元負担分を全国土地改良事業団体連合会に積み立ててから行う補助事業です。5年間で事業費の3割を均等割りした額を拠出金として積み立て、実施年度に積立金（30%）と国（30%）、県（30%）の補助金を合算した金額（90%）が交付されます。

【負担割合】国30%、県30%、市20%、地元20%

#### 2 負担金（支出先：長野県土地改良事業団体連合会）

地区名	金額
青木花見地区積立金	360,000円

#### 3 建設負担金

負担先	金額
長野県梓川土地改良区	329,000円

### 上記の評価と課題等

青木花見地区は、昨年工事を行い、今年度は積み立ててから5年目となり、積立金の支払いが完了しました。

市内では昭和40から60年代にかけて積極的に農業基盤整備が進められましたが、近年では水利施設の老朽化が著しく漏水等により営農に支障が生じています。

今後も土地改良施設維持管理適正化事業を入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら計画的に水路改修工事を進めていく必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	152
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
16,015,000	15,789,078	0	225,922	98.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 一部事務組合負担金
  - ・広域排水路の管理を行っている安曇野松本行政事務組合への負担金を支出しました。  
安曇野・松本行政事務組合負担金 15,003,678円
- 2 工事請負費
  - ・国営土地改良事業堀廻堰堆積物除去工事 522,500円  
工事概要 堆積物除去 1式
  - ・国営土地改良事業黒沢川流末周辺ブロック積み補修工事 262,900円  
工事概要 ブロック積み補修 1式

### 上記の評価と課題等

安曇野地区広域排水事業は、安曇野市と松本市に跨る約6,200haの受益地として平成7年度から平成17年度にかけて基幹的な排水路整備を行いました。総延長約32kmの整備により、近年の集中豪雨による洪水に対して被害拡大や防止に寄与しています。



令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	152
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
41,768,000	39,686,926	0	2,081,074	95.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,871,279		土地改良事業地元分担金	1,796,300	ふるさと・水と土保全基金利子	74,979

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 工事関係

工事内容	件数	金額
水路補修、漏水補修等工事	15件	13,269,300円
水路土砂撤去工事	6件	3,818,100円
その他工事（防護柵設置等）	7件	4,860,790円
合計	28件	21,948,190円

#### 2 土地改良事業補助金関係

申請団体	件数	金額
土地改良区	22件	7,087,100円
水利組合	12件	3,951,000円
合計	34件	11,038,100円

#### 3 管理委託関係

- (1) 契約件数 15件
- (2) 委託料 4,227,277円
- (3) 管理委託内容 排水路草刈、支障木伐採、排水水門ゴミ片付け等

#### 4 原材料支給関係

- (1) 支給件数 8件
- (2) 工費用原材料費 1,299,347円
- (3) 内容 水路目地補修資材、スクリーン、簡易ゲート等

### 上記の評価と課題等

農業水利施設改修要望については、計画的かつ効率的に実施されるよう、多面的機能支払交付金に係る組織や関係土地改良区と連携を図り、進められています。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	154
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
15,603,000	15,560,000	0	43,000	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,900,000		県営かんがい排水事業	13,900,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内で実施される県営土地改良事業の市負担金を支出しました。

#### 1 建設負担金

(1) 県営畑地帯総合土地改良事業 中信平左岸地区

- ・事業概要 畑かん施設更新工事 一式
- ・事業費 210,000,000円
- ・建設負担金額 17,423,000円
- ・建設負担割合 国：50%、県：27.5%、松本市と安曇野市：11.25%、土地改良区：11.25%  
(松本市と安曇野市の按分割合 農地面積比 34.53：65.47)

#### 2 県営事業割賦課金

長野県土地改良事業団体連合会賦課金 37,000円

### 上記の評価と課題等

県営畑地帯総合土地改良事業中信平左岸地区は、かんがい施設を制御する無線周波数の切替に伴う施設整備費用を負担することにより、農家の利便性向上につながりました。今後も県営事業に関わる地元協議に関わりながら事業を推進することにより、農業の向上が図れます。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	154
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
53,961,000	17,954,491	36,005,000	1,509	33.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,471,600		団体営土地改良事業補助金	11,264,000	団体営土地改良事業分担金	0
		土地改良事業地元分担金	3,207,600		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

国・県補助金を活用し、老朽化の進んだ農業水利施設の更新を進めました。

- 設計監理委託料
  - 農業水路等長寿命化・防災減災事業 穂高地区富田工区水路改修工事実施設計業務委託 2,585,000円
- 工事請負費
  - 農業水路等長寿命化・防災減災事業 穂高地区富田工区水路改修工事 14,960,000円  
 工事概要 水路改修 ベンチフリューム1000型 L=41.8m 一体型柵渠800×600 L=146.5m  
 事業年度 令和3年度～令和5年度  
 負担割合 国：50%、県：14%、市：18%、地元：18%
  - 農業水路等長寿命化・防災減災事業 安曇野地区広域排水監視システム更新 令和4年度へ繰越  
 工事概要 水位計、雨量計、監視カメラ、監視システム更新 一式  
 事業年度 令和3年度～令和4年度  
 負担割合 国：50%、県：18%、市：32%（安曇野・松本行政事務組合負担）
- 事業割賦課金
  - 長野県土地改良事業団体連合会賦課金 104,000円

### 上記の評価と課題等

国・県補助金を活用できる団体営土地改良事業により農業水利施設の整備が推進され、農地の保全や農作業の軽減につながりました。令和3年度に策定され、今後は農業水利施設個別施設計画に基づいて、団体営土地改良事業を導入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら計画的に農道や農業水利施設の整備を進められるようになりました。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	154
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106335	公共施設等適正管理推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
29,953,000	29,898,000	0	55,000	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
26,900,000		市単農道舗装事業	26,900,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設等適正管理推進事業は、農業水利施設（水路、機場、ため池等）、農道、地すべり防止施設の長寿命化を図るための単独事業で、起債の対象となります。

令和3年度は経年劣化のため、舗装に亀裂や陥没の生じた個所の再舗装を行い、通行の円滑化と車両事故発生防止を図りました。

#### 1 設計委託料

- 公共施設等適正管理推進事業穂高・明科地区農道舗装設計積算業務委託 2,805,000円

#### 2 工事請負費

- 公共施設等適正管理推進事業穂高地区農道穂高006号線現道舗装工事 6,435,000円  
工事概要 現道舗装 幅 3.00m 延長 211m
- 公共施設等適正管理推進事業穂高地区農道穂高037号線舗装修繕工事 5,720,000円  
工事概要 舗装修繕 幅 3.25m 延長 340m
- 公共施設等適正管理推進事業明科地区農道明科103号線舗装修繕工事 14,938,000円  
工事概要 舗装修繕 幅 4.00m 延長 678m

### 上記の評価と課題等

公共施設等適正管理推進事業で農道舗装を実施したことにより、一般財源の負担が減り、農道の通行の円滑化と陥没個所での車両事故防止を図ることができました。今後も有利な起債事業により農道等の整備を進めます。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	154
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
253,446,000	253,414,994	0	31,006	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
189,948,264		多面的機能支払推進交付金	189,948,264		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

多面的機能支払交付金事業は、農地や農業用水などの農業基盤と農村環境の保全と質的向上を図るため、地域住民等が主体となる地域ぐるみの活動を支援しています。

令和3年度は、各広域協定運営委員会の役員会で、資源向上支払交付金（長寿命化）の交付金を広域化した組織間で融通することを検討しました。

#### 1 取り組み状況について

- ・組織数 20組織（豊科 2組織の内広域組織1、穂高8組織の内広域組織2、三郷4組織の内広域組織1、堀金3組織の内広域組織1、明科3組織の内広域組織1）
- ・取組面積 3,643ha（豊科 732ha、穂高 1,115ha、三郷 1,067ha、堀金 554ha、明科 175ha）
- ・補助金額 251,933,686円（うち市負担分62,983,422円）
- ・負担割合 国50%、県25%、市25%

#### 2 広域化による事務軽減の内容

- ・資源向上支払交付金（長寿命化）の工事の契約、工事監理、検査、支払を事務局で行いました。
- ・農地維持支払交付金、資源向上支払交付金（共同）の作業日当の支払い事務について、活動組織に希望を取り、希望する活動組織の支払い事務を広域事務局で行いました。

#### 3 使用料及び賃借料

- ・交付金支援システム借上料 898,920円

### 上記の評価と課題等

各活動組織の活動により、農地と水路・農道が保全され、農業用施設の維持補修と更新工事を行い、施設の長寿命化が図られました。

広域化により、各組織が行っていた交付申請、会計、工事事務などの事務が軽減されました。

資源向上支払い交付金（長寿命化）の交付金を広域化した組織間で融通することを検討し、令和4年度は組織間で調整ができた広域組織から実施することとなりました。

今後も先進地の例などを参考にしてさらに地元活動組織の事務等の負担軽減を進め、活動組織の広域化を進めます。また、市内農地と水路・農道の保全のため、交付対象農地の拡大を図ります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	154
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,345,000	6,118,109	0	1,226,891	83.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
412,000		団体営土地改良事業補助金	412,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

堀金烏川地籍で平成21年から進めてきた県営ほ場整備事業は面整備が終了した後、補完工事を実施してきましたが、令和3年度で完了しました。  
令和3年11月に開催した権利者会議において、換地計画について賛成多数により議決されました。

#### 1. 予算の支出状況

- (1) 需用費 255,549円
- (2) 委託料 495,000円 (※ソフト事業)
- (3) 使用料 340,560円
- (4) 工事請負費 5,027,000円

#### 2. ソフト事業の進捗状況

面整備が終了し1区画における面積が拡大したことから、地域の農業が将来にわたり持続する取り組みとして、担い手農家への農地集積・集約化を進めています。  
農地集積目標である34.3%に対し、令和3年度は24.6%まで集積率が向上しました。

#### 3. 主なハード事業の進捗状況 (県営分)

区画整理計画面積146haの内、146.0ha施工済、整備率100%  
平成24年度：16.6ha、平成25年度：28.7ha、平成26年度：32.8ha、平成27年度：26.4ha  
平成28年度：24.6ha、平成29年度：16.9ha、平成30年度、令和元・2年度：補完工事・連絡水路工事、令和3年度：補完工事

### 上記の評価と課題等

長年進められてきた面整備が完了し、換地清算金の確定と換地計画に基づく換地同意が得られ、換地計画が確定したことで、法務局への換地処分登記申請に結びつけることができました。  
事業完了公告から5年以内に烏川地区の計画区域に、34.3%の農地集積を進める必要があります。条件整備が整うことで国からの推進補助金が交付されます。これにより地権者の金銭的負担を軽減することが可能となるため、計画面積の335ヘクタールの農地を対象に、農地の貸し借りの調整など、関係する農家や担い手組織に対しきめ細かな説明を行い、協力を得る必要があります。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	232
------------	-----

予算	款	11	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0111020	林道災害復旧事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,421,000	13,097,700	0	1,323,300	90.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

被災した林道を安全に通行できるように復旧工事を行いました。

- 委託料
  - 設計監理委託 委託料 4,675,000円  
業務委託場所：長峰線、滝の沢線、北沢線、白牧線（補助災害工事費は繰越）
- 林道災害復旧工事（単独事業）
  - 林道復旧工事 工事費 8,422,700円  
工事場所 9箇所  
・岩州線・馬口入線・小水沢線・北沢線・安曇野線  
・中谷線・黒坪線・一の沢線・滝の沢線

### 上記の評価と課題等

被災箇所を復旧することにより、林道利用者が安全に通行できるよう努めました。  
近年の局地的な豪雨等により今後も林道災害の発生が懸念されます。

令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	232
------------	-----

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	農林水産施設災害復旧費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	耕地施設災害復旧		基本施策	農業の振興
	事業	0111015	耕地災害復旧事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
320,045,000	10,978,000	308,661,000	406,000	3.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,328,000		耕地災害復旧事業費補助金	4,328,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 被災状況と災害復旧事業の経緯  
令和3年8月豪雨により河川が増水し、犀川（豊科光）の犀川堰堤と重光堰頭首工の2箇所が被害を受けました。犀川堰堤は208ha、重光堰頭首工は80haの農地を受益地としています。令和3年11月29日の災害査定の結果、農林水産省所管の災害復旧事業に認定され、その後3月議会で補正予算が認められ、犀川堰堤、重光堰頭首工ともに令和4年度へ明許繰越となりました。  
令和3年8月豪雨により、穂高有明で農地畦畔の崩落等の被害が発生しました。これらは、市単独工事により復旧に取り組みました。
- 災害復旧事業（補助分）査定設計書  
令和2年度 査定設計書作成業務委託（国補助金 5,107,000円）  
・委託料 犀川堰堤 6,325,000円、重光堰頭首工 3,080,000円
- 災害復旧事業（補助分）工事・・・3年度へ明許繰越  
(1) 令和3年度 農業施設災害復旧事業（繰越） 重光堰 (2) 地区仮設導水路整備工事  
・工事内容 仮設用水導水路工 L=65m  
・工事請負額 8,250,000円
- 災害復旧事業（市単独分）工事：2箇所  
・工事内容 崩落畦畔復旧等  
・工事請負額 1,573,000円

### 上記の評価と課題等

犀川堰堤と重光堰頭首工は11月の災害査定で災害復旧事業に認定され、工作物の河川協議及び実施設計を進めた結果、令和4年度に明許繰越しました。令和4年度は渇水期に施工し、当年度内の工事完了を目指します。  
市単工事は、年度内に復旧工事が完了しました。



令和4年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	234
------------	-----

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	農林水産施設災害復旧費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	耕地施設災害復旧		基本施策	農業の振興
	事業	0190100	【明許】耕地災害復旧事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
331,020,000	28,391,000	243,320,000	59,309,000	8.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
		耕地災害復旧事業費補助金	0		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 被災状況と災害復旧事業の経緯

令和2年7月豪雨により河川が増水し、梓川の熊倉堰堰堤と犀川（豊科光）の犀川堰堤の2箇所が被害を受けました。熊倉堰堰堤は48ha、犀川堰堤は208haの農地を受益地としています。

令和2年10月29日の災害査定の結果、農林水産省所管の災害復旧事業に認定され、その後12月議会で補正予算が認められ、熊倉堰堰堤、犀川堰堤ともに令和3年3月に工事契約となりました。

令和3年8月豪雨により河川が増水し、犀川堰堤の工事箇所が被害を受けてしまいました。

令和3年11月29日の災害査定の結果、施工内容が変更となりました。

熊倉堰堰堤についても、堰堤付近の護岸が被害を受け、国土交通省が災害復旧工事を行うこととなり、熊倉堰堰堤工事を一旦精算することになりました。

#### 2 災害復旧事業 工事監理業務

令和2年度（繰越） 農業用施設災害復旧事業 豊科光地区工事監理業務委託

・委託料 1,320,000円（令和4年度へ事故繰越）

#### 3 災害復旧事業工事

（1）令和2年度 農業施設災害復旧事業 豊科光地区犀川堰堤復旧工事（令和4年度へ事故繰越）

・工事内容 堰堤復旧 L=220m

・工事請負費 242,000,000円（補助対象額2/3 161,333,333円、残の1/3は中部電力負担）

（2）令和2年度 農業施設災害復旧事業 熊倉堰地区 堰堤復旧工事

・工事内容 堰堤復旧 L=107m（当初 L=177m）

・工事請負費（精算） 28,391,000円（補助対象額 27,250,000円）

### 上記の評価と課題等

豊科光地区は、令和3年8月豪雨により再び被害を受けてしまい、災害査定によって施工内容が変更となりました。そのため、工事が進められなかったため、令和4年度に事故繰越しました。

熊倉堰は、令和3年8月豪雨により堰堤付近の護岸が被害を受けて、国土交通省で災害復旧工事を行うこととなりました。そのため、工事箇所が重複してしまうため、一旦工事を精算しました。

令和4年度は、渇水期に施工を行い、年度内の工事完了を目指します。

# 農業委員会事務局

令和4年度	
部	農業委員会事務局
課	農業委員会事務局
係等	農業委員会事務局

決算書 ページ	138
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
92,184,000	89,989,801	0	2,194,199	97.6%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
12,112,847	細節名	金額	細節名	金額
	国有農地管理事務委託金	12,000	農地転用許可表示板	0
	農業費負担金	8,974,000	農業投資価格評定謝金	8,600
	機構集積支援事業費補助金	162,000	農業者年金事務費	320,000
	農地利用最適化交付金	2,364,000	農業者年金新規加入奨励金	40,000
	県農業開発公社業務委託金	80,000	その他雑入	152,247

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (1) 農業委員会の運営 農業委員24名、農地利用最適化推進委員27名（R3.7.20改選）
  - ・毎月、定例総会、地域委員会（5地域）、三役・地域長会を開催し、農地の所有権移転、利用権の設定、農地転用等の審議を行いました。
- (2) 全国農業新聞の普及推進 令和4年3月31日現在 購読者数：92件
- (3) 農地パトロールの実施及び遊休荒廃農地解消に向けた取り組み
  - ア 遊休荒廃農地の実態調査として、農地パトロールと解消に向けた取り組み（指導や貸借のあっせん等）を行いました。
  - 年度末の遊休農地面積35.5ha（緑区分：21.2ha、黄区分：14.3ha）解消面積7.0ha
  - イ 山林原野化した農地について、141筆（8.1ha）を非農地決定しました。
- (4) 家族経営協定の推進
  - ・令和4年3月31日現在 協定締結数103件（うち新規2件、更新1件）
- (5) 情報提供
  - ア 農業委員会だよりを発行しました。（7月・12月）
  - イ 賃借料情報一覧及び農作業標準労賃・機械作業料金協定表を作成し、配布しました。
- (6) 農業者年金の諸届等の事務と加入推進、相談を実施しました。
  - ・令和4年3月31日現在 受給者全体：271名 被保険者：60名（うち新規加入：3名）

### 上記の評価と課題等

遊休荒廃農地対策は、大きな課題として、農政課と連携し、各地域で農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり対策に取り組んでいます。農業者の高齢化と後継者不足、耕作意欲の低下等により、荒廃農地の発生に苦慮している状況です。

今後も行政、農業委員会、地域が連携し、荒廃農地対策と土地所有者への啓発に努めたいと考えます。

また、農地パトロールの結果、再生利用が困難な荒廃農地については非農地決定の手続きを進めます。

# 商工観光スポーツ部

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	136
------------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105010	勤労者福祉事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
56,991,000	56,038,300	0	952,700	98.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		勤労者資金元金	50,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 勤労者資金融資あっせん（預託金額50,000,000円）

勤労者の生活の安定と福祉の向上に資するため、長野県労働金庫あづみ野支店の協力を得て生活資金のあっせんを行いました。（預託融資倍率1.5倍で長野県労働金庫と協定）

##### 【利用状況】

年度	新規利用件数	新規融資金額計	年度末融資残高
令和3年度	2件	4,300,000円	34,774,000円
令和2年度	3件	5,600,000円	41,097,000円
令和元年度	9件	25,960,000円	45,674,000円

#### 2 安曇野市勤労者住宅建設資金融資利子補給金（補給金1,750,000円）

勤労者が市内に延床面積150㎡以内の住宅を建設、または敷地面積330㎡以内の宅地を購入するために長野県労働金庫から融資を受けた際に利子の一部を補給しました。

##### 【利用状況】

年度	新規利用件数	3年分の利子総額	補給金総額
令和3年度	35件	31,278,680円	1,750,000円
令和2年度	60件	56,848,846円	2,968,443円
令和元年度	52件	47,376,448円	2,859,643円

#### 3 安曇野市勤労者互助会運営事業（負担金4,250,000円）

市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の上昇を目的に、安曇野市勤労者互助会の運営を支援しました。なお、令和3年度末会員数は1,487人（対前年17人減）でした。

### 上記の評価と課題等

勤労者資金融資あっせん事業、勤労者住宅建設資金融資利子補給事業及び勤労者互助会運営事業は、中小企業、小規模事業者の従業員の福利厚生や生活の安定に寄与していることから、引き続き制度の周知を図り、市内事業者の加入促進を図ります。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	136
------------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105020	労働雇用対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,199,000	3,017,867	0	181,133	94.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 ふるさとハローワーク（安曇野市地域職業相談室）管理事業（事業費2,999,717円）  
 県安曇野庁舎1階に相談室を開設し、就職希望者に対してハローワークの職員が4名体制で主に就職相談、あっせんを行いました。市費職員1名を総合受付に配置しました。

#### 【地域職業相談室利用状況】

年度	相談日数	相談者数	1日平均	紹介件数	就職者数	就職者数/紹介件数
令和3年度	242日	11,620人	43人	2,899件	890人	30.7%
令和2年度	248日	13,653人	55人	2,990件	844人	28.2%
令和元年度	240日	13,343人	55人	2,859件	834人	29.2%

- 2 雇用対策事業（事業費18,150円）  
 個人の労働一般に関する相談に対し、専門の相談員を配置し対応しました。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生活労働相談 (毎月第2木曜日、日中・夜間)	6件	0件	3件
わかもの就職サポート相談 (毎月第3金曜日、日中3枠)	3件	3件	2件
就職面接相談会	求人49社 相談者113人	求人41社 相談者58人	求人39社 相談者156人

### 上記の評価と課題等

引き続き長野労働局や松本職業安定所と連携し、求職者の求めに応じて丁寧な相談業務を行い、就職につなげていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	156
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
192,796,000	190,376,096	0	2,419,904	98.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 商工会補助金（補助額49,681,257円）

①経営改善普及事業（事業費18,431,333円）

市内小規模事業者の振興と経営安定を図るため、市商工会が実施する経営改善、技術改善のための経営支援員による巡回や、創業指導、金融斡旋等事業及び税務・金融個別指導などに対して支援しました。

②地域総合振興事業（事業費31,249,924円）

市内商工業者の発展を図るため、市商工会が実施する各事業を支援しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、予定・企画した多くのイベントが開催できませんでした。一方、商工会ではコロナ対策事業として特別相談窓口の設置や、国、県等の各種協力金・支援金の給付支援事業を実施しました。

2 安曇野の食と魅力大発見！スタンプラリー（負担金7,000,000円）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、穂高神社を会場とする「第9回信州安曇野新そばと食の感謝祭・農林業まつり」は中止となりました。代替イベントとしてそば店、農産物直売所、美術館等を巡るスタンプラリーを実施しました。

### 上記の評価と課題等

安曇野市商工会への補助事業を通じ、事業者の経営革新や経営に関する相談・支援等を行うことで市内小規模事業者等の経営安定化のほか、地域の賑わいの創出と、商業振興、工業振興等に資することができました。新型コロナウイルスの影響により従来のイベント等が中止になる中、新そばと食の感謝祭代替スタンプラリーの開催など地域の消費喚起策を実施しました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	156
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	商工総務費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0107020	J R ・ 高速乗合バス利用対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
18,153,000	17,611,598	0	541,402	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,113,630	左記の内訳	JR乗車券類等発売業務	1,578,230		
		市営駐車場使用料	2,415,500		
		建物総合損害共済金	119,900		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 駅関連施設管理事業（事業費10,946,596円）

J R 駅無人化対策として、大糸線の5駅（安曇追分駅、有明駅、柏矢町駅、中萱駅、梓橋駅）及び篠ノ井線の田沢駅の計6駅の乗車券類の発売を、安曇野市簡易委託駅連合会に委託し、利用者の利便性向上を図りました。

#### 【簡易委託駅の状況】

委託駅6駅合計	令和元年度	令和2年度	令和3年度
乗車券取扱総額	95,386,040円	50,123,590円	47,644,460円
受託金収入額 ※	3,507,961円	1,599,717円	1,578,230円

※ 乗車券類の販売手数料として取扱総額の5%（定期券は1.8%）を受託金として収入

#### 2 駅駐輪場管理業務（事業費3,337,080円）

市内11駅中、公設駐輪場のある10駅の駐輪場の管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

#### 3 市営駐車場管理業務（事業費3,043,447円）

長野道安曇野バス停を乗降所として運行しているバスを利用する人等の利便性向上のため、安曇野インターチェンジ東駐車場の管理を行いました。

年度	総件数	左の内バス利用件数	バス利用者割合	使用料収入額
令和3年度	18,293件	9,434件	51.57%	2,415,500円
令和2年度	17,465件	9,390件	53.76%	2,194,300円
令和元年度	20,958件	10,702件	51.06%	2,992,700円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響などから、利用者数の減少傾向が続きました。安曇野インターチェンジ東駐車場については、利用者には不便をかけないように引き続き管理を継続します。



令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	158
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,946,000	1,453,289	0	492,711	74.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
201,879		産業会館使用料	93,675		
		産業会館光熱水費	108,204		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 明科産業会館管理運営（事業費674,289円）

明科地域の商業振興のための施設として貸館業務を行いました。  
管理業務を委託し施設管理を実施しました。  
令和3年度の延利用者数は160人、延利用団体数は11組でした。

#### 2 商業事業者支援事業（事業費779,000円）

商業振興に係る補助メニューのうち、商店街が管理する街路灯の維持管理費を支援しました。

##### ○街路灯維持管理事業

年度	対象本数	補助金額
令和3年度	478本	779,000円
令和2年度	522本	683,000円
令和元年度	520本	600,000円

### 上記の評価と課題等

街路灯維持管理事業では街路灯を維持管理している商店街の負担軽減を図りました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	158
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
233,597,000	232,916,438	0	680,562	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,150,000		ふるさと寄附基金繰入金	200,000,000		
		指定寄附金	150,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 中小企業等サポート事業（事務事業委託料11,000,000円）

一般社団法人あづみ野産業振興支援センターへ業務を委託し、企業の情報収集や経営支援、ビジネスマッチング支援、人材育成支援、補助金等申請支援等を実施しました。市内企業の多くが人材不足を経営課題のひとつと捉えており、人材の紹介および会社説明会の開催を支援し人材確保につなげました。ビジネスマッチング支援では、企業が求めている製品や加工技術を持つ企業をマッチングさせるため、1対1の商談を支援することにより新しいビジネスの繋がりが生まれ、販路拡大や新製品の開発、製品の高付加価値化を図りました。人材育成支援では、セミナーを開催し、製造工程における生産性の向上など、参加企業がすぐに実践できて効果が高い知識を習得する機会を提供しました。

#### 【主な業務件数】

	件数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等	345	780	519
ビジネスマッチング支援等	0	169	260
市等が助成する各種助成金に関する支援	0	247	134
経営強化に関する支援	0	323	484
関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援	0	23	26
安曇野工業の発展促進化支援	0	16	21
合計	345	1,558	1,444

#### 2 第2次安曇野市工業振興ビジョンの進捗管理等（出席謝礼91,500円）

安曇野市工業振興連携推進協議会で第2次安曇野市工業振興ビジョンの評価と検証を実施しました。

#### 3 安曇野市産業振興ポータルサイト事業（事務事業委託料1,089,000円）

週一回最新情報を掲載することで閲覧者の利便性向上を図りました。また、あづみ野産業振興支援センターと連携し、産業支援コーディネーターの企業訪問の際にサイトの活用を呼びかけました。

・登録事業者数74社 ・アクセス件数16,539件（累計）（令和4年3月31日現在）

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 企業誘致

当市に進出を希望する企業等からの問い合わせに応じて誘致に努めました。相談は13件あり、誘致は2件でした。

#### 5 企業への助成制度の充実

新たな企業誘致と既存企業の設備投資・事業拡大などの支援のため、工業系は10の助成制度を設け、助成制度の利用促進に向けチラシ作成、市ホームページ・市産業振興ポータルサイトへの掲載や、市商工会に広報を依頼するなど普及活動に努めました。

【交付実績】（ ）は前年度数値

事業名	件数	補助金額	備考
工場等設置事業	8件 (10件)	6,011,000円 (7,043,700円)	新規2件 2年目2件、3年目4件
生産設備取得事業	17件 (20件)	61,977,000円 (90,294,000円)	新規9件 2年目1件 3年目7件
工場用地取得事業	4件 (8件)	842,700円 (1,662,900円)	新規0件 2年目2件 3年目2件
空き工場等活用促進事業	4件 (7件)	3,417,600円 (6,456,400円)	継続4件
技術・製品等展示会出展事業	1件 (0件)	150,000円 (0円)	
新製品・新技術開発支援事業	3件 (4件)	1,165,023円 (1,741,161円)	工業系3件 食品系0件
工場等緑化事業	2件 (0件)	438,000円 (0円)	
国際（国内）規格取得支援事業	0件 (0件)	0円 (0円)	
製造業等人材育成事業	2件 (0件)	7,700円 (0円)	
地域経済牽引企業工場用地取得事業	8件 (3件)	144,134,000円 (116,507,000円)	新規6件 継続2件
合計	49件 (52件)	218,143,023円 (223,705,161円)	

### 上記の評価と課題等

工場用地取得など様々な助成メニューにより、市内への企業誘致、企業留置、雇用機会創出につながっています。また、生産設備の更新、導入などを促すことで、中小企業の労働生産性の向上や、受注等対応力向上により、主要産業である製造業等の基盤強化を図りました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	158
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,690,281,000	2,687,301,611	0	2,979,389	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,693,920,503		市制度資金元金	2,500,000,000		
		制度資金保証料補給金返還金	21,034,321		
		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	172,886,182		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 制度資金貸付状況（預託金2,500,000,000円）・・・預託金額の5倍まで融資可能  
市内の中小企業・小規模事業者に必要な資金を円滑に供給するため、金融機関及び長野県信用保証協会の協力を得て融資を行いました。また、令和3年度は新型コロナウイルス特別資金融資を前年に引き続き実施しました。

#### 【融資件数の状況】

		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		融資件数	融資額	融資件数	融資額	融資件数	融資額
市	運転資金	73	314,900,000	659	8,255,712,000	276	2,319,580,000
	設備資金	33	178,370,000	38	268,830,000	34	252,760,000
	計	106	493,270,000	697	8,524,542,000	310	2,572,340,000
県	運転資金	23	143,470,000	35	696,737,000	27	257,213,000
	設備資金	17	197,880,000	20	191,853,000	23	288,597,000
	計	40	341,350,000	55	888,590,000	50	545,810,000
計	運転資金	96	458,370,000	694	8,952,449,000	303	2,576,793,000
	設備資金	50	376,250,000	58	460,683,000	57	541,357,000
	計	146	834,620,000	752	9,413,132,000	360	3,118,150,000

2 制度資金保証料補給金及び利子補給（補給金187,301,611円）

保証貸付を受ける者が負担すべき保証料は、年2.20%以下で保証協会が定める率で賦課されますが、市はその4/5から5/5に相当する保証料を補給しました。また、融資実行した翌年度において、1年に限りその利子の1%を上限に補助金として交付しました。

保証料補給金：369件 113,024,977円 利子補給金：703件 74,276,634円

### 上記の評価と課題等

多くの市内事業者の資金需要に対応することができ、これにより事業継続が図られ従業員の雇用確保にもつながりました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	158
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	02	商工振興費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107070	産業連携推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,474,000	3,972,510	0	501,490	88.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 産業支援コーディネーターによる支援（事業費3,824,000円）  
 販路・流通・マーケット戦略などを食品流通系に詳しい法人に業務委託して、市内中小事業者の経営支援を実施しました。

受託業務項目	R3年度活動件数
市内事業者訪問による経営支援	82
地域ブランド構築支援	62
地域ブランドの発信	27
合計	171

- 2 地域産品販路拡大支援事業（事業費100,000円）  
 【販路拡大展示会出展事業補助金】（国内は5万円、海外は25万円を限度）  
 展示会等の出展小間料及び小間内装飾費に対し、1/3以内（海外は5/10）の助成をするもので、2件の利用がありました。

	利用件数	補助金額	備考
令和3年度	2件	100,000	
令和2年度	1件	50,000	
令和元年度	1件	242,990	

### 上記の評価と課題等

産業支援コーディネーターにより、事業者の伴走型支援とともに広域的な人材マッチングなど、販路・流通・マーケット戦略といった企業支援を行いました。  
 販路拡大展示会出展事業補助金の活用をすすめて市内事業者の展示会出展を促し、新たな販路開拓につなげていくことが課題となっています。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	160
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107077	新型コロナウイルス感染症対策事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
409,727,000	197,953,148	211,772,000	1,852	48.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
145,168,448		新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	95,389,584		
		特別警報II発出市町村等事業者支援交付金	49,778,864		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 飲食店等応援給付金事業（委託料90,427,880円）

県の新型コロナウイルス感染警戒レベル4発令により、売上が減少した飲食店等及びそれに関わる納入業者に応援給付金を支給し、事業継続と感染防止対策の徹底を支援しました。

	給付件数	給付額	事務費	合計
飲食店応援給付金	360件	79,350,000円	3,477,880円	90,427,880円
飲食店・宿泊業者への納入業者応援給付金	38件	7,600,000円		

#### 2 「信州の安心なお店」認証取得推進事業（事業費42,233,270円）

感染拡大防止対策の取組のひとつである「信州の安心なお店」認証制度の認証取得を地域一体で推進するため、安曇野市内の飲食店等に対して、応援給付金を支給し認証取得を支援しました。

給付件数	413件
給付額	41,300,000円
事務費	933,270円
合計	42,233,270円

#### 3 第6波事業者支援給付事業（事業費263,000,000円うち繰越明許費211,772,000円）

令和3年12月以降の新型コロナウイルス感染症第6波の拡大及び令和4年1月の長野県がまん延防止等重点措置区域に指定されたことにより売上が減少した市内事業者に対し、国の事業復活支援金に上乗せ給付を行うことで事業継続と感染防止対策の徹底を支援しました。

給付件数	501件
給付額	50,100,000円
事務費	1,128,000円
合計	51,228,000円

### 上記の評価と課題等

いずれの事業についても商工会と連携して事業者へ速やかに交付することができました。第6波事業者支援給付事業については、繰越事業となっています。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	160
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107078	プレミアム付商品券事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
178,358,000	144,568,000	33,790,000	0	81.1%		
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
144,568,000		新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	144,568,000			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 プレミアム付商品券事業（事業費178,358,000円うち繰越事業33,790,000円）  
新型コロナウイルス感染症の拡大により冷え込んだ市内経済の活性化を図りました。  
50,000セットを用意し、48,624セットを販売しました。

#### 2 販売状況及び店舗での使用状況

セット数内訳	申込数		販売数	
	申込口数	セット		
	3セット	12,940		38,820
	2セット	4,953		9,906
	1セット	1,063		1,063
合計	18,956	49,789	48,624	

使用状況	
大型店	大型店以外
51%	49%

### 上記の評価と課題等

多くの市民の方に協力いただき、6億円を超える消費効果がありました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	160
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	商工振興費		基本施策	移住・定住の促進
	事業	0107130	しごと創出事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
26,038,000	25,042,780	0	995,220	96.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
19,767,915		新型交付金	7,317,915		
		UIJターン就業移住事業	450,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	12,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 空き店舗等活用促進事業、若者及び女性起業支援事業（補助金5,932,940円）

空き店舗等を活用して事業を行う方に、家賃の5/10を月額上限5万円で補助することで、空き店舗の有効活用と事業者の創業を支援しました。また、起業する若者・女性に、貸店舗を利用する場合は家賃の5/10を月額上限5万円で補助しました。両事業とも令和3年度で事業を終了しました。

補助事業名	空き店舗等活用促進事業		若者及び女性起業支援事業	
	年度	対象店舗	補助金額	補助金額
令和3年度	20(0)件	5,407,940円	2(0)件	525,000円
令和2年度	34(6)件	11,656,300円	5(0)件	1,857,250円
令和元年度	44(9)件	16,138,910円	10(4)件	4,846,077円

( ) 内数字は各年度の新規人数

#### 2 創業実現セミナー事業（負担金1,200,000円）

商工会と共同で、事業計画の作成方法といった創業に必要な基礎知識の習得、経営への心構えなどレベルに応じ3講座を開催しました。・ミニ創業実現セミナー（13名参加）・創業実現セミナー（12名参加）・次世代経営者育成塾等（11名参加）

#### 3 UIJターン就業移住促進事業（補助金1名 600,000円）

首都圏等からの就業・移住を促進するため、条件を満たす企業等へ就業し、市内に移住した人に対して、長野県と協調し助成しました。

#### 4 安曇野市テレワークセンター管理運営事業（事業費17,309,840円）

新たな就労機会の創出、とりわけフルタイムでの就労が困難な方に就業機会を提供するため、管理運営を塩尻市振興公社に業務委託してテレワークセンターを運営しました。  
(累計ワーカー登録者数89名 15業務延べ60名従事)

### 上記の評価と課題等

空き店舗等活用促進事業は、令和4年度以降「空き店舗等改修支援事業」として創業時の一時的な支出に対して補助する形で新たな取組を開始しました。創業実現セミナーやUIJターン就業移住促進事業を連携させて市内への新規創業を誘導することが課題です。



令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	144
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
23,911,000	22,733,611	0	1,177,389	95.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,221,000	左記の内訳	安曇野の里基金利子	1,000		
		安曇野の里基金繰入金	610,000		
		安曇野の里施設利用料	610,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科安曇野の里自然活用村施設（ビレッジ安曇野ほか関連施設）の管理を指定管理し、効率的な管理と各種農業体験や武蔵野市等との交流、各種イベントの企画による都市農村交流など、農業振興事業に努めました。  
令和3年度から、新たに株式会社薬師平リゾートへ食堂・直売所部分を指定管理し、経験を活かした運営により集客が図られ、施設の活性化につながりました。

#### ○ビレッジ安曇野ほか

指定管理者	一般社団法人豊科開発公社		
指定管理施設	ビレッジ安曇野、プラザ安曇野（1階東、2階）、わさび田広場、あづみ野ガラス工房、あづみ野第2ガラス工房		
指定期間	令和2年4月1日 から 令和5年3月31日 まで		
指定管理料	14,100,000円	市への納付金	R2～R4全額免除（4,790,000円）
利用者数	ビレッジ安曇野宿泊者数 3,472人（前年度比 +1,074人）		

#### ○プラザ安曇野1階西

指定管理者	株式会社薬師平リゾート		
指定管理施設	プラザ安曇野1階西（食堂・直売所）		
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	600,000円	市への納付金	610,000円
利用者数	施設利用者数 14,189人		

#### ○共通経費

借地料	3,624,210円（12,630.33㎡）		
改修工事等	自動扉等改修工事	962,500円	分電盤幹線工事 623,700円
	井水メーター設置工事	343,200円	空調更新工事 1,298,000円

### 上記の評価と課題等

安曇野の里全体の施設が老朽化してきていることから、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。  
また、今後の施設のあり方について検討を進めていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	144
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
22,324,000	21,400,500	0	923,500	95.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷農林漁業体験実習館（ファインビュー室山）の管理を、株式会社ファインビュー室山に指定管理し、効率的な管理と農業体験をはじめイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

＜施設譲渡に向けた取組＞

指定管理者である株式会社ファインビュー室山の経営権を市から民間事業者に移譲し、その上で株式会社ファインビュー室山に施設を譲渡する方針に基づき、経営移譲先となる民間事業者の公募を実施しましたが、応募はありませんでした。

○ファインビュー室山

指定管理者	株式会社ファインビュー室山		
指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	R2～R4全額免除（20,610,000円）
利用者数	宿泊者数 6,101人（前年度比 +287人）		
主な工事	源泉ポンプオーバーホール工事 20,020,000円		

### 上記の評価と課題等

ファインビュー室山については、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。

今後も継続して施設の譲渡に向けた取組を進めていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	144
------------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
55,997,000	55,975,474	0	21,526	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
48,782,933		堀金観光開発基金利子	245,433		
		堀金観光開発基金繰入金	48,119,500		
		建物総合損害共済金	418,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

ほりで一ゆ～四季の郷及び周辺施設を、株式会社ほりで一ゆ～に指定管理し、効率的な管理運営と農業体験をはじめとしたイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

<経営移譲に向けた取組>

指定管理者である株式会社ほりで一ゆ～の経営権を市から民間事業者に移譲する方針に基づき、移譲先となる民間事業者の公募を実施しましたが、応募はありませんでした。

○ほりで一ゆ～四季の郷

指定管理者	株式会社ほりで一ゆ～		
指定管理施設	ほりで一ゆ～四季の郷（本館・南館）、啼鳥山荘、パター・マレットゴルフ場、コテージ四季の郷、須砂渡キャンプ場、憩いの森オートキャンプ場		
指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで		
指定管理料	2,000,000円	市への納付金	R2～R4全額免除（56,530,000円）
利用者数	ほりで一ゆ～四季の郷宿泊者数 8,630人（前年度比 -394人）		
借地料	3,582,541円（165,654.81㎡）		
主な工事	外壁等改修工事	14,179,000円	
	ロビー空調設備等更新工事	22,550,000円	
	構内ネットワーク設備更新工事	1,815,000円	
	井戸揚水ポンプ更新工事	4,730,000円	

### 上記の評価と課題等

ほりで一ゆ～四季の郷については、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。

今後も継続して経営移譲に向けた取組を進めていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	156
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,676,000	7,794,844	0	881,156	89.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,897		天蚕振興基金利子	6,897		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 安曇野ブランド創出事業の支援（959,000円）

観光地ブランドの要素となる地域資源を守り、育てる活動を続けている市民団体（屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトほか全5プロジェクト）の活動支援を行いました。各団体の自主的運営が継続するよう、補助金以外の自主財源確保等、自立に向けた取り組みを進めています。

#### 2 安曇野の食の魅力を高める取り組み（426,600円）

○安曇野やさいスイーツフェアの開催（令和3年10月2日から10月31日）（200,000円）

安曇野の豊かな自然が育んだ野菜を使ったスイーツを商品化し、期間限定で市内の菓子店等で販売しました。昨年度に続き、規格外の夏秋イチゴも有効活用し取り組みました。

【令和3年度テーマ素材】「夏秋イチゴ」・「スイートコーン」 【参加店舗】13店舗

○「安曇野林檎ナポリタン」のPR（226,600円）

平成24年度に安曇野市のB級グルメとして商品開発された「安曇野林檎ナポリタン」は、12事業者（13店舗）となりました。また、市内小中学校の給食でも提供され、安曇野のご当地料理として定着しつつあります。PR用のチラシやポスター、のぼり旗を作成し、観光案内所、観光施設などに設置しました。

#### 3 メディア・ロケ誘致推進事業（44,452円）

メディア関係者の取材や映画・テレビ番組等の撮影を誘致するため、ロケ支援専用ホームページなどによりロケ地情報の提供や、取材・撮影時の宿泊費等の一部助成を行いました。

【ロケ支援対応】TVドラマ：1件 映画：3件 ドラマ以外のTV：6件 CMなど：3件

（うち宿泊費等の助成件数3件（TV：2件、ラジオ：1件））

#### 4 「朝が好きになる街」ブランドづくり事業（508,640円）

視覚的な統一を図ることにより市の存在感を高めるVI（ビジュアルアイデンティティ）構築に取り組みました。「朝が好きになる街 安曇野」とVIロゴマークを広告、観光キャンペーン等で活用し、市内企業等のVIロゴマーク使用申請は8件ありました。ロゴマークと共に市のイメージアップと情報接触者数の獲得につながりました。また、市民向けに「安曇野インスタグラムフォトコンテスト」の魅力的入賞作品や公式インスタ掲載写真約150点を展示する写真展を穂高交流学習センターみらいで7月に開催しました。

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 5 天蚕振興事業

○安曇野市天蚕センターの指定管理（指定管理料 3,759,000円）

指定管理者である安曇野市天蚕振興会に委託し、天蚕に関する資料・機器具・工房などを広く一般に公開しました。機織ワークショップに36名が参加、糸掛けアートのワークショップには70名が参加しました。

来場者数	令和3年度	2,028人	前年度比	64% 増
	令和2年度	1,236人	前年度比	45% 減
	令和元年度	2,743人	前年度比	2% 減

#### ○天蚕飼育

長野県が所有する旧蚕業センター有明試験地を賃借し、天蚕の飼育を行いました。

面積 22,234.65㎡ 借地料 9,990円

#### ○天蚕振興会運営支援（補助金 1,718,000円）

市内の天蚕飼育者等で組織されている安曇野市天蚕振興会へ運営支援のため、補助金を交付しました。天蚕振興会では、天蚕の飼育、繰糸、機織、製品づくり、後継者育成として5名の受講者があり、令和2～3年度までの2年間学んでいます。また、研究事業等の一連の事業を行うと共に中古機織機20台を収集しました。

① 生産実績 収繭数：14,673粒、生糸繰糸量：1.69kg、紬糸：0.32kg

反物制作数：着尺4反、ストール・マフラー等19枚

② 販売促進 Vif穂高や市内のホテル、和装小物店、松本市内のホテルや呉服店などで天蚕製品の展示と販売、JAF（日本自動車連盟）会員向け通信販売。江戸川区立穂高荘、松川村鈴虫荘での販売を開始しました。

③ 後継者育成 飼育ボランティアの募集（15名参加）。

④ 研究事業 信州大学繊維学部との連携、日本野蚕学会事業への参加。

#### ○広域連携

市が加盟する各種協議会事業へ参加し、天蚕振興会と共に天蚕をPRしました。

・信州シルクロード連携協議会事業等への参加

### 上記の評価と課題等

コロナ禍で人の行き来が制限されるなかで、市の観光的な魅力向上につなげるため、安曇野の食、美しい景観や自然などをメディアへ情報提供や、SNSを活用しVI事業などを通じ、市のイメージアップに取り組みました。安曇野市の貴重な地域資源の一つである天蚕については、中心となる安曇野市天蚕振興会への支援を通じ、後継者の育成と生産量の確保に取り組みました。今後も市商工会や調理師会、天蚕振興会などの市内関係団体、「信州シルクロード連携協議会」など広域関係団体と連携し、新たな食の魅力の創出や、天蚕の振興などに取り組み、地域ブランドの構築を図ります。

また、VI構築事業や、ロケ支援、SNS、動画等活用した各種情報媒体への掲出を通じ、「安曇野」のイメージ向上を図り、アフターコロナに向けた観光誘客や交流人口・関係人口拡大につなげます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	162
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
18,158,000	17,493,937	0	664,063	96.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

交流人口拡大、地域経済の活性化を図るためのイベントを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していたイベントの一部が代替開催または中止となりました。  
(各種イベントへの補助金 17,453,377円)

- 【中止】第38回早春賦まつり  
4月29日（木・祝）開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。
- 【中止】第7回信州安曇野ハーフマラソン  
【代替開催】オンラインマラソン大会 安曇野ランラン～FUN LAN RUN～（6,691,951円）  
信州安曇野ハーフマラソンは新型コロナウイルスの影響により中止となり、代替開催としてオンラインマラソン大会を開催しました。定員2,500名に対し、2,733名が参加しました。
- 【延期】第15回安曇野花火  
【代替開催】悪疫退散 安曇野花火（1,000,000円）  
8月14日（土）、明科御宝田遊水池で開催予定でしたが、豪雨の影響により中止となりました。その後長野市からの呼びかけで県下市町村で同時期に打ち上げることが提案され、安曇野市では「悪疫退散安曇野花火」を11月3日（水・祝）に5分程度、国営アルプスあづみの公園で打ち上げました。
- 信州安曇野田んぼアート（4,910,426円）  
6月19日（土）～10月3日（日）スイス村西側で開催。期間中37,689名の入場がありました。
- 安曇野ジオロゲイニング（200,000円）  
10月30日（土）明科公民館を主会場に開催しました。当日は県内外から193名が参加しました。
- 安曇野神竹灯（475,000円）  
12月3日（金）～5日（日）穂高神社で開催しました。  
メディアで取り上げられたこともあり、3日間合計で25,000名が来場しました。

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 7 観光復興イベント（4,176,000円）  
 新型コロナウイルス感染症により冷え込んだ市内経済と観光誘客を図ることを目的に、令和4年度に穂高神社式年遷宮祭とのタイアップイベントを計画しました。令和3年度は、イベント開催に先立ち、誘客のためのプロモーション活動を行いました。

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症や天候不順による中止はありましたが、各実行委員会においてリピーターや安曇野ファンが離れないような努力や工夫がされました。市としても、可能な限りの情報収集や補助金支出等の支援を行いました。

未だ新型コロナウイルス感染症の終息は見えませんが、国・県によるイベント等への規制は徐々に緩和されることが予想されるため、従来どおりの安全安心面の徹底に加え、感染予防対策も十分に行い、より効果的に安曇野の魅力が発信でき、交流人口拡大に繋がるイベントの開催に努めていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	162
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
72,012,000	71,767,153	0	244,847	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
				(入湯税)	(10,507,410)

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 安曇野市への来訪者の状況等

観光地利用者統計調査結果によると令和3年の観光地延利用者数見込は合計で前年比約7.3%増の約312万人となり、日帰り、宿泊ともに増加したことで観光消費額も約78%増の約72億円となりました。平成31年比では利用者数62.5%、消費額60.3%となっており、これは新型コロナウイルス感染症による県内来訪者数の減少が引き続き影響しています。

	年	合計	観光地延利用者数（千人）			観光消費額 （百万円）
			前年比 （%）	日帰り・宿泊別		
				日帰り	宿泊	
安曇野市	令和3年	3,121	107.3	2,492	629	7,215
	令和2年	2,908	58.2	2,310	598	6,693
	令和元年	4,993	96.0	3,796	1,197	11,975
	平成30年	5,200	102.2	3,896	1,304	12,604

県全体	令和3年	未発表（8月公表予定）				
	令和2年	51,476	59.8	34,865	16,611	184,140
	令和元年	86,011	98.7	57,704	28,307	307,081
	平成30年	87,102	100.0	58,735	28,367	305,752

#### 2 受入体制の充実

##### ○安曇野市観光協会との連携

安曇野市観光協会への補助事業・委託事業により、着地側での観光情報の発信や着地型旅行商品の造成、周遊バスの運行やシェアサイクルの活用による二次交通の充実など、受入体制の充実を図りました。

##### ① 運営補助金（12,228,000円）

事務所経費、周遊バス運行等経費、シェアサイクルの運営等に対する補助

##### ② 観光案内・情報発信等業務委託（45,847,000円）

- ・観光案内業務（穂高駅前観光情報センター及び観光情報スペース）
- ・コロナ禍での着地体験型旅行商品の造成・販売業務（安曇野あんしん旅5商品）
- ・独自パンフレット作成（あづみ野ガイドマップ、あづみ野周遊バスルート・シェアサイクルサポートMAP、観光らくらくタクシーチラシなど）



予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・国内誘客宣伝事業  
各種イベント等へ参加し観光プロモーションを積極的に行いました。
- ・観光客アンケート調査（回答数2,485人）

旅行動機（上位）	泊まりたい宿があった（30%）、保養休養（23%）、おいしいもの（15%）
来訪回数	4回以上（57%）、はじめて（18%）、2回目（13%）
満足度	満足（50%）、大変満足（32%）、やや満足（10%）

#### ○山岳観光の推進（4,300,000円）

安曇野市山岳観光推進実行委員会への補助事業を行い、ライトユーザーや若者層をターゲットに山岳・平地観光の魅力を発信しました。なお、前年度に引き続きメディアエージェント懇談会等の事業は中止しました。

- ① 信州安曇野「北アルプスパノラマ銀座」オンラインフェス2022
- ② YAMAP Magazineによる記事掲載
- ③ 登山系ユーチューバーによる情報発信
- ④ 燕岳公衆トイレ改修クラウドファンディングへのオリジナルクリアボトル提供
- ⑤ 北アルプスパノラマ銀座・東山ツアー造成

### 上記の評価と課題等

観光推進組織である安曇野市観光協会と連携し、観光情報センターや観光案内所での情報発信、地域資源を活用し、新型コロナ禍でも安心して来訪できる着地型旅行商品の造成・販売を行いました。また、二次交通の充実に向けたシェアサイクルの運営など、来訪者の受入体制を整え、観光客の利便性を向上させることができました。山岳観光では、引き続き地域資源である「北アルプスパノラマ銀座」の魅力発信を行い、インバウンド回復を見据え、登山文化のある外国人旅行者も含めた誘客や受け入れ体制の充実を図ります。変化の速い観光需要に対応するため、観光振興ビジョン各施策の進捗確認と検証を行いながら、観光推進組織の戦略的視点に立った自主的な組織運営を支援していくとともに、安曇野ならではの体験プログラムの開発など、受入体制の充実を図り、新型コロナ禍やコロナ収束期の来訪者の満足度向上につなげていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	162
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
39,899,000	36,798,076	0	3,100,924	92.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,960,474		新型交付金	9,960,474		
		(入湯税)		(6,561,784)	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 誘客宣伝の充実  
 交流人口の拡大を図るため、雑誌等への記事掲載や、動画作成、安曇野市観光協会と連携し誘客活動を実施しました。  
 ○雑誌等への広告料（4,848,800円）  
 ・雑誌等への広告掲載（るるぶ・ライブラリー信州等）、高速バスラッピング（新宿－白馬線）都営新宿線車内ポスター、JR新橋駅北改札デジタルサイネージ広告掲載  
 ○動画作成等の委託料（1,410,200円）  
 ・オリジナルネックストラップ700個      ・インスタグラム用ショート動画  
 ・観光誘客のための写真撮影      ・観光カード作成  
 ○首都圏コミュニティエフエム等での情報発信（エフエム江戸川）
- 2 地域資源を活用した観光担い手育成事業（19,920,948円）  
 ・国の「地方創生推進交付金」を活用し、官民一体で満足度の高い旅を提案。観光振興だけでなくガイド等の育成による関係人口の拡大、移住定住促進、持続可能な地域としていくための足掛かりを築くことを目的とした取り組みを進めました。
  - ①英語での登山、まちあるきガイドの養成  
 ・今後より多くの外国人観光者の来訪が見込まれる北アルプスパノラマ銀座等の安全な観光と魅力を理解していただくため地域通訳案内士を養成し、受け入れ体制の拡充を図りました。（Cityコース：9名合格、Hikingコース：3名合格）  
 ・光城山から長峰山のマップ作成のため調査を行いました。
  - ②天蚕業の振興とリブランディング  
 ・穂高天蚕糸を国内外で広く認知していただくため、将来の担い手となりうる服飾系専門学校の学生と安曇野市天蚕振興会との交流事業および天蚕糸を使用したビジネスプランの企画造成を行い、ビジネスプランコンテストを実施しました。
  - ③「自転車を活用したまちづくり」の推進  
 ・受入体制の充実を目的としたサイクリングオアシスの協力店舗を周知するため、マップ付きチラシの作成と店舗に掲げるペナントおよび缶バッジを作成し、利用促進を行いました。（サイクルオアシス協力店舗61店舗）

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ④「滞在型観光」への転換と関係人口の拡大
- ・訪日外国人向けに安曇野市の認知度向上を図るため、インバウンド向けWEBサイトへの記事掲載をしました。
  - ・旅行商品造成を促進するため、県内在住外国人を対象にモニターツアーを行いました。その際、現地ガイドとして市の地域通訳案内士を1名登用しました。
- 3 関連団体との広域連携による観光振興の推進（負担金9,168,000円）  
 広域で組織された観光関連団体に参画するとともに、広域的な観光プロモーション事業の実施や、首都圏等での誘客活動等に参加し、安曇野の情報発信を行いました。
- 《主な団体》
- ・信州まつもと空港地元利用促進協議会 4,610,000円
  - ・大糸線ゆう浪漫委員会 1,294,000円
  - ・日本アルプス観光連盟 1,100,000円
  - ・安曇野アートライン推進協議会 300,000円 等

### 上記の評価と課題等

安曇野市観光協会や広域関係団体と連携し、安曇野市が旅行先として選ばれるよう、雑誌等への広告掲載などにより、安曇野市の観光情報を全国に発信しました。

地域通訳案内士制度を活用したガイド等の育成による関係人口拡大や持続可能な観光地経済への取り組みを進めました。アフターコロナを見据えて効果的なプロモーション活動ができるよう努めていきます。

また、市町村の枠を超えて関連団体との連携を図り、広域での観光振興に引き続き取り組めます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	162
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107114	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
106,222,000	70,218,943	36,000,000	3,057	66.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
70,218,000	左記の内訳	新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	70,218,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

新型コロナウイルス感染拡大によって冷え込んだ市内経済活動の活性化を図るため、宿泊施設応援券の発行などにより観光誘客を図り、市内観光事業者を支援しました。

事業名	内容	事業費
宿泊施設応援給付金	国の緊急事態宣言による令和2年12月末からのGotoトラベル休止の影響を受けた宿泊施設（山小屋を含む）に部屋数等応じて応援給付金を支給しました。 給付件数：52件 給付額：22,735,000円	24,139,395円
観光関連事業者応援給付金	令和3年8月の長野県の特別警報Ⅱ発出により売上等の影響を受けた観光関連事業者を支援しました。 給付件数：140件 給付額：19,600,000円	23,296,453円
観光誘致地域応援券	秋季の信州まつもと空港利用者向けの3種類のクーポン券を発行し、地域経済の活性化を図りました。 利用クーポン券数：2,440枚 利用額：1,308,500円	2,651,952円
宿泊施設応援券（第3弾）	冬季観光需要の活性化のため、市内宿泊施設の宿泊料金の一部を助成しました。 利用件数：1,203件 利用額：6,777,000円	11,680,009円
ウィズコロナ旅行企画造成等支援	市内旅行・宿泊事業者による3密を避けた新たな旅行プラン等の企画造成への助言と必要な経費を助成しました。 助成件数：27件 助成額：7,737,550円	8,451,134円
安曇野あんしん旅キャンペーン	春以降の観光誘客に向け、観光事業者の3密を避けた新たな旅行プラン等の催行や商談会参加経費を支援します。	繰越明許費 36,000,000円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の再拡大などの影響を受け、当初見込みに比べ利用実績が乏しかった事業もありましたが、いずれの事業についても観光推進組織である安曇野市観光協会と連携して事業者へ速やかな支援をすることができました。

ワクチン接種等の進展から今後は、緊急的な支援策からアフターコロナを見据えた観光事業者の事業展開や観光誘客に支援策を転換していく必要があります。

安曇野あんしん旅キャンペーン事業については、繰越事業となっています。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	164
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,688,000	7,180,014	0	507,986	93.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,180,014		しゃくなげの湯外施設使用料	7,180,014		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

湯多里山の神、安曇野しゃくなげの湯の各施設について、指定管理者への委託による管理運営を行いました。湯多里山の神の利用者数については、大規模改修を終えた平成29年度から減少傾向にあります。また、近年では令和元年度の入湯税徴収と消費税増税により一段と利用者が減少しています。安曇野しゃくなげの湯は営業開始（平成28年10月）から、令和元年度までは毎年25万人以上の利用者があり、堅調に営業を行ってきました。

令和2年度及び令和3年度については、両施設とも新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大幅な利用者減に見舞われ、大変厳しい運営となりました。このことから、指定管理者と納付金の減免等について協議を行っています。令和3年度は湯多里山の神の納付金を全額減免しました。

#### ○湯多里山の神

指定管理者	株式会社芙蓉		
指定期間	平成31年4月1日 から 令和6年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	0円 (1,090,000円 納付免除)
利用者数	入浴者数 48,091人（前年度比 +4,891人）		
主な修繕	オイル配管修繕 158,400円 自動ドア修繕 378,400円	露天風呂循環目皿修繕 101,508円 駐車場区画線修繕 128,700円	
主な工事	渦巻ポンプ取替工事 440,000円 駐車場安全施設設置工事 948,200円		

#### ○安曇野しゃくなげの湯

指定管理者	ユアーズ静岡株式会社		
指定期間	平成28年10月1日 から 令和4年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	13,500,000円
利用者数	入浴者数 153,105人（前年度比 △8,983人）		
関連業務委託	EV充電装置管理業務委託 657,800円		
主な工事	看板撤去工事 135,300円 塩サウナストーブヒーター工事 564,300円		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市民や来訪者が気軽に利用できる天然温泉を活用した無料の施設として、八面大王足湯・待合所の維持管理を行いました。

○八面大王足湯・待合所

受託者	シルバー人材センターほか
主な業務	足湯・待合所清掃等管理業務 333,413円

### 上記の評価と課題等

2つの日帰り入浴施設については、指定管理者により大きなトラブルなく運営していただいておりますが、令和2年度以降は両施設とも利用者が大幅に減少し、指定管理者が収受する利用料金では、施設運営経費が賸えない状況となっております。

このような状況により、指定管理者から施設使用料の減免について要望があり、協議の結果、令和3年度は湯多里山の神の納付金に限り、免除・減免を行いました。

また、しゃくなげの湯については、協議の上、時短営業と週1回の休業による運営経費の縮減を行いました。

両施設とも新型コロナの感染拡大防止策として、定期的な消毒・換気を実施していただくほか、ロッカーを一つ飛ばしで使用するなど、工夫を施しながら運営いただきました。利用者数の回復には、まだ時間を要すると思われませんが、2施設の特色を生かし、市民福祉向上と地域活性化に向けて更なる賑わいの創出を図っていきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	164
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,029,000	2,538,211	0	490,789	83.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
				(入湯税)	(92,395)

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

来訪者が、旧国鉄篠ノ井線廃線敷を安全にトレッキング等が楽しめるよう、三五山トンネル及び漆久保トンネルの安全確保のため継続監視業務、公衆便所の清掃等管理業務を委託しました。

#### ○事業内容

支出内容	支出額
トイレ清掃、門扉開閉等管理委託	633,975円
トンネル継続監視業務（点検）	869,000円

潮公衆トイレのドアの修繕と照明器具の交換を行いました。

#### ○事業内容

支出内容	支出額
トイレドア修繕	38,500円
照明器具取替工事	107,800円

地元有志の団体「ケヤキの道」に植樹・除草・倒木処理等の管理業務を行っていただきました。例年実施している「深緑ウォーキング」等のイベントについてはコロナウイルス感染拡大を防止する観点から開催されませんでした。JRの「駅からハイキング」イベントに併せて三五山トンネル等を利用して「安曇野APPLE HALLOWEEN」が行われるなど、誘客イベントが実施されました。

#### ○事業内容

支出内容	支出額
廃線敷遊歩道整備謝礼	300,000円

### 上記の評価と課題等

来訪者に廃線敷を楽しんでいただけるよう、地元のボランティア団体である「ケヤキの道」との連携により施設管理を行うことができました。廃線敷の管理には、観光課のほか、普通財産として総合的管理を行なっている財産管理課、また、林地部分を耕地林務課といった複数の課が関係しており、庁内連携による管理体制が必要となっています。

施設の安全性を確保するためには、三五山・漆久保の両トンネルの継続監視を引き続き実施することに加えて、何年かに一度は近接目視・打音調査等を実施し、内壁のレンガ等の浮きを未然に叩き落としの上で補修するなどの措置が必要です。施設の活用方法、施設の在り方については地域を交えた検討を行なっていく必要があります。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	164
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
145,503,000	76,569,561	66,842,000	2,091,439	52.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
26,572,185		しゃくなげの湯外施設使用料	6,319,986	ふるさと寄付金	7,089,000
		山岳環境整備基金利子	141,819	観光施設駐車場負担金	697,000
		山岳環境整備基金繰入金	6,566,000		
		観光振興事業費補助金	5,758,380	(入湯税)	(9,637,353)

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市への来訪者のみならず、市民も快適に観光施設（公園・公衆トイレ・駐車場等）が利用できるよう、既存施設の修繕、清掃等の維持管理を行いました。

また、観光客が利用する市所有トイレを改修し、利用者の満足度向上を図りました。

1 登山道等整備事業として、登山者用駐車場等の施設維持管理、中房線登山車両誘導業務、北アルプス南部地区登山道整備のために登山道等維持連絡協議会への負担金支出等、観光客用駐車場確保のため、補助金交付等を行いました。

2 観光施設公園管理事業として、公園・観光施設・公衆トイレ28か所等の管理を行いました。また、令和3年度からかじかの里公園に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした公園管理、キャンプ場運営を行いました。

3 市が所有する燕岳の稜線上の公衆トイレについて、環境配慮型のトイレに改築する工事を発注し、令和3年度は既存施設の解体を行いました。また、クラウドファンディングによる資金調達を行い、建設費用に充当しました。

4 観光庁補助事業を活用し、穂高駅前公衆トイレと穂高支所前公衆トイレの改修を行い、トイレの洋式化と清潔度向上を行いました。

#### ○主な事業内容

支出内容	支出額
報償費 ・登山道等整備謝礼 9件 ・クラウドファンディング返礼品	2,101,354円
施設修繕費 ・登山口施設修繕 ・トイレ施設修繕 ・公園施設修繕 ・公園遊具修繕	1,474,913円



予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ○主な事業内容

支出内容	支出額
委託料（管理業務等） ・公園・トイレ管理業務 ・中房登山車両誘導業務 ・光城山登山口駐車場警備業務	8,223,906円
委託料（事務事業等） ・登山者カウンター保守管理 ・不動産鑑定業務	637,830円
委託料（設計監理等） ・トイレ設計監理業務（穂高駅前・穂高支所前）	1,485,000円
委託料（指定管理料） ・かじかの里公園指定管理	3,800,000円
借上料 ・仮設トイレ ・目隠しフェンス等	768,350円
借地料 ・市内観光施設借地 ・トイレ等借地料	2,969,514円
工事請負費 ・御宝田水のふるさと公園復旧工事（白鳥湖・道路）2,365,000円 ・燕岳テント場トイレ改築工事（部分払）10,780,000円 ・公衆トイレ改修工事（穂高駅前・穂高支所前）11,990,000円 ほか	26,339,500円
負担金 ・北アルプス登山道等維持連絡協議会5,330,000円 ・北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会419,000円 ・国有林観光施設協議会38,500円 ・北アルプス登山案内人組合連合会50,000円	5,837,500円
補助金 ・穂高駐車場運営協議会補助金1,925,800円	1,925,800円

#### 上記の評価と課題等

公園・トイレ施設の維持管理を定期的に行い、来訪者に快適に使用いただくことができました。施設の維持管理については、必要に応じ修繕を行なっていますが、老朽施設も多く、計画的な改修等を行なっていく必要があります。

令和4年の穂高神社式年遷宮とそれにタイアップして行われる観光復興イベントの来訪者等が清潔で快適なトイレが利用できるよう、穂高駅周辺の公衆トイレを改修しました。

山岳観光分野では、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金を支出し、山小屋等による登山道の維持整備を支援していますが、山岳環境整備に関する課題は多く、引き続き関係省庁や山岳関係団体と協議しつつ課題を解決していく必要があります。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	166
------------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,842,000	3,810,500	0	31,500	99.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
168,000		建物総合損害共済金	168,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市自然体験交流センターの指定管理者「せせらぎを愛する会」に施設の管理・運営を委託しており（指定期間 令和3年4月から令和6年3月）、各種教室等への貸館と各種自主事業を実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策（消毒・換気の徹底、実施イベントの一部中止）を行いながら運営しました。

#### ○事業実績（利用者推移）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会館日数	307日	307日	307日	307日	309日
来館者数	7,579人	6,599人	7,049人	6,354人	5,810人
来館者数前年度比	△293人	△980人	+450人	△695人	△544人
増減比率	△3.7%	△12.9%	6.8%	△9.9%	△8.6%

#### ○主な利用目的

・健康麻雀教室	45回	来館者数	374人
・童謡教室	18回	来館者数	203人
・ヨガ教室	39回	来館者数	167人
・写真教室	19回	来館者数	156人
・ミュージックベル教室	20回	来館者数	145人
・キルト教室	19回	来館者数	76人 など

### 上記の評価と課題等

指定管理者制度により「せせらぎを愛する会」に運営委託を行い、円滑に施設運営を行っていますが、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設を利用したイベント・各種教室の中止が多く、利用者は減少となっています。

本施設については利用者の殆どが地元住民であり、実施される自主事業も固定化していることから、今後は観光面での施設利用や自然体験の場としての活用を検討する必要があります。指定管理者と連携して施設の更なる活用方法、利用者の掘り起こし、施設のPR等行っていく必要があります。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安心・安全で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108253	豊科南部総合公園管理運営事業費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
33,482,000	30,028,870	0	3,453,130	89.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 豊科南部総合公園管理運営事業（市総合体育館、テニスコート、マレットゴルフ場を含む）

##### (1) 市総合体育館開館準備に伴う業務委託

市総合体育館の運用開始に向けて、開館前の事前準備を令和4年1月から管理運営を請け負う指定管理者へ委託しました。委託料10,021,000円（10月～12月分）

##### (2) 豊科南部総合公園管理運営

市総合体育館を含めた公園管理運営業務を、一括して指定管理者に委託しました。指定期間は、令和4年1月1日から令和9年3月31日までの約5年間となっています。

指定管理料：16,669,452円（令和3年度分）

指定管理者：ミズノ・安曇野市スポーツ協会・A&Sグループ

令和3年度利用実績（令和4年1月～3月）

施設名	利用者数	施設使用料
サブアリーナ	1,651	137,350
メインアリーナ	3,165	294,400
応接室	10	0
会議室	453	8,000
柔剣道場	409	25,800
小計	5,688	465,550
テニスコート	1,267	146,600
	6,955	612,150
ランニングコース	627	-

### 上記の評価と課題等

令和4年1月からのオープンに向け、令和3年10月から準備を進め遅滞なく運用を開始することができました。

コロナ禍においては、施設利用を制限し事前予約されていた団体等のみが使用した時期もありましたが、3月以降の通常営業からは、事前予約の利用者とともに新規による利用者も増えており、現在も多くの市民や団体等に利用されています。

また、指定管理者とは定例会を毎月1回開催しており、課題等を情報共有しながら当施設を快適に利用していただけるよう、維持管理や利用方法等の改善に取り組んでいます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	228
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化をはぐくむまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110440	社会体育総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
17,147,000	14,192,344	0	2,954,656	82.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 スポーツ推進審議会  
スポーツ推進審議会を4回（うち書面決議1回）開催し、教育委員会より諮問した体育施設使用料の減免制度について、慎重にご審議いただき、令和3年10月に答申いただきました。
- 2 スポーツ推進委員会  
スポーツ推進委員会地域代表者会議（12人）を3回、全体会議（30人）を2回開催したほか、生涯学習課（市民スポーツ祭や体力測定等）及び公民館事業（教室・運動会等）の指導、協力など、スポーツコーディネーターとしてスポーツの普及、推進に努めました。
- 3 スポーツ協会【補助金額：5,490,000円】  
スポーツ協会の組織強化、財務強化、競技力向上に対し支援を行いました。  
[77団体：4,365人 スポーツ普及・競技力向上・健康体力づくり事業]
- 4 スポーツ少年団【補助金額：2,706,000円】  
各地域のスポーツ少年団に対し、スポーツ活動や各種スポーツ大会開催への補助を行いました。  
[63団体：1,491人 各種大会・リーダー育成・指導者養成事業等]
- 5 安曇野市各種競技会及び発表会出場者激励金【決算額：606,000円】  
令和3年度 60名：606,000円
- 6 聖火リレー実施に向けた運営体制の構築【決算額：2,681,837円】  
1年延期となり、令和3年4月2日に安曇野市を通過しました。

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度もスポーツ協会、スポーツ少年団ともに活動の自粛や縮小により事業が減少しました。また、激励金は大会増により若干増加しました。  
新型コロナウイルス感染症のまん延により1年延期された「東京2020オリンピック聖火リレー」は、新たな聖火リレーとして簡素化、効率化を図り、感染症対策を講じながら安全、安心に実施しました。市民参加として、従前の「手旗応援による沿道集中型」から「市民の皆さんから笑顔の写真とメッセージをいただき、応援手旗に印刷して掲示する」形式に変更して、直接応援に來れない市民の皆さんの声援（笑顔）をランナーに届けました。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	230
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化をはぐくむまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110445	スポーツ推進事業費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,298,000	3,489,453	0	2,808,547	55.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
425,550		スポーツ教室参加料	425,550		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 スポーツ教室の開催 【決算額：3,205,834円】

(1) 子どもや親子を対象とした教室（教室数：16教室 参加延べ数：3,398人）

教室名	区分	延べ参加者数	出席率
①親子ウキウキ体操教室（4教室）	2歳～3歳程度 3歳程度～未就園児	544人	76%
②動きづくり運動教室（2教室）	小学1～6年生	225人	86%
③MTB親子教室	小学生とその保護者	34人	85%
④ファミリースポーツカフェ（5回）	親子等	119人	54%
⑤COTキッズ教室（2教室）	小学1～2年生 年長児	100人	89%
⑥COT指導者派遣事業	市内幼保の園児	2,160人	—
⑦ジュニアスポーツ選手育成事業	中学生	216人	—

(2) 18歳以上を対象とした教室（教室数：5教室 参加延べ数：554人）

①骨盤体幹エクササイズ教室	18歳以上	246人	82%
②スロトレ体力アップ教室	18歳以上	121人	93%
③インナーマッスル教室	18歳以上	145人	76%
④ピラティス教室	18歳以上	8人	62%
⑤COT研修	保育士他	34人	—

#### 2 市民スポーツ祭の開催 【決算額：147,665円】

実行委員会を組織して企画・運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、種目別競技会は17種目中2種目（132人の参加）実施しました。

#### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症のまん延により、市民スポーツ祭体験イベントは中止、種目別競技会はその多くが中止、延期となりました。スポーツ教室についても、途中開催を見合わせたり募集後中止とした教室もありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施しました。

令和4年度も国が示す「ガイドライン」等に沿った感染症対策を講じながら、事業を実施します。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	230
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110450	社会体育施設管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
990,807,000	112,936,434	874,573,000	3,297,566	11.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
37,152,632		文化公園施設使用料	1,174,830	社会体育施設自動販売機電気料	288,072
		学校施設使用料	3,885,610	社会体育施設公衆電話料	1,000
		社会体育施設使用料	11,202,590	体育施設耐震補強事業(旧合併特例債)	20,600,000
		文化公園公衆電話料	530		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 社会体育施設管理

##### (1) 管理する施設

No.	施設分類	施設数	No.	施設分類	施設数	No.	施設分類	施設数
1	体育館	8 施設	5	テニス場	5 施設	9	弓道場	1 施設
2	屋内運動場	1 施設	6	マレットゴルフ場	7 施設	10	アーチェリー場	1 施設
3	屋外運動場	13 施設	7	ゲートボール場	4 施設	11	学校開放施設	各学校施設
4	球技場	1 施設	8	柔剣道場	5 施設			

##### (2) 維持管理に係る主な経費

- ・施設修繕費 4,106,124 円
- ・光熱水費 19,905,030 円
- ・管理委託料 30,159,473 円 (受付業務、トイレ清掃、草刈等)
- ・工事請負費 4,101,020 円 (西穂高運動場雨水対策工事 834千円、豊科水辺マレットゴルフ場橋取付工事 1,199千円、高瀬川マレットゴルフ場及び駐車場整備工事 2,068千円)

#### 2 指定管理者制度による施設管理

	施設名	指定管理者	委託料
1	豊科水辺公園マレットゴルフ場、豊科水辺マレットノース18	豊科マレットゴルフ協会	1,370,000 円
2	権現宮マレットゴルフ場	穂高マレットゴルフ協会	2,650,000 円
3	穂高立足マレットゴルフ場	立足マレットゴルフ同好会	1,000,000 円
4	三郷黒沢マレットゴルフ場	三郷マレットゴルフ協会	1,390,000 円

#### 3 大規模改修工事に係る事業費

- ・三郷体育館アスベスト調査業務委託 396,000 円
- ・堀金総合体育館大規模改修工事設計業務委託 21,737,100 円
- ・豊科南社会体育館解体工事設計業務委託 2,035,000 円

### 上記の評価と課題等

市内社会体育施設における施設の利用予約等の受付業務や維持管理を適正に行うことができました。また、設備の不具合等が生じた場合には、速やかに修繕するよう努めたことで、利用者が安全、安心な状況で利用できるよう対処しました。

令和4年3月に策定した公共施設長寿命化計画に基づく年次計画に沿って該当施設の改修を進めており、改修の際は、利用者への周知期間をしっかりと確保するとともに、説明責任を果たしながら計画的に取り組んでいきます。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	232
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110455	市民プール管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
137,770,000	137,769,259	0	741	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
113,900,000		施設除却事業(体育施設)	113,900,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 穂高プール管理運営

##### (1) 穂高プール運営

指定管理委託料：11,083,000円

営業日：7月22日から8月22日までの19日間

利用実績

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入場者(人)	16,284	—	6,053
利用料(円)	4,502,130	—	1,650,450

- ・例年は7月中旬から9月第1日曜日まで営業
- ・令和2年度はコロナ禍により休業

#### 2 穂高プール解体工事

(1) 穂高プール解体工事監理業務委託 委託料 1,760,000円

(2) 穂高プール解体工事 工事費 116,204,000円

### 上記の評価と課題等

穂高プールの営業は、コロナ禍による感染防止対策を徹底したうえで、営業期間を短縮して開場しました。

また、令和3年9月30日をもって廃止とし、解体工事を無事完了することができました。

なお、解体後は、地権者へ土地を返還するための事務処理を進めています。

令和4年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	232
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110457	社会体育施設整備費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
492,000	491,604	0	396	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
491,604		公式スポーツ施設整備基金利子	491,604		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公式スポーツ施設整備基金積立金

(円)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
積立金	300,863,753	301,626,191	272,701,110
積立金利子	762,438	774,919	491,604
その他積立金	0	300,000	0
取崩金	0	30,000,000	0
計	301,626,191	272,701,110	273,192,714

- ・その他積立金は、2団体の寄付による。
- ・取崩金は、安曇野市総合体育館建設事業費に充当している。

#### 上記の評価と課題等

公式スポーツ施設整備計画による基金の積立をしており、本年度はその利子分を積み立てました。今後は、施設整備計画に沿って、基金積立金を必要に応じて活用していく予定です。



# 都市建設部

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	166
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108010	土木総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
222,287,000	219,150,978	0	3,136,022	98.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,459,080	左記の内訳	道路占用料	28,129,363		
		公共物占用料	4,486,537		
		国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	8,798,900		
		その他雑入	44,280		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 建設技術者等資格取得費補助金交付事業  
市内建設業に係る技術者を育成し、経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行いました。
- (1) 補助金交付額 949,710円（11社28名）

### 上記の評価と課題等

令和3年度から建設業資格の制度改正が行われ、新たに技師補が設けられたことから補助金申請件数、合格者数が増となりました。資格取得補助を行うことにより、市内建設業に係る技術者の人材育成が図られました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	168
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108040	道路橋梁総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,199,000	455,560	0	743,440	38.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 道路関係同盟会事業  
事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。
- (1) 負担金 454,000円
- ア 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会
  - イ 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会
  - ウ ラウンドアバウト普及促進協議会
  - エ 穂高・松川・大町間道路建設連絡協議会
  - オ 国道403号道路整備促進期成同盟会
  - カ 長野県道路整備期成同盟会 外

### 上記の評価と課題等

コロナ禍のため同盟会活動も規模を縮小するなど例年と同じ活動はできませんでしたが、関係機関に対し要望を行うことで、事業の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し、要望活動に努めます。

国道403号道路整備促進期成同盟会事務局として、構成市町村と連携し、書面による総会および郵送による要望活動を実施しました。

引き続き同盟会運営に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	170
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108090	県営新設改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
30,166,000	30,165,270	0	730	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 県営新設改良事業  
 県発注の事業に対し、負担割合により負担金を納めました。
- (1) 負担金
- ア 兼用側溝整備事業 (柏原) 3,048,020円
  - イ 急傾斜地崩壊対策事業 (大口沢、中村、駅上) 27,117,250円

### 上記の評価と課題等

地域住民の要望に応えるよう各種県事業の推進がされ、社会資本整備の促進が図られました。今後も引き続き事業促進に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	170
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108100	市道新設改良事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
335,662,000	265,116,083	68,702,000	1,843,917	79.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
150,098,000		市道新設改良県費負担金	8,998,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	30,000,000		
		市道新設改良事業	111,100,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 市道新設改良事業（市単独）

各区からの改良要望に基づき事業を実施しました。

市道新設改良事業14路線を実施し、市道堀金2級62号線外1路線の改良工事が完了しました。

##### （1）委託料

ア	測量設計委託費	14件	9,699,574円
イ	用地測量委託	6件	9,559,000円
ウ	地質調査等委託	1件	2,618,000円

##### （2）工事請負費

ア	改良舗装	5件	L=233m	67,483,000円
イ	グリーンベルト	3件	L=836m（設置）	3,104,000円
ウ	側溝整備	2件	L=207m	19,371,000円
エ	安全施設	1件	L=89m	1,265,000円
オ	サイクリングコース整備	1件		10,219,000円

##### （3）用地買収補償

ア	公有財産購入費	12件	3,725,591円
イ	物件補償費	12件	18,770,739円

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108100	市道新設改良事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 2 市道新設改良事業（合併特例債）

合併特例債対象の2路線の改良事業を実施しました。

##### （1）市道豊科2級3号線ほか（市総合体育館周辺、道路改良）

ア	測量設計委託費	5件	2,398,000円
イ	工事請負費	4件	106,974,000円
ウ	公有財産購入費	6件	5,006,495円
エ	物件補償費	3件	1,302,040円

##### （2）市道豊科1級26号線（豊科吉野地籍、道路改良）

ア	測量設計委託費	3件	1,316,000円
---	---------	----	------------

### 上記の評価と課題等

コスト縮減による選択と集中で、継続路線の早期完成と新規路線採択の見極めが重要となります。そのうえで、限られた予算の中で目的を達成するため、提出された要望に対し優先度の高い路線から順次整備を実施し、早期事業完成を目指します。

合併特例債事業については、道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進め、継続箇所の早期事業完了を目指します。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課・維持管理課
係等	建設整備担当・維持担当

決算書 ページ	172
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
438,165,000	288,333,968	149,226,000	605,032	65.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
260,685,000		道路改良費補助金	149,685,000		
		市道新設改良事業	111,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 社会資本整備総合交付金事業（市道新設改良事業）  
道路整備推進計画に基づく路線について、社会資本整備総合交付金事業により整備しました。
- (1) 市道穂高1級6号線（道路改良、穂高南小学校東） 全体計画L=800m
- |           |    |             |
|-----------|----|-------------|
| ア 工事請負費   | 1件 | 22,308,000円 |
| イ 公有財産購入費 | 3件 | 2,041,100円  |
- (2) 市道豊科1級24号線（道路改良、防災広場北交差点北） 全体計画L=620m
- |           |    |             |
|-----------|----|-------------|
| ア 工事請負費   | 2件 | 64,812,000円 |
| イ 公有財産購入費 | 1件 | 1,381,825円  |
- (3) 市道豊科1級29号線（道路改良、梓橋駅入口交差点北） 全体計画L=500m
- |           |     |             |
|-----------|-----|-------------|
| ア 補償調査委託費 | 3件  | 1,342,000円  |
| イ 工事請負費   | 1件  | 14,597,000円 |
| ウ 公有財産購入費 | 7件  | 12,757,428円 |
| エ 物件補償費   | 14件 | 37,479,713円 |
- (4) 市道豊科2209号線（道路改良、安曇野インター北） 全体計画L=250m
- |         |    |             |
|---------|----|-------------|
| ア 設計委託費 | 1件 | 2,607,000円  |
| イ 工事請負費 | 1件 | 26,235,000円 |
- (5) 市道堀金1級1号線（道路改良、堀金認定こども園西） 全体計画L=750m
- |         |    |            |
|---------|----|------------|
| ア 設計委託費 | 1件 | 8,877,000円 |
|---------|----|------------|

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 社会資本整備総合交付金事業（道路橋梁修繕事業）  
社会資本整備総合交付金、道路メンテナンス補助を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁修繕を行いました。

#### （1）道路橋梁修繕

##### ア 委託料

橋梁定期点検	2 件	58,607,902 円
橋梁修繕詳細設計	2 件	11,363,000 円

##### イ 工事請負費

市道穂高0001号線	中房大橋	72,039,000 円
市道豊科2124号線	けみだ橋	
市道穂高2311号線	欠川橋	

### 上記の評価と課題等

市道新設改良事業については、道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進め、継続箇所の早期事業完了を目指します。

道路橋梁修繕事業については、舗装維持管理計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき老朽化した舗装、橋梁修繕の推進に努めます。



令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	172
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108230	国県事業推進費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
662,000	47,850	0	614,150	7.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 国県事業推進事業

国道19号明科駅前歩道整備事業の要望活動を郵送で行いました。  
地域特性に配慮した自主避難計画（1地区）の作成支援を行いました。

#### (1) 需用費

47,850円

ア 地域特性に配慮した自主避難計画の印刷（田沢区）

### 上記の評価と課題等

国道19号明科駅前歩道整備事業の中央要望を郵送で実施しました。  
土砂災害に対するソフト対策として、地域特性に配慮した自主避難計画の作成支援を行いました。  
引き続き、国・県と連携し事業促進を図っていきます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	172
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0190030	【明許】社会資本整備総合交付金事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
35,466,000	35,464,899	0	1,101	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
34,607,000	左記の内訳	【明許】道路改良補助金	19,507,000		
		【明許】市道新設改良事業(旧合併特例債)	15,100,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 社会資本整備総合交付金事業(市道豊科1級24号線外)  
電柱移転に係る補償交渉に不測の日数を要したこと及び、用地買収に伴う価格問題等により用地取得に遅延が生じたため明許繰越とし、事業を執行しました。
- (1) 市道豊科1級24号線  
ア 物件補償費 1件 9,313,200円
- (2) 市道豊科1級29号線  
ア 測量設計委託費 1件 4,983,000円  
イ 公有財産購入費 4件 3,512,256円  
ウ 物件補償費 2件 9,439,443円
- (3) 市道豊科1345号線  
ア 工事請負費 2件 8,217,000円

### 上記の評価と課題等

繰り越した事業については完了しました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0190310	【事故】市道新設改良事業 (合併特例債事業)			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
92,177,000	92,044,476	0	132,524	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
87,400,000		【事故】市道新設改良事業	87,400,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 市道新設改良事業（合併特例債）  
電気工作物について、不測の事態により移転時期が4月となったことにより予定した工事区間で完了しない部分が発生したため、繰越により事業を執行しました。
- (1) 市道豊科2級3号線
- |         |    |             |
|---------|----|-------------|
| ア 工事請負費 | 2件 | 87,230,000円 |
| イ 物件補償費 | 1件 | 4,814,476円  |

### 上記の評価と課題等

繰り越した事業について完了しました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108130	河川総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,301,000	7,692,380	0	608,620	92.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,791,000	左記の内訳	取水占用料	91,000		
		内水対策事業(緊急自然災害防止対策事業債)	5,700,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 河川関係同盟会事業  
事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。
  - (1) 旅費(普通旅費) 23,880円
    - ア 犀川直轄期成同盟会、中央要望
    - イ 長野県治水砂防協会通常総会 外
    - ウ 災害復旧促進全国大会、治水事業促進全国大会
    - エ 北陸直轄河川治水期成同盟会連合会要望会
  - (2) 負担金 1,948,500円
    - ア 犀川直轄改修期成同盟会
    - イ 長野県治水砂防協会
    - ウ 大町ダム等再編事業促進期成同盟会
    - エ 高瀬川高水敷整備促進期成同盟会
    - オ 長野県河川協会 外
- 2 内水対策事業  
万水川下流域の内水対策をハード事業とソフト事業の両輪で進めるため、ハードによる内水被害の最小化とソフトによる自主避難体制等を検討し安全安心な地域づくりを目指しています。
  - (1) 委託料 5,720,000円
    - ア 詳細設計

### 上記の評価と課題等

コロナ禍のため同盟会活動も規模を縮小するなど例年と同じ活動はできませんでしたが、関係機関に対し要望を行うことで、事業の促進が図られました。引き続き要望活動に努めます。  
内水対策事業については、ハード対策とソフト対策の両面で減災対策を推進いたします。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108150	河川改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,800,000	4,763,000	0	37,000	99.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 河川改修事業

区からの要望に基づき事業化した「赤川」と「勝手沢」の改修について、設計等の委託を実施しました。

##### (1) 赤川（河川改修 L=150m）

ア 測量設計委託 1件 4,268,000円

##### (2) 勝手沢

ア 現地調査業務委託 1件 495,000円

### 上記の評価と課題等

洪水、氾濫の恐れのある箇所を改修を実施し、安全・安心な河川環境を整備するため早期完成を目指します。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	232
------------	-----

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木施設災害復旧費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路災害復旧費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0111010	道路災害復旧事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
17,850,000	16,547,300	0	1,302,700	92.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 道路災害復旧事業

8月の豪雨による災害として、路肩復旧8件、路面復旧12件、法面復旧2件、計22件の復旧にあたりました。

(1) 工事請負費

ア 復旧工事 22件 16,547,300円

### 上記の評価と課題等

災害発生後の応急対応により、早期の交通確保に努めました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	168
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108020	地籍管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
27,996,000	27,827,416	0	168,584	99.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
408,900		公図写等発行手数料	408,900		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 土地台帳、公図管理事務

国土調査法第21条では、国土調査の成果の写しの保管と閲覧が規定され、当市ではその成果である土地台帳・公図（地籍複図）を一体的にデジタル化した「安曇野市地籍管理システム」を平成27年4月から運用を開始し、法務局から送られる土地登記済通知書により地図データ、台帳データ及び土地所在図のデータベースの更新を行いました。

この事業により更新する地図情報は、本市GISシステムの基礎として利用されています。また、境界立会等で発見された国土調査錯誤や未登記事案の地図作成業務を委託しました。

#### （1）委託料

##### ア 地籍管理システム土地異動更新業務委託

土地台帳入力・属性変更、分合筆修正 11,426 件 15,730,000 円

##### イ 地図訂正委託

地図訂正・未登記測量業務委託 33 件 7,161,912 円

#### 2 官民境界確認立会事務

道路・水路の管理者として、申請に基づき官民境界の確認事務を行いました。

官民境界確認実施件数 390 件

#### 3 公共用地登記事務

安曇野市が取得した用地の登記事務を行いました。

所有権移転登記・地目変更登記・分筆登記等 519 筆

### 上記の評価と課題等

年6回の地図データ台帳データ及び土地所在図のデータベースの更新により、タイムリーな土地情報の共有化により土地関係業務の効率化が図られました。

有用な地籍管理システムの運用が図られるよう、法務局の異動情報の的確な入力を行い、正確な情報提供を行いました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	168
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108030	建設機械管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,012,000	2,769,440	0	242,560	91.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1. 道路維持作業車整備事業

市が保有する維持作業車11台及び刈払機等作業機械の保守・管理を行いました。

##### (1) 消耗品費

作業車タイヤ、部品等 478,318円

##### (2) 燃料費

作業車燃料（軽油代） 190,108円

##### (3) 物品修繕費

作業車車検、点検に伴う修繕費 971,839円

##### (4) 手数料

作業車車検、定期点検手数料 705,445円

##### (5) 保険料

作業車自賠責保険料 178,630円

##### (6) 自動車重量税

作業車自動車重量税 245,100円

### 上記の評価と課題等

引き続き維持作業車、作業機械の保守点検等を行い、良好な状態を保つよう管理に努めます。



令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	168
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108050	道路橋梁管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
19,140,000	18,802,700	0	337,300	98.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
423,640		地図等交付代	38,640		
		道路占用料	385,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 道路台帳加除事業

道路法第28条の規定に基づき整備している道路台帳の更新修正に伴う道路台帳図のデータ更新（L=11.48km）を行いました。

（内訳）

新設・改良50メートル以上 8.44キロメートル  
 新設・改良50メートル未満 2.84キロメートル  
 舗装箇所 2箇所 延長換算 0.2キロメートル

整備したデータは道路行政の基礎的資料とするほか、道路台帳図は市のホームページで閲覧が可能です。

（1）委託料

令和3年度道路台帳補正業務委託 18,447,000 円

### 上記の評価と課題等

今後も引き続き的確なデータの更新を行い、良好な状態で維持し適正な利用が図られるよう台帳管理に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	170
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108060	道の駅維持管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,106,000	4,103,000	0	3,000	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 道の駅管理業務

道路利用者及び観光客等の立ち寄り拠点となっている、道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の管理を、「農事組合法人旬の味堀金物産センター組合」に委ねて、利用者に快適な休憩空間を提供しました。

平成31年4月1日から令和6年3月31日まで、「農事組合法人旬の味堀金物産センター組合」と指定管理委託に伴う基本協定を締結したことから、この基本協定書に基づき、令和3年4月1日から令和4年3月31日まで年度協定を締結し、情報交流室、トイレ、駐車場の施設管理を行いました。

##### (1) 委託料

令和3年度安曇野市道の駅アルプス安曇野ほりがねの里指定管理業務委託

3,267,000円

##### (2) 修繕費

道の駅内施設修繕（自動ドア）

836,000円

### 上記の評価と課題等

利用者の利便性向上のため、道の駅施設と堀金物産センターの一元管理に向けた協議を行い、指定管理により平成28年度より管理を行っています。

今後も快適な休憩空間を提供するため、適正な施設管理に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	170
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108070	道路橋梁維持費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
285,537,000	285,034,380	0	502,620	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
66,000,000		道路復旧費原因者負担金	30,000,000		
		道路橋梁維持事業(長寿命化)	36,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 道路橋梁維持事業

道路維持作業員による日常的な巡視点検に加え、職員による定期的な道路パトロールを行いました。巡視時や市民からの通報及びスマートフォンアプリを活用した「情報通報システムあづみの」による道路情報を基に、欠損部の補修や除草等の道路管理を行いました。

区からの要望を踏まえた道路施設の補修や幹線道路の路面補修、原因者負担による路面復旧受託などの維持工事を実施しました。

また、工事発注の平準化に向けた取組みとして、債務負担行為による生活道路の舗装工事等を実施しました。

##### (1) 委託料

- ア 草刈り、清掃作業 74 件 23,586,950 円
- イ 境界復元測量、設計業務ほか 2件 990,000 円

##### (2) 工事請負費

- ア 道路橋梁維持・補修工事 157 件 179,617,460 円
- イ 道路占用路面復旧受託工事 3 件 30,349,000 円
- ウ 公共施設等適正管理推進事業 2 件 40,029,000 円

##### (3) 原材料費

- ア 道路補修用資材 1,799,096 円
  - 補修用アスファルト 707 袋 1,113,475 円
  - 砕石など 7.9 m<sup>3</sup> 48,193 円
  - その他(側溝蓋、補修資材ほか) 637,428 円
- イ 資材支給(コンクリート二次製品(側溝など)・砕石・セメント) 8 件 299,202 円

### 上記の評価と課題等

道路施設の老朽化は年々進んでいるため、維持工事費を予算の範囲内で効率的・効果的に実施する必要があります。道路パトロールの強化を図り、安全・安心な道路環境を提供できるよう維持管理に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	170
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108080	除雪対策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
112,853,000	112,167,878	0	685,122	99.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 除雪融雪業務

管理する市道約1,688kmのうち、除雪指定路線約874kmの除雪作業と凍結防止剤散布路線約105kmの融雪作業を市内73の事業者にも業務を委託し、冬期交通の確保に努めました。除雪用の建設機械を保有することが困難となっている事業者等に対しては、市の保有機械21台と借上げ機械24台を貸与し、除雪体制を整えました。

#### (1) 消耗品費

ア 塩化カルシウム 218 t 13,164,000 円

#### (2) 委託料

ア 除雪作業 延べ 494 時間 11,044,400 円  
 イ 凍結防止剤散布作業 延べ 425 時間 8,181,500 円  
 ウ 除雪等機械管理費 69 台 43,921,200 円  
 エ 貸付機械保険加入費 51 台 2,295,000 円

#### 2 除雪車両の整備

#### (1) 借上料

ア 除雪ドーザ（8 t級） 8台 12,100,000 円  
 イ 除雪ドーザ（3 t級） 16台 14,971,000 円

### 上記の評価と課題等

冬期間の交通確保を継続的に図るため、不足する除雪機械やオペレーターの確保については、計画的な機械購入や借上げによって補うほか、除雪機械の配置計画の見直しや新規受託者の開拓により、その確保に努めます。

広域農道やオリンピック道路などの除雪優先道路を選定するとともに、管理者が混在している路線の除雪については、引き続き長野県安曇野建設事務所との連携強化に努めます。

除雪は、行政、市民、地域の企業などの協力によって行う必要があることから、除雪協力を引き続き要請し、広報紙、ホームページ、コミュニティFMなどを活用した情報発信に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0190040	【明許】道路橋梁修繕事業 (交付金)			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
144,607,000	141,878,000	0	2,729,000	98.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
122,133,000	左記の内訳	道路改良費補助金	74,133,000		
		市道新設改良事業	10,100,000		
		道路整備事業(補正予算加速化対策分)	37,900,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 社会資本整備総合交付金事業

工事契約後、施工方法等について関係団体との調整に不測の日数を要したため明許繰越した事業について、工事が完了しました。

また、社会資本整備総合交付金等の補正予算により明許繰越した事業について、委託業務が完了しました。

#### (1) 舗装修繕

ア 工事請負費		70,114,000 円
市道豊科1級23号線	L=566.0m	
市道穂高1級20号線	L=310.0m	

#### (2) 委託料

ア 委託料		
橋梁定期点検	1 件	41,855,000 円
橋梁修繕詳細設計	1 件	6,259,000 円
イ 工事請負費		34,045,000 円
市道明科5128号線	沢六橋	
市道明科5084号線	木下橋	

### 上記の評価と課題等

繰越した事業について完了しました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	03	交通安全施設費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0108120	交通安全施設整備費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
25,500,000	25,482,160	0	17,840	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 交通安全施設整備費

第3次安曇野市交通安全計画、区やPTA等からの要望に基づき、道路区画線や道路反射鏡等の交通安全施設を設置するとともに、信号機や横断歩道の設置などの要望を取りまとめ、長野県公安委員会へ交通安全施設整備の要望を行いました。

##### (1) 工事請負費

ア 道路区画線設置	14,447m	8,090,400 円
イ 道路反射鏡設置・補修	65箇所	8,646,500 円
ウ ガードレール、柵設置	50m	1,752,500 円
エ 標識、看板設置・補修	60基	3,781,900 円
オ その他（反射標、薄層カラー舗装等）	1式	2,012,740 円

### 上記の評価と課題等

道路利用者に対し、安全・安心な道路環境の提供に努めました。  
今後も道路パトロールにより老朽化した交通安全施設を把握し、施設の更新を進め事故防止に努めるとともに区やPTA等からの要望に基づき、施設の維持管理や整備を進めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108140	河川管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
515,000	415,000	0	100,000	80.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
415,000		取水占用料	415,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 河川管理事務

市内の普通河川等の除草清掃管理を地元区及び河川愛護会の協力により、河川環境の保全を図りました。

(1) 役務費 415,000 円

実施箇所

赤川

権田川

富士尾沢川

穂高川 以上4件

### 上記の評価と課題等

今後も河川環境の美化に努め、良好な状態を維持し適正な河川管理に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	174
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108160	河川維持費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
22,206,000	21,689,501	0	516,499	97.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 河川維持事業

市が管理する河川について、堤防の除草、河床整理及び施設の補修等を行いました。  
また、緊急浚渫推進事業により前川に堆積している土砂の撤去を行いました。  
災害時に使用する土のう袋、ブルーシート等を購入し災害に備えまし。

##### （1）委託料

堤防の除草、沈砂池の清掃等 6,251,300 円

##### （2）工事請負費

河床整理等 4件 3,608,000 円

緊急浚渫推進事業 前川整備工事 10,637,000

#### 2 水防倉庫施設管理事業

市内水防倉庫7棟の施設管理を行うとともに、災害用応急資材の備蓄を行いました。

（1）消耗品（土のう袋、ブルーシートなど） 282,505 円

（2）施設修繕費（照明）1件 187,000円

（3）光熱水費 412,030 円

（4）物品修繕費（トルクレンチ修繕） 27,775 円

### 上記の評価と課題等

河川の環境保全、機能を維持するための維持管理に努めました。  
河川及び施設のパトロールを実施し現状把握に努め、適時適切な維持補修を行うことで、取水時の被害防止に努めます。



令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	計画係

決算書 ページ	176
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
223,216,000	220,490,028	0	2,725,972	98.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
56,573,516		公営住宅使用料	5,351,016		
		市町村合併特例交付金	51,200,000		
		都市計画図等交付代	22,500		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 都市計画総務費

- (1) 都市計画等に関する制度評価委員会（出席謝礼等） 60,000 円  
市の土地利用に関する制度の運用について、専門的見地から必要な事項を評価検証するために組織された委員会です。令和3年度は委員会を1回開催し、土地利用制度の運用上の課題について助言を求めるとともに、都市計画における課題案件の情報提供を行いました。
- (2) 土地利用審議会（委員報酬等） 342,560 円  
土地利用条例の規定に基づく市長の諮問に応じ、主に特定開発事業の認定について審議を行うために組織された審議会です。令和3年度は審議会を12回開催し、事業認定に関する審議を行いました。
- (3) 都市計画審議会（委員報酬等） 50,643 円  
都市計画法の規定に基づき設置される付属機関で、主に市が定める都市計画について調査審議するために組織された審議会です。令和3年度は審議会を1回開催し、都市計画道路の変更（松本糸魚川連絡道路）について審議を行いました。
- (4) 安曇野市1/10,000地形図修正業務 3,740,000 円  
平成26年度以降修正されていなかった1/10,000地形図を、最新の地形図に修正するとともに、地形図のデータファイルを市内のGISに搭載しました。
- (5) 情報案内板整備 51,558,100 円  
サインガイドラインに基づき、豊科・穂高・堀金・明科の市街地内に、施設案内表示板22基（同定サイン5基、図解サイン6基、指示サイン1基、大型案内看板10基）を整備しました。

#### 上記の評価と課題等

都市計画審議会及び土地利用審議会は、都市計画決定や土地利用条例に基づく審議を行い、制度評価委員会は、土地利用に関する制度の運用について、専門的見地から評価検証を行う重要な機関です。令和2年度に見直しを行った土地利用制度を、令和3年7月から施行するにあたり説明会を開催しました。説明会の効果もあり、新制度へ順調な移行が図られています。今後も秩序ある土地利用が図られるよう、制度の適正な運用が必要です。また、情報案内板（サイン）の整備により、公共施設への誘導性が向上しました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	178
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108213	明科駅前広場維持管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,870,000	1,550,547	0	1,319,453	54.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,063,600		明科駅前駐車場利用料	1,063,600		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 明科駅前広場維持管理事業

平成30年度から事業着手した都市再生整備計画事業（明科駅周辺）により、明科駅前広場整備工事を進めています。令和3年度から旧公園敷地を駅前広場として管理を継承し、敷地内の清掃やトイレ・駐車場施設の維持管理を行いました。

##### (1) 需用費

ア 施設修繕	31,900 円
イ 光熱水費（電気・水道）	415,120 円

##### (2) 委託料

ア 管理委託（シルバー人材センター）	407,046 円
--------------------	-----------

#### 2 駐車場維持管理

令和3年10月から暫定駐車台数8台分のコインパーキングの利用が開始されました。

##### (1) 需用費

ア 消耗品	29,920 円
-------	----------

##### (2) 役務費

ア 通信費（オートホン）	19,761 円
--------------	----------

##### (3) 委託料

ア 精算機管理業務	646,800 円
-----------	-----------

### 上記の評価と課題等

安曇野市の東の玄関口として、また、交通の結節点として、快適な利用ができるよう年間を通して適切な維持管理を行いました。

旧駐車場は無料でしたが、1時間以内という利用制限がありました。コインパーキング化により長時間駐車が可能となり、多くの皆様にご利用いただいています。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	178
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
73,885,000	73,631,718	0	253,282	99.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
69,350,000	左記の内訳	社会資本整備総合交付金(街路分)	39,050,000		
		街路事業	30,300,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 都市計画道路 吉野線改良事業(全体計画 L=455m W=6.0(12.0)m)  
 国道147号、本吉町交差点から都市計画道路東町通線までの区間(延長455m)は豊科南小学校や豊科高等学校の通学路になっていますが、道路が狭隘で歩道もないことから、児童・生徒の通行が危険な状況にありました。通学路の安全対策と中心市街地の円滑な交通確保を図るため、平成27年度から国の交付金を活用し事業を進めました。  
 令和3年度は事業最終年度であり、新田堰から終点「県営吉野荒井団地」前までの90mの道路整備を行い全事業が完了しました。
- (1) 委託料  
 ア 設計監理業務ほか 2件 770,000円
- (2) 工事請負費  
 ア 道路改良工事ほか 3件 29,964,000円
- (3) 補償費  
 ア 物件移転補償費 4件 42,897,718円

### 上記の評価と課題等

計画区間の道路整備が完了したことで、渋滞緩和、利便性・安全性の向上を図ることができました。一部暫定供用区間(約24m)がありますが、可能な範囲で既存道路の拡幅を行い、車道の連続性を確保することができました。  
 暫定供用区間については、時期を見定めた上で、先線で交差する東町通線の道路改良工事に合わせた再交渉が必要となります。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	178
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108211	都市再生整備計画事業（都市整備分）			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
372,802,000	142,356,964	230,368,000	77,036	38.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
132,915,000		都市再生整備計画事業	60,015,000		
		都市再生整備計画事業	72,900,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 都市再生整備計画事業 明科駅周辺  
平成29年2月に策定した「明科駅周辺まちづくり計画」に基づき、平成30年度から国の交付金を活用し、安曇野市の東の玄関口として、駅前広場・周辺道路・公園など一体的な整備を進めています。  
令和3年度は、駅前広場・トイレ・周辺道路・街路灯の整備工事を進めることができました。
- (1) 委託料
- ア 設計監理業務ほか 8件 3,487,000円
- (2) 工事請負費
- ア 明科駅前広場整備工事ほか 10件 127,204,700円
- (3) 補償費
- ア 物件移転補償費 11件 11,665,264円

### 上記の評価と課題等

明科地域の特性を活用した、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、事業進捗を図りました。  
令和4年度完成に向け、進捗状況の発信や関係機関協議、用地交渉を継続的に進めていきます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	178
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0190050	【明許】都市再生整備計画 (明科駅周辺)			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
195,183,000	194,850,664	0	332,336	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
155,312,000		【明許】都市再生整備計画事業	60,512,000		
		【明許】都市再生整備計画事業(公共事業等債)	94,800,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 都市再生整備計画事業 明科駅周辺  
令和2年度からの繰越により、駅前トイレ用地測量や設計業務、公園・周辺道路工事及び、用地取得を行いました。
- (1) 委託料  
ア 駅前トイレ用地測量業務ほか 2件 1,817,200円  
(令和元年度支出なし)
- (2) 工事請負費  
ア 龍門渕公園親水エリア改修工事ほか 5件 121,916,000円  
(令和2年度支出済額) 1件 12,900,000円)
- (3) 用地・補償費  
ア 公有財産購入費 4件 10,032,330円  
(令和2年度支出済額) 1件 1,500,000円)  
イ 物件移転補償費 5件 61,085,134円  
(令和2年度支出済額) 4件 40,320,000円)

### 上記の評価と課題等

明科地域の特性を活用した、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、事業進捗を図りました。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書 ページ	180
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
275,230,000	235,486,237	32,000,000	7,743,763	85.6%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
110,094,688	細節名	金額	細節名	金額
	豊科南部総合公園テニスコート使用料	1,669,280	常念ふれあい公園太陽光発電売電	4,816
	礪山公園使用料	2,012,790	室山アグリパーク自販機電気料	13,542
	室山アグリパーク施設使用料	174,390	講座参加料	24,000
	都市公園使用料	190,310	公共施設等適正管理推進事業債	35,100,000
	都市公園占用料	705,560	旧合併特例事業債	34,200,000
	社会資本整備総合交付金(公園分)	36,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 都市公園等維持管理事業

都市公園(44箇所:面積34ha)、その他公園(8箇所:37ha)、農村公園(10箇所:面積2.8ha)について、安全で快適に利用できるよう維持管理に努めました。

日常的な草刈りや清掃等の維持業務は、市内造園業者やシルバー人材センター等へ委託しました。

また、公園愛護会(区、ボランティア組織等)の協力により、各地区の公園の日常管理を行いました。

公園の遊具については月1回の日常点検、年1回の定期点検を実施しました。

公園施設の経年劣化に対応するため「公園施設長寿命化計画」を策定し、計画的に施設の長寿命化を進めています。令和3年度は、国からの交付金を活用し「公園施設長寿命化対策支援事業」の工事を1件、起債事業を活用し「公共施設等適正管理推進事業債」の工事を3件、市単独事業により59件の修繕と21件の補修工事を行いました。

緑の基本計画を推進する取り組みとして、市民や企業と協働で行う沿道緑化事業に24団体から申請を受け、市内の道路沿いを花で彩りました。

(1) 需用費		20,809,285 円
ア 施設修繕費 59件 (公園施設長寿命化計画による遊具等の修繕)		8,838,933 円
イ 光熱水費		9,746,231 円
ウ 消耗品費		
①沿道緑化苗代 24件		437,623 円
②公園掃除用品等		1,533,229 円
エ 燃料費、物品修繕費ほか		253,269 円
(2) 役務費		351,847 円
ア 通信運搬費		140,457 円
イ 手数料、保険料		211,390 円
(3) 委託料		62,498,073 円
ア 管理委託料 349件		60,481,073 円
イ 設計監理委託料 6件		2,017,000 円

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

(4) 使用料及び借地料		6,005,420 円
ア 借地料	26件	5,762,260 円
イ 借上料		243,160 円
(5) 工事請負費（公園施設長寿命化計画による）		142,022,100 円
ア 工事請負費（補助）		
豊科南部総合公園噴水施設改修工事		78,881,000 円
イ 工事請負費（単独）		
①公共施設適正管理推進事業（起債）野沢公園便所改築工事外2件		39,039,000 円
②上生野農村公園補修工事外20件		24,102,100 円
(6) 負担金補助及び交付金		3,081,472 円
ア 負担金		
日本公園緑地協会外3件		89,054 円
イ 交付金		
安曇野市公園愛護会交付金 下堀公園外28公園		2,992,418 円
(7) 報償費		18,000 円
(8) 原材料費		392,040 円
(9) 備品購入費		308,000 円

### 上記の評価と課題等

今後も定期的な公園のパトロールを実施し、不具合箇所の把握に努め、市民が安全・安心に公園を利用できるよう計画的に公園の施設整備と保全管理に努めます。

市民の緑化への意識の高揚を図るため「緑の基本計画」に基づく事業を通して、花や緑であふれる潤いのあるまちづくりを進めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0190060	【明許】都市公園等維持管理事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
20,000,000	19,360,000	0	640,000	96.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,000,000		【明許】社会資本整備総合交付金(公園分)	9,000,000		
		【明許】都市公園事業(補正予算儀加速化対策分)	9,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 公園施設長寿命化対策支援事業  
令和2年度からの繰越により、公園施設の四阿と遊具の更新工事を行いました。
- (1) 工事請負費 19,360,000 円
- |                  |     |              |
|------------------|-----|--------------|
| ア 三郷文化公園四阿更新工事   | 1 件 | 16,302,000 円 |
| イ 堀金中央公園ほか遊具更新工事 | 1 件 | 3,058,000 円  |

### 上記の評価と課題等

公園施設長寿命化計画に基づき、市内の公園施設や遊具の更新を行い、市民が安全・安心に公園を利用できるよう計画的に公園の施設整備と保全管理に努めます。



令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,878,000	2,773,048	0	104,952	96.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 都市下水道維持管理事業  
市街地における雨水を円滑に排水し、浸水を防除するため、都市下水道(延長3.8km)の維持管理を行いました。
  - (1) 委託料
    - ア 管理委託(新田・成相農事組合) 2件 300,000円
  - (2) 工事請負費
    - ア 町尻都市下水道維持工事 1件 715,000円
- 2 潮雨水ポンプ場維持管理  
豪雨時の内水対策のため、潮雨水ポンプ場の維持管理を行いました。
  - (1) 需用費
    - ア 燃料費 81,132円
    - イ 施設修繕(ポンプ監視装置) 1件 583,000円
    - ウ 光熱水費(電気) 121,956円
  - (2) 委託料
    - ア 管理委託(維持管理・点検・システム管理) 3件 971,960円

### 上記の評価と課題等

都市下水道の管理委託や維持工事を実施し、浸水被害に備えることができました。  
また、潮雨水ポンプ場の維持管理を行い、内水被害に備えることができました。  
なお、潮雨水ポンプ場については、平成14年度に施設を設置してから20年が経過していることから、令和4年度から令和5年度の2カ年で設備更新等を行う予定です。

令和4年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108250	市街地排水路改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,600,000	6,983,900	0	616,100	91.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 市街地排水路改修事業  
住環境整備のため、拠点市街区域内の水路改修を実施しました。
- (1) 委託料
- ア 清掃業務 2件 499,400 円
- (2) 工事請負費
- ア 市街地排水路改修工事 10件 6,403,100 円
- (3) 原材料費
- ア 土嚢袋ほか 一式 81,400 円

### 上記の評価と課題等

要望のあった拠点市街区域内の水路を改修し、浸水被害等を未然に防ぐことができました。水路老朽化による維持改修要望が増える中で、事業費の確保が課題です。他部署との連携を図り、効率的な維持管理を行う必要があります。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	建築景観係

決算書 ページ	176
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	景観の保全と育成の推進
	事業	0108190	景観整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
10,180,000	9,517,347	0	662,653	93.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
440,000	左記の内訳	屋外広告物許可手数料	440,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 景観づくり住民協定活動補助金 2,296,359円  
自主的に景観を守る取り組みを行っている景観づくり住民協定締結地区の活動に対し、補助金を交付し活動の支援を行いました。また、市連絡会においては、江戸時代の町並みが保存されている塩尻市の奈良井宿を視察しました。（補助団体：住民協定16団体、市連絡会1団体）
- 2 景観条例に基づく行為の届出  
安曇野市景観条例で定める届出対象行為について、安曇野市景観計画の基準により審査を行い、現地確認のうえ、行為制限短縮通知の交付を行いました。  
【届出件数】930件（内訳：建築物826件、工作物5件、土地形質等99件）
- 3 屋外広告物条例に基づく許可及びパトロール  
屋外広告物条例に基づき、広告物掲出に関する相談や指導、許可事務を行いました。また、許可手続き漏れがないように、制度の周知とパトロールを実施しました。  
【許可件数】57案件219件（内訳：第1種地域 57件、第2種 47件、第3種 115件）  
【許可更新件数】20案件 42件（内訳：第1種地域 16件、第2種 9件、第3種 17件）
- 4 緑のまちづくり事業  
緑に囲まれた安らぎを感じる環境づくりと、そのきっかけとして、記念樹の配布や生垣設置等への助成を行いました。  
【実績】記念樹 申請件数 528件、配布本数689本 2,961,985円  
生垣 申請件数 28件（内、ブロック塀撤去併用6件） 1,856,000円

### 上記の評価と課題等

自主的に景観を守る活動を実施している「景観づくり住民協定」の締結地区に対して、引き続き支援を行います。  
景観条例及び屋外広告物条例について、適正に運用することができました。引き続き、良好な景観づくりのため、窓口や現場での指導やパトロールに努めます。  
緑のまちづくり事業については、住宅地緑化促進のため、広報誌やホームページ等、周知活動の充実を図り、利用拡大に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	開発調整係

決算書 ページ	176
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
380,000	145,146	0	234,854	38.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 土地利用条例の運用

##### (1) 開発事業の承認（225件）

承認申請のあった開発事業について、関係部署との協議・調整を踏まえ審査を行い、土地利用基本計画等に整合すると認められたものを事業承認しました。

##### (2) 特定開発事業の認定（39件）

土地利用基本計画の基準に定めのない開発事業について、関係部署との協議・調整、説明会及び土地利用審議会の意見を踏まえ審査を行い、特定開発事業の認定に関する指針等に照らして適正な開発事業と判断されたものを、土地利用基本計画に整合する開発事業として認定しました。

#### 【土地利用条例における開発事業の承認、特定開発事業の認定申請件数及び面積（区域別）】

区 域	拠点市街	準拠点市街	田園居住	田園環境	山麓保養	森林環境	合 計
	909.0ha	183.5ha	215.5ha	11,085.9ha	1,331.0ha	19,457.1ha	33,182.0ha
開発事業承認申請	21件	7件	13件	172件	11件	1件	225件
	4.7ha	1.1ha	0.7ha	20.0ha	1.2ha	0.0ha	27.7ha
特定開発認定申請	1件	0件	0件	37件	1件	0件	39件
	0.2ha	0.0ha	0.0ha	6.0ha	0.4ha	0.0ha	6.6ha

※ 開発事業承認の件数は、特定開発の認定後に承認申請へ移行したものを含みます。

### 上記の評価と課題等

土地利用条例の運用に際しては、特に苦情や混乱等はありませんでした。今後も適正かつ合理的な土地利用を推進するため、市民及び開発事業者の方に条例の趣旨をご理解いただくよう、引き続き丁寧な説明に努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書 ページ	176
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108205	耐震化推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
10,366,000	10,366,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,820,750	左記の内訳	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	5,276,000		
		住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	2,544,750		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 住宅・建築物耐震改修促進事業

- (1) 耐震診断業務委託 1,365,000円  
 昭和56年5月末日以前に着工された既存木造住宅の耐震診断業務を県建築士事務所協会へ委託し、21件実施しました。
- (2) 住宅耐震改修補助 8,814,000円  
 耐震診断を実施した住宅のうち、申請のあった9件に対して耐震改修に係る費用を補助しました。
- (3) 耐震化促進に向けた取組み  
 国の総合支援メニューに基づき事業を実施することで、市費負担の軽減が図られるため、昨年度に引き続き、「安曇野市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を計画して取組みました。取組みの内容としては、住宅の耐震化に関する情報の市ホームページや広報紙への掲載、旧耐震基準で建築された住宅の所有者へのダイレクトメールの送付（507通）など、フォローアップに努めました。

### 上記の評価と課題等

耐震化を促進するため、耐震診断、耐震改修工事のPR活動を実施しました。今後も補助制度の活用により耐震化が図られるよう、事業PRに努めます。

令和4年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
67,675,000	66,575,158	0	1,099,842	98.4%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
66,575,158		公営住宅使用料	47,249,034	公営住宅等整備事業補助金	2,076,000
		公営住宅駐車場使用料	3,254,440	太陽光発電売電等	36,484
		公営住宅使用料滞納繰越分	19,700	市営住宅等一時使用料	1,500
		公営住宅等ストック総合改善事業補助金	13,656,000	住宅防火施設整備補助金	282,000

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公営住宅等維持管理事業

市営住宅14団地362戸、特定公共賃貸住宅2団地20戸の維持管理を行いました。

- (1) 需用費（消耗品費、施設修繕費、外） 8,547,697円
- (2) 役務費（手数料等、保険料）、管理委託料、外 3,339,151円

#### 2 公営住宅等長寿命化事業

安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全型の維持管理（耐久性の向上等）を実施しました。

- (1) 外壁・屋根改修  
追分団地 A棟改修工事、B棟設計業務委託 38,940,000円
- (2) 設備修繕  
ファミリーユ柳瀬団地 A棟給湯器修繕 690,360円

#### 3 公営住宅整備事業

県営アルプス団地協働建替え事業として、市営から完成した県営6号棟への移転を調整しました。また、穂高団地の改修に向けた調査や設計、一時移転の調整を行いました。

- (1) 需用費（穂高団地改修に伴う一時移転用住戸の修繕） 4,602,950円
- (2) 委託料（穂高団地の耐震診断・実施設計（23～34号）、現地測量、外） 7,645,000円
- (3) 補償金（移転補償料）  
アルプス団地（6件）、穂高団地（6件）、本村団地（1件） 2,810,000円

### 上記の評価と課題等

市営住宅及び特定公共賃貸住宅の入居者が良好な住宅環境で居住できるよう、施設の点検・修繕等を行いました。また、長寿命化計画に基づく計画的な施設の維持管理に努めました。

# 上下水道部

令和4年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当

決算書 ページ	136
------------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	上水道費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	上水道施設費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104300	水道事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
59,362,000	59,361,152	0	848	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 18 負担金補助及び交付金

地方公営企業である、水道事業の安定化を図るため、合併前の旧豊科町において政策的に実施した水道施設の整備費用に対して一般会計が負担しました。

#### 負担金

・光ニュータウン関連水道事業負担金	7,827,876円
・下水道工事関連水道事業負担金	51,533,276円
決算額	59,361,152円

### 上記の評価と課題等

#### 18 負担金補助及び交付金

水道事業施設の整備費用の負担金として、光ニュータウン関連水道事業分は令和10年度まで、下水道工事関連水道事業分は令和16年度まで、一般会計から負担を行います。



令和4年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当

決算書 ページ	182
------------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0108270	下水道事業			

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,860,021,000	1,845,845,190	0	14,175,810	99.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

<b>主要な施策（事務事業）の成果の概要</b>
<p>27 繰出金</p> <p>総務省で定める地方公営企業繰出金の基準内分及び生活保護受給者の下水道使用料減免に係る基準外分について、下水道事業経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図るため、一般会計から繰出を行いました。</p> <p>令和3年度においては、次のとおり繰出を行いました。</p> <p>下水道事業会計繰出金</p> <p>基準内で繰出すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業 1,843,884,000円</li> </ul> <p>基準外で繰出すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給者に対する下水道使用料の基本使用料減免分 1,961,190円</li> </ul> <p style="text-align: right;">決算額 1,845,845,190円</p>

<b>上記の評価と課題等</b>
<p>27 繰出金</p> <p>下水道事業は資産規模が大きいことから、企業債償還額の負担も大きく、住民生活に密着したサービス提供を行うためには、一般会計の繰出金が重要な財源です。</p> <p>一般会計からの繰出金については、総務省で定める下水道事業の繰出基準に従って、引き続き繰出を行います。</p>

教育委員会 教育部

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係

決算書 ページ	188
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110010	教育委員会費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,628,000	4,436,332	0	1,191,668	78.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 教育委員会

教育委員会は、教育長職務代理者、委員3名、教育長の計5名で構成されています。  
(H29.4.1 改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教育委員長と教育長を一本化)

	R元. 11. 9	R2. 11. 9	R3. 11. 9
教育長職務代理者	唐木 博夫	唐木 博夫	須澤 真広
教育委員	須澤 真広	須澤 真広	横内 理恵子
	横内 理恵子	横内 理恵子	二村 美智子
	二村 美智子	二村 美智子	羽田野 賢二
教育長	橋渡 勝也	橋渡 勝也	橋渡 勝也

会議は、12回の定例会と2回の臨時会を開催し、教育委員会規則等の制定・改廃の審議、議会へ提出する条例案等の協議、教育行政に係る案件についての審議を行いました。

#### (1) 教育委員会会議

##### ① 定例会

No.	期 日	No.	期 日	No.	期 日	No.	期 日
1	R3年4月27日	2	5月27日	3	6月28日	4	7月26日
5	8月26日	6	9月27日	7	10月25日	8	11月18日
9	12月21日	10	R4年1月27日	11	2月24日	12	3月24日

##### ② 臨時会 令和3年11月9日・令和4年1月14日（2回開催）

#### 2 総合教育会議

改正地方教育行政法に基づく「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が本市の教育の課題及び目指す姿等について、認識の共有を図りました。

回数	期 日	主 な 議 題
第1回	R3年12月22日	「“たくましい安曇野の子ども”を目指す 安曇野市立小・中学校の将来構想」の策定について

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 教育関係者による活力ある小・中学校のあり方検討

令和元年11月に教育委員会内に教育委員協議会を設置し、計15回の協議を行うとともに、令和2年度は教育関係団体や組織、延べ195人との懇談会を行い、『“たくましい安曇野の子ども”を目指す「安曇野市立小・中学校の将来構想（案）」』を作成しました。令和3年8月に市民説明会を2回開催し、またあわせて行ったパブリックコメントで寄せられたさまざまな意見を反映し、令和4年3月に『“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を目指す「安曇野市立小・中学校の将来構想」』を策定しました。

#### 上記の評価と課題等

事務局が提案した案件及び本市の教育を取り巻く諸問題について、教育委員会定例会で議論を深めるとともに、課題等の解決を図りました。

策定された将来構想をもとに、安曇野らしい教育の実現に向け、より具体的な行動計画の策定につなげていきたいと考えます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係、学校庶務担当、 学校教育担当、教育指導室

決算書 ページ	190
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
247,019,000	242,160,138	0	4,858,862	98.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,832,711		入学準備金貸付基金利子	174,111	公立学校情報機器整備費補助金 (GIGAモバイルルーター)	1,036,000
		入学準備金貸付基金繰入金	5,320,000	公立学校情報機器整備費補助金 (学校のICTを活用した授業高度化推進事業)	1,591,000
		入学準備貸付金	2,088,600	地域自殺対策強化事業補助金	27,000
		公立学校情報機器整備費補助金 (GIGAスクールサポーター配置促進事業)	3,296,000	指定寄附金	300,000

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 事務局費総務

##### (1) 教育指導員の配置

教育指導室へ指導員を配置し、指導体制の充実を図っています。

区分	人数	決算額
教育指導員	5人	12,912,571円

##### (2) いじめ・不登校対策事業

学校支援員への研修や校内中間教室に係る支援員との定期連絡会を行いながら、児童生徒のいじめ不登校等への支援方法や早期発見、早期対応への研究、関係機関と意見交換を行いました。

##### (3) 中学生議会

市内各中学校から2年生3人の中学生議員、計21人が参加して開催しました。各校で選択した市の課題テーマに沿って、中学校ごと14の提言型質問が発表され、それに対して市長はじめ関係部局からの答弁が行われました。

##### (4) 就学相談

就学相談調査員8名が学校や認定こども園等を訪問し、調査・相談を行ないました。就学相談委員会(委員18名、開催12回)において、知的障がいや心身障がい等の特性のある子どもの審査及び就学の判断を行いました。

対象者	人数	判断結果			判断と異なる就学者
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校	
幼児	123	62	48	13	0
児童	130	13	108	9	0
生徒	10	1	9	0	0
小計	263	76	165	22	0

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (5) 各種大会等出場者補助金(交付先:各学校長)

各種大会等へ参加する際の費用負担軽減のため補助を行いました。(基本的に県大会以上)

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防のため一部の大会が中止になり、補助申請数が低く推移しています。

区分	体育大会		合唱・吹奏楽コンクール等		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	8	16,800 円	9	85,500 円	17	102,300 円
中学校	45	1,981,210 円	17	474,700 円	62	2,455,910 円
合計	53	1,998,010 円	26	560,200 円	79	2,558,210 円

#### (6) 私立高等学校運営費補助金 5,090,000円

対象校7校、補助対象生徒数 509人

### 2 学校システム管理事業

#### (1) 教育用システム・サーバの借上げ

- ・センターサーバ(令和3年度一部更新・5年リース) 8,165,826円

教育委員会管理のセンターサーバを設け、学校との情報ネットワークの再構築と一元化、セキュリティの確保を行っています。

- ・学校図書館システム(令和元年度更新・5年リース) 4,507,800円

学校図書館の蔵書管理システムを構築することにより貸出・返却を効率的に管理します。

#### (2) 主な委託事業

- ・センターサーバ管理保守、学校ネットワーク用機器管理保守 7,923,740円
- ・学校系ネットワーク機器更新業務委託 6,402,000円
- ・小中学校特別教室ネットワーク環境構築業務委託 6,600,000円
- ・GIGAスクールサポーター業務委託 6,593,400円

#### (3) GIGAスクール構想の推進

- ・モバイルWi-Fiルータ購入 1,036,200円
- ・指導者用端末購入 3,183,180円

### 3 学校安全対策事業

事業名等	金額	備考
学校敷地内のスズメバチ等害虫駆除	357,500円	実施7校(延べ7回)
学校安全対策用品の購入(熊よけ鈴)	129,800円	購入数100個
通学路安全マップの作成	429,000円	関係者に配布
学校安全連絡メール配信システム使用料	1,059,636円	
通学路標識工事・修理の実施	977,350円	地域要望への対応
緊急地震速報システム導入・更新	1,100,000円	更新4校

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費			

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

##### 4 入学準備金貸付事業

未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」の運用を平成28年11月から開始しています。

##### 【R3年度利用実績】

公立高校	私立高校	国公立大学・短大・専修学校	私立大学・短大・専修学校	計
0件	2件	0件	8件	10件
—	520,000円	—	4,800,000円	5,320,000円

#### 上記の評価と課題等

就学相談については、幼児期からの早期支援により、公立認定こども園等だけでなく、私立保育園や認可外保育園、児童発達支援施設等との連携を強化しています。就学判断数が前年度に比べて増加しており、年々調査件数が増加傾向のため、事務量の増加が課題となっています。

学校システム管理事業については、学校のネットワーク環境の追加整備・機器更新をしたことで、GIGAスクール構想を推進するための環境が更に整いました。また、GIGAスクールサポーター事業を活用し、教員向けのICT活用研修や、ICT活用サポートを実施したことで、教員のICTスキルの向上につながりました。

教育用センターサーバは、更新内容を精査することで、前回よりも経費を抑えながら、さらなるセキュリティの強化が可能となりました。

学校安全対策事業では、通学路の安全確保のために通学路標識の新設・修繕を行いました。また緊急地震速報システムについては、契約満了校の機器更新を行いました。

入学準備金貸付金事業については、制度を一部見直し、大学・短大・専修学校の返済期間を「就学期間」から「最長6年」とすることで月々の返済額を抑えることが出来、貸付件数も前年度の倍となりました。より利用しやすい内容となるよう、引き続き制度のあり方について検討をします。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	190
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
160,279,000	158,551,462	0	1,727,538	98.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,620,000		小中学校看護師配置事業補助金	1,620,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 報酬・職員手当 150,401,718円
- 2 謝礼 4,521,175円
- 3 旅費 3,612,717円

(1) 学校支援員及びスクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーターの配置  
学校からの支援員配置要望に基づき、県教委による教職員等の配置や学校実情を勘案し、適正な人材配置に努めました。

職 種	人 数	備 考	職 種	人 数	備 考
医療支援員	2人		学力向上支援員	7人	(中学校)
障がい児支援員	15人		特別支援学級支援員	23人	
中間教室支援員	15人		小中連携不登校支援員	2人	
スクールソーシャルワーカー	1人	(巡回型)	不登校支援コーディネーター	1人	(巡回型)
合 計				66人	

(2) スクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員等の派遣  
配慮を要する児童生徒への支援や学校職員による指導の相談対応のため、スクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）を派遣しました。また、児童生徒への学習意欲や理解促進のため放課後学習支援を実施しました。

職 種	人 数	備 考	職 種	人 数	備 考
スクールカウンセラー	7人	(巡回型)	障がい児等指導相談員	3人	(巡回型)
放課後学習室支援員	56人		合 計	66人	

### 上記の評価と課題等

学校支援員が支援することにより、個々の児童生徒に応じた指導や支援から学校生活を安定して送る環境を整えることができました。不登校傾向の児童生徒に対しては、スクールソーシャルワーカーや教育支援センター指導員、不登校支援コーディネーターが学校内外の支援者と連携を図り対応しています。配慮を要する児童生徒は家庭環境や社会状況の複合的な課題から年々増加しており、学校支援員の配置要望が高まる可能性があるため、子どもの状況や学校の実情に配慮した適正人員の配置ができるようにする必要があります。



令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書 ページ	192
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	コミュニティスクール事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,871,000	3,990,683	0	880,317	81.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,007,500	左記の内訳	ふるさと寄附基金繰入金	4,000,000		
		その他雑入(学校教育課)	7,500		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

児童・生徒の生きる力を育むために、地域全体で学校を支援することを目的に、学校が必要とする支援について地域住民がボランティアとして活動しています。

- 地域コーディネーター(小中学校に配置 29名) 連絡会議1回開催(※1)  
学校のニーズを把握し、必要なボランティアの派遣及び連絡調整  
(※1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回連絡会議は開催中止
- 地域教育協議会(中学校区単位) 本年度は学校別(小中学校)に1回開催(※2)  
本年度の学校運営、学校支援、学校評価、小中連携、事業の確認等  
(※2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回地域教育協議会は開催中止
- 主な学校支援ボランティアの活動実績

活動内容	活動実績		活動内容	活動実績	
	事業数	決算額		事業数	決算額
読書活動	12	187,260円	部活動指導※	12	1,005,200円
環境整備	6	192,390円	子ども安全・見守り等	14	420,320円
総合的な学習支援	50	820,600円	障害児支援	3	92,340円
			計		2,718,110円

※地域コーディネーター活動謝礼は除く。

### 上記の評価と課題等

平成29年度から「安曇野市コミュニティスクール事業」に名称変更し、これまでの取組みを継承しながら、地域と一体となり、地域の子どもを育む「地域とともに作る学校」を目指しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方々の支援活動を控えなければならない状況となり、コロナ禍における対応が課題となっています。開かれた学校づくりを更に進めるために、現行の組織体制から国型のコミュニティスクールへの移行を次年度に見据えて、学校運営協議会の設置と地域学校協働本部の構築に向け取組みます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課・子ども家庭支援課
係等	教育指導室・子ども家庭相談担当

決算書 ページ	192
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	教育支援センター運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
12,844,000	11,842,494	0	1,001,506	92.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
757,054		不登校児童生徒継続支援事業委託金	757,054		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

教育支援センターは豊科公民館内に設置しており、教育相談室と中間教室（適応指導教室）を運営し、学校と連携しながら児童生徒や保護者等への相談や支援を実施しています。

#### 1 教育相談室の運営状況

- (1) 開室日：月曜日から金曜日（祝祭日・年末年始休みを除く）
- (2) 人員体制：教育相談員4人（常勤1人、非常勤3人）を配置し、各日2人体制で実施
- (3) 令和3年度の相談支援実績

対象者	件数	対象者	件数	対象者	件数	対象者	件数
乳幼児	77	小学生	261	中学生	90	高校生	3
保護者	5	学校職員	1	その他	2	合計	439

#### 2 中間教室（適応指導教室）の運営状況

- (1) 開室日：原則小中学校の登校日
- (2) 人員体制：指導員4名（常勤2名、非常勤2名）を配置
- (3) 利用状況の推移（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生利用者数	13	11	17	15	24
中学生利用者数	14	10	21	18	14
小計	27	21	38	33	38

### 上記の評価と課題等

教育相談室の相談件数は、前年度より大幅に増加しています。前年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、相談件数が減少し、心理検査ができなかったこともあり、令和3年度は教育相談員を増員したことが相談件数に反映されています。

中間教室（適応指導教室）は、年間で38人が通室や相談等で利用し、定期通室者は26人でした。そのうちの15名は学校復帰や進学など、自らの意思により中間教室から移行することができました。

子どものなかには教育支援センターまで通うことが難しい場合もあるため、アウトリーチ支援をするなど、教育支援センターの充実化を図るとともに関係機関とも連携した対応が必要となります。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	192
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
92,391,000	89,583,656	0	2,807,344	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
233,000		感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金	233,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 スクールバス運行事業

市内小(中)学校遠距離通学児童の安全確保のため、スクールバス等の運行を委託しました。  
なお、令和2年度より安曇野市タクシー運営協議会と市内全路線一括契約し、運行しています。

【日数】合計 3,362日 (前年度3,371日)

地域	学校(路線)	基本運行時間	日数
豊科	豊科南小(たつみ原線)	登校2便 下校2便	203
	豊科南小(飯田・真々部線)	登校2便 下校2便	204
	豊科南小(臨時便)	下校1便	128
	豊科南小(応援車両：たつみ原線)	登校2便 下校2便	203
	豊科南小(応援車両：飯田・真々部線)	登校2便 下校1便	203
	豊科東小(大口沢線)	登校1便 下校1便	200
穂高	穂高北小(北穂高・有明線)	北穂高(狐島) 登校2便 下校2便	204
		有明(豊里・小岩岳) 登校2便 下校2便	204
		有明(宮城・立足) 登校2便 下校2便	204
	穂高北小(応援車両)	下校1便	0
	穂高北小(臨時便)	下校1便	69
	穂高西小(低学年)	登校2便 下校2便	204
穂高西小(高学年)	登校2便 下校2便	205	
三郷	三郷小(小倉線)(通常2台運行)	登校2便 下校2便	206
	三郷小(臨時便)	下校1便	95
明科	明南小(大足線)	登校1便 下校2便	205
	明南小(押野線)	登校1便 下校2便	205
	明北小、明科中(潮沢線)	登校2便 下校2便	210
	明北小、明科中(犀川線)	登校2便 下校4便	210

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行しています。  
 利用基準は地域性、地形的なことを配慮し、距離を基準としている学校と、地区を基準としている学校があります。

#### 2 学校行事バス運行事業

学校行事等における児童の送迎を、市所有バス・民間バス借上げにより対応しました。国庫補助金により修学旅行等のバス利用に伴って、増便を手配することができました。新型コロナウイルス感染予防のため一部の行事が中止になり、昨年度に引き続きバス利用数が少なく推移しています。

	市バスの運行(運転委託)		借り上げバス	
	台数	金額	台数	金額
令和3年度	164 台	2,509,650 円	44 台	3,009,230 円
令和2年度	141 台	2,103,200 円	46 台	3,942,620 円

### 上記の評価と課題等

#### <スクールバスの運行>

昨年度に引き続き配車できる車両規格を複数種類用意し、緊急時にも柔軟に対応できる体制を構築しました。また令和2年度から市内全路線を安曇野市タクシー運営協議会と一括契約を締結したため、緊急時にはワンストップで情報共有や指示ができたため、迅速に対応することができました。市所有のスクールバスの老朽化により年度途中で1台廃車としました。今後も安全なスクールバス運行のために計画的に廃車を進めていきます。

#### <学校行事バス>

国の補助金を使用して車両数増の対応をとり、学校行事の移動中の密を避けることにより安心な行事運営が行うことができました。優先的に市バスを利用することで費用の削減ができました。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書 ページ	192
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	学校保健事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
35,084,000	32,449,013	0	2,634,987	92.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 小・中学校保健指導事業

##### (1) 児童生徒の定期健康診断、歯科指導等

種別	決算額		備考
	小学校	中学校	
学校医報酬	8,056,000円	4,813,899円	学校医、学校歯科医、学校薬剤師
学校医健診代替謝礼	—	60,000円	
歯科指導等謝礼	215,289円	64,209円	
看護師謝礼	23,600円	12,980円	
養護教諭補助者等派遣事業謝礼	351,493円	80,175円	

##### (2) 来年度入学児童の就学時健診

種別	決算額	備考
医師謝礼	1,140,000円	
歯科衛生士謝礼	11,331円	
看護師謝礼	20,060円	
健診事務補助者報酬・通勤費	249,877円	報酬219,237円 通勤費30,640円

##### (3) 児童生徒の各種検査

種別	決算額		備考
	小学校	中学校	
尿検査	2,805,165円	1,452,330円	全児童生徒
心電図検査	2,483,754円	1,238,985円	小学1・4年生、中学1年生
血液検査	902,660円	824,010円	小学5年生、中学2年生

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	学校保健事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (4) 飲料水・簡易水道の水質検査、教室内化学物質標準検査等

種別	決算額		備考
	小学校	中学校	
水質検査	809,600円	457,600円	飲料水、簡易水道、プール
揮発性有機化合物濃度測定	88,000円	61,600円	教室内化学物質標準検査

#### (5) 健康診断用機器の点検、修繕

種別	決算額		備考
	小学校	中学校	
点検	322,520円	210,210円	ホジオメータ校正点検 小学校12台（再校正1台含む）、中学校8台
修繕	77,000円	—	ホジオメータ1台

#### 2 教職員健康推進事業

学校関係職員の健康維持のための健康診断、カウンセリング事業等

種別	決算額	備考
学校職員健康管理医謝礼	1,440,000円	産業管理医2人を配置
教職員カウンセリング	74,150円	
教職員ストレスチェック	52,437円	
教職員健康診断	3,424,173円	

### 上記の評価と課題等

児童生徒の健康維持、疾病の早期発見のため、定期健診、各種検査を実施しました。検査結果を基に、学校では必要な児童生徒の家庭に対してかかりつけ医等への受診を勧める「勧奨通知」を出しています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、検診日程が大幅に変更となりましたが、学校や関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・検査機関等）と連携を取りながら健診・検査を行うことができました。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	194
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,614,000	4,932,483	0	681,517	87.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,166,194		住宅貸付料	5,153,450		
		その他雑収入	12,744		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市立学校に勤務する教職員の住環境等整備のために設置している教職員住宅を管理しました。

#### 1 施設管理状況

管理戸数	65戸		
住宅貸付料	5,153,450円		
使用料の月額	5,200円～32,800円		
主な管理経費	施設修繕費	1,495,769円	給排水設備、内外装等の施設修繕
	事務事業委託料	704,000円	未利用用地の測量業務
	工事請負費	1,780,372円	壁紙、フローリング改修工事
入居状況	31戸（令和3年度末）	入居率	47.0%

#### 2 建設償還金

建設償還金については、平成28年度に繰上げ償還により全ての償還が完了しました。

#### 3 施設の整理

公共施設再配置計画に基づく教職員住宅の用途廃止を進めてきました。

令和3年度は、用途廃止のための事前調査として、南中教職員住宅2棟、上原教職員住宅の境界測量を行いました。

### 上記の評価と課題等

自宅からの通勤、民間アパート等を活用する教員の増加、また、管理施設の多くが老朽化している状況の中で、教員住宅のあり方そのものが課題となっています。

令和3年度末の入居率は47.0%と半分以下であり、今後の教職員住宅の用途廃止や、他の用途への用途変更等の有効活用について、関係部署と引き続き取り組みを進めます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当、教育総務係

決算書 ページ	198
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
410,160,000	397,763,817	0	12,396,183	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
106,889,618	左記の内訳	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金	6,757,000	小学校公衆電話料	1,080
		その他雑入(学校教育課)	32,073		
		ふるさと寄附基金繰入金	100,000,000		
		公共施設目的外使用料(学校教育課)	99,465		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

また、小学校情報教育推進事業では、GIGAスクール構想によりふるさと寄付基金繰入金を活用して1人1台端末を購入しました。

#### 1 小学校総務管理費

##### (1) 学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置

小学校に市費職員として、事務員(7人)・庁務員(10人)・学校図書館司書(10人)(会計年度任用職員)を配置し、学校運営の円滑化を図っています。 66,581,520円

事務員・庁務員・学校図書館司書	報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)	66,431,213円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員	費用弁償(出張旅費)	150,307円

##### (2) 主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	15,268,440 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストロブ等

#### 2 市内10小学校の総務管理費

##### (1) 市内小学校の児童数等(R3.5.1現在 クラス数には特別支援学級数を含む)(内R2年度)

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南小学校	681 (681)	29 (28)	穂高西小学校	391 (393)	15 (16)
豊科北小学校	547 (548)	25 (24)	三郷小学校	933 (928)	37 (37)
豊科東小学校	178 (175)	11 (10)	堀金小学校	450 (482)	18 (20)
穂高南小学校	585 (574)	23 (24)	明南小学校	216 (217)	11 (11)
穂高北小学校	667 (674)	28 (29)	明北小学校	96 (105)	8 (8)
			合計	4,744 (4,777)	205 (207)



予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		基本施策	学校教育の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

(2) 各小学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07 報償費	711,684 円	講師謝礼他
10 需用費	111,299,643 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕他
11 役務費	7,753,140 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング他
12 委託料	4,640,350 円	粗大ごみ処理、芝生管理
13 使用料及び賃借料	1,827,471 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17 備品購入費	8,095,783 円	児童用の机椅子、拡大器、階段昇降車他
18 負担金及び補助金	4,020 円	水利組合
合計	134,332,091 円	※10小学校の総額

(3) 学校用地の賃借 4,574,499円

学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

(4) 管理備品等の購入 9,839,361円

石油温風暖房機、印刷機、複合機、消火栓ホース等の更新  
新型コロナウイルス感染防止用備品購入

(5) 災害共済給付掛金 4,429,480円

児童の「学校の管理下」(登下校を含む)における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
4,744人	4,429,480円	366件	541件	3,331,861円

3 小学校情報教育推進事業(学校ICT事業の推進)

- ・ 学校システム管理(委託料) 7,322,700円
- ・ 教育用(パソコン教室)及び校務用パソコン等のリース(借上料) 35,435,916円
- ・ GIGAスクール構想における1人1台端末購入(2,400台)(備品購入費) 107,987,000円

### 上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内10小学校の適正な管理運営を実施しました。児童数については、全体として引き続き減少傾向(R2:4,777人 R3:4,744人 △33人)ですが、地域差も生じています。今後も必要な事業について、学校の状況を把握しながら推進する必要があります。

文部科学省から示されたGIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境整備を行いました。今後は、導入したICT機器を活用した教育の推進を図っていきます。

学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書 ページ	200
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
111,985,000	109,901,415	0	2,083,585	98.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,234,654	左記の内訳	理科教育設備整備費補助金	611,000	要保護児童生徒援助費補助金	34,000
		特別支援教育就学奨励費補助金	3,025,000		
		被災児童生徒就学等支援事業補助金	68,000		
		指定寄附金	2,496,654		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 小学校就学援助事業

(1) 要保護・準要保護児童生徒就学援助費 40,811,278円

経済的理由によって就学が困難と認められる児童に対して就学援助費を支給しました。

対象経費：学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護児童		準要保護児童		合計	
3人	68,070円	521人	40,743,208円	524人	40,811,278円

※要保護児童の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2）

※要保護児童は修学旅行費のみが対象

※準要保護のうち被災児童 1人、支給額 71,500円（県補助率10/10）

(2) 特別支援教育就学援助費 対象児童数：154人 支給額：6,715,202円

特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費：学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

#### 2 小学校外国語指導講師配置事業

A L T及び日本人外国語教育コーディネーターを配置することにより、外国語英語教育の推進を図っています。

A L Tの配置	4人	19,536,000円
外国語教育コーディネーターの配置	2人	5,087,301円

#### 3 小学校教科用指導書等購入事業

道徳教材資料あけぼの（児童用）の購入他 26,085円

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 市内10小学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
11 需要費	14,973,248 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
18 備品購入費（教材）	8,949,231 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、サッカーゴール、滅菌庫、体育用マット等
18 備品購入費（図書）	8,220,592 円	図書配備図書 達成率118.37%
合計	32,143,071 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対する達成率

### 上記の評価と課題等

児童が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、生活困窮世帯に対し就学援助の継続は今後も重要な市の施策であり、また、東日本大震災をはじめとする大規模災害の被災児童に対する就学援助は国の施策と連動して実施していく必要があります。

今後も経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、高額な備品（楽器など）で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	200
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
372,000	339,213	0	32,787	91.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 言語障がい通級指導教室「ことばの教室」、LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営  
 ※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

- (1) 言語障がい通級指導教室「ことばの教室」

設置校：穂高北小学校1教室

「ことばの教室」は、通常の学級に在籍している言語障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員1人が実施しています。

- (2) LD等通級指導教室「まなびの教室」

設置校：穂高北小学校2教室、三郷小学校1教室 サテライト校：豊科北小学校1教室

「まなびの教室」は、令和3年度から三郷小学校が設置校、豊科北小学校がサテライト校になりました。通常の学級に在籍している情緒障がいや学習障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員3人が実施しています。また、グループソーシャルスキルトレーニングを行うために、市費補助指導員1人を配置し、グループ指導を行いました。

- 2 令和3年度通級及び相談支援実績

	通級人数	グループSST	教育相談
ことばの教室	19人		9人
まなびの教室	41人	2人	40人
小計	60人	2人	49人
合計			111人

### 上記の評価と課題等

令和3年度から三郷小学校にLD等通級指導教室が設置され、これまでよりも支援件数が増加しました。ことばの教室とまなびの教室への通級及び相談支援件数は延べ111人になり、助言や指導により児童の主訴改善を図りました。

発達障がいや学習外障がい等の様々な理由からコミュニケーションや学びづらさに悩みを抱える児童の相談が増えており、在籍校や家庭等とより連携した対応が求められています。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	200
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
37,817,000	36,764,059	0	1,052,941	97.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内小学校10校について、児童の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

#### 1 施設修繕 9,803,151円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	9件	1,025,937円	穂高西小学校外
空調設備修繕（エアコン）	2件	1,821,380円	豊科東小学校外
雨漏・漏水修繕	4件	735,020円	豊科北小学校外
その他修繕	58件	6,220,814円	

#### 2 遊具点検業務の実施 484,000円

#### 3 業務委託 4,330,340円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	21件	861,380円	シルバー人材センター外
ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄処理	2件	448,800円	中間貯蔵・環境安全事業(株)
設計監理業務委託	7件	2,079,000円	豊科北小学校外
その他業務委託	5件	941,160円	

#### 4 工事請負費 14,830,625円

主な工事	件数	決算額	実施校
体育館・プレイルーム床改修	1件	4,664,000円	豊科北小学校
特別支援教室等エアコン設置	1件	2,970,000円	明南小学校
給食コンテナ室改修	1件	2,860,000円	穂高南小学校
その他工事	14件	4,336,625円	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

## その2

### 上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来 of 事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では下記表で示す点検業務を着実に実施し、活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

#### ○ 学校施設の点検業務

項目		頻度
建築基準法12条点検	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	3年に1度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
遊具点検	小学校内の遊具の安全点検	毎年

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	202
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
52,030,000	14,459,500	37,350,000	220,500	27.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,350,000		学校施設改修事業(補正予算債)	3,500,000		
		学校施設改修事業(防災・減債、国土強靱化緊急対策事業)	6,100,000		
		学校施設環境改善交付金	5,750,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

豊科南小学校：空气中総繊維数(アスベスト)調査を行いました。  
 三郷小学校：長寿命化改良工事における実施設計のための基礎調査として、校舎の耐力度調査を実施しました。

【繰越明許事業】 学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和4年度に繰越  
 豊科南小学校：南校舎の男女共用トイレを男女専用への改修及びエアコンが未設置の特別支援教室にエアコンを設置する工事です。  
 豊科北小学校：エアコン未設置の特別支援教室にエアコンを設置する工事です。

1 業務委託 14,459,500円

業務名	決算額
豊科南小学校空气中総繊維数調査業務委託	709,500円
三郷小学校改修事業 耐力度調査業務委託	13,750,000円

### 上記の評価と課題等

豊科南小学校及び三郷小学校については、今後の長寿命化改良及び老朽化改修工事のための基礎調査として実施いたしました。  
 この結果に基づき、今後の長寿命化改良及び老朽化改修工事のための設計業務ができるとともに、適切な工事施工が可能となります。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	202
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0190080	【明許】明北小学校施設改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
20,097,000	19,195,000	0	902,000	95.5%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,735,000		学校施設環境改善交付金(明許分)	6,335,000		
		学校施設改修事業、防災・減災国土強靱化(明許分)	12,400,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

明北小学校の防火シャッターが設備の老朽化により、誤作動及び火災時に適正に作動が行われな  
い恐れがあること、また、防火設備点検においてシャッターの防煙機能が不足しており、火災時  
における児童の安全確保が確実にできない状況であったことから、防火シャッターの改修工事を  
実施しました。

1 設計監理委託 330,000円

2 工事請負費 18,865,000円

### 上記の評価と課題等

火災時などにおける、延焼の防止及び学校内への煙の充満を防ぐことができ、児童の安全確保及び学  
校の防災機能の強化を図ることができました。



令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当、教育総務係

決算書 ページ	202
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
222,428,000	209,191,884	0	13,236,116	94.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,734,816	左記の内訳	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金	4,342,000	公共施設目的外使用料(学校教育課)	80,455
		中学校部活動指導員任用事業補助金	1,238,000		
		その他雑入(学校教育課)	6,831		
		中学校公衆電話料	67,530		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

#### 1 中学校総務管理費(一括管理)

##### (1) 学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置・中学校部活動指導員

中学校に市費職員として、事務員(3人)・庁務員(7人)・学校図書館司書(7人)(会計年度任用職員)を配置し、学校運営の円滑化を図っています。 41,320,431円

事務員・庁務員・学校図書館司書	報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)	38,980,012円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員	費用弁償(出張旅費)	321,714円
中学校部活動指導員	報酬・費用弁償(通勤費)	2,018,705円

##### (2) 主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	11,458,040円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ等

#### 2 市内7中学校の総務管理費

##### (1) 市内中学校の生徒数等(R3.5.1現在 クラス数には特別支援学級数を含む)(内R2年度)

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南中学校	318 (311)	13 (13)	三郷中学校	474 (507)	20 (21)
豊科北中学校	357 (355)	16 (16)	堀金中学校	289 (304)	12 (12)
穂高東中学校	482 (478)	19 (19)	明科中学校	191 (189)	9 (9)
穂高西中学校	396 (410)	16 (16)			
			合計	2,507 (2,554)	105 (106)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

(2) 各中学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07 報償費	462,000 円	講師謝礼他
10 需用費	67,734,419 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕他
11 役務費	6,129,903 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング他
12 委託料	2,619,120 円	粗大ごみ処理、芝生管理
13 使用料及び賃借料	803,415 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17 備品購入費	2,289,167 円	児童用の机椅子、拡大器、階段昇降車他
合計	80,038,024 円	※7中学校の総額

(3) 学校用地の賃借 1,629,198円

学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

(4) 管理備品等の購入 10,545,447円

石油温風暖房機、印刷機、複合機、消火栓ホース等の更新  
新型コロナウイルス感染防止用備品購入

(5) 災害共済給付掛金 2,340,580円

生徒の「学校の管理下」（登下校を含む）における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
2,508人	2,340,580円	241件	450件	3,411,555円

3 中学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）

- ・学校システム管理（委託料） 5,029,310円
- ・教育用（パソコン教室）及び校務用パソコン等のリース（借上料） 24,625,980円
- ・電子黒板リース（126台）（借上料） 12,336,624円
- ・中学校7校デジタル教科書（指導者用）の購入 9,748,200円

### 上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内7中学校の適正な管理運営を実施しました。生徒数は、全体として引き続き減少傾向（R2：2,554人 R3：2,507人 △47人）ですが、地域差も生じています。今後も必要な事業について、学校の状況を把握しながら推進する必要があります。GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書 ページ	204
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
118,340,000	115,675,293	0	2,664,707	97.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,962,000		要保護児童生徒援助費補助金	58,000	被災児童生徒就学等支援事業補助金	117,000
		特別支援教育就学奨励費補助金	1,968,000		
		理科教育設備整備費補助金	819,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 中学校就学援助事業

(1) 要保護・準要保護児童生徒就学援助費 37,701,121円

経済的理由によって就学が困難と認められる生徒に対して就学援助費を支給しました。

対象経費：学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護生徒		準要保護生徒		合計	
3人	116,286円	324人	37,584,835円	327人	37,701,121円

※要保護生徒の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2）

※要保護生徒は修学旅行費のみが対象

※準要保護のうち被災生徒 1人、支給額 120,668円（県補助率10/10）

(2) 特別支援教育就学援助費 対象生徒数：74人 支給額：4,457,797円

特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費：学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

#### 2 中学校外国語指導講師配置事業

市内中学校7校にALTを配置するほか、各校で英会話の課外授業を実施することにより、外国語（英語）教育の推進を図っています。

ALTの配置	7人（各校1名）	34,188,000円
英語課外授業の実施	59名（各校参加生徒数合計）	927,960円

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 中学校教科用指導書等購入事業

同和教育副読本「あけぼの」（中学生用）の購入 1,429,000円

#### 4 市内7中学校

学校に必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
11 需要費	15,651,741 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17 備品購入費（教材）	7,214,933 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、卓球台、マシン、体育用マット、CDプレイヤー等
17 備品購入費（図書）	5,925,396 円	図書配備図書 達成率108.79%
合計	28,792,070 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対する達成率

#### 5 中学生海外ホームステイ交流派遣事業（新型コロナウイルス感染症の影響で渡航中止）

### 上記の評価と課題等

生徒が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、生活困窮世帯に対する就学援助の継続は今後も重要な市の施策であり、また、東日本大震災をはじめとする大規模災害の被災生徒に対する就学援助は国の施策と連動して実施していく必要があります。

就学援助のうち、要保護・準要保護児童生徒就学援助費は、生徒数が昨年度からわずかに減少しています。今後も学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、高額な備品（楽器など）で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	204
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
76,000	72,340	0	3,660	95.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営

※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

設置校：穂高東中学校1教室 サテライト校：三郷中学校1教室

通常の学級に在籍している情緒障がい・発達障がい・学習障がい等を有する生徒に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導を通級指導教室にて実施しています。

県から担当教員1人が配置され、相談や通級指導にあたりました。

予算は消耗品のみであり、教室運営のために必要な教材を購入しました。

令和3年度は16人が通級し、その他に体験通級や他校に出向く巡回相談を実施しました。

### 上記の評価と課題等

中学校では通常学級の授業や部活を大切にしている生徒もいるため、学校生活に配慮しながら通室指導を実施しました。これまでの実績により、令和4年度からサテライト校の三郷中学校が設置校となり、通級指導や巡回相談等の対応できる件数が増えるため、効果的に運用できるよう努めます。また、通級指導教室での支援は、その場だけで完結せず、担任や学級、家庭等と連携することでより効果を発揮することできるため、支援者と連携を図る必要があります。

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	204
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
23,320,000	22,216,243	0	1,103,757	95.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内中学校7校について、生徒の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

#### 1 施設修繕 11,550,850円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
教室・廊下床修繕	2件	4,763,000円	三郷中学校外
校舎外壁修繕	2件	1,513,490円	明科中学校外
雨漏・漏水修繕	15件	1,265,273円	穂高西中学校外
その他修繕	67件	4,009,087円	

#### 2 業務委託 2,396,103円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	15件	354,558円	シルバー人材センター外
設計監理業務委託	3件	990,000円	堀金中学校外
その他業務委託	4件	1,051,545円	

#### 3 工事請負費 7,900,048円

主な工事	件数	決算額	実施校
床改修工事	1件	3,465,000円	三郷中学校
中継灯油タンク改修工事	1件	1,286,747円	明科中学校
換気扇・網戸設置工事	3件	581,169円	豊科北中学校外
その他工事	8件	2,567,132円	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

### 上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来 of 事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では下記表で示す点検業務を着実に実施し、活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

#### ○ 学校施設の点検業務

項目		頻度
建築基準法12条点検	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	3年に1度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年

令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	204
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
82,014,000	37,296,000	43,510,000	1,208,000	45.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,649,000	左記の内訳	学校施設環境改善交付金	8,049,000		
		学校施設改修事業(防災・減債、国土強靱化緊急対策事業)	13,600,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	20,000,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

- 1 豊科南中学校：学校環境改善及び学校機能強化のためプール槽、フェンス、管理棟の塗装改修工事を実施しました。  
 堀金中学校：令和4年度に実施するトイレ改修工事の実設計を行いました。  
 【繰越明許事業】 学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和4年度に繰越  
 堀金中学校：中校舎1階・2階のトイレについて、和式トイレから洋式トイレ化し、壁床材を、  
 タイル張りからビニールクロス張りに改修する工事を行います。

(1) 業務委託 1,045,000円

業務名	決算額
豊科南中学校プール改修、堀金中学校トイレ改修設計監理業務	1,045,000円

(2) 工事請負費 9,856,000円

工事名	決算額
豊科南中学校プール改修工事	9,856,000円

- 2 明科中学校グラウンド用地買収事業 26,395,000円  
 明科中学校グラウンドの借地について、買収を行い市有地としました。(地権者2名)

### 上記の評価と課題等

老朽化していたプール設備について、改修を行うことでプール設備の機能強化とプール内の環境改善を図ることができました。  
 明科中学校グラウンド内の一部借地について買取りを行うことで、明科中学校敷地のすべてが市有地となり、安定的使用を図ることができました。



令和4年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	206
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0190090	【明許】豊科南中学校施設改修事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
13,306,000	8,723,000	0	4,583,000	65.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,811,000		学校施設環境改善交付金(明許分)	2,711,000		
		学校施設改修事業、防災・減災国土強靱化(明許分)	5,100,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

豊科南中学校トイレ改修工事二期工事として、洋式化されていない北校舎1階・2階の女子トイレを和式から洋式トイレに改修し、また、タイル張りの湿式トイレをビニールクロス張りの乾式トイレへ改修する工事を行いました。

1 設計監理委託 363,000円

2 工事請負費 8,360,000円

### 上記の評価と課題等

近年のトイレの洋式化に伴い、公共施設においても洋式トイレ化を図る必要があります。また開校当初からトイレの改修がされいないため、臭気や湿気など衛生環境上望ましい状況でなかったため、改修することにより、衛生環境の改善や学校施設の機能強化を図ることができました。

令和4年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	194
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
181,228,000	178,266,932	0	2,961,068	98.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 市内4学校給食センターの運営体制  
4学校給食センターの運営に係る人件費等の適正な執行により円滑な給食運営が行えました。

	正規職員	会計年度任用職員	県栄養士	合計
北部学校給食センター	1人	22人	2人	25人
堀金学校給食センター	1人	13人	1人	15人
中部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
南部学校給食センター	1人	20人	2人	23人
合計	4人	78人	7人	89人

2 地産地消の推進

- (1) 地産地消の推進を図るため、月1回「安曇野の日」を設定し、わさびコロケやりんごナポリタンなどの地元産食材を使用した献立、また、郷土食や行事食を取入れた献立を提供できました。更に地元縁の有名店「新宿中村屋」の中村屋カレーを年3回学校給食で提供できました。  
(2) 生産者団体（農業者）及びJA等と地域食材について情報交換を行い、給食で季節を感じることができる地元産農作物の活用に努めることができました。

3 安全な食材への取り組み

児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供するため、各給食センターで生産地の確認や成分表による含有物質の確認を行うなど、給食として提供する食材の安全性を確認しました。

4 給食費会計の公会計化

学校給食費会計による費用負担の公平性、会計の透明性、事務全体の合理化を進めるために、令和4年度に給食費情報管理システムから給食費会計公会計化へのスムーズな移行ができるよう1年間を通して事前準備を進めてきました。

5 学校給食費の徴収

令和4年度から始まる給食費会計の公会計化に伴い、各給食センターで同様に処理することができる給食費情報管理システムは令和3年度で終了となりますが、保護者からの照会や問い合わせ等に対して迅速に対応することができました。

### 上記の評価と課題等

学校給食費会計の令和4年度からの公会計化に伴い、費用負担の公平性、会計の透明性、事務全体の合理化を更に進めます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	194
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部給食センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
48,563,000	46,183,374	0	2,379,626	95.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
19,222		食用廃油売渡し収入	19,222		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 施設管理、衛生管理の取り組み

##### (1) 施設管理

北部給食センターは平成24年に稼働し、排水処理装置及び厨房機器の老朽化による故障が増えてきておりますが、保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し修繕等の対応をしています。

##### (2) 衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しました。

#### 2 食育に関する取り組み

##### (1) 給食だよりの発行、地産地消の推進

その日の食材の特徴、豆知識「きゅうしょくひとくちメモ」を掲載した献立表を各家庭へ提供し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。

栄養士と調理員が毎年行っている学校訪問は、コロナ感染予防対策のため、児童・生徒へのきめ細かい食育・給食指導を行うことができませんでした。

また、地産地消を念頭に、お米は地元穂高産を使用、地元野菜の購入等、安心・安全な食材を給食に提供しました。

##### (2) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

コロナ感染予防対策のため、学校の行事が中止になる中、保護者による視察1件と職場体験で中学生2名の受け入れを行いました。

#### 3 アレルギー対応

食物アレルギー性疾患の児童・生徒11名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。

また、アレルギー室、一般の調理室とも連携を図り、調理過程でのアレルギー食材混入防止対策が定着できました。

学校協力のもと中途からの児童、生徒にも三者協議を経てスムーズに対応食の提供ができました。

### 上記の評価と課題等

コロナ感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安心・安全でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

今後、施設及び設備等の経年劣化による不具合、故障等が発生する割合が高くなるため、補修、修繕等の費用が増えることが見込まれ、特に厨房機器等の更新が必要となってきます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	196
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
27,102,000	24,369,304	0	2,732,696	89.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,290		食用廃油売渡し収入	4,290		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 施設経営、衛生管理の取り組み
  - (1) 施設管理  
堀金学校給食センターは、平成17年に稼働し、施設及び設備等にも老朽化による不具合・故障等が発生しましたが、施設及び設備等保守点検業務を委託する中で、修繕等の初期対応を行いました。
  - (2) 衛生管理  
食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に、調理前食品の衛生管理を徹底しました。
- 2 食育・地産地消の取組み及び推進
  - (1) 食育の推進  
毎月の献立表に給食だよりを掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信すると共に、各クラスに「安曇野の日」給食の特色情報等を提供するお便り（ハッピーキッチン）を随時発行しました。
  - (2) 地産地消の推進  
地元農家より出荷された農産物を給食として提供しました。  
また、コロナ禍のため、生産者が小・中学校の各クラスに入っていただく交流給食会を開催することができませんでした。
  - (3) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ  
給食に対する理解を深めていただくことを目的として毎年実施している小・中学校の保護者等の視察及び試食会の受け入れは、コロナ感染予防対策のため行うことができませんでした。  
中学2年生の体験学習では、直接の受け入れができませんでしたでしたが、センターの写真を中学生が動画にし、栄養教諭と所長で中学へ出向き、オンラインでの学習を行いました。
- 3 アレルギー対応  
食物アレルギー性疾患のある児童・生徒4名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うと共に、アレルギー室のみならず一般調理室とも連携を取り、調理過程でのアレルギー物質混入防止対策が定着できました。

### 上記の評価と課題等

地元直売所より季節食材（農産物等）の納入を受け、給食として提供しました。また、コロナ感染予防対策のため、生産者と児童・生徒と一緒に給食を食べる場（交流給食会）を開催することができませんでした。今後とも地元生産者と連携して地産地消と食育を進めます。  
施設及び厨房設備等の経年劣化による不具合・故障等が発生する割合が高くなるため、修繕等の費用が増えることが見込まれます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	196
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
49,047,000	48,556,245	0	490,755	99.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
121,393	左記の内訳	太陽光発電売電収入	99,036		
		食用廃油売渡し収入	22,357		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 施設管理、衛生管理の取り組み

##### (1) 施設管理

中部学校給食センターは、平成19年8月に稼働し、施設及び設備等にも老朽化による不具合・故障等が発生しましたが、施設及び厨房機器等保守点検業務を委託する中で、修繕等の初期対応を行い、速度調整機能付ミキサーを更新しました。

##### (2) 衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しました。

#### 2 食育に関する取り組み

##### (1) 給食だよりの発行、地産地消の推進

毎日発行する「きゅうしょくものしりだより」に給食に関する特色ある情報を掲載し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。

また、地元農家により出荷された農産物を使用した安心・安全な給食を提供できました。

なお、コロナ感染予防対策のため、栄養士と調理員が毎年行っている学校訪問が2年続けて実施できず、児童・生徒へのきめ細かい食育・給食指導を行うことができませんでした。

##### (2) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

給食に対する理解を深めていただくことを目的として毎年実施している小・中学校の保護者等の視察・試食会の受け入れは、コロナ感染予防対策のため2年続けて行うことができませんでした。

#### 3 アレルギー対応

食物アレルギー性疾患のある児童・生徒12人へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食あるいは、代替食）の提供を行うと共に、アレルギー調理室のみならず一般調理室とも連携を取り、調理過程でのアレルギー食材混入防止策を徹底しました。

年度中途からの児童・生徒へのアレルギー対応食の提供は、学校協力のもと三者協議を経て、スムーズな対応食への移行ができました。

### 上記の評価と課題等

コロナ感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、引き続き安心・安全でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

今後、施設及び設備等の経年劣化による不具合、故障等が発生する割合が高くなるため、補修、修繕等の費用が増えることが見込まれ、特に厨房機器等の更新が必要となってきます。

令和4年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	198
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部給食センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
47,631,000	47,131,068	0	499,932	99.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
156,670		太陽光発電売電収入	147,595		
		食用廃油売渡し収入	9,075		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 施設管理、衛生管理の取り組み
  - 施設管理
 

南部給食センターは平成19年8月に稼働しており、施設及び厨房機器の老朽化による不具合、故障等が発生してきています。そのような状況の中、年1回の保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し、修繕等の対応が出来ました。
  - 衛生管理
 

毎日、職員の健康状態を把握し、コロナ感染症対策や調理従事者を介しての食中毒発生を予防しました。また、来所者にも過去7日間の健康チェックを求めるなど予防策を実施しました。
- 食育に関する取り組み
  - 給食だよりの発行、地産地消の推進
    - 食材の特徴、調理する過程及び食材クイズ等を記載した「きゅうしょくゆうびん」を毎日発行しました。
    - J Aを通して市内の野菜生産農家より、安心・安全な野菜を購入し、給食用食材として利用し提供できました。特に主食の米は全量安曇野産を使用しています。
    - なお、コロナ感染予防対策のため、栄養士と調理員が毎年行っている学校訪問が実施できず、児童・生徒へのきめ細かい食育・給食指導を行うことができませんでした。
  - 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ
 

給食に対する理解を深めていただくことを目的として毎年実施している小・中学校の保護者等の視察・試食会の受入れは、コロナ感染予防対策のため行うことができませんでした。
- アレルギー対応
 

食物アレルギー性疾患の児童11名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食あるいは代替食）の提供を行いました。

また、アレルギー室のみならず一般の調理室とも連携が取れ、調理過程でのアレルギー食材の混入防止策が定着できました。

### 上記の評価と課題等

コロナ感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安心・安全でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

今後、施設及び設備等の経年劣化による不具合、故障等が発生する割合が高くなるため、補修、修繕等の費用が増えることが見込まれ、特に厨房機器等の更新が必要となってきます。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	208
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
315,557,000	312,633,057	0	2,923,943	99.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会教育の推進を図り、活力ある人づくり地域づくりに資するため、次の事業を行いました。

#### 1 社会教育委員

社会教育法に基づき、社会教育に関するあらゆる面において指導・助言等をいただくため社会教育委員12名を置き、各種事業について協議しました。

事業名	内容	時期
(1) 安曇野市社会教育委員の会議	社会教育に関する事業計画及び事業報告等について協議	6月
		11月
		12月
		3月
(2) 中信地区社会教育委員連絡協議会 安曇野市ブロック研修	「あづみの学校ミュージアム」見学、研修	12月

#### 2 生涯学習推進計画

平成30年3月に策定された第2次安曇野市生涯学習推進計画（平成30年度～令和9年度）は、「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」を基本理念に学習機会の充実と学習成果の活用に関する65の施策項目が掲げられています。

本計画の推進にあたり、生涯学習推進市民会議を開催し、令和2年度重点項目の進捗状況を確認し、その効果の評価及び検証を行うとともに、令和3年度の重点項目として冊子『生涯学習情報』の発行や地域文化祭の開催など25項目を掲げ施策指標及び成果指標を設定し、各施策の推進に取り組みました。

### 上記の評価と課題等

社会教育委員の会議において、生涯学習課及び文化課所管の事業計画や事業報告について協議し、各種事業の改善につなげることができました。

第2次安曇野市生涯学習推進計画は、65施策項目の中から年度ごとに重点項目を決め、施策指標・成果指標に各種事業への参加者数や参加者アンケートによる満足度等の具体的な数値を設定することで、効果的かつ効率的に推進することができました。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	208
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,956,000	2,376,620	0	579,380	80.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会の実現に向け各種事業に取り組みました。

- 1 生涯学習講座実施事業
  - (1) 市民大学講座 信州大学編（全5回）  
信州大学との連携協定により同大学の協力をいただき講座を開催しました。  
受講者数：延べ187人
  - (2) 安曇野アカデミー（全5回）  
安曇野市の歴史や文化、伝統など郷土について学ぶための講座を開催しました。  
今年度は「近現代の人物」をテーマに、臼井吉見や千国安之輔、青木祥二郎の生涯について学び、現地学習では高橋節郎記念美術館の見学や沈金作品の制作を体験しました。  
受講者数：延べ114人
  - (3) 学校開放講座（7講座18回）  
市内の小中学校、高等学校の協力により、学校施設を会場に教員が講師となり開催しました。  
受講者数：72人
  - (4) 日本語教室（毎週1回、4地域で実施）  
市内在住の外国人を対象とした日本語教室を市民ボランティアの協力により実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8～9月、1～3月は休講となりました。
  - (5) 日本語教室ボランティア講習会（2回）  
日本語教室のボランティアスタッフを対象に日本語指導のスキルを学ぶための講習会を開催しました。  
受講者数：延べ20人
- 2 社会教育団体支援事業  
各地域芸術文化協会等社会教育団体の運営支援として、826,600円の補助金を交付しました。

### 上記の評価と課題等

新しい生活様式に則り3密回避や感染防止対策を徹底することで、コロナ禍であっても、市民の学びたい気持ちに応えられるよう、安全に生涯学習機会を提供することができました。  
市民ニーズや時代の潮流に即した講座を開催することで多くの参加をいただき、受講者アンケートでは高い満足度を得られました。  
新型コロナウイルスの影響で受講者数が少ない状況が続いています。感染防止対策を含めコロナ禍に対応した講座の開催を続ける必要があります。



令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	218
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	社会教育費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
880,000	669,637	0	210,363	76.1%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,000		人権教育促進事業補助金(県)	40,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

安曇野市人権教育・啓発推進計画(平成19年3月制定)に基づき、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進しました。

#### 1 人権教育推進事業

##### (1) 人権教育推進委員及び人権教育指導員

人権教育推進委員及び人権教育指導員合同会議や5地域人権教育推進協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部地域を除いて書面開催とし、研修会は中止としました。地区公民館の人権学習を支援し、コロナ禍での人権尊重などをテーマに31地区で人権学習会が開催され、480人が参加しました。

##### (2) 企業人権教育推進協議会

36企業70事業所(令和4年3月現在)が加入しています。企業人権啓発講演会はシンガーソングライターの伊藤ひよりさんを講師に招き、性の多様性について学びました。

##### (3) 人権教育集会所の管理

市内3か所の集会所の管理を行うとともに、集会所の今後の方向性について地元地区や関係団体と協議を行いました。

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルスの影響により、予定していた研修会や学習会の多くが中止となりましたが、地域公民館ではコロナ禍での人権侵害の事例を新聞紙面から掲示するなど、身近な人権について啓発展示を行いました。また、より多くの人々が人権を考える機会となるようにと、地区人権学習会の様子を回覧板で回覧する地域もありました。

コロナ禍での差別問題など、人権教育の重要性はますます高まっていますが、新型コロナウイルスの影響により研修会や地区での人権学習会が開催できない状況が続いています。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	220
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
29,724,000	28,846,927	0	877,073	97.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,019,000		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,419,000		
		地域振興基金繰入金	23,600,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 安曇野市公民館の理念の下、5地域の公民館と連携を取り全市的な公民館事業を計画し事業展開を図りました。
- 公民館運営審議会  
安曇野市公民館条例に基づき公民館の各種事業への指導・助言をいただくため、公民館運営審議会（委員13人）を年4回開催し、事業計画や事業報告等について協議しました。
  - 第15回安曇野市公民館大会（中止）  
5月16日（日）に豊科公民館大ホールで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。大会で表彰を予定していた公民館活動推進功労者と地区公民館報の表彰式は期日をあらため、7月9日（金）に本庁舎で開催しました。
  - 公民館報  
市民5人の編集委員の参加により、地域で活躍しているリーダーやグループ、地区公民館の活動紹介などの記事を掲載し年4回発行しました。今年度からカラー発行となり、写真を大きく掲載したり各コーナーを色分けするなど読みやすように改善を図りました。
  - 第11回安曇野市総合芸術展  
期間：3月10日（木）～18日（金）  
会場：豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール  
展示作品数：109点（各地域文化祭に出展された作品から選考）
  - 生涯学習情報  
生涯学習施設の利用案内やリーダーバンク、団体・サークル紹介、おすすめ講座などの情報を掲載した「生涯学習情報～Link～」（春号4月、秋号10月、施設情報版）を発行し、本庁舎や各公民館等に設置しました。また、市ホームページにも掲載し広く周知しました。発行部数約1,600部。
  - 地区公民館支援  
地区公民館活動補助金として98地区公民館を対象に23,602,811円の補助を行い、地区公民館活動を支援しました。また、地区公民館建設補助金として、豊科光地区公民館に410,000円の補助を行いました。

### 上記の評価と課題等

公民館大会内で実施予定だった地区公民館活動推進功労者と地区公民館報の表彰式は別の日に行いました。表彰の機会を設けることで今後の活動の励みとしていただくことができました。公民館報は紙面構成を大幅にリニューアルし、読みやすさを重視しました。リニューアル後の公民館報に関するアンケート調査では、80%以上が「よくなった」と回答しています。行動が制限される日常や新しい生活様式のなかで地域や地区公民館の活動を停滞させないよう、今後も配意・工夫していく必要があります。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書 ページ	220
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110385	豊科公民館管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
18,412,000	16,829,066	0	1,582,934	91.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,223,202		豊科公民館使用料	2,156,190		
		豊科公民館雑入(コピー、自販機等)	67,012		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 概要

施設を快適に利用できるよう日々の清掃、設備の保守点検、修繕等の維持管理を行いました。  
ホールでの使用のため備品としてプロジェクターを購入しました。

#### 2 主な経費

##### (1) 光熱水費 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,781,730	2,281,600	2,604,345

##### (2) 管理委託料 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
9,865,744	10,648,352	10,052,967

##### (3) 備品購入費 プロジェクター（ホール用） 583,880円

#### 3 施設利用者数の推移 (単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
44,480	9,816	13,067

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症対策のため、感染警戒レベルに応じて、安心、安全に利用できるよう施設利用者には検温、マスク着用、手指消毒、換気等の対策を徹底していただきました。

また、座席や机の配置を変えたり、貸館の部屋の変更をお願いするなどして利用者の身体距離の確保を心がけました。

公民館施設や附属する機材・備品を適正に管理しつつ、適切な時期での修繕や更新により施設の長寿命化を図っていく必要があります。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書 ページ	222
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,134,000	3,696,470	0	437,530	89.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,800		豊科公民館雑入(講座受講料)	30,800		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

地域学習や交流の場、地域づくりの拠点としての役割を果たすために、各事業・活動を企画、実施し地区公民館活動の支援を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも関係団体と協議しながら方法を模索し文化祭等の事業を通して公民館の役割を果たすことができました。

#### 2 主な事業

(1) 豊科地域文化祭(10月28日～11月14日) 来場者数：748人

- ・菊花展
- ・短歌大会
- ・華道、書道展
- ・俳句大会
- ・芸能発表会
- ・一般作品展

(2) 主な開設講座

講座名	開催数(回)	参加人数(人)
第58回童謡祭り・第40回作詞作曲コンクール	1	32
出会い・ふれあい・生きがいセミナー	4	71
ふるさと探訪講座(道祖神)	2	32
ICT講座	1	15

(3) 地区公民館支援 役員研修会 開催回数：1回 参加者数：88人

#### 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

- ・球技大会(夏季 ドッジボール、ソフトボール 冬季 ワンバウンドふらば～るバレーボール)
- ・第15回豊科地域さわやか市民運動会

#### 4 主な事業経費

- ・公民館事業報償費(サポート委員謝礼・文化祭等記念品) 247,726円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症対策のため、地区公民館対抗球技大会、運動会を中止としました。文化祭については子どもの参加募集は見合わせ、感染対策を講じながら無事に開催することができました。芸術・文化を愛好する方の交流の場となり、日頃の取組みの成果を発表する場となりました。出展・参加した方からも観覧した方からも大変良かったとの声が多く聞かれました。公民館講座は、室内での子どもを対象としたものなど開催を見合わせたものもありましたが、受講人数を減らし開催時期を調整するなど工夫し、年間を通して生涯学習の機会を提供することができました。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書 ページ	222
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110395	穂高公民館管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
23,123,000	21,709,289	0	1,413,711	93.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,921,486		穂高公民館使用料	1,726,540		
		穂高公民館雑入(コピー、自販機等)	194,946		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 概要

年間を通じて穂高総合体育館及び穂高公民館の日常清掃及び定期床清掃を行い、利用者にとって使いやすい施設となるよう、維持管理を行いました。また、施設及び周辺環境の環境美化にも努めました。

光熱水費の縮減を図るため、節電・節水に努めました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から貸館の自粛要請や休止をしたため、利用料収入は例年と比較して大幅に減少しています。

穂高会館の安全性を確保するための各種法令点検を実施しました。

#### 2 主な経費

##### (1) 光熱水費 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
5,903,789	4,948,030	5,838,754

##### (2) 管理委託料 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
9,266,229	10,355,876	9,418,706

#### 3 施設利用者数の推移

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
31,101	18,651	23,156

### 上記の評価と課題等

体育館アリーナの照明使用については、使用する直前に点灯するなど節電に努めました。しかし、照明及び空調について全館集中管理となっていないため、こまめな確認が必要です。

今後も、適切な維持管理に努め、利用しやすい施設として有効活用を図ってまいります。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書 ページ	224
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,956,000	3,758,299	0	197,701	95.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
73,400		穂高公民館雑入(講座受講料)	73,400		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

穂高公民館事業として、地域住民の親睦や地区公民館の交流機会の提供、また、教養を高めるための講座開催や健康増進に寄与する講座等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる講座がありました。その中でも十分な対策を取り、可能な限り講座を実施しました。

#### 2 主な事業

##### (1) 穂高地域文化祭(10月22日～11月14日)

- ・盆栽・山野草展
- ・総合美術展
- ・芸能祭り
- ・あづみ野菊花展

27団体・252人

来場者数：1,000人

##### (2) 主な開設講座

講座名	開催数(回)	参加人数(人)
健康づくり講座	15	203
文化教養講座	2	80
季節のコンサート	2	170

#### 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

- ・球技大会【バレーボール・ソフトボール大会(夏季)・ソフトバレーボール大会(冬季)】
- ・穂高納涼祭 ・青少年講座(スキー教室)

#### 4 主な事業経費

- (1) 公民館講座関係 550,846円
- (2) 文化祭 698,920円

### 上記の評価と課題等

地区公民館対抗球技大会、穂高納涼祭は新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。公民館講座については、一部中止といたしましたが、開催時期の調整や、人数制限を設けるなどの感染症対策を取ったうえで開催し、地域住民の親睦や地区公民館の交流機会の提供が図られました。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書 ページ	224
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,618,000	8,229,401	0	388,599	95.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,159,478		三郷公民館使用料	865,890		
		三郷公民館雑入(コピー、自販機等)	293,588		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 概要

施設の管理運営事業として、公民館の貸館業務と維持管理を行いました。

#### 2 主な経費

##### (1) 光熱水費

(単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
282,845円	203,590円	93,083円

##### (2) 管理委託料

(単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
4,192,865円	4,677,308円	4,121,515円

##### (3) 三郷公民館借地料

2,673,936円

#### 3 施設利用者数の推移

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
39,424	26,710	39,597

### 上記の評価と課題等

昨年度に比べ施設利用者は増えています。  
施設の適正な管理により、光熱水費、管理委託料は共に前年に比べ低く抑えることができました。  
今後も施設の保守点検など施設の適正な維持管理に留意し、利用者に安心して利用していただけるよう、施設の維持管理に努めます。  
また、施設の長寿命化を図るため、外壁等改修工事を検討します。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書 ページ	224
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,720,000	3,882,995	0	837,005	82.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,250		三郷公民館雑入(講座受講料)	40,250		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

地域が抱える様々な課題への対応などについて、学習機会を企画、提供し事業を行ってきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ公民館事業を実施しました。

#### 2 主な事業

(1) 三郷地域文化祭(10月23日～11月8日)

来場者数：1,269人

- ・文化産業展 出展者数：398人
- ・菊花展 出展者数：12人

(2) 主な開設講座

講座名	開催数(回)	参加人数(人)
ふるさとづくり支援	3	51
生きがい講座	13	99
親子支援講座	5	88

(3) 地区公民館活動支援 役員研修会開催(24回)

「地区公民館の工夫・努力を語り合おう」をテーマに討論

#### 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

- ・球技大会【ソフトボール・ソフトバレーボール大会(春季)・ボッチャ大会(冬季)】
- ・各種講座

#### 4 主な事業経費

- (1) 公民館講座関係 249,203円
- (2) 三郷祭 141,680円

### 上記の評価と課題等

三郷祭は、行政・地区公民館・生涯学習活動グループによって運営委員会が組織されて行事を実施しております。

令和3年度の三郷祭は、ふれあいコンサート・運動会・芸能発表会は中止し、文化産業展・菊花展については実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施した事業は限定されましたが、文化活動等の振興とともに地域住民の親睦と融和に寄与することができました。今後も市民ニーズに沿った講座・研修の充実を図ってまいります。



令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書 ページ	226
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,225,000	3,989,866	0	235,134	94.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,022,407		堀金公民館使用料	1,911,150		
		堀金公民館雑入(コピー)	111,257		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

公民館を快適に利用できるよう、運営・維持管理を行いました。

#### 2 主な経費

##### (1) 光熱水費

(単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
100,537	77,713	89,049

##### (2) 管理委託料

(単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,660,503	2,788,314	2,797,462

#### 3 施設利用者数の推移

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
41,867人	25,368	29,407

### 上記の評価と課題等

前年度に引き続き、貸館に際しては、利用者に対し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での利用をお願いしました。前年度に比べ692件(28.7%)、4,039人(15.9%)の利用者増となりました。

施設設備(サッシ・ブラインド等)に故障・動作不良が出ているため、計画的に整備・補修を行い、利用者が気持ちよく利用できるように、適切に管理します。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書 ページ	226
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110420	堀金公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,927,000	3,283,948	0	643,052	83.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
104,400		堀金公民館雑入(講座受講料)	104,400		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 概要

地域の学習や交流の場であるとともに、地域づくりの拠点としての役割を果たすため、多様化する市民ニーズに対応する各種の事業の企画や実施及び地区公民館の支援を行いました。

#### 2 主な事業

(1) 堀金地域文化祭（11月13日～14日）

- ・ 芸能発表会（12団体/計133人）
- ・ 作品展（32団体・1個人/計1,435人）

来場者数：600人

(2) 開設講座

講座名	開催数(回)	参加人数(人)
地域文化・歴史講座	15	510
趣味の講座	29	327
健康づくり講座	9	57
子ども公民館講座	3	92

(3) 公民館報「常念の里」発行 12回

(4) 地区公民館支援 役員研修会 開催回数：3回 参加者数：86人

#### 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した事業

- ・ スポーツ大会（一周駅伝大会・みんなでスポーツin常念・冬季スポーツ大会）
- ・ 納涼祭（常念フェスティバル）

#### 4 主な事業経費

(1) 公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭等記念品） 247,726円

### 上記の評価と課題等

開催した公民館講座には多くの参加者がありました。令和4年度以降も地域を学ぶ講座などを開催し、地域づくり・人づくりを進めます。

体育事業は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクから、その多くが中止となりました。令和4年度は、感染対策を講じた上で、安全、安心に開催できる体育事業の実施を検討します。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書 ページ	226
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110425	明科公民館管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,261,000	3,885,652	0	375,348	91.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,126,970		明科公民館使用料	963,970		
		明科公民館雑入(コピー等)	163,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

施設の修繕、定期的な点検及び定期清掃やクリーニングを実施し、利用しやすい環境づくりに努めました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用人数等の利用制限を行ったが、通年にわたり貸館が行われたため、利用団体数は対前年比121.7%、利用者数は対前年比140.6%になりました。

#### 2 主な経費

##### (1) 光熱水費 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
25,319	15,481	15,995

##### (2) 管理委託料 (単位：円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,390,861	2,530,572	2,520,025

#### 3 施設利用者数の推移

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
24,365	12,693	17,847

### 上記の評価と課題等

市内全域からの利用が定着してきています。しかし、明科地域の利用団体は、高齢化による会員数の減少傾向が見受けられ、今後活動の低下が心配されます。

公民館施設や機材・備品の的確な管理に努めていますが、耐用年数を超える機材等の適切な時期に更新を行うことが必要と思われます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用人数等の利用制限を行いました。通年にわたり貸館が行われたため、利用者数は対前年比140.6%になりました。

令和4年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書 ページ	226
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,569,000	3,227,292	0	341,708	90.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,098		明科公民館雑入(講座受講料)	40,098		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、感染拡大期には、事業を中止しましたが、感染リスクが比較的低いと推察される事業について、基本的な感染対策の徹底、サーキュレーターの利用による効率的な換気を行い、事業を実施してきました。

#### 2 主な事業

##### (1) 明科地域文化祭(11月5日～11月7日)

- ・展示発表(20団体・9個人) 出展者数 : 711人
- ・お楽しみサロン(参加団体:8団体) 出場者数 : 81人
- ・芸能発表会(参加団体:19団体) 出演者数 : 115人

##### (2) 開設講座

講座名	開催数(回)	参加人数(人)
地域文化・歴史講座	9	233
ゆとりと生きがい講座	5	220
地域食材活用講座・ICT講座など	10	201

#### 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

あやめスポーツ大会、明科地域市民運動会、あやめ杯ワンバウンドマッチ、各種14講座

#### 4 主な事業経費

- ・文化祭報償費 : 149,437円
- ・公民館総合保障制度加入掛金 : 194,000円

### 上記の評価と課題等

文化祭は令和2年度に引き続き規模を縮小し、新型コロナウイルス感染症対策を講じることで、展示発表・お楽しみサロンを開催できました。芸術文化団体の活動に一定の貢献が図られました。

安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会が発行した書籍「明科の宝」に基づいた講座を引き続いて開催しました。郷土への理解がより深まりました。

気軽に世代間交流ができる事業を開催することが望まれてきています。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書 ページ	208
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110310	文化振興費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
105,649,000	103,763,400	0	1,885,600	98.2%
特定財源の合計金額	左記の内訳		金額	
4,279,585	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	891,000	博物館等における美術品取得及 び特別企画展開催基金繰入	1,000,000
	交流学习センター講座受講料	89,800	博物館等における美術品取得及 び特別企画展開催基金利子	30,704
	その他教育費雑入(文化課)	215,600	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	3,103
	ちくに生きものみらい基金繰入	403,700	ちくに生きものみらい基金利子	93,074
	美術館グッズ等販売	80,000	高橋節郎記念美術館電気料	1,472,604

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

「第2次文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現に向け諸事業を実施しました。  
 コロナ禍のため中止、延期となる事業もありましたが、感染症対策をとりながら、事業規模を縮小し、諸団体への補助、協働により、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出しました。

#### 1 芸術教育普及事業

- (1) 東京藝術大学との交流事業の開催(楽器演奏指導)  
 感染症対策のため、対象は希望する中学校とし、リモートによる指導としました。  
 第1回：6月12日(土)豊科南中・6月13日(日)穂高西中 第2回：11月13日(土)穂高東中・  
 11月27日(土)堀金中 第3回中止
- (2) 能楽教室の開催 能楽を身近に体験する機会として、平成13年から市内小中学校で開催。  
 6月22日(火)堀金小学校5・6年児童：182人 6月23日(水)豊科北中学校3年生徒：117人
- (3) 新進音楽家オーディション  
 ア 安曇野市新進音楽家オーディション 7月3日(土)一般2組 ジュニア15組17人  
 イ 安曇野新進音楽家コンサート 12月4日(土)出演者2組 入場者69人  
 ウ あづみのジュニアクラシック音楽会 3月19日(土)出演者8組11人 入場者75人  
 エ 0歳からのミニコンサート 第1回8月23日(月)57人 第2回11月19日(金)141人
- (4) 能楽講演会・こども能楽教室発表会 12月11日(土) 来場者69人
- (5) 企画展「交わるアート」①OZ-尾頭-山口佳祐 8月4日(水)～18日(水)  
 ②濱田卓二 3月2日(水)～20日(日)
- (6) 熊井啓監督「日本列島」映画上映会・熊井明子講演会 10月24日(日) 206人
- (7) 長野県芸術監督団事業長野オーガニックAIR 長野県文化振興事業団の事業を招致  
 公演138人 3期のべ20日間の滞在制作の実施
- (8) アウトリーチフォーラム (一財)地域創造の事業を招致  
 ①堀金小学校への出前音楽会 10月27日(水)～29日(金)児童165人  
 ②一般向けコンサート10月30日(土)82人

芸術教育普及事業決算額(4,220,015円)

#### 2 諸団体との協働事業

- (1) 第58回童謡まつり(作詞作曲コンクール表彰式のみ)10月23日(土)補助金：312,685円
- (2) 『安曇野文化』刊行 第39～42号発行 補助金：1,900,000円
- (3) 美術館博物館連携事業  
 ア 美術館等連携事業印刷物等作成・年間行事予定表デザイン印刷業務 委託料164,120円

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		基本施策	芸術文化活動の推進

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

イ ギャラリートークリレー・学校ミュージアム等の実施。

文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施しました。市民特に児童の利用促進につなげることができました。 のべ1,355人

学校ミュージアム 12月2日（木）：穂高東中学校、12月22日（水）・23日（木）：三郷小学校  
ウ 安曇野ミュージアムカードの作成・配布 委託料891,000円

#### 3 財政支援団体への補助金、負担金交付

- (1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金：7,258,000円  
(2) 日展安曇野展負担金 負担金：1,000,000円  
(3) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金：1,140,000円

#### 4 資料受納・収集・整理事務

美術資料等選定委員会の審査を経た美術作品の収集を行いました。

#### 5 ちくにしきものみらい基金充当事業 実施件数16回、参加者数710人

「ちくにしきものみらい基金」を活用し、学級単位で行う自然観察会用のバス代を支出。

ちくにしきものみらい基金充当事業決算額 委託料403,700円

#### 6 博物館・美術館等の管理運営

- (1) 博物館協議会 第1回：5月18日（火） 第2回：10月12日（火） 第3回：3月8日（火）  
登録博物館4館及び類似施設5館の管理運営状況等について協議を行いました。  
(2) 美術資料等選定委員会 10月12日（火）  
豊科近代美術館・田淵行男記念館・高橋節郎記念美術館の資料収集について協議。

#### 7 指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
豊科近代美術館	公益財団法人安曇野文化財団	37,450,000
田淵行男記念館		14,000,000
飯沼飛行士記念館		1,950,000
穂高陶芸会館		7,250,000
高橋節郎記念美術館		22,811,000

#### 8 修繕等

田淵行男記念館入口橋修繕・豊科近代美術館非常用照明器具交換修繕他、経年劣化が認められた施設の修繕を行いました。主な修繕は以下のとおりです。

施設名	修繕等内容	決算額（円）
田淵行男記念館	入口橋修繕	220,000
豊科近代美術館	非常用照明器具交換修繕	842,600
穂高陶芸会館	陶芸窯台車車輪交換修繕	176,000
穂高陶芸会館	外灯LED化修繕	66,000
高橋節郎記念美術館	自動ドア検知センサー交換修繕	77,000
豊科近代美術館	収蔵庫減圧逆止弁交換修繕	64,900

### 上記の評価と課題等

「第2次文化振興計画」に基づき、コロナ禍のもとでも可能な規模に縮小し諸事業を通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出することができました。長野県文化振興事業団や（一財）地域創造の事業を招致し、市民が芸術文化に触れる機会を創出するとともに、文化施設の職員が先進事例を学ぶ研修の機会としました。文化振興の担い手である市民の自主的活動や文化的暮らしの実現に向けた様々な取組みを支援し、連携と参画を進めていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書 ページ	210
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110320	郷土博物館費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
28,083,000	26,104,985	0	1,978,015	93.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
521,950	左記の内訳	郷土博物館等使用料	194,700		
		郷土博物館刊行物頒布代	143,500		
		郷土博物館雑入	55,750		
		ちく生きものみらい基金繰入金	128,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和2年度から、新型コロナウイルス感染症予防のため、夏季と秋季の企画展を合わせて1回にまとめて開催しています。夏季に開催した「満願寺展Ⅱ」及び春季企画展「八面大王と田村麻呂」では、それぞれ従来とは違う視点や新たな見地を示した展示として好評を得ました。

コンパクト展示は全21回、延べ827日間実施しました。パネル等が傷んできた古いものを整理しつつ、掛軸状のバナーに作り変えています。新たに4つのテーマを加え、現在は35のテーマが展示可能です。

このほか、市民団体「平和憲法を活かす安曇野の会」とともに、広島平和記念資料館から借用した広島・長崎の原爆に係る写真等を市内の中学校3校で巡回展示を行いました。ここに安曇野の戦争遺跡を紹介したバナーも加え、生徒の関心を集めました。

豊科郷土博物館の企画展に合わせて展示内容の解説を兼ねた「ふるさと安曇野きのうきょうあした No.24～No.25」各1,000部発行し、来館者等に配布しました。博物館の活動記録を掲載した「年報令和2年度版」は20部を発行し関係者に配布したほか、PDF版をホームページに掲載しました。今後の博物館事業に調査研究成果を活かすため、館長及び学芸員の論文等を記載した「紀要第9号」400部及び博物館ブックレット「人の一生 安曇野 一滴の水」1,000部を発行し、送付及び頒布を行いました。

入館利用者数 豊科郷土博物館8,310人、穂高郷土資料館770人

子ども向けの取り組みについて

ちく生きものみらい基金による自然観察会へ協力 小学校1校3回 児童166人

昔の暮らし体験教室(市内小学校1校 参加総数24人)

感染症予防のため、体験教室のようすを撮影したDVDを貸出し(7校)。

学校出前授業(市内小中学校8校22回 参加総数延べ966人)

レファレンス・その他

市民・観光客からのレファレンス対応・学習支援・博物館実習1人(8月31日～9月9日)

資料の収集・保存・調査・研究・貸出(市内各学校、各報道機関など)

### 上記の評価と課題等

感染症予防の対策のため人数を制限しながら講座等を開催しました。冬季の入館者増を狙った「こたつ講座」は、感染症の拡大により2講座しか開催できませんでした。また学校への出前講座「昔の暮らし体験教室」の代わりに、子どもたちに博物館に来てもらう「昔の暮らし体験教室in博物館」を4回開催し、子ども86人、大人61人の参加がありました。

企画展に関連した講座等を全14回開催し、265人の参加がありました。館長や学芸員が自ら調査したことを話す講座は、スキルアップに資する機会にもなりました。ワークショップ2回、学校関連学習会24回、夏休み子ども講座を14日間開催し、1,050人の参加がありました。

博物館友の会では、着物リメイク部による展示をはじめ、活発に活動しました。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書 ページ	212
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110325	文化財資料センター費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
4,308,000	3,857,919	0	450,081	89.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市文化財資料センターでは、市が所有している考古資料、歴史資料の整理を行うとともに適正な収蔵に努めています。

これらの整理作業は埋蔵文化財報告書の刊行や博物館事業に繋がっています。また、文化財資料センターは、発掘調査時は出土遺物、図面の整理を行う前線基地として機能します。

豊科郷土博物館で開催する企画展や、コンパクト展示等においても、当センター所蔵資料を活用しています。

令和3年度事業 -考古・歴史資料の整理-

発掘・試掘調査等で出土した遺物の洗浄、注記、復元、図化等整理作業を行いました。

歴史資料・書籍等の目録作成を行いました。

### 上記の評価と課題等

当センターは平成24年度に改修工事を行った建物ですが、老朽化による雨漏りが、時折見受けられることから資料への影響が心配されます。今後、必要に応じて施設修繕を検討していきます。

収蔵品の大半は埋蔵文化財の出土遺物ですが、年々増加していますので、収蔵スペースの確保が今後心配されます。



令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書 ページ	212
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110335	貞享義民記念館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
17,134,000	16,408,605	0	725,395	95.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
422,146		貞享義民記念館使用料	255,146		
		義民館刊行物等頒布代	75,000		
		義民館雑入	92,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

企画展は、「こんなに変わったんだ農機具」、「人権ポスターパネル展」、「安曇野から考える人権展」のほか、初めての自主企画「三郷の記憶 三郷の歴史展」を開催しました。また貞享義民の業績や郷土の歴史、民主主義の意義や人権尊重の精神を広く啓発し、教育文化の向上に資するといった貞享義民記念館の使命にふさわしい展示を募集し、出展者と貞享義民記念館の共同で行う企画公募展を全12回開催しました。

講座は「水野氏と松本城下巡り」「古文書講座『赤蓑談』を読もう」のほか、館長が貞享騒動について語る「ふるさとを知る講座」3回を実施しました。

区長会での呼びかけや学校へのチラシの配布等、貞享義民記念館の出前講座をPRし、3ヶ所の地区公民館で出前講座を実施し、市内外の小学校6校に来館していただくことができました。

入館利用者数4,655人

児童・生徒の学習利用485人（小学校6校）

年度初めに「貞享義民見学のしおり」を市内全小学校へ配布

教育関係団体や公民館活動などへの協力（市小中学校職員初任者研修、地区人権学習会等での講師依頼に対応、合計260人の参加）

### 上記の評価と課題等

毎年開催している「おしゅん」朗読会は、新型コロナウイルス感染症予防のため人数を制限して開催、人権・平和学習の一環として松代の象山地下壕を訪ねる臨地学習を計画していましたが、感染症拡大のため中止しました。また地区公民館から出前講座の依頼があったもののうち、3件については中止を余儀なくされました。

城下町巡りと古文書講座は義民館の特色ある講座として定着してきているため、継続していく予定です。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書 ページ	214
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110340	交流学习センター等管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
63,951,000	57,879,837	0	6,071,163	90.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,485,568	左記の内訳	穂高交流学习センター使用料	1,903,200	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,030,312
		三郷交流学习センター使用料	134,030		
		学習館使用料	366,610		
		その他教育費雑入(交流学习センター等)	51,416		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

施設の定期点検や修繕を行い、利用しやすい環境づくりに努めました。

#### 1 交流学习センター及び学習施設利用状況

##### (1) 総入館者数(人)

施設名	令和2年度	令和3年度	比較	割合(%)
穂高交流学习センター	176,868	202,336	25,468	114.4
三郷交流学习センター	61,013	63,037	2,024	103.3
明科子どもと大人の交流学习施設	35,544	53,302	17,758	150.0

##### (2) 稼働率(%)

施設名	令和2年度	令和3年度	比較	割合(%)
穂高交流学习センター	22.47	23.81	1.34	106.0
三郷交流学习センター	25.96	43.57	17.61	167.8
明科子どもと大人の交流学习施設	18.11	24.03	5.92	132.7

稼働率=年間利用時間/年間利用可能時間

#### 2 主な内容・経費

施設修繕費 826,950円(自動ドア部品交換、氷蓄熱空調機部品交換等)  
 光熱水費 15,402,901円  
 管理委託料 19,779,508円(清掃業務、窓口業務、消防用設備点検業務等)

#### 3 指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料(円)
豊科交流学习センター	公益財団法人安曇野文化財団	10,323,000

### 上記の評価と課題等

入館者は、新型コロナウイルス感染症の影響で以前よりは減っているものの前年度よりは増えました。引き続き多くの方に利用していただくため、市民の自発的な活動の場を提供するとともに、利用しやすい施設として適切かつ円滑な管理運営に努めます。

経年劣化に伴い建物や機器の不具合が発生し修繕を必要とすることがあるため、施設の劣化状況の把握や改修等の優先順位付け等により計画的に修繕を行います。

なお、令和3年度より指定管理者制度を導入した豊科交流学习センターは、円滑に運営されています。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書 ページ	214
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110355	文化財保護費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,253,000	6,765,310	0	1,487,690	82.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
263,000		地域伝統芸能等保存事業助成金	263,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### ●文化財保全事業（3,211,526円）

##### 1 文化財保護審議会（審議会3回開催 24,500円）

諮問に係る審議のほか、事業報告を行い文化財保護事業の方向性について審議しました。

##### 2 指定文化財保護のための補助事業（2,647,416円）

（1）無形民俗文化財保存伝承事業…お船祭り、道祖神祭ほか計7件（526,073円）

（2）文化財防災設備設置及び維持管理ほか計6件（54,533円）

（3）修理及び復旧、附帯物修理ほか計3件（2,066,810円）

##### 3 「いわれの地」標柱等建て替え工事（153,340円）

旧町村時代に建立した地域の歴史を標す標柱の建替え、移設、説明版の設置をしました。

標柱建立：2箇所 説明版：1箇所

##### 4 史跡等の維持管理

旧安楽寺六地藏、上原古墳、前の髪古墳、A6号墳他の除草作業等を、市民団体・地区の皆さんの協力をいただきながら実施しました。

#### ●地域史研究と文化財保存・活用（1,152,730円）

##### 1 安曇野市の建造物調査委託業務（497,000円）

信州大学研究推進部産学連携協定に基づき、信州大学工学部建築学科梅干野研究室に、市内の古民家3件と、市内の神社14社の本殿建築の調査をしました。

### 上記の評価と課題等

指定文化財の保護保存について、所有者や管理者等に指導及び助言をしました。前年度同様感染症の流行により、お祭りの実施を見送る地区がありましたが、道具の整備などに補助金交付事業を行い、文化財の保存伝承への支援することができました。また、新たに市の天然記念物に「安曇野のオオルリシジミ」を指定しました。

今後も指定文化財への支援を続けるとともに、地域史研究の成果を市民へ還元し、文化財の保存・継承・保護意識の醸成へとつなげる事業を行います。一方、文化財の管理者、所有者等の高齢化が浮き彫りになっており、今後長期的な視点で文化財の保存活用方法等を検討していく必要があります。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書 ページ	216
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110356	文書館費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
21,604,000	19,926,056	0	1,677,944	92.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
611,970		文書館刊行物頒布代	604,460		
		文書館雑入	7,510		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

前期企画展「多元主義社会を生きる～自由主義擁護の旗手清澤淵の思想を通して～」、後期企画展「古文書に見る江戸時代の安曇野Ⅰ」「『穂高の宝』刊行記念展」を開催し、安曇野ゆかりの先人や、市内に伝えられてきた古文書を紹介する機会を提供することが出来ました。

「戦争という非常時に生きた清澤淵の覚悟」と題して講演会とシンポジウムを開催したほか、全5回の講座を開催しました（参加者 計239人）。また市職員向けに適正な公文書管理に関する研修会「公文書管理の考え方～「面倒くさい」からの脱却～」を開催し、97人の参加がありました。

古文書整理事業（古文書調査員）は33日実施、また臼井吉見文学館の資料整理を29日間実施しました。

開館30周年を迎えた臼井吉見文学館では、吉見の御子息の臼井高瀬氏を講師に招いて記念講演会を開催し、70人の参加が聴講しました。春の講演会では太田市長に講師を依頼し、小説『安曇野』の魅力をお話いただき、150人の参加がありました。また文学館の歩みや収蔵資料をまとめた『臼井吉見文学館30周年記念誌』を発行しました。

令和2年度から『安曇野市誌』の編さん事業に着手しました。市誌編さん委員会を1回、専門調査会（民俗部会）を5回開催し、市内の巡見や聞き取り等の調査を行うとともに、民俗編編さんのスケジュールや民俗資料編の構成を検討しました。

利用者数 1,729人（閲覧・講座・講演会・電話での相談・視察研修等を含む）

利用申請書件数 124件

公開点数(年度末日現在の累積)

公文書 45,777点 (9,780点増加)

地域資料 43,467点 (9,347点増加) 合計 89,244点 (19,127点増加)

### 上記の評価と課題等

市役所の各部署で発行する印刷物や刊行物を保存・公開するため、文書館や図書館へ移管するものの種類や冊数の検討を行いました。また保存年限の満了した公文書の移管の基準「重要文書等の選別基準」を見直し、より実際の業務に沿った形への修正を検討しました。

令和2年度から『安曇野市誌』の民俗編の編さんに着手していますが、感染症拡大の影響から調査が難航しています。今後の感染拡大の状況を注視しつつ、調査を進めます。

令和2年度に穂高古文書勉強会の協力により作成したテキスト「読んでみよう、くずし字」を活用して、初級者向けの古文書講座を開催し、参加者に熱心に学習に取り組んでいただきました。

市民に古文書に対する関心を持ってもらうため、市内3団体の古文書の学習を紹介する「古文書研究発表会」を行い、32人の参加者が聴講しました。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書 ページ	216
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
12,736,000	11,107,893	0	1,628,107	87.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000,000		市内遺跡補助金	1,000,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 発掘調査の報告書を刊行しました（747,120円）  
「令和2年度埋蔵文化財発掘調査報告書」  
「明科遺跡群古殿屋敷第3次発掘調査報告書」  
「穂高古墳群C2号墳 1」
- 文化財保護法に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に関し、発掘・試掘調査、工事立会い等を実施しました。（掘削重機借上料642,400円）  
（1）公共・民間の事業開発に伴う発掘調査、試掘調査  
・発掘調査0件、試掘調査16件  
（2）文化財保護法に基づく事務手続き  
・第94条関係（公共事業）…38件      ・第93条関係（民間事業）…129件  
（3）埋蔵文化財包蔵地の照会…518件
- 遺物整理及び保存処理分析（明科廃寺整理作業員報酬 2,079,215円 保存処理等業務委託料 975,700円）  
発掘調査等により出土した遺物の保存・活用を図るため、遺物整理作業及び保存処理・分析を行いました。また、市教育会から寄贈された金属製品等の保存処理（専門機関へ委託）を行いました。

### 上記の評価と課題等

計3冊の埋蔵文化財発掘調査記録報告書を刊行することができました。埋蔵文化財包蔵地内における開発件数は167件に上りましたが、文化財保護法に基づく届出・通知も適正に処理することができました。今後も引き続き開発側に対し、埋蔵文化財の保護についての研修会等を行うなど、啓発活動を推進していく必要があります。

令和4年度	
部	教育部
課	文化課
係等	図書館係

決算書 ページ	228
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
175,527,000	172,107,849	0	3,419,151	98.1%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,812,895	左記の内訳	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,510,000	図書館コピー使用料	101,275
		市町村振興協会交付金	30,077,692		
		図書カード再発行手数料	21,700		
		豊科交流学習センター施設利用料	6,102,228		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 令和3年度図書館利用状況

	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	R2実績	比較
所蔵冊数	217,445	83,815	50,766	44,291	48,648	444,965	440,038	4,927
登録者数* (人)	27,305	12,276	4,921	2,948	4,168	51,618	49,552	2,066
開館日 (日)	285	285	285	285	286			
利用者数* (人)	106,878	35,361	26,060	12,584	6,493	187,376	181,043	6,333
貸出点数 (点)	427,694	133,137	118,469	55,372	24,020	758,692	723,879	34,813

\*登録者数：個人登録者数 利用者数：利用者カードで本を借りた延べ人数

#### 2 主な事業

(1) 図書館資料収集事業 18,149,235円 購入冊数 9,143冊

- 〈内訳〉○通常図書購入等 16,900,784円
- 三郷図書館用図書購入 949,031円
- 学校図書館調べ学習用図書の購入 299,420円

(2) ブックスタート・セカンドブック事業 1,003,706円

- ①ブックスタート事業 実施回数36回 528人  
乳児期から本に親しんでいただくため、市内の保健センターで実施される4か月児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を含むブックスタートパックを配布しました。
- ②セカンドブック事業 実施回数36回 635人  
ブックスタートのフォローアップ事業として、家庭での読み聞かせや読書の定着を図るため2歳児健康相談時に司書が出向き、絵本1冊を配布しました。

(3) 図書館配本事業 2,713,920円

団体貸出として、認定こども園、児童館、デイサービス施設等へ計18,374冊を届けるとともに、予約本や返却本を市内の図書館間での日々の物流を円滑に動かすことができました。

(4) 各種おはなし会、図書館講座、映画上映会等の開催 延べ参加人数2,192人

コロナ禍で参加人数の制限など感染予防策を取りながら、各図書館で、図書館職員又はお話しボランティアによるお話を定期的に開催するほか、講座、講演会などを開催しました。

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (5) リサイクルフェアの開催 来場者総数1,423人 配布数7,810冊  
 期間 中央図書館：1月15日（土）～1月30日（日）  
 豊科・三郷・堀金・明科図書館：1月15日（土）～1月23日（日）  
 市内公共図書館で廃棄した図書及び一般市民からいただいたリサイクル本を展示し、市民へ無料で配布しました。
- (6) 市内小中学校、施設等との連携事業
- ①小中学校との連携 ・調べ学習用図書の整備 専用図書として1,171冊  
 ・学校配本 調べ学習に必要な資料の選書及び配本 2,141冊  
 ・学校訪問 百科事典の使い方講座 訪問校数2校
- ②高校との連携 「りぶサポ」の開催 8回開催 参加人数4人  
 穂高商業高校の生徒と部活感覚で本の購入や、棚のデコレーション、Twitterを使用したおすすめ本の紹介などを行いました。
- ②おでかけ図書館 回数9回  
 イベントや文書館、公民館と連携して講演会などに参加し、関連書籍を展示及び貸出をしました。
- ④ 図書展示  
 介護保険課や男女共同参画課等、市の各部署とのコラボ企画として、それぞれの啓発活動の情報と関連図書を館内にコーナーを設けて展示しました。
- (7) 図書館協議会の開催 年3回 94,500円  
 図書館運営について、活発なご意見をいただきました。
- (8) レファレンスサービスの充実 年間総数4,563件  
 調べものや、求めている資料や情報を提供し、調査研究のお手伝いを積極的に行っています。
- (9) 図書館の利用促進
- 図書館だよりや子ども向け、ヤング世代向けの図書館だよりの発行
  - 読書通帳の配布 配布数1,556冊 100冊到達者195人
  - 春の子ども読書月間及び秋の読書月間の開催
  - 図書館事業のPRの充実 HPやSNS、新聞など積極的に情報提供を行いました。
  - 春の子ども読書月間及び秋の読書月間の開催
- 3 新たに取組んだ事業等
- ・3市連携 「えほんdeかがく」と題し、安曇野市・松本市・塩尻市の3市の公共図書館職員が科学絵本を中心に選定した131冊のリストを作成し、配布しました。

### 上記の評価と課題等

コロナ禍のため、引き続き利用は減少したままですが、市民の図書館サービスへのニーズは高く、平常時に戻れば利用も回復してくるものと考えます。また、図書館に所蔵する資料の充実が、図書館の魅力や利用促進につながっています。

図書館司書のスキルアップを図り、市民の多様化する「学び」に応えるとともに、コロナ禍以前に利用していた方に、再び利用していただくための方策を考える必要があります。

魅力ある講座やイベントを開催し、SNSの活用など積極的に情報発信に努めます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書 ページ	96
------------	----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
14,546,000	13,040,635	0	1,505,365	89.7%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
	左記の内訳			
	左記の内訳			
	左記の内訳			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

子ども発達支援相談室は、0歳～18歳までの発達に心配のある子ども及びその家族に対し、子どもの最善の利益を考慮しながら、健やかな発達を支援する中核を担っています。保健・医療・保育・福祉・教育等の関係機関の連携により、育ちの躓きを早期発見し、相談、早期療育に繋げるとともに、一貫した支援を行い、18歳以降の次のライフステージに繋げ、安心して生活できる地域社会の場を目指し、専門職の職員で相談事業、療育支援事業、地域のネットワークの構築を行っています。

#### 1 主な事務費

- (1) 相談事業 10,419,335円  
会計年度任用職員報酬（子ども相談員等）
- (2) 療育支援事業 1,700,800円  
遊びの教室・はいはいたちの相談日・子育てサポートプログラム

#### 2 相談事業

相談実人数は、511人（増減率1%減）、延べ件数は、1,267件（増減率1%減）とコロナ禍で少し減となりましたが、予想した以上には減りませんでした。新規の相談件数は、少しですが増となっています。発達、言語についての相談や発達検査、関係各所との連携会議等、継続支援の必要な子ども及び保護者の支援回数が増えています。保護者や関係者の発達障がいの知識も高まっており、より丁寧で専門的な支援が必要となっています。学校等の相談内容としては、不登校、不応答、学業不振、対人トラブル、親子関係などがあり、教育、福祉等の機関と連携しながら相談を進めました。

#### (1) 相談実人数

令和2年度		令和3年度	
実人数	(内) 新規相談実人数	実人数	(内) 新規相談実人数
516人	236人 (45.7%)	511人	248人 (48.5%)

#### (2) 年代別相談延べ件数

年代	令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合
未就園児	76	5.8%	103	8.1%
就園児	714	54.0%	711	56.1%
小学生	300	22.7%	214	16.9%
中学生	143	10.8%	140	11.1%
高校生	88	6.7%	79	6.2%
その他	0	0.0%	20	1.6%
計	1,321		1,267	

#### (3) 相談内容別延べ件数

相談内容	令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合
発達	1,253	94.8%	1,179	93.0%
身体	10	0.7%	13	1.0%
知的	2	0.2%	7	0.6%
精神	13	1.0%	16	1.3%
重度心身障害	5	0.4%	2	0.2%
その他	38	2.9%	50	3.9%
計	1,321		1,267	



予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### （4）方法別相談延べ件数

相談方法	年 度	令和2年度		令和3年度	
		件数	割合	件数	割合
家庭訪問		19	1.4%	8	0.6%
関係機関訪問		444	33.6%	309	24.4%
来所相談		470	35.6%	470	37.1%
同行支援		10	0.8%	2	0.2%
電話相談		60	4.5%	82	6.5%
支援会議		103	7.8%	89	7.0%
発達検査（説明と報告含）		202	15.3%	291	22.9%
その他		13	1.0%	16	1.3%
計		1,321		1,267	

#### 3 療育支援事業

【はいはいたちの相談日】（0～2歳児までの運動発達の躓きに関わる個別療育支援）

・相談希望件数が増えたため、予定の18回から3回増やし、21回実施し98件の相談を受けました。

【遊びの教室】（健診で発達に躓きが認められ、経過観察が必要とされた子ども及び保護者の小集団療育支援）

・1歳児クラス一年間34回 実参加人員43人 延べ参加人員197人（1回平均5.8人）

・2歳児クラス一年間14回 実参加人員22人 延べ参加人員168人（1回平均12人）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、計22回の教室が中止となりました。

【子育てサポートプログラム】

（子育てに心配のある子どもの家族や支援者が、関わり方や発達の正しい理解を深めるための支援事業）

（1）光保作業療法士によるソーシャルスキルプログラム（SSP教室）

社会で人と人が関わりながら生きていくためのスキルを学ぶソーシャルスキルプログラム（SSP教室）を4歳児、5歳児の園児とその保護者を対象に希望を募り開催しました。親子で社会性を身に付ける基本を学ぶ経験ができました。（7人×4回のコースを2回、計14人）

（2）光保作業療法士によるSSP講座「子育てのヒントを学ぶ」

全3回×2グループ、計6回実施しました。SSP教室を申し込んだ保護者と支援者を対象に延べ253人（1回平均42人）参加し、同じ悩みを持つ参加者同士が共感したり、関わり方の情報の共有をする機会となりよかったとの感想をいただきました。

#### 4 ネットワークの構築

0歳～18歳までのライフステージに繋げるため、他課や他事業所との連携を進めました。

### 上記の評価と課題等

相談事業では、子どもや保護者、関係者に寄り添い、具体的な支援を続けています。関係機関との連携や早期発見、支援の強化に努めました。「はいはいたちの相談日」は、回数を増やすことにより、早期に支援ができました。「遊びの教室」では、小集団の療育より、個別の療育に繋げることが望ましい子どもや、発達年齢の課題が困難な子どもが増えています。次年度は、個別の親子支援体制を強化するために「親子であっぷっぷ」事業を行い、繋がった支援を行っていきます。

子育てサポートプログラムでは、発達について具体的な関わり方を学びたい保護者や関係者を対象にSSP教室と講座を開催しました。子どもへの寄り添い方についての関心の高さが伺えました。

今後も、多様な状況、情勢を捉え、0歳から18歳までの一貫した相談支援の体制を整えていく必要があり、他課や支援機関との連携をより強化し、支援体制を構築していくことに努めます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当・子育て給付係

決算書 ページ	100
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
15,638,000	13,764,259	0	1,873,741	88.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
7,016,303	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	693,000	児童入所施設措置費等県費負担金	1,877,357
	母子生活支援施設等入所負担金	80,800		
	児童入所施設措置費等国庫負担金	3,254,146		
	児童虐待・DV対策等総合支援事業国庫補助金	1,111,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 女性保護事業

女性保護事業については、女性相談や配偶者間暴力の被害者への支援を実施しました。女性相談については、離婚や健康問題等多様なケースについて相談支援を実施しました。配偶者間暴力については、警察等関係機関と連携し、相談者の安全の確保を最優先に支援を行いました。

#### (1) 女性相談件数

(単位：件)

相談方法	年度	人間関係				経済関係	医療関係	その他	合計
		夫等	子ども	親族	交際相手				
訪問 (実人数)	R 3	13	3	1	0	2	0	1	20
	R 2	39	13	2	1	1	7	9	72
来所 (実人数)	R 3	133	11	23	2	9	14	10	202
	R 2	142	12	21	5	8	10	5	203
電話 (延人数)	R 3	346	90	32	10	29	112	31	650
	R 2	303	102	47	11	43	114	22	642

#### (2) 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数 延べ384件（前年度494件）

#### (3) 母子自立支援施設等入所（入所 3世帯 8人）

(単位：円)

支出額	国庫負担金	県費負担金	一般財源	利用者負担金
7,590,230	3,254,146	1,877,357	2,458,727	80,800

#### (4) 避難施設利用者

配偶者間暴力の被害者の安全確保のため、所管する避難施設を活用しました。また避難期間中に自立に向けた支援を実施しました。

年度	世帯	利用者	利用日数
R 3	1世帯	2人	81日
R 2	1世帯	2人	66日

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 2 母子福祉事業

母子福祉事業については、ひとり親家庭への相談事業として、就労や経済的問題などについての相談対応や関係機関と連携しての支援を行いました。また、経済的支援として、給付事業の実施や各種手当の申請に向けた支援を行い、ひとり親家庭の経済的安定に資する取組みを行いました。

#### (1) 新規相談件数

(単位：延べ件数)

年度	内容	生活一般				児童	経済関係	その他	合計	
		住宅	医療	家庭紛争	就労					結婚他
R 3		18	27	24	84	78	22	185	0	438
R 2		42	53	12	65	95	85	134	3	489

#### (2) 母子家庭等対策総合支援事業

(単位：円)

事業名	利用者（人）	総事業費	国庫補助金	一般財源
高等職業訓練促進給付金事業	2	1,107,000	693,000	414,000
自立支援教育訓練給付金事業	0	0	0	0

### 上記の評価と課題等

母子福祉事業については、女性相談員、母子父子自立支援員及び担当職員により、相談者の状況に合わせた適切な支援が行えたと考えています。また、相談者に同居する児童がおり支援を希望されたケースについては、係内で情報を共有し児童担当職員とも連携し必要なサポートを行いました。

今後とも、女性相談、配偶者間暴力の被害者相談、ひとり親相談については、相談者の心情に寄り添った相談支援を行っていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係・子育て給付係・子ども家庭相談担当

決算書ページ	104
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,833,855,000	1,828,413,917	0	5,441,083	99.7%
特定財源の合計金額	左記の内訳			
1,278,499,237	児童扶養手当国庫負担金	93,039,477	児童扶養手当過年度返還金	27,000
	児童手当国庫負担金	961,340,332	子ども・子育て支援交付金(国庫)	4,838,000
	児童手当国庫負担金前年度精算分	413,333	子ども・子育て支援交付金(県費)	4,581,000
	児童手当県費負担金	212,583,165	児童福祉施設入所負担金判定委託金	12,710
	児童扶養手当返還金	60,220	子ども・子育て支援事業費補助金	1,604,000
			(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(212,213,000)

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 家庭児童相談事業

児童相談所や学校、認定こども園、母子保健担当部局などの関係機関と連携し、多様な相談について対応を行いました。児童虐待対応については要保護児童対策地域協議会を活用することで、円滑な連携や情報共有を行うことができました。

##### (1) 新規児童相談件数

(単位：件)

年度	児童虐待	養育不安等	育児	不登校	非行	障がい	その他	合計
R3	122	137	8	6	3	1	3	280
R2	119	103	14	8	4	3	6	257

##### (2) 児童相談所と連携した対応

(単位：件)

年度	保護者同意の上での一時保護対応	児童福祉司指導	児童相談所から市への協力要請
R3	60	12	55
R2	23	11	49
R1	10	0	0

#### 2 児童手当給付事業

家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることを目的に、中学生以下の児童を養育する保護者に対して、児童手当法に基づき年3回(6月・10月・2月)児童手当を支給しました。

##### ○実績

(単位：円)

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	県費負担金	一般財源
R3	127,864人	1,386,960,000	961,340,332	212,583,165	213,036,503
R2	130,506人	1,416,295,000	983,457,331	216,418,831	216,418,838

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 3 児童扶養手当給付事業

ひとり親家庭等の生活安定と自立促進、児童福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当法に基づき、年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）児童扶養手当を支給しました。

○実績

（単位：円）

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	一般財源
R 3	9,849人	276,869,860	93,039,477	183,830,383
R 2	10,080人	289,310,190	98,281,470	191,028,720

#### 4 子育て応援手当給付事業（市独自事業）

教育・保育施設等を利用せず、第2子以降の就学前児童を家庭で保育する養育者に対して、児童1人あたり月額3,000円を支給し、子育て家庭への経済的負担の軽減を図りました。

○実績

（単位：円）

年度	延受給者数	延児童数	支給額
R 3	1,607人	8,974人	26,922,000
R 2	1,699人	9,817人	29,451,000

#### 5 ファミリー・サポート・センター事業

相互の信頼関係を構築し地域主体で子育て世代を支える援助活動として、児童の援助を行いたい者と援助を受けたい者を組織化し、登録会員間の調整役として運営しました。

（1）支援件数 会員1,131人（協力113人・依頼986人・両方32人）（単位：件）

年度	通常	病児・病後児	当日緊急	計
R 3	983	8	20	1011
R 2	1021	6	10	1037

（2）子ども子育て支援交付金（子育て援助活動支援事業）（単位：円）

総事業費	国庫補助金	県費補助金	一般財源
8,164,410	2,669,000	2,669,000	2,826,410

### 上記の評価と課題等

家庭児童相談事業については、新規相談件数の増加傾向は続いており、児童虐待（疑いを含む）や養育不安等についての相談が主となっています。児童虐待対応については、児童相談所との連携体制がより整い効果的な支援が行えています。対応件数の増加に即応できる体制の構築が課題となっています。

ファミリー・サポート・センター事業については、昨年より支援件数が減少したものの、1,000件を超える支援実績となっており、地域力を活かした子育て支援サービスの提供ができています。支援の事由で多い内容は、保護者の就労による託児、子どもの習い事の送迎等に関する支援となっています。コロナ禍に加え、子育て家庭を取り巻く課題が多様化していることから、利用者の積極的な利用を促進するため、委託事業者と協力しながら事業強化を図っていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	106
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103234	令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,430,820,000	1,404,729,352	0	26,090,648	98.2%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,439,293,000		令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業補助金	1,439,293,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当の対象児童及び高校生世代児童に対し、児童一人あたり100,000円の臨時特別給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

#### 【実績】

(1) 受給者 8,304人（対象児童 13,987人）

(2) 支給額 1,398,700,000円

(3) 事業費 1,404,729,352円

内訳：給付金 1,398,700,000円 報酬 774,934円

旅費 12,600円 超過勤務手当 351,694円

消耗品 580,220円 郵送料 1,263,234円

手数料 906,070円 システム対応業務委託 2,140,600円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対し、臨時特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	106
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103235	子育て世帯臨時特別給付金事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,899,000	1,899,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 子育て世帯への臨時特別給付金事業  
 令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金補助金 返還金 1,899,000円  
 内訳：給付事業費 100,000円  
 給付事務費 1,799,000円

### 上記の評価と課題等

令和3年度に確定した令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金補助金の返還金を返還しました。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	106
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103237	ひとり親世帯臨時特別給付金事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
30,593,000	30,593,000	0	0	100.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 ひとり親世帯臨時特別給付金事業  
 令和2年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金 返還金 30,593,000円  
 内訳：ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費 30,110,000円  
 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事務費 483,000円

### 上記の評価と課題等

令和3年度に確定した令和2年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金の返還金を返還しました。



令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	108
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103239	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
46,800,000	45,141,958	0	1,658,042	96.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
53,376,000		子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）国庫補助金	53,376,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童扶養手当を受給している世帯等に対し、対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

#### 【実績】

(1) 受給者 606人（対象児童 865人）

(2) 支給額 43,250,000円

(3) 事業費 45,141,958円

内訳：給付金 43,250,000円 報酬 544,100円

旅費 16,800円 超過勤務手当 178,747円

消耗品 103,749円 郵送料 41,402円

手数料 66,660円 システム対応業務委託 940,500円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯に対し、特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	108
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103241	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
39,433,000	36,812,814	0	2,620,186	93.4%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
86,020,000	左記の内訳	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）国庫補助金	86,020,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当及び特別児童扶養手当を受給する世帯及び高校生世代のみ養育する世帯で、住民税均等割が非課税の世帯等に対し、対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

#### 【実績】

- (1) 受給者 387人（対象児童 658人）
- (2) 支給額 32,900,000円
- (3) 事業費 36,812,814円

内訳：給付金 32,900,000円 報酬 480,208円

旅費 26,070円 超過勤務手当 45,689円

消耗品 114,850円 封筒印刷代 115,500円

郵送料 43,688円 手数料 42,680円

案内チラシ・支払通知書作成、システム対応業務委託 3,044,129円

### 上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	108
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0103260	児童館運営費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
238,020,000	237,473,425	0	546,575	99.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
90,034,130	左記の内訳	児童クラブ負担金	46,856,130		
		子ども子育て支援交付金(国)	21,048,000		
		子ども子育て支援交付金(県)	20,952,000		
		保育士等処遇改善臨時特例交付金	1,178,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会に指定管理委託を行い、市内9児童館における子育て支援事業、子育て相談事業、地域ふれあい事業、青少年育成事業、各児童館の特色を生かした事業及び児童クラブ事業が実施されました。

- 指定管理委託料 9館計 222,341,000円(児童クラブ分含む)
- 児童館事業
  - 子育て支援事業 「キッズパーク」、「みんなあつまれ」、「おさがり会」
  - 子育て相談事業 「育児相談」、「子育て勉強会」
  - 地域ふれあい事業 「ふれあい農園」、「地域ボランティア」、「児童館祭り」
  - 青少年育成事業 「チャレンジタイム」、「お楽しみ企画」
  - 来館者数 75,377人(児童クラブ利用者を除く。R2実績 68,337人)
- 児童クラブ事業等 「放課後児童クラブ」、「障がい児長期休業中児童クラブ」計11か所(穂高西小分室、三郷小空き教室含む)
  - 児童クラブ定員 通年 745人、長期 337人、合計 1,082人
  - 児童クラブ登録数 通年 635人、長期 354人、合計 989人(最多時)
  - 延べ利用者数 110,270人(R2実績 95,343人)

### 上記の評価と課題等

穂高北小児童クラブ及び堀金児童クラブは6年生まで受入れ枠を拡大、三郷児童クラブは長期利用のみ5年生まで受入れ枠を拡大し、令和4年度の利用者募集を行いました。  
市内の児童クラブ利用希望者は年々増加傾向であり、また小学校の教室等を活用した受入れスペースの確保においては、特別支援教室等の増加もあり困難な状況となっております。市内の全ての児童クラブの6年生までの受入れ枠拡大に向け、施設の調達方法等検討を進めます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	110
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0103270	児童館整備事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
363,806,000	355,660,485	0	8,145,515	97.8%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
323,888,000	左記の内訳	子ども・子育て支援整備交付金(国)	19,106,000	児童館建設事業(特例債)	241,700,000
		子ども・子育て支援整備交付金(県)	19,106,000		
		次世代育成支援対策施設整備交付金(国)	21,988,000		
		次世代育成支援対策施設整備交付金(県)	21,988,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

穂高北部児童館の老朽化に伴い、新たな児童館を建設しました。

- 1 (新) 穂高北部児童館
  - (1) 設計監理委託 4,180,000円
  - (2) 敷地造成工事 31,614,000円 (債務負担行為、令和2年度契約)
  - (3) 建設工事 289,300,000円
  - (4) 配水管布設整備工事 6,281,000円
  - (5) 下水道整備工事 5,775,000円
  - (6) 水路改修工事及び舗装復旧工事 12,617,000円
  - (7) 仮設退避スペース設置工事 1,232,000円
- 2 起工式及び竣工式
  - (1) 起工式 令和3年7月30日
  - (2) 竣工式 令和4年3月14日
- 3 工事概要
  - (1) 敷地面積 2,016.49㎡
  - (2) 鉄骨造1階建
  - (3) 建築面積 739.50㎡ (延床面積 702.03㎡)

### 上記の評価と課題等

国・県の補助金と市債を活用し、予定通り建設工事が完了しました。  
 (新) 穂高北部児童館施設は令和4年3月中に竣工し、翌月の4月より児童館及び児童クラブの運営を開始しました。これにより穂高北児童館の老朽化が解消し、穂高北小児童クラブの6年生までの受入れ拡大が可能となりました。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課・生涯学習課
係等	児童青少年係・社会教育担当

決算書 ページ	218
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
19,118,000	17,103,004	0	2,014,996	89.5%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
66		青少年育成基金利子	66		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 成人式実施事業（令和3年延期分、令和4年分）・・・生涯学習課 社会教育担当
  - 期日 令和3年11月21日（日）（令和3年1月10日の延期分）参加者602人
  - 期日 令和4年1月9日（日）（令和4年分）参加者754人
  - 会場はいずれもANCアリーナ  
※新型コロナウイルス感染防止対策として、市歌斉唱・交流会を取りやめ、記念撮影時間も短縮しました。また、健康チェックリストの提出、検温、手指の消毒、マスクの着用等を徹底し、開催しました。
- 青少年育成環境整備事務
  - 街頭巡回 5地域で3回（7/30, 12/25, 3/22）長期休みに実施しました。
  - 街頭啓発 11月1日に「子ども・若者育成支援強調月間」として実施しました。
  - 青少年センターだよりを3回（5月、9月、1月）発行しました。
  - 講演会 10月16日（土）  
「子どもと親の今とこれから」講師：NPO法人Gland・Riche理事長 望月美輪氏
- 青少年体験事業
  - 親子体験ラボ 1回 17人 12/5キャンドル作り（2/5ロールケーキ作りは中止）
  - 親子プログラミング教室 8回 延べ194人（10/30, 31 11/7, 14 各2回）  
松本大学の学生を講師に迎え、親子参加により小学1年生の児童の参加もあり好評のもと実施ができました。
  - ジュニアリーダー養成講座 2回 延べ17人 6/12地区を知り楽しむ、11/3三九郎とおせち料理
  - 子ども文化祭 1回 11/13～27 穂高「みらい」作品展示の部、出展4団体103人（ステージ発表は中止）
- 子ども会育成会支援事務
 

地域における子ども達への自主的な活動を推進させ、また、地域育成会の活動の活発化を目的に子ども会育成会活動への補助を行いました。

  - 基本補助金（均等割） 97地区育成会（4,698,450円）
  - 活性化補助金 22地区育成会（742,000円）
  - 安全共済会加入補助金 7,517人（1,127,440円）

### 上記の評価と課題等

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として各講座は人数制限を行い、子ども文化祭では展示発表のみとしました。子ども会育成会の活動も低調傾向ですが、ジュニアリーダー養成講座の開催や活性化補助金の交付により、引き続き活動の支援を行っていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	220
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,894,000	2,995,653	0	898,347	76.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,759,000		放課後子どもプラン補助金(県)	1,759,000		

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

#### 1 放課後子ども教室推進事業

放課後の児童の安全安心な居場所として、また異年齢、異世代間交流を図り、様々な体験や遊びを通じ、地域の大人の見守りの中で思い切り遊ぶ機会を確保するため、10小学校の施設を利用して放課後子ども教室「わいわいランド」を開催しました。

学校名	コーディネーター(人)	サポーター(人)	登録児童数(人)	開催日数(日)	参加のべ児童数(人)
豊科南	2	10	106	7	684
豊科北	3	9	87	7	563
豊科東	2	5	33	9	281
穂高南	2	18	136	14	1,774
穂高北	2	25	209	8	1,368
穂高西	2	12	110	12	1,194
三郷	2	21	170	9	1,263
堀金	3	16	103	9	826
明南	2	13	45	10	353
明北	2	17	60	12	677
合計	22	146	1,059	97	8,983

### 上記の評価と課題等

小学校の授業時間の増加や水曜日のクラブ活動により、高学年の参加が困難な学校もありましたが、地域ごとに自由遊びを中心とした活動を進めることができました。

新型コロナウイルス感染防止対策により1学期は6月から、2学期は10月から活動し、3学期は1月19日以降中止しました。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	110
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103290	公立認定こども園整備費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
124,299,000	120,942,575	0	3,356,425	97.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
56,500,000		旧合併特例事業債	42,800,000		
		施設整備事業債	13,700,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

実施計画に沿って、園舎の建替えに向けた調査・設計、改修工事等を実施し、安定的な保育サービスを提供するための施設整備に努めました。

#### 1 主な委託業務

- (1) 三郷西部認定こども園建設事業実施設計業務委託 9,746,000円
- (2) 三郷西部認定こども園建設事業用地測量業務委託 4,312,000円
- (3) 三郷西部認定こども園建設事業地質調査業務委託 4,477,000円
- (4) 三郷西部認定こども園建設事業園舎解体工事設計業務委託 2,200,000円

#### 2 主な工事

- (1) 明科南認定こども園建設事業旧園舎解体工事 35,750,000円
- (2) 令和3年度債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業仮設園舎建設工事及びリース工事：32,505,000円、リース料：110,000円
- (3) 三郷西部認定こども園建設事業仮設園庭整備工事 5,940,000円
- (4) 西穂高認定こども園改修事業テラス改修工事 18,150,000円

### 上記の評価と課題等

三郷西部認定こども園建設のため、事業計画に基づき仮設園舎・仮設園庭の建設及び用地測量や地質調査業務を実施しました。また、実施設計業務を委託し、早期発注に向けて入札を2回実施しましたが、物価高騰の影響等で不落となったため、事業費及び全体工程の見直しを行いました。

劣化が著しい園舎については、大規模改修等を計画的に実施していきます。今後も子育て支援の拠点となる施設の整備を進めていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	110
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103300	保育政策費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
683,024,000	670,699,588	0	12,324,412	98.2%

特定財源の合計金額	535,252,507	左記の内訳	金額	金額
		保育児童保育料	5,468,000	子育てのための施設等利用給付費負担金 2,261,975
		子どものための教育保育給付費負担金	259,896,098	子育てのための教育・保育給付費地方単独費用補助金 2,510,000
		子育てのための施設等利用給付費負担金	4,983,550	子育て支援総合助成金 7,452,000
		保育対策総合支援事業補助金	4,370,000	子ども子育て支援交付金 36,953,000
		保育所等整備交付金	46,608,000	保育対策総合支援事業補助金 10,000
		子ども子育て支援交付金	40,816,000	長野県安心こども基金事業補助金 220,000
		子ども子育て支援対策推進事業費補助金	224,000	一時的保育料 8,121,000
		保育士等処遇改善臨時特例交付金	9,351,392	その他雑入(保育担当) 1,585,117
		子どものための教育保育給付事業負担金	104,422,375	

### 主要な施策(事務事業)の成果の概要

1 私立の教育・保育施設等(保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業)に子どものための教育・保育給付費の支給

対象施設	区分	給付費	利用児童数 ※利用最終月
細萱保育園	保育所	66,274,310円	82人
認定やまぶきこども園	認定こども園	83,554,510円	76人
花園認定こども園	認定こども園	55,419,760円	53人
あづみ野おとぎ保育園	地域型保育(小規模保育事業)	30,856,700円	19人
あづみ野第2おとぎ保育園	地域型保育(小規模保育事業)	32,905,110円	18人
あづみ野第3おとぎ保育園	地域型保育(小規模保育事業)	31,565,680円	17人
ニチイキッズ安曇野保育園	地域型保育(小規模保育事業)	42,113,960円	22人
ニチイキッズ穂高保育園	地域型保育(小規模保育事業)	50,305,950円	22人
サンライズキッズ保育園安曇野園	地域型保育(小規模保育事業)	32,669,810円	19人
きらり穂高病院保育園	地域型保育(小規模保育事業)	33,151,760円	20人
保育室モモ	地域型保育(家庭的保育事業)	14,698,670円	5人
聖十字幼稚園	認定こども園	593,790円	1人
こまくさ幼稚園	認定こども園	838,540円	1人
松本光明幼稚園	認定こども園	477,750円	1人
松本中央幼稚園	認定こども園	1,288,680円	1人
松本短大幼稚園	認定こども園	886,720円	1人
松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	認定こども園	12,974,650円	7人
ISN島内キャンパス	認定こども園	6,469,650円	7人
ISN南松本キャンパス	認定こども園	736,860円	2人
松本保育園	保育所	339,380円	1人
白百合幼稚園	幼稚園	629,500円	1人
ひまわり共同保育所	地域型保育(小規模保育事業)	314,980円	1人
計		499,066,720円	377人



予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103300	保育政策費			

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 幼児教育・保育の無償化（令和元年10月施行）に伴い、無償化対象保育施設等に対し施設等利用給付費を支給

- (1) 一時預かり保育料 127,200円
- (2) 認可外保育施設等 3,404,120円
- (3) 新制度未移行園 4,972,650円

3 広域保育の状況

区分	児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
市外への委託	3人	人	人	2人	人	1人	人

4 一時預かり事業

登録者数	月平均利用者数	利用延日数
203人	68人	2,237人

5 病児・病後児保育事業

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
47人	0人	0人

6 認可外保育施設支援事業

(単位：円)

対象施設	保育分 ※児童処遇向上	施設整備分 ※児童処遇向上	衛生安全対策	信州やまほいく 保育料負担軽減	補助金合計
保育室モモ	493,818	464,709	15,000	0	973,527
野外保育森の子	2,161,488	130,593	0	3,290,400	5,582,481
くまのこ	432,144	0	0	0	432,144
自由保育所ひかりの子	1,137,732	0	0	1,782,300	2,920,032
安曇野シュタイナーこども園おひさま	499,334	1,000,000	0	274,200	1,773,534
キッズハウスとらうむ	149,318	64,680	0	0	213,998
アップレはうす	45,114	0	0	0	45,114
計	4,918,948	1,659,982	15,000	5,346,900	11,940,830

### 上記の評価と課題等

児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づき、私立の教育・保育施設等（保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業）に対し、幼児期の教育・保育給付を行い、利用施設に給付費を支給しました。また、幼児教育・保育の無償化として、対象保育施設等に施設等利用給付費を支給しました。

園児の処遇向上と信州やまほいくの取り組みを行う認可外保育施設には、補助金を支給することで質の高い保育と多様な保育環境の充実を図ることが出来ました。

年々増加する未満児の保育ニーズに対応するために、小規模保育事業を設置・運営する事業者を募集・選考し、豊科南部地域に令和4年4月開所の小規模保育事業所を1施設整備しました。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	112
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103310	認定こども園管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,748,712,000	1,733,270,419	0	15,441,581	99.1%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
179,845,737	保育児童保育料	158,996,440	電源立地地域対策交付金	10,948,000
	突発長時間保育料	1,103,200	教育支援体制整備事業補助金	228,000
	保育児童保育料滞納繰越金	88,600	第3子以降の保育料減免事業補助金	2,900,700
	他市町村保育児童保育料	5,579,180	西穂高認定こども園太陽光発電売電	1,617
	保育料督促手数料	16,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 公立認定こども園（18園）で教育・保育を実施しました。

（1）利用状況

（単位：人）

施設名	定員	利用児童数	年齢別内訳 ※3/1時点					
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
豊科認定こども園	150	132	6	6	11	34	42	33
豊科南部認定こども園	160	151	1	11	11	39	41	48
南穂高認定こども園	190	169	2	10	18	40	43	56
たつみ認定こども園	105	106	1	8	9	30	28	30
アルプス認定こども園	100	101	4	5	8	28	27	29
上川手認定こども園	80	52	4	2	3	12	15	16
有明の森認定こども園	160	111	2	7	12	37	26	27
有明あおぞら認定こども園	160	128	2	10	11	29	39	37
西穂高認定こども園	220	218	5	13	19	60	60	61
北穂高認定こども園	90	77	5	4	12	16	17	23
穂高認定こども園	200	209	6	12	12	59	60	60
三郷西部認定こども園	70	55	0	6	6	12	14	17
三郷南部認定こども園	160	157	3	11	12	31	47	53
三郷東部認定こども園	170	134	3	6	12	39	42	32
三郷北部認定こども園	150	139	4	11	12	39	35	38
堀金認定こども園	250	223	3	15	24	58	65	58
明科南認定こども園	130	113	2	7	12	31	29	32
明科北認定こども園	90	54	2	3	6	11	10	22
計	2,635	2,329	55	147	210	605	640	672

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		基本施策	出産・子育て支援の充実

## その2

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### (2) 保育方針等

##### ア 職員体制

園長18人、主任保育士18人、保育士68人

会計年度任用職員316人（保育士255人、保育補助38人、看護師5人、事務補助18人）

計420人

##### イ 保育理念

一人ひとりの子どもを大切にしながら、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、家庭や地域から信頼される認定こども園を目指しています。

##### ウ 保育目標

○命（自分・人・生物）や物を大切にする子ども

○あいさつができる子ども

○元気に遊ぶ子ども

○意欲的に取り組み、やりぬこうとする子ども

○友だちと力を合わせ、認め合える子ども

○人の話を聴き、自分の気持ちを伝えたり、表現できる子ども

○自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

#### 2 広域保育の状況

区分	児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
市外からの受け入れ	10人	人	人	人	3人	5人	2人

#### 3 公立認定こども園（18園）の施設管理

施設修繕、物品修繕、各種器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等を実施しました。

##### (1) 主な修繕

三郷東部認定こども園プール床修繕 716,100円

南穂高認定こども園前庭花壇木柵修繕 910,800円

##### (2) 主な委託料業務

安曇野市立認定こども園建築物定期調査業務委託 1,414,000円

※建築基準法第12条の規定による建築物及び建築設備等に関する定期報告

##### (3) 主な工事

令和2年度債務負担行為 保育室空調機設置工事 199,991,100円

公立認定こども園：17園

※三郷西部認定こども園は建替え計画があるため除きます。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		基本施策	出産・子育て支援の充実

### その3

#### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 4 認定こども園（18園）の運営管理

認定こども園の運営に必要な保育用品等を購入するとともに、施設の適切な維持管理を行うことができました。

（単位：円）

施設名	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃料	備品購入費
豊科認定こども園	30,000	5,343,225	326,116	130,218	29,936	886,026
豊科南部認定こども園	30,000	5,073,984	289,611	66,825	25,428	389,053
南穂高認定こども園	30,000	6,282,436	245,155	30,294	40,699	2,866,858
たつみ認定こども園	0	4,040,245	320,726	60,588	29,703	316,954
アルプス認定こども園	0	3,781,073	206,073	65,637	16,470	465,019
上川手認定こども園	28,600	3,831,878	217,650	78,012	29,891	461,350
有明の森認定こども園	30,000	5,159,426	274,983	73,920	35,152	1,226,465
有明あおぞら認定こども園	0	4,977,938	265,904	55,440	96,016	629,640
西穂高認定こども園	0	7,701,655	178,189	30,800	30,334	1,163,738
北穂高認定こども園	30,000	3,897,252	144,287	18,480	40,097	0
穂高認定こども園	0	6,425,615	319,074	18,480	37,948	733,500
三郷西部認定こども園	30,000	4,681,592	184,459	88,440	15,706	797,588
三郷南部認定こども園	10,000	4,832,196	201,183	88,440	37,754	1,285,410
三郷東部認定こども園	30,000	6,079,229	126,749	48,840	41,787	1,320,678
三郷北部認定こども園	30,000	4,681,592	184,459	88,440	15,706	797,588
堀金認定こども園	30,000	8,933,167	410,291	95,700	73,200	140,624
明科北認定こども園	30,000	3,327,085	237,191	72,567	25,107	438,100
明科南認定こども園	30,000	4,469,547	237,234	71,808	21,293	806,314
計	368,600	93,519,135	4,369,334	1,182,929	642,227	14,724,905

#### 上記の評価と課題等

児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づき、公立認定こども園の適正な管理運営に努め、幼児期の教育・保育を一体的に提供しました。

子どもたちの為に安全安心な保育環境を維持し、公立認定こども園の適正な管理運営を心がけました。保育担当と各園が連携して各事業を実施することで、施設の保全に安全かつ迅速に対応ができ、突発的な事象にもスムーズに対応できました。

子どもたちが安全で安心して楽しく過ごせるよう、計画的に必要性を考慮しながら消耗品等を購入しました。年間を通じてコピー代や電気代などの経費節約に努めました。感染症対策や園舎の安全点検に努めながら、子ども達の安全・安心を優先させていきます。

3歳未満児の利用ニーズに対し市全体の許容量が不足しており、今後もニーズの増加が見込まれることから、受け皿の拡充を図る必要があります。

公立認定こども園の一部民営化を進めるため、安曇野市立認定こども園民営化中長期ビジョンの年次計画に基づき、明科北認定こども園、三郷西部認定こども園に関係する方々への説明会を実施しました。また、明科北認定こども園については、令和4年度からの保育業務本委託に向け、引継ぎ保育を行いました。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	114
------------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103320	認定こども園給食運営費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
384,473,000	382,825,462	0	1,647,538	99.6%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,973,816	左記の内訳	認定こども園職員給食代	21,953,725		
		認定こども園廃油売却代金	20,091		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、公立認定こども園18園で給食調理業務を民間委託しました。

○ 主な委託業務

- (1) 給食調理等業務委託業務（Aグループ） 35,151,600円  
穂高、北穂高、西穂高
- (2) 給食調理等業務委託業務（Bグループ） 38,471,400円  
有明の森、有明あおぞら、堀金
- (3) 給食調理等業務委託業務（Cグループ） 35,679,600円  
三郷東部、三郷南部・三郷北部・三郷西部
- (4) 給食調理等業務委託業務（Dグループ） 36,709,200円  
豊科、豊科南部、つつみ、アルプス
- (5) 給食調理等業務委託業務（Eグループ） 31,812,000円  
南穂高、上川手、明科南、明科北

### 上記の評価と課題等

栄養士が園を訪問し、子どもたちへの食育や、委託業者との連携を図りました。  
 栄養士と衛生管理を確実にを行い、安全で安心な給食の提供をしました。  
 保育士とのこまめな情報共有を行い、時には子どもや保護者の対応をすることで、子どもために何が  
 行えるか、より良い方法を探し出せるようになりました。今後も子どもに関わる保育士と栄養士、調理  
 業務受託事業者との更なる連携を図っていきます。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	206
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
81,428,000	73,052,695	5,532,000	2,843,305	89.7%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,400		幼稚園預かり保育料	8,400		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

#### 1 公立幼稚園で教育・保育を実施しました。

##### ア 職員体制

園長1人、主任教諭1人、教諭2人

会計年度任用職員5人（教諭3人、養護助教諭1人、事務補助1人） 計9人

##### イ 教育目標 『わくわくして遊び、笑顔が輝く子ども』

##### ウ 教育重点

- 夢中になって遊ぶ子ども
- 自ら発見し、考えられる子ども
- 自分も友だちも大切にできる子ども

#### 2 入園児数等

(令和4年3月1日現在)

	3歳児	4歳児	5歳児	合計
園児数	32人	21人	31人	84人
クラス数	2クラス	1クラス	2クラス	5クラス

園児の中には、言葉によるコミュニケーションが困難であったり、落ち着きがなく多動であったり等の援助を必要とする子どもが各クラスに在籍しており、各クラス担任や支援教諭による援助・指導を行っています。

#### 3 施設の維持管理、修繕・工事

##### (1) 主な修繕

駐車場歩行者通路修繕 716,100円

##### (2) 主な工事

令和2年度債務負担行為 保育室空調機設置工事 13,650,900円

穂高幼稚園園庭駐車場整備事業擁壁設置工事 5,532,000円（事故繰越し）

※隣接する住民への工事に係る同意に不測の日数を要しました。

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費			

## その2

### 上記の評価と課題等

園庭の豊かな自然を活かし、季節ごと戸外遊びを楽しんできました。園児の体力向上を目指し運動保育士を要請し運動遊びを継続してきました。さらなる充実を図っていきたいと考えます。

活動に必要な消耗品、備品の購入を計画的に行うことができました。玉入れセット、ウェーブバランス平均台は運動遊びの充実につながりました。また、遊戯室に空調設備を設置したことで暑い時期も快適に午睡ができ、園児の安全な健康管理につながりました。図書コーナーも暑さの問題が解消され、安全で快適に過ごせるようになりました。

預かり保育ニーズが増え、体制の充実が今後の課題です。また、木々の枝打ちにより日陰が減ってしまい、暑い時期の子どもたちの安全で快適な遊び環境の確保も必要と考えます。

令和4年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園係

決算書 ページ	206
------------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
13,010,000	12,652,812	0	357,188	97.3%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,828,131		幼稚園給食費	2,827,130		
		幼稚園廃油売却代金	1,001		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、給食調理業務を民間委託しました。

○ 主な委託業務

給食調理等業務委託業務（Bグループ） 6,639,600円

### 上記の評価と課題等

栄養士が園を訪問し、子どもたちへの食育や、委託業者との連携を図りました。  
 栄養士と衛生管理を確実にを行い、安全で安心な給食の提供をしました。  
 保育士とのこまめな情報共有を行い、時には子どもや保護者の対応をすることで、子どもために何が  
 行えるか、より良い方法を探し出せるようになりました。今後も子どもに関わる保育士と栄養士、調理  
 業務受託事業者との更なる連携を図っていきます。